
市民アンケート調査結果報告書

令和4年9月



宮 崎 県 串 間 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取扱いについて	1
(2)	調査結果の有意性について	2
3	属性（あなたのことについて）	3
(1)	あなたの性別	3
(2)	あなたの年齢	3
(3)	あなたの職業（※主たるもの）	3
(4)	あなたの就学先・勤務先	4
(5)	串間に住んで何年ですか	4
(6)	あなたの居住地区	4
II	調査結果	5
1	調査結果概要	5
(1)	安定した雇用を創出する	5
(2)	子育て世代に選ばれる環境づくり	5
(3)	新しい人の流れをつくる	6
(4)	住み続けたい魅力あるまちをつくる	6
(5)	多様な人材の活躍を推進する	7
(6)	新しい時代の流れを力にする	7
2	まちへの定住意向について	8
(1)	今後の定住意向について	8
(2)	住みたくない主な理由について	18
3	市政に対する現状評価と今後の期待について	23
(1)	市の施策に対する満足度	23
(2)	市の施策に対する重要度	36
(3)	満足度と重要度の相関	49
(4)	満足度と重要度の相関（優先度）	58
4	あなたの日頃の行動などについて	63
(1)	週1回以上のスポーツ活動	63
(2)	健康増進への取り組み	67
(3)	地域福祉活動への参加	71
(4)	避難路・避難場所	75

(5) 防火・防災訓練への参加.....	79
(6) 地域の防犯活動等.....	83
(7) 環境に配慮した生活.....	87
(8) 地元の公園の維持管理.....	91
(9) 市内での買物.....	95
5 地方創生について.....	99
(1) SDGs	99
(2) エネルギー.....	102
(3) 結婚	108
(4) 子育て	110
(5) 仕事	116
(6) 人口減少	119
6 デジタル化に関する分野について.....	127
(1) インターネットの利用状況.....	127
(2) 行政のデジタル化.....	131
7 コミュニティ活動、参画・協働について.....	133
(1) 地域活動	133
(2) 地域コミュニティ.....	141
(3) 移動手段	145
(4) 中心市街地.....	153
8 串間市内の福祉医療について.....	154
(1) 福祉	154
(2) 医療	160
9 市行政について	165
Ⅲ 自由意見	170

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、市民の皆様は、これまでの市の取組みに対して評価をしていただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお聞きすることで、今後の市政運営の基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調査対象	18 歳以上の市民
配 布 数	2, 000
抽 出 法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	令和 4 年 8 月
調査地域	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2, 000
全 回 収 数	730（内インターネットによる回収数134）
有効回収数	730（内インターネットによる回収数134）
有効回収率	36. 5%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取扱いについて

- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。
従って、合計が 100％を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率は n を 100％として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は 100％を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化してあります。
- ⑤本文中の“[]”内は[アンケートの回答項目]、“[]”内は[アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの]となります。

(2) 調査結果の有意性について

- ①一般に、標本の大きさが大きいほど信頼性の高い（標本誤差が小さい）調査結果を得ることができます。標本の大きさと信頼性（標本誤差）との関係は、概ね以下のような関係になります。標本の大きさが 400 の場合、誤差が±5%の範囲内になり、一定の信頼できる結果が得られると考えられます。

標本の大きさと標本誤差（%ポイント）の関係

標本の大きさ	10%程度の回答者が選ぶ設問	30%程度の回答者が選ぶ設問	50%程度の回答者が選ぶ設問
100	5.9%	9.0%	9.8%
200	4.2%	6.4%	6.9%
300	3.4%	5.2%	5.7%
400	2.9%	4.5%	4.9%
500	2.6%	4.0%	4.4%
600	2.4%	3.7%	4.0%

- ②調査結果には統計上の誤差が生じ、その標本誤差（信頼度を 95%とした場合）は、下記の式により求めることができ、一般的に標本誤差が 5.0%程度であればよいとされています。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \quad N=\text{母集団、}n=\text{サンプル数、}P=\text{回答比率}$$

今回の調査は、母集団（令和 4 年 8 月 1 日現在：18 歳以上人口＝13,970 人）、サンプル数（730 人）から標本誤差を計算すると、下記の標本誤差以内となります。

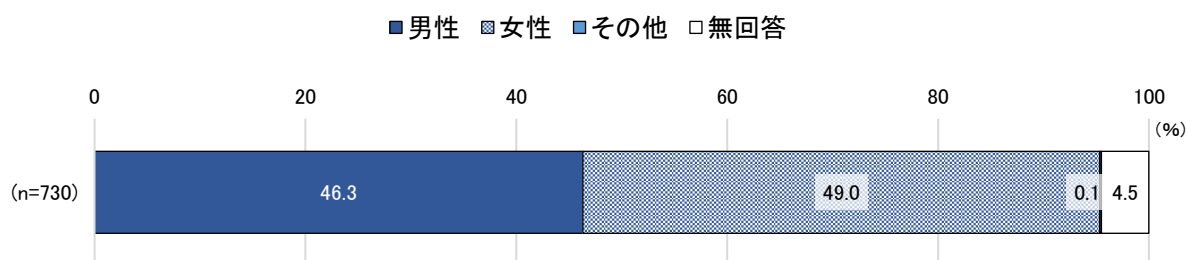
今回調査標本誤差	±3.6%
----------	-------

3 属性（あなたのことについて）

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

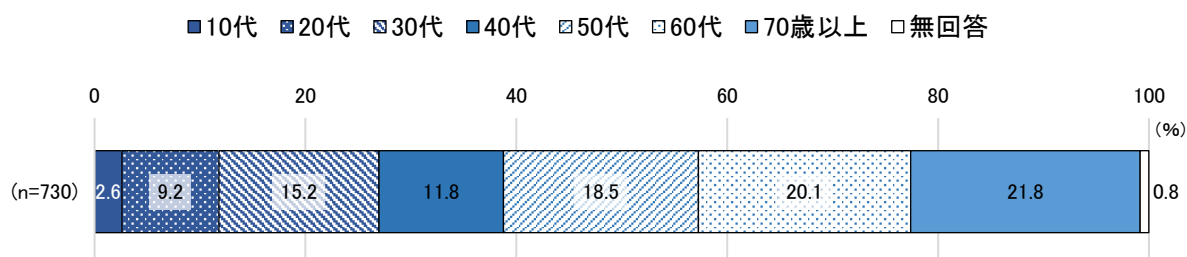
（1）あなたの性別

回答者の性別構成については、「男性」が 46.3% 「女性」が 49.0% となっています。



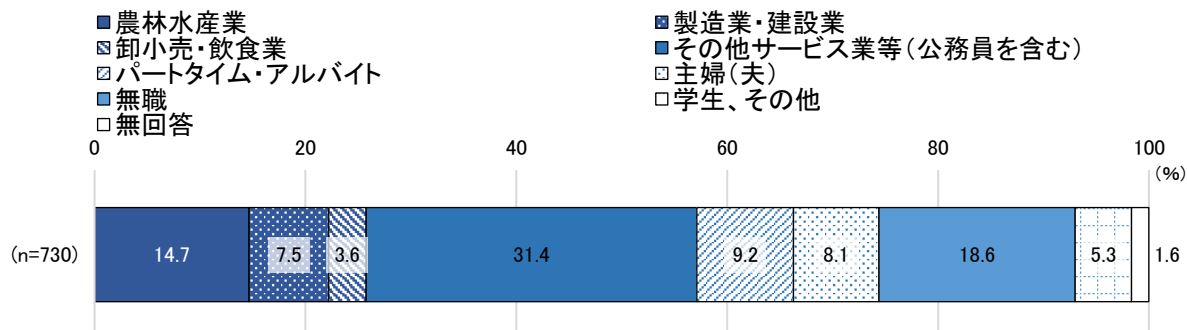
（2）あなたの年齢

回答者の年齢構成については、「70 歳以上」が 21.8% と最も高く、次いで、「60 代」(20.1%)、「50 代」(18.5%)、「30 代」(15.2%) などの順となっています。



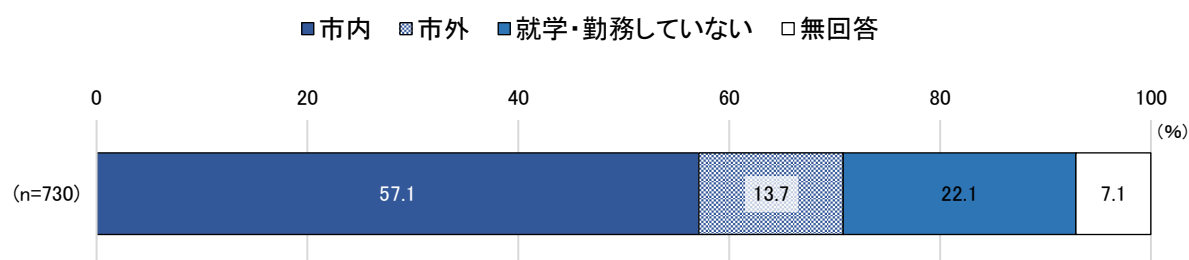
（3）あなたの職業（※主たるもの）

回答者の職業については、「その他サービス業等（公務員を含む）」が 31.4% と最も高く、次いで、「無職」(18.6%)、「農林水産業」(14.7%)、「パートタイム・アルバイト」(9.2%)、「主婦（夫）」(8.1%) の順となっています。



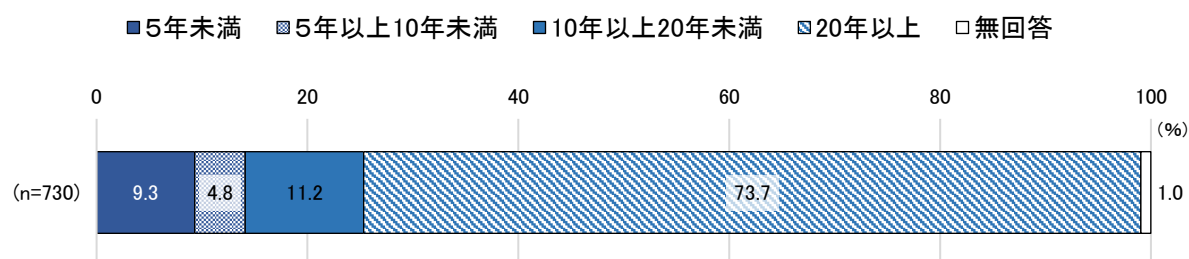
(4) あなたの就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先については、「市内」が57.1%と最も高く、次いで、「就学・勤務していない」(22.1%)、「市外」(13.7%)の順となっています。



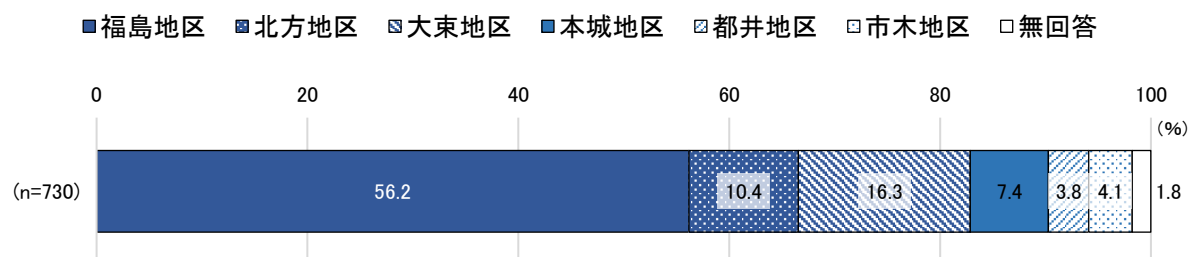
(5) 串間に住んで何年ですか

回答者の居住年数については、「20年以上」が73.7%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」(11.2%)、「5年以上10年未満」(4.8%)「5年未満」(9.3%)の順となっています。



(6) あなたの居住地区

回答者の居住地区については、「福島地区」が56.2%と最も高く、次いで、「大東地区」(16.3%)、「北方地区」(10.4%)、「本城地区」(7.4%)、「市木地区」(4.1%)、「都井地区」(3.8%)の順となっています。



Ⅱ 調査結果

1 調査結果概要

調査結果概要について、第六次串間市長期総合計画の重点戦略として位置づけられている「第2期串間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの戦略目標及び2つの横断的な戦略目標ごとに整理しました。

(1) 安定した雇用を創出する

市が取り組んでいる56施策の優先度のうち、「雇用対策の状況」は第3位に位置付けられており、雇用対策への要望が高いことが分かります(P59)。

市のよりよい労働市場を形成するために必要な行政サービスについて、「就労に関する相談窓口」、「企業情報などの情報発信」、「就労のマッチング」の順となっており、いずれも令和2年調査より割合が高くなっています(P117)。

また、市が人手不足、担い手不足解消のために力を入れるべきものについて、「雇用者確保のための職場環境の改善」が最も高く、次いで「企業の誘致活動」となっています(P118)。

安定した雇用創出のために市が取り組むこととして、求職者に対して、就業相談・就職説明会や企業情報の発信、企業誘致により雇用機会の拡充を図る必要があります。また、事業主に対しては、人手不足・担い手不足に対する対策として、職場環境改善に向けた企業支援、新規就農者支援が必要と考えられます。

(2) 子育て世代に選ばれる環境づくり

子育ての不安、悩みの理由について、「子育てで出費がかさむ」、「精神的な疲れが大きい」、「身体の疲れが大きい」の順となっており、これらの割合は、令和2年調査より高くなっています(P111)。

育児に対して今後、市が最も力を入れるべきサービスとして、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が最も高くなっています。(P114)。

また、住む場所を決めたり住宅を購入したりする際にきっかけとなり得る行政サービスについて、「子育て世代への税制優遇や補助金」が最も高く、次いで「医療費無料制度」となっています(P125)。

本市では、これまで「子育て世代包括支援センター」及び「地域子育て支援センター」などの相談支援体制の強化、乳幼児・児童・生徒の医療費助成、第3子以降の保育料無償化、3～5歳児に対する市独自の無償化施策(副食費の無償化)を実施してきました。

今後も、市独自の子育て支援サービスの情報提供を行うとともに、子育て世代の多様なニーズを把握し、多面的な支援を行っていく必要があると考えられます。

(3) 新しい人の流れをつくる

本市の転出超過数の大半は若年層となっており、多くの若者が進学、就職の機会に転出している状況にあります。

主に若者世代が串間市に戻らない原因について、「希望する仕事がない」が最も高くなっています(P119)。

人口減少の対策として、市外からの移住者を受け入れたいかについて、地区によってばらつきがありますが、全体としては『受け入れたい』が8割以上となっています(P122)。

住む場所を決めたり住宅を購入したりする際にきっかけとなり得る行政サービスについて、「転入者に対する税制優遇や補助金」が第3位、「移住・定住に関する情報発信」が第4位と上位を占めています(P125)。

本市は、これまで移住施策として空き家バンク制度の登録件数の充実、移住相談会への参加、市民団体との移住体験ツアーの実施等を行ってきました。

今後も人口減少対策として、SNS等を活用し、市の魅力発信を行い、関係人口・交流人口の創出に努める必要があります。

(4) 住み続けたい魅力あるまちをつくる

住み続けたい魅力あるまちをつくるためには、医療・福祉サービス等の機能維持・確保、地域における防災・減災や地域の安全確保が重要となります。

市が取り組んでいる56施策の優先度のうち、「医療体制の状況」、「道路の整備状況」、「国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況」は上位を占めています(P59)。

今後の定住意向について、『住み続けたくない』と回答した人の理由においても、「道路・交通の便が悪い」、「保健・医療環境が不十分」が上位に挙げられています(P19～22)。

JR日南線の利用について、「利用していない」が全体の8割以上となっているものの、10・20代では『利用する』が2割以上となっており、将来、JR日南線が移動手段の1つになる可能性について、全体で約3割が「ある」と回答しています(P148～151)。

本市の道路交通網は、国道220号、448号、県道・市道及びJR日南線、路線バス、コミュニティバスで形成されており、広域高速道路網へのアクセスとして、東九州自動車道において、一部事業化されています。今後は、道路交通網の整備状況の遅れが、定住人口の減少の一因にもなることから、道路の維持・管理費やJR・バスなどの公共交通の維持確保に向け総合的な交通ネットワークに取り組む必要があります。

また、「災害危険箇所への対策の状況」は上位を占めているにも関わらず、「災害時の避難路・避難場所の認知度」と「1年間の防火・防災訓練への参加」は、前回調査より減少しています(P59、77、81)。

本市ではこれまで、自主防災組織の育成、防災行政無線の整備、津波避難タワー、避難所環境の整備、災害弱者の個別避難計画を進めてきました。

今後も防災行政無線の取組みを推進するとともに、市民と一体となった災害対策を実施する必要があります。

(5) 多様な人材の活躍を推進する

地域活動・ボランティア活動の参加について、現在『参加している』が約3割、『参加していない』が6割以上となっており、今後『参加したい』が5割以上、『参加するつもりはない』が約4割となっています（P134）。

地域活動に参加するうえで、支障になることについて、「仕事をもっているので時間がない」が最も高く、次いで「どのような活動があるのか情報が少ない」となっています（P139）。

様々なツールを活用し、情報発信を行っているものの、市民はより多くの情報提供を求めています。年齢別などターゲットをより細分化した「情報発信ツール」及び「情報コンテンツ」について再検討する必要があると考えられます。

(6) 新しい時代の流れを力にする

SDGs の認知度について、知っている人は約6割となっており、令和2年調査より割合が高くなっています（P101）。

インターネットの利用状況について、利用しているは7割以上となっており、調査を追うごとに割合が高くなっています（P129）。

行政のデジタル化で優先すべき施策について、「SNS を利用し、スピード感のある情報発信」が最も高く、次いで「各種証明書類発行等の対面窓口を縮小し、オンライン窓口を設置」、「道路や施設などの破損等不具合情報を市民がオンラインで報告できるツール」となっています（P132）。

市民のインターネット普及率は高く、住民一人ひとりに応じた情報提供や行政手続のオンライン化が望まれており、自治体 DX を強く推進する必要があります。

2 まちへの定住意向について

(1) 今後の定住意向について

問2 あなたは、これからも串間市に住みたいと思いますか。(1つに○印)



- 『住み続けたい』が58.9%、『住み続けたくない』が16.0%。

今後の定住意向を探ったところ、「住みたい」と答えた人が42.1%と最も多く、これに「どちらかといえば住みたい」(16.8%)をあわせた58.9%の人が『住み続けたい』という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(8.9%)及び「住みたくない」(7.1%)と答えた『住み続けたくない』という人の合計は16.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.6%でした。

属性別で『住み続けたい』をみると、性別では、男女に大きな違いはありませんが、女性の「どちらともいえない」が24.0%でした。

年齢では、加齢とともに上昇する傾向がみられ、70歳以上では73.6%にのぼります。なお、10代・20代では39.5%と最も低くなっています。

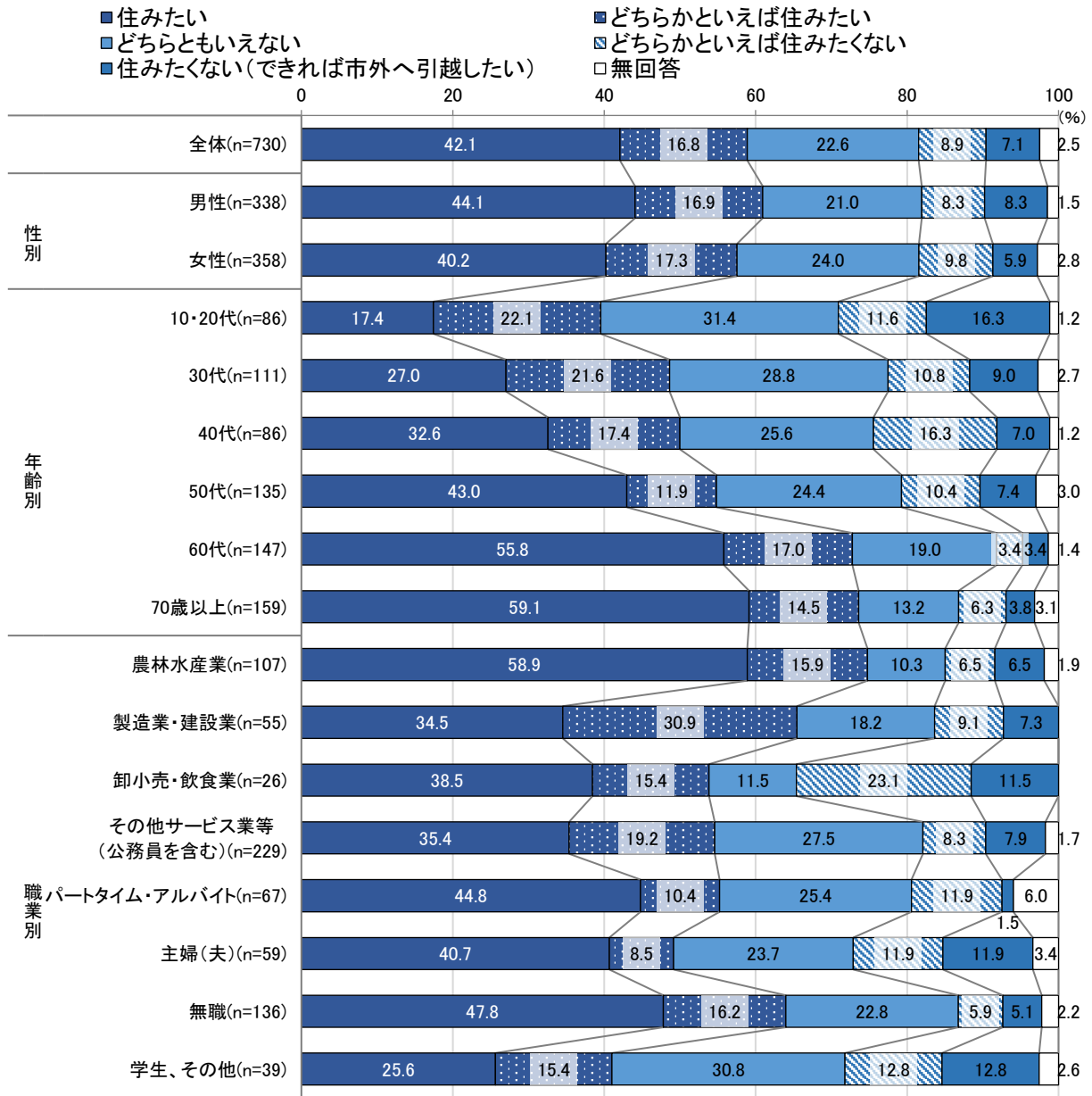
職業では、農林水産業(74.8%)が最も高く、学生・その他(41.0%)が最も低くなっています。

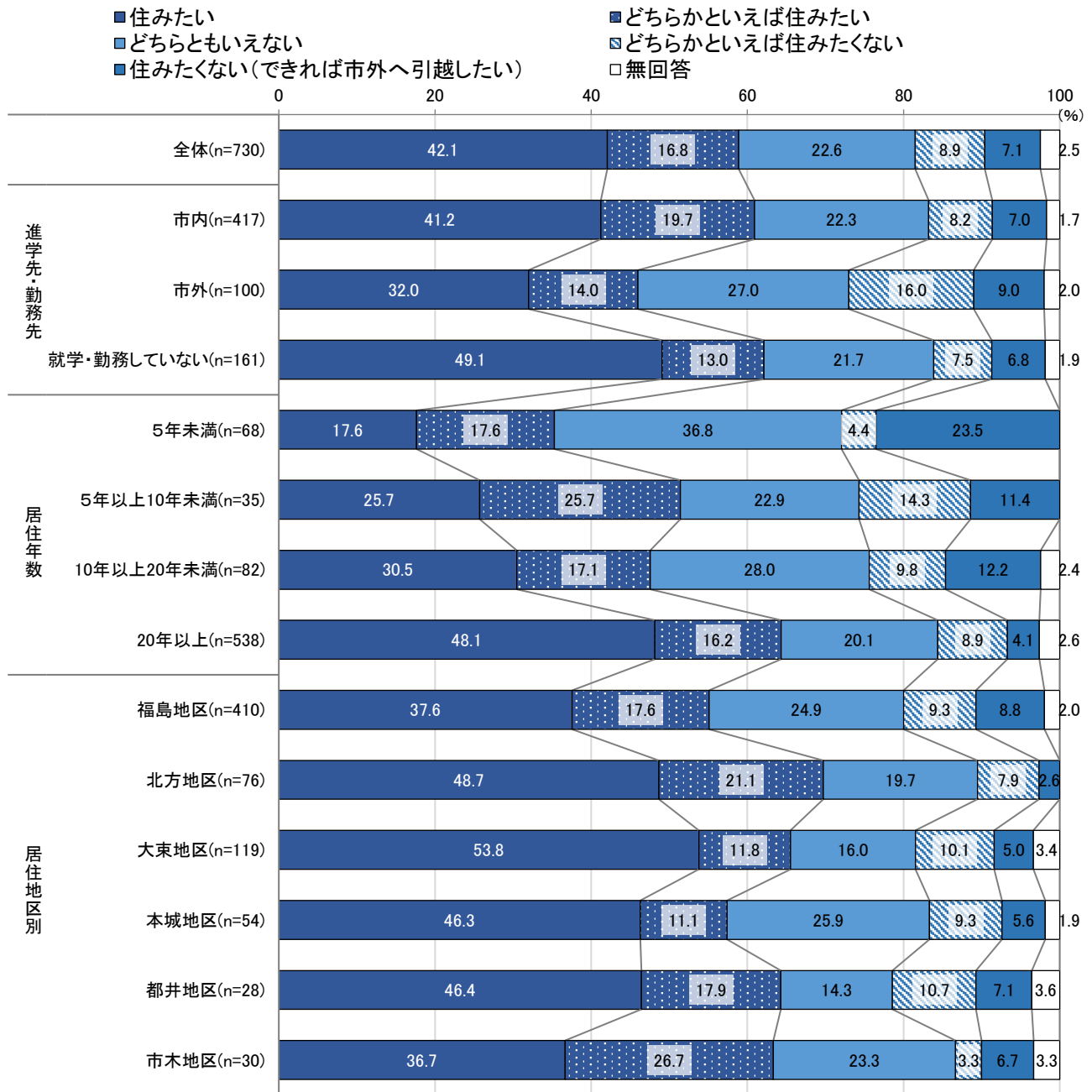
居住年数では、20年以上(64.3%)が最も高く、5年未満(35.2%)が最も低くなっています。

居住地区では、北方地区(69.8%)が最も高く、福島地区(55.2%)が最も低くなっています。

今後の定住意向について

(全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)





■過去の調査との比較

定住意向を「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」をあわせた『住み続けたい』の割合で平成22年、令和2年と比較してみると、全体では平成22年から令和4年で10.0ポイント減少、令和2年から令和4年で1.0ポイント増加しています。

年齢では、40代、50代、70歳以上は令和2年から令和4年で減少しましたが、10・20代、30代、60代は増加しています。

職業では、主婦（夫）は令和2年から令和4年で20.1ポイント減少しましたが、製造業・建設業は11.8ポイント増加しています。

就学先・勤務先では、市外は令和2年から令和4年で9.4ポイント減少しましたが、市内は6.3ポイント増加しています。

居住年数では、5年未満は令和2年から令和4年で3.9ポイント減少しましたが、5年以上10年未満は7.0ポイント増加しています。

居住地区では、福島地区は令和2年から令和4年で減少しましたが、北方地区、大東地区、本城地区、都井地区、市木地区は増加しています。

今後の定住意向（平成22年、24年、26年、28年、30年、令和2年）

（全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区）

【全体】

（単位：％）

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R4年	58.9	22.6	16.0	2.5
R2年	57.9	21.3	17.9	2.9
H30年	65.0	18.1	15.9	1.0
H28年	69.9	13.3	14.6	2.2
H26年	64.8	17.1	16.6	1.5
H24年	69.3	15.4	12.8	2.6
H22年	68.9	14.6	13.0	3.5

【性別】

<男性>

R4年	61.0	21.0	16.6	1.5
R2年	62.0	18.7	18.0	1.3
H30年	69.1	15.6	14.2	1.2
H28年	72.6	15.0	11.7	0.7
H26年	66.9	13.3	19.5	0.3
H24年	71.6	13.9	12.9	1.5
H22年	70.6	14.8	13.1	1.4

<女性>

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	57.5	24.0	15.7	2.8
R 2 年	55.0	24.0	18.2	2.8
H30 年	62.2	20.4	16.6	0.8
H28 年	69.6	12.1	17.7	0.7
H26 年	64.8	20.7	14.0	0.5
H24 年	69.5	17.4	13.1	0.0
H22 年	70.1	15.1	13.6	1.2

【年齢】

<10 代・20 代>

R 4 年	39.5	31.4	27.9	1.2
R 2 年	15.8	29.2	25.0	0.0
H30 年	45.8	29.2	25.0	0.0
H28 年	71.0	7.9	18.4	2.6
H26 年	59.5	19.0	21.5	0.0
H24 年	46.7	22.2	31.1	0.0
H22 年	50.0	18.0	32.0	0.0

<30 代>

R 4 年	48.6	28.8	19.8	2.7
R 2 年	46.5	25.0	27.8	0.7
H30 年	53.7	28.0	17.1	1.2
H28 年	56.9	20.7	22.4	0.0
H26 年	47.0	24.7	28.2	0.0
H24 年	57.8	21.9	20.4	0.0
H22 年	58.5	20.8	20.8	0.0

<40 代>

R 4 年	50.0	25.6	23.3	1.2
R 2 年	53.6	28.9	15.4	2.1
H30 年	53.7	19.4	26.8	0.0
H28 年	60.5	17.1	22.3	0.0
H26 年	56.5	21.7	21.7	0.0
H24 年	61.2	22.4	16.5	0.0
H22 年	62.8	17.9	17.9	1.3

<50 代>

R 4 年	54.9	24.4	17.8	3.0
R 2 年	58.6	17.9	20.0	3.6
H30 年	64.7	20.5	14.0	0.8
H28 年	67.3	16.4	16.4	0.0
H26 年	68.5	16.8	14.1	0.7
H24 年	72.5	16.0	11.5	0.0
H22 年	67.8	20.5	10.9	0.7

<60代>

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	72.8	19.0	6.8	1.4
R 2 年	69.4	15.9	11.7	2.9
H30 年	69.0	16.1	14.4	0.4
H28 年	75.4	12.6	11.0	1.0
H26 年	62.0	19.3	17.6	1.1
H24 年	71.5	14.5	12.9	1.1
H22 年	80.5	9.0	9.7	0.7

<70歳以上>

R 4 年	73.6	13.2	10.1	3.1
R 2 年	80.2	10.7	6.6	2.5
H30 年	76.8	11.3	9.6	2.3
H28 年	80.0	8.5	10.0	1.5
H26 年	79.9	10.8	9.3	0.0
H24 年	83.6	9.1	5.4	1.8
H22 年	78.6	10.4	7.8	3.2

【職業】

<農林水産業>

R 4 年	74.8	10.3	13.0	1.9
R 2 年	69.2	16.3	13.4	1.0
H30 年	72.1	16.3	11.7	0.0
H28 年	82.6	10.9	6.5	0.0
H26 年	79.6	11.5	7.1	1.8
H24 年	74.8	15.3	9.0	0.9
H22 年	77.0	13.0	9.0	1.0

<製造業・建設業>

R 4 年	65.4	18.2	16.4	0.0
R 2 年	53.6	23.2	18.8	4.3
H30 年	56.0	26.0	16.0	2.0
H28 年	68.4	15.8	13.1	2.6
H26 年	66.1	15.3	18.7	0.0
H24 年	65.2	25.6	9.3	0.0
H22 年	60.8	23.2	16.0	0.0

<卸小売・飲食業>

R 4 年	53.9	11.5	34.6	0.0
R 2 年	72.4	20.7	6.8	0.0
H30 年	43.8	31.3	18.8	6.3
H28 年	83.3	16.7	0.0	0.0
H26 年	77.8	11.1	11.1	0.0
H24 年	81.5	11.1	7.4	0.0
H22 年	60.0	24.0	16.0	0.0

<その他サービス業等（公務員を含む）>

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	54.6	27.5	16.2	1.7
R 2 年	53.8	24.7	20.2	1.4
H30 年	62.9	20.4	16.2	0.5
H28 年	65.1	14.6	19.7	0.6
H26 年	58.6	23.9	17.6	0.0
H24 年	65.5	14.9	18.9	0.7
H22 年	65.3	14.6	20.2	0.0

<パートタイム・アルバイト>

R 4 年	55.2	25.4	13.4	6.0
R 2 年	47.2	24.7	24.8	3.4
H30 年	63.5	20.3	16.3	0.0
H28 年	68.3	12.7	19.0	0.0
H26 年	53.9	23.1	23.1	0.0
H24 年	67.8	20.3	11.9	0.0
H22 年	68.5	20.4	11.2	0.0

<主婦（夫）>

R 4 年	49.2	23.7	23.8	3.4
R 2 年	69.3	17.9	12.8	0.0
H30 年	62.2	17.8	20.0	0.0
H28 年	67.1	11.9	20.9	0.0
H26 年	67.1	19.7	11.9	1.3
H24 年	65.3	20.0	14.7	0.0
H22 年	70.9	16.5	12.7	0.0

<無職>

R 4 年	64.0	22.8	11.0	2.2
R 2 年	65.4	15.0	14.9	4.7
H30 年	73.5	11.0	12.9	2.6
H28 年	74.2	12.9	10.6	2.3
H26 年	68.0	11.8	20.2	0.0
H24 年	82.7	7.7	8.3	1.3
H22 年	80.1	8.1	8.8	2.9

<学生、その他>

R 4 年	41.0	30.8	25.6	2.6
R 2 年	50.0	25.0	23.3	1.7
H30 年	59.4	21.6	18.9	0.0
H28 年	59.1	18.2	22.7	0.0
H26 年	53.8	26.9	19.2	0.0
H24 年	30.4	39.1	30.4	0.0
H22 年	50.0	25.0	25.0	0.0

【就学先・勤務先】

<市内>

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	60.9	22.3	15.2	1.7
R 2 年	54.6	23.2	20.2	2.0
H30 年	65.8	20.4	13.4	0.5
H28 年	72.2	13.0	14.1	0.6
H26 年	63.5	19.4	16.9	0.3
H24 年	69.3	18.8	11.9	0.0
H22 年	69.1	16.9	13.4	0.6

<市外>

R 4 年	46.0	27.0	25.0	2.0
R 2 年	55.4	24.6	18.4	1.5
H30 年	54.0	23.0	21.8	1.1
H28 年	48.9	26.7	24.4	0.0
H26 年	62.3	20.0	17.7	0.0
H24 年	56.8	12.2	28.4	2.7
H22 年	56.6	20.0	23.4	0.0

<就学・勤務していない>

R 4 年	62.1	21.7	14.3	1.9
R 2 年	65.4	16.7	16.0	2.0
H30 年	66.7	16.7	16.1	0.5
H28 年	74.1	11.4	13.2	1.2
H26 年	70.2	13.9	14.9	1.0
H24 年	75.6	14.2	9.6	0.5
H22 年	77.2	12.2	9.4	1.1

【居住年数】

<5年未満>

R 4 年	35.2	36.8	27.9	0.0
R 2 年	39.1	34.5	25.2	1.1
H30 年	35.7	35.7	26.8	1.8
H28 年	29.7	24.3	43.2	2.7
H26 年	36.5	28.8	34.6	0.0
H24 年	43.5	27.4	29.0	0.0
H22 年	37.0	32.6	30.4	0.0

< 5 年以上 10 年未満 >

R 4 年	51. 4	22. 9	25. 7	0. 0
R 2 年	44. 4	20. 0	31. 1	4. 4
H30 年	61. 0	22. 0	14. 7	2. 4
H28 年	61. 5	15. 4	20. 6	2. 6
H26 年	51. 3	16. 2	29. 7	2. 7
H24 年	67. 9	14. 3	14. 3	3. 6
H22 年	66. 7	21. 4	11. 9	0. 0

<10 年以上 20 年未満 >

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	47. 6	28. 0	22. 0	2. 4
R 2 年	46. 4	27. 3	24. 6	1. 8
H30 年	52. 8	25. 5	21. 8	0. 0
H28 年	64. 2	14. 3	21. 4	0. 0
H26 年	50. 7	21. 1	28. 2	0. 0
H24 年	50. 0	31. 5	18. 4	0. 0
H22 年	61. 3	16. 1	22. 6	0. 0

<20 年以上 >

R 4 年	64. 3	20. 1	13. 0	2. 6
R 2 年	64. 5	18. 8	14. 7	2. 0
H30 年	69. 7	15. 5	13. 9	0. 8
H28 年	75. 8	12. 2	11. 4	0. 6
H26 年	71. 2	15. 9	12. 5	0. 4
H24 年	78. 6	11. 0	9. 5	0. 9
H22 年	75. 6	12. 4	10. 7	1. 3

【居住地区】

<福島地区 >

R 4 年	55. 2	24. 9	18. 1	2. 0
R 2 年	59. 5	21. 7	17. 2	1. 6
H30 年	61. 5	19. 5	17. 7	1. 3
H28 年	71. 5	13. 8	14. 4	0. 3
H26 年	66. 3	17. 5	15. 6	0. 5
H24 年	69. 8	15. 0	14. 7	0. 5
H22 年	71. 8	14. 1	13. 5	0. 6

<北方地区>

R 4 年	69.8	19.7	10.5	0.0
R 2 年	62.7	19.8	15.4	2.2
H30 年	62.7	18.7	18.6	0.0
H28 年	67.9	13.2	16.9	1.9
H26 年	76.5	12.3	11.1	0.0
H24 年	75.5	12.2	12.2	0.0
H22 年	69.0	16.9	14.1	0.0

<大東地区>

R 4 年	65.6	16.0	15.1	3.4
R 2 年	58.7	19.8	19.9	1.6
H30 年	80.2	10.7	7.5	1.7
H28 年	70.3	13.9	15.8	0.0
H26 年	69.7	16.5	13.8	0.0
H24 年	75.8	16.5	7.8	0.0
H22 年	64.7	17.0	14.8	3.4

<本城地区>

	『住み続けたい』	どちらともいえない	『住み続けたくない』	無回答
R 4 年	57.4	25.9	14.9	1.9
R 2 年	51.5	21.2	24.3	3.0
H30 年	71.4	19.0	9.6	0.0
H28 年	66.6	15.4	12.9	5.1
H26 年	57.9	18.4	22.4	1.3
H24 年	70.3	17.2	9.4	3.1
H22 年	82.7	12.1	3.4	1.7

<都井地区>

R 4 年	64.3	14.3	17.8	3.6
R 2 年	48.6	32.4	13.5	5.4
H30 年	71.2	15.5	13.3	0.0
H28 年	86.7	6.7	3.3	3.3
H26 年	65.9	18.2	15.9	0.0
H24 年	77.5	6.5	16.1	0.0
H22 年	75.0	13.9	11.2	0.0

<市木地区>

R 4 年	63.4	23.3	10.0	3.3
R 2 年	60.0	15.0	20.0	5.0
H30 年	53.5	25.6	21.0	0.0
H28 年	65.1	14.0	20.9	0.0
H26 年	44.4	25.0	30.6	0.0
H24 年	57.6	30.3	12.1	0.0
H22 年	58.3	16.7	22.3	2.8

(2) 住みたくない主な理由について

※問2で「4. どちらかといえば住みたくない」または「5. 住みたくない（できれば市外へ引越ししたい）」に○をつけた方にうかがいます。

問2付問 その主な理由はなんですか。（3つまで○印）



- 「税・公共料金（上下水道料、施設使用料など）の負担が大きい」（35.9%）が第1位、次いで、「道路・交通の便が悪い」（33.3%）の順。

問2で『住み続けたくない』と回答した16.0%（117人）の人にその理由をたずねたところ、「税・公共料金（上下水道料、施設使用料など）の負担が大きい」（35.9%）が第1位、次いで、「道路・交通の便が悪い」（33.3%）、「保健・医療環境が不十分」（33.3%）、「働く場が不十分」（33.3%）、「買い物の便が悪い」（32.5%）となっています。

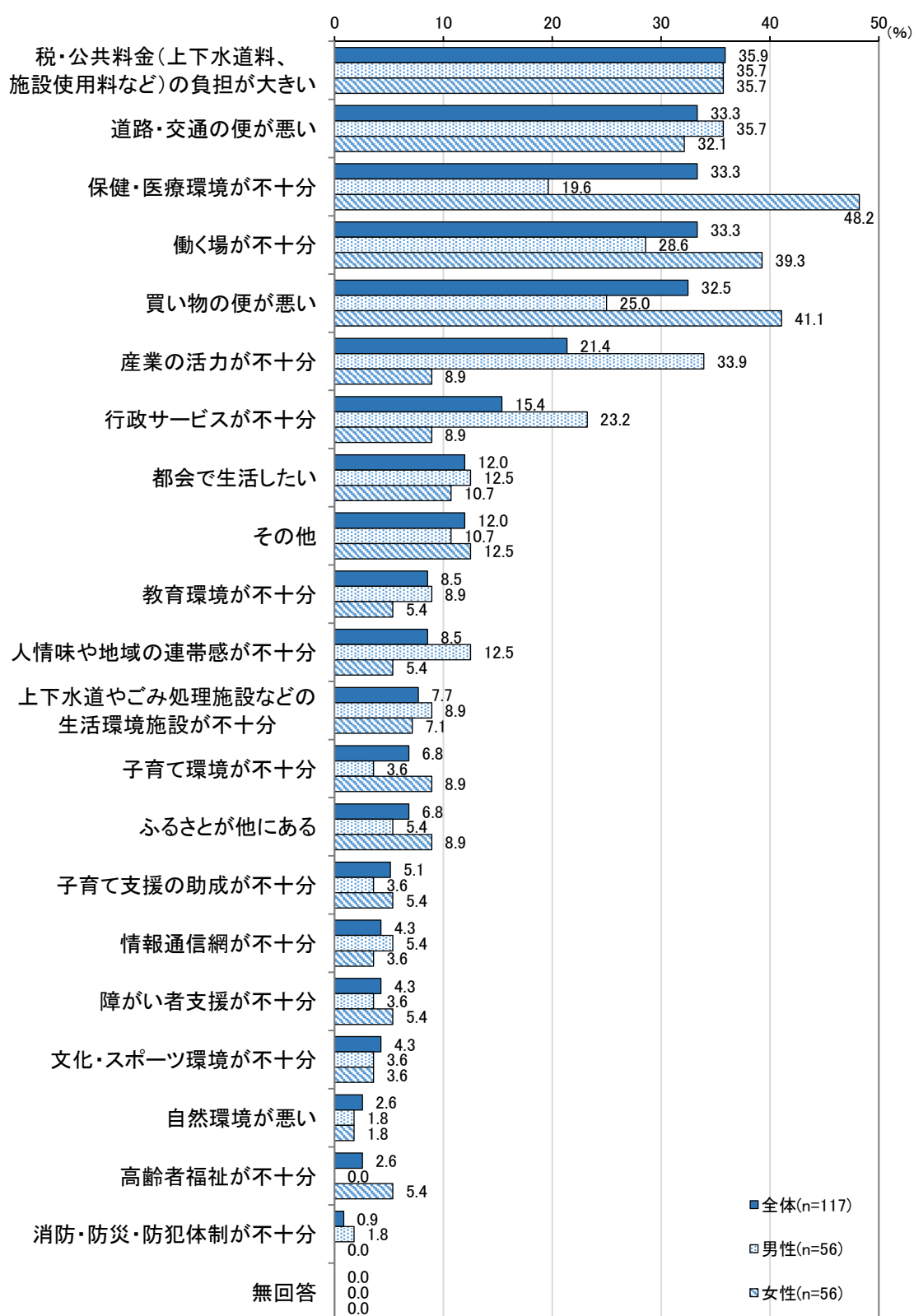
属性別でみると、性別では、男性は第1位が「道路・交通の便が悪い」「税・公共料金の負担が大きい」、第3位が「産業の活力が不十分」となっています。女性では第1位が「保健・医療環境が不十分」、第2位が「買い物の便が悪い」、第3位が「働く場が不十分」となっています。

年齢では、10代・20代、30代、50代で「働く場が不十分」が高くなっており、加齢に従って「保健・医療環境が不十分」の順位が高くなっています。

令和2年と比べると、上位3項目に大きな変動はありません。

住みたくない主な理由について

(全体／複数回答：3つまで)



住みたくない主な理由について（全体・性別・年齢／複数回答：3つまで）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体	R 4	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い／保健・医療環境が不十分／働く場が不十分	
		35.9%	33.3%	
	R 2	保健・医療環境が不十分	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分
		39.3	38.0	37.3
	H30	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大	働く場が不十分
		44.3	40.2	32.8
	H28	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大	働く場が不十分
		46.2	33.0	28.6
	H26	税・公共料金の負担大	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い
		47.1	38.0	30.6
	H24	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い	保健・医療環境が不十分
		40.0	38.8	28.2
	H22	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分	買物の便が悪い
		48.8	45.1	30.5
性別	男性	R 4	道路・交通の便が悪い／税・公共料金の負担大	
			35.7%	33.9%
		R 2	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い
			40.3	37.3
		H30	税・公共料金の負担大	働く場が不十分
			40.8	38.8
		H28	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分／税・公共料金の負担大
			41.7	33.3
		H26	税・公共料金の負担大	働く場が不十分
			46.2	43.1
	女性	R 4	保健・医療環境が不十分	買い物の便が悪い
			48.2%	41.1%
		R 2	保健・医療環境が不十分	買い物の便が悪い
			51.9	40.5
		H30	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大
			48.5	39.4
		H28	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大
			48.1	33.3
		H26	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い
			46.3	38.9
		H24	道路・交通の便が悪い	保健・医療環境が不十分
			44.2	39.5
		H22	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分
			55.6	48.9

			第1位	第2位	第3位
年齢	10-20代	R 4	働く場が不十分	保健・医療環境が不十分／買物の便が悪い	
			50.0%	37.5%	
		R 2	買い物の便が悪い	働く場が不十分／道路・交通の便が悪い	
			43.8	40.6	
		H30	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い
			66.7	50.0	25.0
		H28	買物の便が悪い	道路・交通の便が悪い／産業の活力が不十分	
			85.7	42.9	
		H26	道路・交通の便が悪い／買物の便が悪い		働く場が不十分
			66.6		55.5
		H24	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い
			50.0	42.9	35.7
		H22	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い／子育て・教育環境が不十分	
			50.0	43.8	
	30代	R 4	働く場が不十分	買い物の便が悪い	道路・交通の便が悪い
			40.9%	36.4%	31.8%
		R 2	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い	買い物の便が悪い
			42.5	37.5	35.0
		H30	買物の便が悪い／働く場が不十分		保健・医療環境が不十分
			50.0		42.9
		H28	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い	保健・医療環境が不十分／子育て環境が不十分／働く場が不十分／大都会で生活したい
			46.2	30.8	23.1
		H26	税・公共料金の負担大／働く場が不十分		保健・医療環境が不十分
			41.7		37.5
		H24	保健・医療環境が不十分	子育て・教育環境が不十分	道路・交通の便が悪い
			53.8	46.2	38.5
		H22	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い	働く場が不十分
			72.7	45.5	36.4
	40代	R 4	買い物の便が悪い	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い
			40.0%	35.0%	30.0%
		R 2	税・公共料金の負担大	働く場が不十分	保健・医療環境が不十分
			63.6	50.0	31.8
		H30	道路・交通の便が悪い	保健・医療環境が不十分／買い物の便が悪い／働く場が不十分／税・公共料金の負担大	
			38.9	31.8	
		H28	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分	情報通信網が不十分／教育環境が不十分
			52.9	29.4	23.5
		H26	税・公共料金の負担大／働く場が不十分／買物の便が悪い		50.0
		H24	働く場が不十分	保健・医療環境が不十分	道路・交通の便が悪い
			63.6	36.4	27.3
		H22	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い	情報通信網が不十分／保健・医療環境が不十分
			64.3	42.9	28.6

			第1位	第2位	第3位
年齢	50代	R4	保健・医療環境が不十分	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い
			50.0%	45.8%	41.7%
		R2	保健・医療環境が不十分	道路・交通の便が悪い	買い物の便が悪い
			53.6	46.4	33.3
		H30	道路・交通の便が悪い	働く場が不十分	保健・医療環境が不十分／税・公共料金の負担大
			52.9	47.1	41.2
		H28	税・公共料金の負担大	働く場が不十分	道路・交通の便が悪い／産業の活力が不十分
			50.0	40.0	25.0
	60代	R4	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い／保健・医療環境が不十分／買い物の便が悪い／行政サービスが不十分	
			60.0%		30.0%
		R2	税・公共料金の負担大／保健・医療環境が不十分		買い物の便が悪い
			50.0		40.0
		H30	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い	産業の活力が不十分
			55.6	47.2	27.8
		H28	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大	保健・医療環境が不十分／働く場が不十分
			57.1	42.9	28.6
	70歳以上	R4	道路・交通の便が悪い／税・公共料金の負担大		保健・医療環境が不十分
			43.8%		31.3%
		R2	保健・医療環境が不十分	産業の活力が不十分／税・公共料金の負担大	
			62.5		37.5
		H30	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い／税・公共料金の負担大	
			52.9		41.2
		H28	道路・交通の便が悪い	税・公共料金の負担大	保健・医療環境が不十分
			53.8	46.2	38.5
		H26	税・公共料金の負担大	道路・交通の便が悪い	保健・医療環境が不十分
			50	44.4	38.9
		H24	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い／保健・医療環境が不十分	
			55.6		44.4
		H22	道路・交通の便が悪い	買物の便が悪い	保健・医療環境が不十分／産業の活力が不十分
			58.3	50.0	33.3

3 市政に対する現状評価と今後の期待について

(1) 市の施策に対する満足度

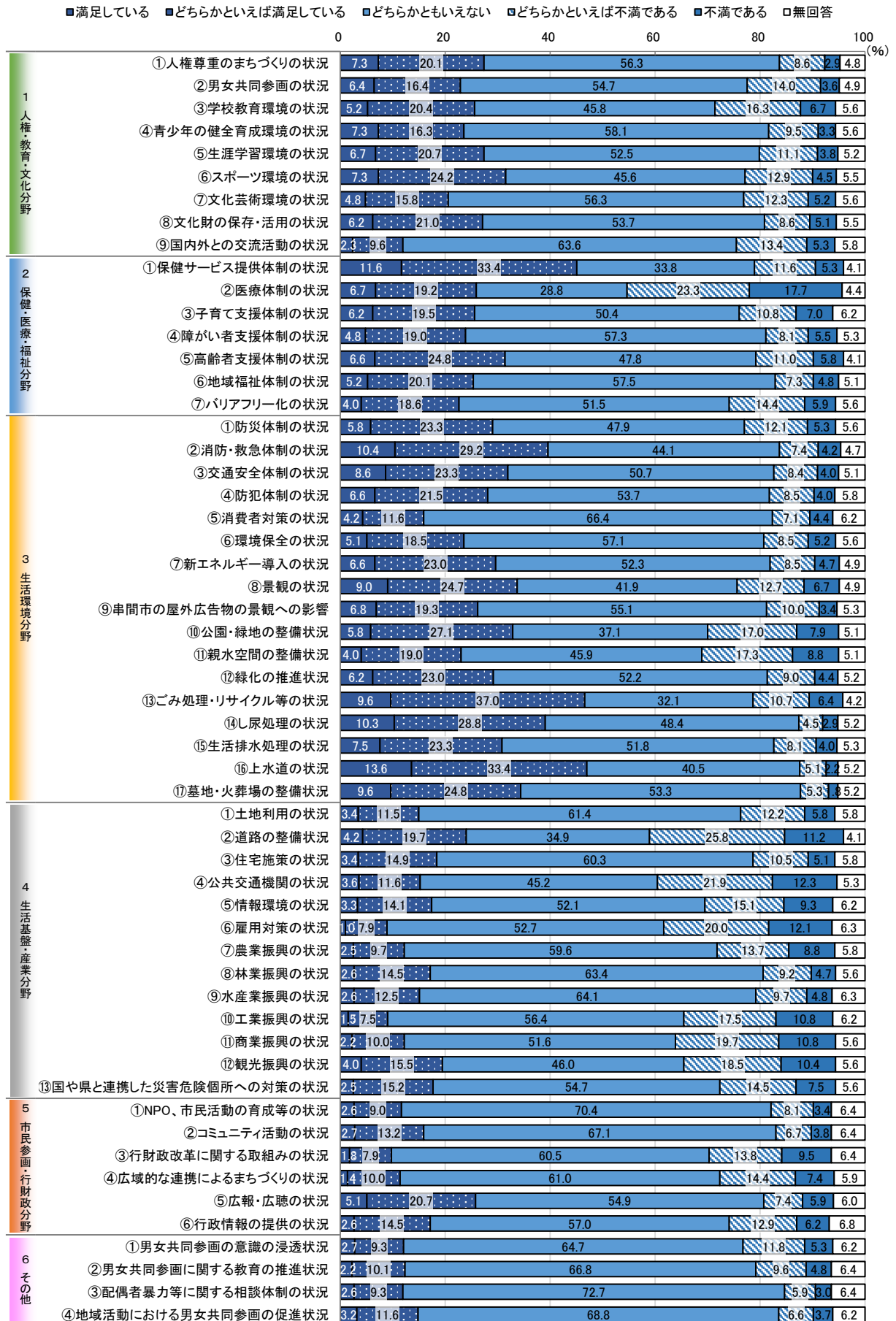
問3 市では下記にあげる様々な施策に取り組んでいますが、あなたは、(1)現状についてどの程度満足していますか。



- 『串間市の施策に満足』が最も高い項目は「上水道の状況」、次いで、「ごみ処理・リサイクル等の状況」、「保健サービス提供体制の状況」の順。
- 『串間市の施策に不満』が最も高い項目は「医療体制の状況」、次いで、「道路の整備状況」、「公共交通機関の状況」の順。

串間市の各施策に対する現状の満足度について、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『串間市の施策に満足』は「上水道の状況」が47.0%と最も高く、次いで、「ごみ処理・リサイクル等の状況」(46.6%)、「保健サービス提供体制の状況」(45.0%)、「消防・救急体制の状況」(39.6%)、「し尿処理の状況」(39.1%)などの順となっています。

また、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『串間市の施策に不満』は「医療体制の状況」が41.0%と最も高く、次いで、「道路の整備状況」(37.0%)、「公共交通機関の状況」(34.2%)、「雇用対策の状況」(32.1%)、「商業振興の状況」(30.5%)などの順となっています。



令和２年調査と比較すると、『串間市の施策に満足』の割合は、「観光振興の状況」が8.1ポイント増（満足度：第46位→第34位）、「景観の状況」が7.2ポイント増（満足度：第19位→第7位）、「子育て支援体制の状況」が5.6ポイント減（満足度：第9位→第23位）と、大きく変動しています。

『串間市の施策に不満』の割合は、「観光振興の状況」が9.0ポイント減（不満度：第2位→第6位）、「防災体制の状況」が7.0ポイント減（不満度：第11位→第24位）、「男女共同参画の状況」が4.6ポイント増（不満度：第32位→第22位）と、大きく変動しています。

『串間市の施策に満足』（満足）と『串間市の施策に不満』（不満）の推移

（単位：％）※丸数字は順位

	項目	平成22年調査		平成24年調査		平成26年調査		平成28年調査		平成30年調査		令和2年調査		令和4年調査	
		満足	不満	満足	不満	満足	不満	満足	不満	満足	不満	満足	不満	満足	不満
1 文化・ 権分・ 野・教 育・	①人権尊重のまちづくりの状況	14.6	13.0	18.8	13.1	22.1	13.1	21.5	11.2	19.0	11.3	23.5	10.0	27.4	11.5
	②男女共同参画の状況	17.3	16.0	20.8	12.7	21.2	16.7	23.1	13.1	21.5	12.4	24.0	13.0	22.8	17.6
	③学校教育環境の状況	22.9	21.3	23.8	23.6	21.9	25.2	21.5	23.9	25.9	23.8	27.9	⑩ 25.0	25.6	23.0
	④青少年の健全育成環境の状況	19.1	14.1	20.9	17.6	21.4	16.9	22.4	12.2	21.6	13.3	25.3	11.6	23.6	12.8
	⑤生涯学習環境の状況	25.1	13.8	27.3	13.3	29.2	15.3	26.4	14.3	29.3	12.1	29.7	12.5	27.4	14.9
	⑥スポーツ環境の状況	⑧ 30.3	17.9	⑦ 33.4	18.8	⑦ 32.1	19.3	29.2	18.9	⑦ 33.4	16.9	⑧ 32.5	19.6	⑩ 31.5	17.4
	⑦文化芸術環境の状況	20.5	17.0	22.0	18.8	21.9	18.5	15.2	17.3	20.3	15.1	20.5	15.6	20.6	17.5
	⑧文化財の保存・活用の状況	21.7	12.5	22.0	12.8	21.3	16.2	19.7	14.9	19.1	14.0	22.0	12.7	27.2	13.7
	⑨国内外との交流活動の状況	14.8	12.2	17.2	12.3	14.2	16.4	12.7	16.0	12.9	14.8	14.6	15.0	11.9	18.7
2 福祉・ 分・医 療・	①保健サービス提供体制の状況	② 45.3	14.8	② 46.4	17.8	② 47.4	15.5	① 50.0	13.1	② 45.6	13.3	③ 44.3	16.7	③ 45.0	16.9
	②医療体制の状況	25.4	⑥ 33.4	29.4	⑥ 34.3	26.3	⑤ 40.4	27.9	④ 37.2	25.7	③ 37.1	22.9	① 44.8	25.9	① 41.0
	③子育て支援体制の状況	19.2	17.3	23.5	15.2	21.3	18.8	⑧ 30.4	14.7	26.3	15.7	⑨ 31.3	17.8	25.7	17.8
	④障がい者支援体制の状況	19.6	14.9	25.0	14.6	21.6	17.1	22.0	11.7	20.9	12.7	22.7	10.8	23.8	13.6
	⑤高齢者支援体制の状況	29.1	17.4	⑩ 31.6	17.8	⑧ 30.2	19.7	⑥ 31.7	15.1	27.8	16.8	30.3	13.9	31.4	16.8
	⑥地域福祉体制の状況	16.1	13.1	19.7	15.8	19.5	16.4	21.2	13.1	18.1	12.1	25.9	11.1	25.3	12.1
	⑦バリアフリー化の状況	14.9	19.8	18.2	24.2	18.3	25.8	20.2	23.7	18.1	21.7	19.3	22.7	22.6	20.3
3 生活 環境 分野	①防災体制の状況	23.2	18.7	18.8	30.1	20.6	28.4	21.6	25.5	23.9	22.6	23.6	24.4	29.1	17.4
	②消防・救急体制の状況	⑤ 39.8	10.2	⑥ 40.4	15.1	⑥ 38.6	13.6	③ 41.7	12.0	④ 40.8	10.1	④ 38.1	11.4	④ 39.6	11.6
	③交通安全体制の状況	⑦ 31.0	10.8	⑨ 31.9	14.8	27.9	13.9	30.1	11.7	⑨ 30.9	10.7	⑦ 33.9	10.1	⑨ 31.9	12.4
	④防犯体制の状況	28.1	12.2	27.0	16.6	25.1	17.2	⑨ 30.3	11.7	24.4	13.3	⑩ 30.8	9.4	28.1	12.5
	⑤消費者対策の状況	12.2	13.2	14.8	16.7	13.9	15.2	16.3	10.7	14.7	10.8	15.8	10.2	15.8	11.5
	⑥環境保全の状況	18.7	15.9	22.3	16.0	22.3	15.0	20.5	14.4	21.3	13.4	22.9	12.1	23.6	13.7
	⑦新エネルギー導入の状況	9.0	23.7	9.3	⑩ 30.6	17.4	18.5	17.5	12.2	20.2	10.9	28.2	10.9	29.6	13.2
	⑧景観の状況	17.8	22.5	22.3	28.8	21.3	29.0	19.9	⑧ 28.0	16.5	⑧ 28.1	26.5	21.9	⑦ 33.7	19.4
	⑨串間市の屋外広告物の景観への影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.1	13.4
	⑩公園・緑地の整備状況	24.9	26.5	27.6	⑨ 30.7	28.7	⑨ 30.7	26.1	⑦ 28.4	⑧ 31.3	⑩ 24.3	30.3	⑦ 28.0	⑧ 32.9	⑨ 24.9
	⑪親水空間の整備状況	16.8	⑧ 27.8	19.0	27.1	19.0	⑦ 31.2	20.4	26.4	20.4	⑨ 25.0	21.5	24.3	23.0	⑧ 26.1
	⑫緑化の推進状況	⑨ 29.7	13.7	28.9	17.5	26.9	15.6	28.7	14.4	27.0	15.3	28.6	13.0	29.2	13.4
	⑬ごみ処理・リサイクル等の状況	① 50.8	10.3	① 55.0	12.2	① 51.7	13.8	④ 39.1	23.4	③ 41.0	22.1	② 44.4	20.6	② 46.6	17.1
	⑭し尿処理の状況	⑥ 37.4	7.5	④ 41.6	7.5	④ 40.7	8.8	⑦ 31.6	10.7	⑤ 35.2	9.4	⑤ 36.8	6.1	⑤ 39.1	7.4
	⑮生活排水処理の状況	23.1	19.8	28.9	19.4	⑨ 30.0	17.5	26.1	16.3	27.4	15.2	30.0	12.9	30.8	12.1
	⑯上水道の状況	③ 42.7	10.0	③ 45.3	10.1	③ 46.2	10.5	② 44.1	7.9	① 46.9	7.8	① 46.0	6.9	① 47.0	7.3
	⑰墓地・火葬場の整備状況	④ 41.4	5.7	⑤ 41.1	7.1	⑤ 39.4	8.0	⑤ 34.3	7.5	⑥ 35.0	9.5	⑥ 35.0	6.8	⑥ 34.4	7.1
4 生活 基盤・ 産業 分野	①土地利用の状況	9.2	16.1	10.7	20.3	11.8	19.8	10.6	18.3	10.4	19.5	14.2	17.8	14.9	18.0
	②道路の整備状況	19.1	⑤ 34.6	20.8	⑤ 40.2	22.8	⑥ 37.9	17.5	④ 37.2	17.7	② 40.2	20.6	③ 37.7	23.9	② 37.0
	③住宅施策の状況	10.8	14.0	16.4	16.4	16.3	17.7	13.8	15.1	14.3	14.6	17.1	13.2	18.3	15.6
	④公共交通機関の状況	19.6	25.9	21.8	⑧ 30.9	20.7	⑩ 29.1	18.3	⑧ 28.0	13.7	⑥ 35.4	16.8	⑤ 32.8	15.2	③ 34.2
	⑤情報環境の状況	10.9	15.5	13.3	18.7	10.0	18.9	11.0	21.8	16.0	17.9	17.3	⑨ 27.3	17.4	⑩ 24.4
	⑥雇用対策の状況	2.9	① 46.8	4.4	① 46.4	5.2	④ 40.5	7.1	③ 37.5	6.4	⑦ 34.1	8.7	⑥ 31.8	8.9	④ 32.1
	⑦農業振興の状況	7.3	⑦ 28.1	9.2	⑦ 31.8	10.3	⑧ 31.1	10.7	⑩ 27.2	10.8	22.5	13.1	22.7	12.2	22.5
	⑧林業振興の状況	6.7	21.6	7.2	21.5	7.6	21.9	10.3	15.9	9.8	20.3	12.9	14.4	17.1	13.9
	⑨水産業振興の状況	5.5	21.4	8.4	19.1	8.1	21.3	10.3	19.4	9.1	18.1	13.1	12.2	15.1	14.5
	⑩工業振興の状況	1.6	③ 43.0	3.5	③ 44.0	2.7	① 41.7	5.9	⑥ 35.7	4.9	⑤ 35.8	7.0	⑦ 28.0	9.0	⑦ 28.3
	⑪商業振興の状況	3.5	④ 37.4	3.6	④ 43.4	5.0	② 41.5	6.9	② 38.1	5.6	④ 36.8	9.4	④ 33.5	12.2	⑤ 30.5
	⑫観光振興の状況	5.1	② 43.5	9.9	② 44.3	9.1	③ 41.1	8.3	① 43.1	8.1	① 43.0	11.4	② 37.9	19.5	⑥ 28.9
	⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.7	22.0
5 行政 分野 市 民 参 画 ・	①NPO、市民活動の育成等の状況	8.4	10.2	14.0	12.8	9.4	14.1	9.8	10.9	10.3	9.9	10.8	10.2	11.6	11.5
	②コミュニティ活動の状況	12.9	8.7	16.0	11.1	13.0	14.4	13.0	14.4	13.3	9.4	14.7	10.5	15.9	10.5
	③行財政改革に関する取組みの状況	5.2	⑩ 26.7	7.7	27.7	7.2	28.1	7.9	24.5	8.7	22.0	9.8	23.8	9.7	23.3
	④広域的な連携によるまちづくりの状況	6.1	⑨ 27.5	9.5	27.3	9.4	27.7	8.3	26.8	8.1	23.5	10.0	23.1	11.4	21.8
	⑤広報・広聴の状況	⑩ 29.2	11.3	⑧ 32.2	14.0	⑩ 29.8	13.5	⑨ 30.3	12.0	⑩ 30.8	12.7	27.7	13.1	25.8	13.3
	⑥行政情報の提供の状況	16.8	17.5	19.7	20.5	17.4	20.4	19.6	17.3	19.1	15.0	19.3	16.7	17.1	19.1
6 その他	①男女共同参画の意識の浸透状況	-	-	12.8	14.3	10.7	13.9	12.0	15.4	10.0	11.8	11.9	16.0	12.0	17.1
	②男女共同参画に関する教育の推進状況	-	-	11.9	12.7	9.4	13.6	9.9	15.1	9.1	11.7	11.4	14.8	12.3	14.4
	③配偶者暴力等に関する相談体制の状況	-	-	7.4	11.0	8.1	12.1	8.8	10.3	7.9	7.8	10.0	9.3	11.9	8.9
	④地域活動における男女共同参画の促進状況	-	-	15.1	10.7	15.5	11.7	13.5	13.0	12.6	9.5	12.7	11.7	14.8	10.3

『串間市の施策に満足』

(全体、上位 10 項目)

	H22	H24	H26	H28	H30	R 2	R 4
第 1 位	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	保健サービス提供体制	上水道の状況	上水道の状況	上水道の状況
第 2 位	保健サービス提供体制	保健サービス提供体制	保健サービス提供体制	上水道の状況	保健サービス提供体制	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況
第 3 位	上水道の状況	上水道の状況	上水道の状況	消防・救急体制	ごみ処理・リサイクル等の状況	保健サービス提供体制の状況	保健サービス提供体制の状況
第 4 位	墓地・火葬場の整備状況	し尿処理の状況	し尿処理の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	消防・救急体制	消防・救急体制の状況	消防・救急体制の状況
第 5 位	消防・救急体制	墓地・火葬場の整備状況	墓地・火葬場の整備状況	墓地・火葬場の整備状況	し尿処理の状況	し尿処理の状況	し尿処理の状況
第 6 位	し尿処理の状況	消防・救急体制	消防・救急体制	高齢者支援体制	墓地・火葬場の整備状況	墓地・火葬場の整備状況	墓地・火葬場の整備状況
第 7 位	交通安全体制	スポーツ環境	スポーツ環境	し尿処理の状況	スポーツ環境	交通安全体制の状況	景観の状況
第 8 位	スポーツ環境	広報・広聴の状況	高齢者支援体制	子育て支援体制の状況	公園・緑地の整備状況	スポーツ環境の状況	公園・緑地の整備状況
第 9 位	緑化の推進状況	交通安全体制	生活排水処理の状況	防犯体制	交通安全体制	子育て支援体制の状況	交通安全体制の状況
第10位	広報・広聴の状況	高齢者支援体制	広報・広聴の状況		広報・広聴の状況	防犯体制の状況	スポーツ環境の状況

『串間市の施策に不満』

(全体、上位 10 項目)

	H22	H24	H26	H28	H30	R 2	R 4
第 1 位	雇用対策の状況	雇用対策の状況	工業振興の状況	観光振興の状況	観光振興の状況	医療体制の状況	医療体制の状況
第 2 位	観光振興の状況	観光振興の状況	商業振興の状況	商業振興の状況	道路の整備状況	観光振興の状況	道路の整備状況
第 3 位	工業振興の状況	工業振興の状況	観光振興の状況	雇用対策の状況	医療体制	道路の整備状況	公共交通機関の状況
第 4 位	商業振興の状況	商業振興の状況	雇用対策の状況	医療体制	商業振興の状況	商業振興の状況	雇用対策の状況
第 5 位	道路の整備状況	道路の整備状況	医療体制		工業振興の状況	公共交通機関の状況	商業振興の状況
第 6 位	医療体制	医療体制	道路の整備状況	工業振興の状況	公共交通機関の状況	雇用対策の状況	観光振興の状況
第 7 位	農業振興の状況	農業振興の状況	親水空間の整備状況	公園・緑地の整備状況	雇用対策の状況	の公整備・状況緑地	工業振興の状況
第 8 位	親水空間の整備状況	公共交通機関の状況	農業振興の状況	景観の状況	景観の状況		親水空間の整備状況
第 9 位	広域的な連携によるまちづくりの状況	公園・緑地の整備状況	公園・緑地の整備状況		親水空間の整備状況	情報環境の状況	公園・緑地の整備状況
第10位	行財政改革に関する取組の状況	新エネルギー導入の状況	公共交通機関の状況	農業振興の状況	公園・緑地の整備状況	学校教育環境の状況	情報環境の状況

点数化による分析（評価点）

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

加重平均値（満足度5段階の評価にそれぞれ点数を与え算出）による分析を行いました。

評価点が最も高い施策は、「上水道の状況」（2.70）となっており、次いで、「し尿処理の状況」（2.06）、「墓地・火葬場の整備状況」（1.85）、「保健サービス提供体制の状況」（1.79）、「消防・救急体制の状況」（1.79）となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「雇用対策の状況」（-1.83）となっており、次いで、「工業振興の状況」（-1.53）、「公共交通機関の状況」（-1.47）、「商業振興の状況」（-1.43）、「医療体制の状況」（-1.36）となっています。

全56項目のうち、評価点がプラスの項目は36項目、評価点がマイナスの項目は20項目となっています。

	H22	H24	H26	H28	H30	R 2	R 4
評価点がプラス の項目数	26	26	24	26	30	34	36
評価点がマイナス の項目数	24	28	30	28	24	20	20

評価点の推移（満足度）

令和2年より上昇した項目は、全56項目中以下の18項目となっています。

- 1 人権・教育・文化分野 : 2項目
 - ①人権尊重のまちづくり状況
 - ⑧文化財の保存・活用の状況
- 2 保健・医療・福祉分野 : 2項目
 - ②医療体制の状況
 - ⑦バリアフリー化の状況
- 3 生活環境分野 : 6項目
 - ①防災体制の状況
 - ②消防・救急体制の状況
 - ⑧景観の状況
 - ⑩公園・緑地の整備状況
 - ⑬ごみ処理・リサイクル等の状況
 - ⑭生活排水処理の状況
- 4 生活基盤・産業分野 : 5項目
 - ②道路の整備状況
 - ⑤情報環境の状況
 - ⑧林業振興の状況
 - ⑪商業振興の状況
 - ⑫観光振興の状況
- 5 市民参画・行財政分野 : 1項目
 - ④広域的な連携によるまちづくりの状況
- 6 その他（男女共同参画について） : 2項目
 - ③配偶者暴力等に関する相談体制の状況
 - ④地域活動における男女共同参画の促進状況

平成22年から令和4年まで上昇し続けている項目は、全54項目中以下の1項目となっています。

- 5 市民参画・行財政分野 : 1項目
 - ④広域的な連携によるまちづくりの状況

	項目	平成22年調査	平成24年調査	平成26年調査	平成28年調査	平成30年調査	令和2年調査	令和4年調査
1 文化分・野・教育・	①人権尊重のまちづくりの状況	0.07	0.35	0.45	0.75	0.49	0.88	1.06
	②男女共同参画の状況	0.10	0.53	0.21	0.69	0.62	0.71	0.43
	③学校教育環境の状況	-0.01	-0.10	-0.36	-0.32	0.06	0.19	0.06
	④青少年の健全育成環境の状況	0.22	0.23	0.22	0.62	0.58	0.89	0.78
	⑤生涯学習環境の状況	0.65	0.98	0.81	0.78	1.18	1.12	0.81
	⑥スポーツ環境の状況	0.92	0.89	0.77	0.73	1.16	0.94	0.89
	⑦文化芸術環境の状況	0.22	0.12	0.06	-0.19	0.37	0.39	0.14
	⑧文化財の保存・活用の状況	0.69	0.55	0.25	0.15	0.31	0.66	0.77
	⑨国内外との交流活動の状況	0.16	0.26	-0.24	-0.33	-0.19	-0.04	-0.52
2 福祉分・野・医療・	①保健サービス提供体制の状況	2.29	1.92	1.97	2.41	2.12	1.95	1.79
	②医療体制の状況	-0.90	-0.46	-1.34	-0.88	-1.03	-1.81	-1.36
	③子育て支援体制の状況	0.06	0.52	0.08	1.04	0.73	0.89	0.37
	④障がい者支援体制の状況	0.36	0.68	0.17	0.67	0.50	0.85	0.51
	⑤高齢者支援体制の状況	0.76	0.92	0.59	1.18	0.69	1.04	0.81
	⑥地域福祉体制の状況	0.20	0.27	0.09	0.58	0.37	1.07	0.72
	⑦バリアフリー化の状況	-0.44	-0.52	-0.69	-0.22	-0.22	-0.10	0.02
3 生活環境分野	①防災体制の状況	0.29	-0.96	-0.65	-0.26	-0.06	-0.09	0.64
	②消防・救急体制の状況	2.22	1.76	1.65	2.06	2.03	1.76	1.79
	③交通安全体制の状況	1.53	1.15	0.92	1.24	1.28	1.56	1.28
	④防犯体制の状況	1.19	0.64	0.47	1.25	0.71	1.41	0.97
	⑤消費者対策の状況	-0.01	-0.14	-0.10	0.33	0.23	0.35	0.23
	⑥環境保全の状況	0.12	0.35	0.39	0.34	0.47	0.72	0.52
	⑦新エネルギー導入の状況	-1.18	-1.65	-0.26	0.23	0.54	1.19	0.97
	⑧景観の状況	-0.54	-0.56	-0.74	-0.60	-0.87	0.22	0.87
	⑨串間市の屋外広告物の景観への影響	-	-	-	-	-	-	0.85
	⑩公園・緑地の整備状況	-0.30	-0.45	-0.22	-0.22	0.35	0.19	0.30
	⑪親水空間の整備状況	-1.02	-0.77	-0.97	-0.52	-0.47	-0.26	-0.41
	⑫緑化の推進状況	1.09	0.69	0.69	1.08	0.70	1.04	0.92
	⑬ごみ処理・リサイクル等の状況	3.07	2.95	2.59	0.89	1.09	1.60	1.70
	⑭し尿処理の状況	2.34	2.34	2.09	1.52	1.77	2.10	2.06
	⑮生活排水処理の状況	0.17	0.58	0.70	0.78	0.75	1.17	1.18
	⑯上水道の状況	2.53	2.55	2.58	2.72	2.75	2.73	2.70
	⑰墓地・火葬場の整備状況	2.90	2.39	2.17	1.95	1.70	1.92	1.85
4 生活基盤・産業分野	①土地利用の状況	-0.67	-0.78	-0.67	-0.45	-0.69	-0.19	-0.28
	②道路の整備状況	-1.48	-1.81	-1.34	-1.50	-1.73	-1.12	-1.04
	③住宅施策の状況	-0.33	-0.04	-0.22	-0.08	-0.11	0.26	0.06
	④公共交通機関の状況	-0.77	-0.94	-0.78	-0.98	-1.81	-1.21	-1.47
	⑤情報環境の状況	-0.51	-0.68	-0.96	-1.02	-0.32	-0.74	-0.69
	⑥雇用対策の状況	-3.88	-3.19	-2.67	-2.23	-2.01	-1.55	-1.83
	⑦農業振興の状況	-1.85	-1.61	-1.64	-1.24	-0.95	-0.64	-0.88
	⑧林業振興の状況	-1.30	-0.95	-1.04	-0.43	-0.82	-0.12	0.07
	⑨水産業振興の状況	-1.39	-0.79	-1.01	-0.66	-0.67	0.00	-0.09
	⑩工業振興の状況	-3.71	-3.21	-3.06	-2.26	-2.40	-1.52	-1.53
	⑪商業振興の状況	-2.94	-3.07	-2.85	-2.33	-2.39	-1.71	-1.43
	⑫観光振興の状況	-3.34	-2.76	-2.61	-2.76	-2.74	-1.91	-0.84
	⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況	-	-	-	-	-	-	-0.50
5 行政・市民分野	①NPO、市民活動の育成等の状況	-0.20	-0.03	-0.39	-0.17	-0.12	-0.01	-0.04
	②コミュニティ活動の状況	0.23	0.29	-0.17	-0.18	0.22	0.27	0.23
	③行財政改革に関する取組みの状況	-1.97	-1.73	-1.71	-1.30	-1.07	-1.03	-1.13
	④広域的な連携によるまちづくりの状況	-1.80	-1.50	-1.42	-1.35	-1.13	-0.94	-0.87
	⑤広報・広聴の状況	1.19	1.14	0.92	1.23	1.10	0.93	0.62
	⑥行政情報の提供の状況	-0.28	-0.19	-0.40	0.14	0.14	0.08	-0.29
6 その他	①男女共同参画の意識の浸透状況	-	-0.08	-0.26	-0.22	-0.18	-0.27	-0.41
	②男女共同参画に関する教育の推進状況	-	-0.06	-0.38	-0.28	-0.19	-0.24	-0.25
	③配偶者暴力等に関する相談体制の状況	-	-0.25	-0.36	-0.05	-0.03	0.05	0.14
	④地域活動における男女共同参画の促進状況	-	0.29	0.13	0.07	0.18	0.06	0.21

地区別の評価点（満足度）の上位・下位項目をまとめると、以下のとおりとなります。

<福島地区>

評価点が最も高い施策は、「上水道の状況」（2.62）となっており、次いで、「し尿処理の状況」（1.65）、「保健サービス提供体制の状況」（1.64）となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「雇用対策の状況」（-1.96）となっており、次いで、「医療体制の状況」（-1.92）、「公共交通機関の状況」（-1.77）となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	上水道の状況 2.62	し尿処理の状況 1.65	保健サービス提供体制の状況 1.64
R 2	上水道の状況 2.96	消防・救急体制の状況 1.85	し尿処理の状況 1.81
H30	上水道の状況 2.74	消防・救急体制 2.00	保健サービス提供体制 1.79
H28	上水道の状況 2.77	保健サービス提供体制 2.35	消防・救急体制 2.14
H26	上水道の状況 2.63	墓地・火葬場の整備状況 1.97	ごみ処理・リサイクル等の状況 1.93
H24	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.42	上水道の状況 2.37	墓地・火葬場の整備状況 2.10
H22	上水道の状況 3.10	墓地・火葬場の整備状況 2.75	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.68

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	雇用対策の状況 -1.96	医療体制の状況 -1.92	公共交通機関の状況 -1.77
R 2	医療体制の状況 -2.26	観光振興の状況 -1.96	商業振興の状況 -1.76
H30	観光振興の状況 -2.40	商業振興の状況 -2.27	工業振興の状況 -2.24
H28	観光振興の状況 -2.79	雇用対策の状況 -2.46	商業振興の状況 -2.33
H26	工業振興の状況 -3.24	商業振興の状況 -3.22	雇用対策の状況 -2.87
H24	工業振興の状況 -3.52	雇用対策の状況 -3.46	商業振興の状況 -3.41
H22	雇用対策の状況 -4.17	工業振興の状況 -3.83	観光振興の状況 -3.24

<北方地区>

評価点が最も高い施策は、「上水道の状況」(3.36)となっており、次いで、「ごみ処理・リサイクル等の状況」(2.95)、「し尿処理の状況」(2.92)となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「雇用対策の状況」(-1.18)となっており、次いで、「工業振興の状況」(-1.11)、「行財政改革に関する取組みの状況」(-0.99)となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	上水道の状況 3.36	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.95	し尿処理の状況 2.92
R 2	上水道の状況 2.39	し尿処理の状況 2.25	墓地・火葬場の整備状況 1.97
H30	上水道の状況 3.33	消防・救急体制 2.11	墓地・火葬場の整備状況 1.83
H28	墓地・火葬場の整備状況 3.27	消防・救急体制 3.10	保健サービス提供体制 3.08
H26	上水道の状況 3.24	消防・救急体制 2.60	墓地・火葬場の整備状況 2.57
H24	上水道の状況 3.52	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.30	墓地・火葬場の整備状況 3.18
H22	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.08	墓地・火葬場の整備状況 2.84	消防・救急体制 2.72

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	雇用対策の状況 -1.18	工業振興の状況 -1.11	行財政改革に関する取組みの状況 -0.99
R 2	医療体制の状況 -2.08	雇用対策の状況 -1.84	観光振興の状況 -1.76
H30	観光振興の状況 -3.38	商業振興の状況 -2.93	工業振興の状況 -2.68
H28	観光振興の状況 -2.86	工業振興の状況 -2.70	雇用対策の状況 -2.00
H26	雇用対策の状況 -2.91	工業振興の状況 -2.67	商業振興の状況 -2.40
H24	雇用対策の状況 -3.07	観光振興の状況 -2.50	工業振興の状況 -2.39
H22	工業振興の状況 -4.30	観光振興の状況 -3.84	雇用対策の状況 -3.77

＜大東地区＞

評価点が最も高い施策は、「ごみ処理・リサイクル等の状況」(2.93)となっており、次いで、「上水道の状況」(2.83)、「墓地・火葬場の整備状況」(2.59)となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「工業振興の状況」(-2.21)となっており、次いで、「雇用対策の状況」(-1.96)、「商業振興の状況」(-1.86)となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.93	上水道の状況 2.83	墓地・火葬場の整備状況 2.59
R 2	上水道の状況 3.18	し尿処理の状況 2.79	墓地・火葬場の整備状況 2.56
H30	上水道の状況 2.74	保健サービス提供体制 2.52	し尿処理の状況 2.30
H28	上水道の状況 2.90	保健サービス提供体制 2.83	墓地・火葬場の整備状況 2.63
H26	上水道の状況 3.93	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.68	墓地・火葬場の整備状況 2.77
H24	上水道の状況 3.54	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.14	墓地・火葬場の整備状況 2.94
H22	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.29	墓地・火葬場の整備状況 3.10	上水道の状況 2.85

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	工業振興の状況 -2.21	雇用対策の状況 -1.96	商業振興の状況 -1.86
R 2	工業振興の状況 -1.77	商業振興の状況 -1.71	観光振興の状況 -1.57
H30	観光振興の状況 -2.74	工業振興の状況 -2.48	公共交通機関の状況 -2.30
H28	商業振興の状況 -3.08	観光振興の状況 -2.86	工業振興の状況 -2.67
H26	工業振興の状況 -3.02	雇用対策の状況 -2.77	商業振興の状況 -2.67
H24	商業振興の状況 -3.16	雇用対策の状況 -2.89	観光振興の状況 -2.71
H22	雇用対策の状況 -3.93	観光振興の状況 -3.79	工業振興の状況 -3.38

<本城地区>

評価点が最も高い施策は、「上水道の状況」(3.47)となっており、次いで、「し尿処理の状況」(2.71)、「消防・救急体制の状況」(2.60)となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「公共交通機関の状況」(-1.80)となっており、次いで、「行財政改革に関する取組みの状況」(-1.63)、「道路の整備状況」(-1.20)となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	上水道の状況 3.47	し尿処理の状況 2.71	消防・救急体制の状況 2.60
R 2	し尿処理の状況 2.98	上水道の状況 2.94	生活排水処理の状況 2.58
H30	上水道の状況 3.28	保健サービス提供体制 3.11	し尿処理の状況 2.95
H28	し尿処理の状況 2.50	緑化の推進状況 2.06	上水道の状況 2.03
H26	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.62	墓地・火葬場の整備状況 2.65	し尿処理の状況 2.61
H24	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.22	し尿処理の状況 3.64	消防・救急体制 2.82
H22	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.22	し尿処理の状況 3.96	保健サービス提供体制 3.44

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	公共交通機関の状況 -1.80	行財政改革に関する取組みの状況 -1.63	道路の整備状況 -1.20
R 2	道路の整備状況 -2.1	商業振興の状況 -1.69	情報環境の状況 -1.69
H30	観光振興の状況 -2.46	商業振興の状況 -2.00	工業振興の状況 -1.83
H28	情報環境 -2.74	観光振興の状況 -2.50	道路の整備状況 -2.03
H26	工業振興の状況 -3.10	観光振興の状況 -2.73	雇用対策の状況 -2.65
H24	工業振興の状況 -3.28	観光振興の状況 -3.10	道路の整備状況 -2.67
H22	工業振興の状況 -4.20	道路の整備状況 -3.40	雇用対策の状況 -3.30

<都井地区>

評価点が最も高い施策は、「保健サービス提供体制の状況」(3.46)となっており、次いで、「公園・緑地の整備状況」(2.59)、「ごみ処理・リサイクル等の状況」「し尿処理の状況」(2.50)となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「工業振興の状況」(-2.50)となっており、次いで、「商業振興の状況」(-2.20)、「行財政改革に関する取組みの状況」(-2.00)となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	保健サービス提供体制の状況 3.46	公園・緑地の整備状況 2.59	ごみ処理・リサイクル等の状況／し尿処理の状況 2.50
R 2	ごみ処理・リサイクル等の状況 1.97	墓地・火葬場の整備状況 1.82	し尿処理の状況 1.72
H30	保健サービス提供体制 3.05	し尿処理の状況 2.20	公園・緑地の整備状況 2.00
H28	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.57	広報・広聴の状況 3.15	保健サービス提供体制 2.76
H26	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.29	保健サービス提供体制 3.02	高齢者支援体制 2.33
H24	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.00	し尿処理の状況 3.52	墓地・火葬場の整備状況 3.39
H22	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.83	墓地・火葬場の整備状況 2.83	し尿処理の状況 2.50

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	工業振興の状況 -2.50	商業振興の状況 -2.20	行財政改革に関する取組みの状況 -2.00
R 2	観光振興の状況 -3.21	親水空間の整備状況 -3.03	道路の整備状況 -2.58
H30	観光振興の状況 -1.21	工業振興の状況 -3.46	商業振興の状況 -3.42
H28	観光振興の状況 -1.67	道路の整備状況 -1.54	雇用対策の状況 -1.00
H26	観光振興の状況 -3.68	工業振興の状況 -2.44	商業振興の状況 -2.31
H24	商業振興の状況 -4.07	工業振興の状況 -3.89	雇用対策の状況 -3.21
H22	観光振興の状況 -4.33	工業振興の状況 -4.00	雇用対策の状況 -4.00

<市木地区>

評価点が最も高い施策は、「ごみ処理・リサイクル等の状況」「し尿処理の状況」(3.45)となっており、次いで、「墓地・火葬場の整備状況」(1.61)の順となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「雇用対策の状況」(-2.68)となっており、次いで、「道路の整備状況」(-2.41)「工業振興の状況」(-1.96)の順となっています。

評価点（満足度）上位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	上水道の状況 2.70	し尿処理の状況 2.06	墓地・火葬場の整備状況 1.85
地区 R 4	ごみ処理・リサイクル等の状況／し尿処理の状況 3.45		墓地・火葬場の整備状況 1.61
R 2	保健サービス提供体制の状況 3.42	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.63	し尿処理の状況 2.11
H30	上水道の状況／し尿処理の状況 2.88		保健サービス提供体制 2.44
H28	上水道の状況 2.86	し尿処理の状況 2.44	墓地・火葬場の整備状況 1.86
H26	ごみ処理・リサイクル等の状況 2.79	消防・救急体制 2.12	し尿処理の状況 2.06
H24	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.17	上水道の状況 2.90	墓地・火葬場の整備状況 2.74
H22	ごみ処理・リサイクル等の状況 3.24	墓地・火葬場の整備状況 3.18	し尿処理の状況 2.58

評価点（満足度）下位3項目

	第1位	第2位	第3位
全体 R 4	雇用対策の状況 -1.83	工業振興の状況 -1.53	公共交通機関の状況 -1.47
地区 R 4	雇用対策の状況 -2.68	道路の整備状況 -2.41	工業振興の状況 -1.96
R 2	公共交通機関の状況 -3.95	道路の整備状況 -3.89	観光振興の状況 -2.37
H30	道路の整備状況 -4.87	公共交通機関の状況 -4.47	観光振興の状況 -2.63
H28	観光振興の状況／公共交通機関の状況 -2.86		情報環境 -2.62
H26	工業振興の状況 -2.94	商業振興の状況 -2.06	情報環境 -1.88
H24	観光振興の状況 -3.06	雇用対策の状況／親水空間の整備状況／行財政改革に関する取組みの状況 -2.90	
H22	道路の整備状況 -3.18	観光振興の状況 -3.03	雇用対策の状況 -2.81

(2) 市の施策に対する重要度

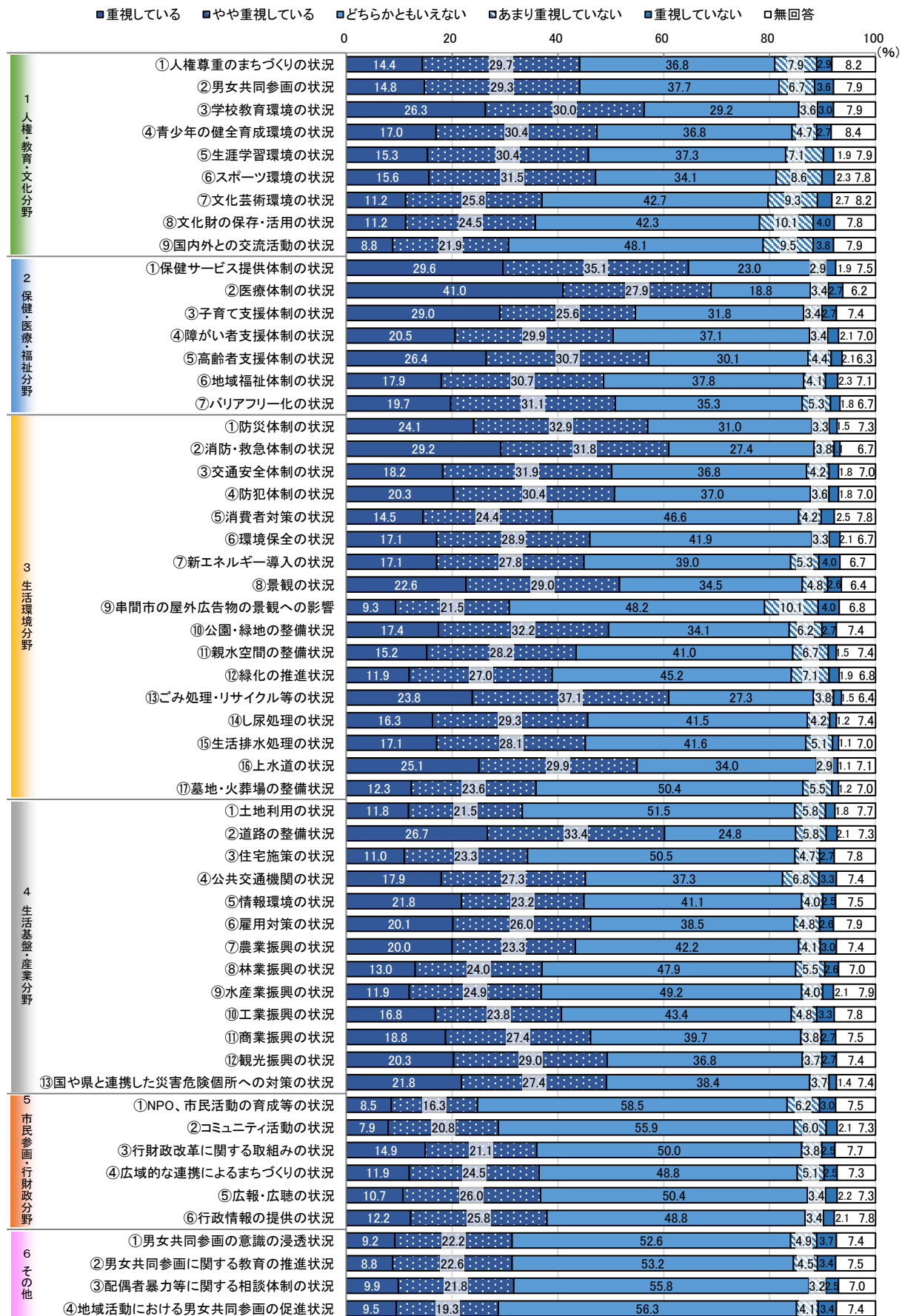
問3 市では下記にあげる様々な施策に取り組んでいます。あなたは、(2)今後どの程度重視（力を入れるべき）していますか。



- 重要度が最も高い項目は「医療体制」、次いで、「保健サービス提供体制」、「ごみ処理・リサイクル等の状況」、「消防・救急体制」の順。

串間市の各施策の今後の重要度について、「重視している」と「やや重視している」を合わせた『串間市の施策に重要』は、「医療体制の状況」が 68.9%と最も高く、次いで、「保健サービス提供体制の状況」(64.7%)、「消防・救急体制の状況」(61.0%)、「ごみ処理・リサイクル等の状況」(60.9%)、「道路の整備状況」(60.1%)の順となっています。

また「あまり重視していない」と「重視していない」を合わせた『串間市の施策に重要でない』は「文化財の保存・活用の状況」「串間市の屋外広告物の景観への影響」が 14.1%と最も高く、次いで、「国内外との交流活動の状況」(13.3%)、「文化芸術環境の状況」(12.0%)、「スポーツ環境の状況」(10.9%)の順となっています。



令和2年調査と比較すると、『串間市の施策に重要』の割合は、「医療体制の状況」が6.2ポイント減（重要度：第1位→第1位）、「防災体制の状況」が5.6ポイント減（重要度：第5位→第7位）、「子育て支援体制の状況」が5.6ポイント減（重要度：第7位→第10位）、「公園・緑地の整備状況」が5.5ポイント減（重要度：第11位→第16位）と、大きく変動しています。

『串間市の施策に重要でない』の割合には、大きな変動はありませんでした。

『串間市の施策に重要』（重要）と『串間市の施策に重要でない』（重要でない）の推移

（単位：％）※丸数字は順位

	項目	平成22年調査		平成24年調査		平成26年調査		平成28年調査		平成30年調査		令和2年調査		令和4年調査	
		重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない
1 文化・権分・野・教育・	①人権尊重のまちづくりの状況	38.7	③ 9.7	41.6	③ 11.1	38.2	② 12.2	39.4	③ 11.2	41.4	③ 10.8	42.2	② 11.4	44.1	⑥ 10.8
	②男女共同参画の状況	35.2	② 10.9	38.3	④ 9.9	38.8	② 12.2	38.1	⑤ 9.8	37.2	④ 10.7	42.7	③ 11.3	44.1	⑦ 10.3
	③学校教育環境の状況	52.8	4.5	54.7	6.3	⑩ 53.4	6.2	51.9	7.1	⑦ 57.5	5.6	⑥ 60.8	4.3	⑧ 56.3	6.6
	④青少年の健全育成環境の状況	45.8	4.5	48.8	6.6	46.5	5.4	45.2	6.9	48.8	6.0	49.9	6.1	47.4	7.4
	⑤生涯学習環境の状況	43.3	⑧ 6.5	43.8	7.7	42.9	7.8	42.0	7.9	44.2	7.3	49.0	7.3	45.7	9.0
	⑥スポーツ環境の状況	47.8	④ 7.6	49.7	7.2	48.4	6.9	45.4	7.4	47.7	6.6	51.1	8.1	47.1	⑤ 10.9
	⑦文化芸術環境の状況	37.6	5.7	38.7	⑤ 9.6	36.2	⑨ 9.4	31.3	④ 10.9	37.1	⑨ 7.9	37.9	⑤ 10.3	37.0	④ 12.0
	⑧文化財の保存・活用の状況	35.4	⑧ 6.5	36.7	② 12.3	37.1	④ 11.3	34.3	② 12.2	35.4	② 10.9	36.1	① 11.8	35.7	① 14.1
	⑨国内外との交流活動の状況	26.9	① 11.1	29.1	① 12.5	28.4	① 12.8	29.6	① 12.7	30.9	① 11.3	34.9	④ 11.2	30.7	③ 13.3
2 福祉・保健・野・医療・	①保健サービス提供体制の状況	② 64.6	3.5	① 69.9	3.3	② 64.2	5.0	② 66.5	3.8	② 66.1	3.5	② 68.5	4.2	② 64.7	4.8
	②医療体制の状況	① 68.7	4.3	② 69.0	5.1	① 68.3	5.8	① 69.4	4.5	① 69.6	5.5	① 75.1	4.4	① 68.9	6.1
	③子育て支援体制の状況	52.1	4.1	51.5	4.4	⑨ 54.6	4.0	⑦ 56.3	3.5	⑩ 52.8	5.1	⑦ 60.2	5.5	⑩ 54.6	6.1
	④障がい者支援体制の状況	47.0	4.3	51.8	4.8	49.0	6.0	45.7	4.5	46.6	5.2	49.2	5.1	50.4	5.5
	⑤高齢者支援体制の状況	⑥ 57.0	3.0	⑤ 62.0	5.4	⑦ 57.1	5.2	⑥ 59.6	4.2	⑧ 56.4	5.2	⑨ 58.9	5.1	⑥ 57.1	6.5
	⑥地域福祉体制の状況	43.7	4.9	46.7	6.8	45.1	6.1	45.5	3.8	40.7	6.2	48.9	5.2	48.6	6.4
	⑦バリアフリー化の状況	48.1	5.4	53.9	7.2	48.2	7.2	53.5	4.6	51.5	5.9	52.2	6.3	50.8	7.1
3 生活環境分野	①防災体制の状況	⑦ 55.3	4.6	⑥ 61.9	5.4	⑤ 58.8	7.0	⑤ 61.1	4.3	⑤ 59.2	5.3	⑤ 62.6	4.4	⑦ 57.0	4.8
	②消防・救急体制の状況	④ 59.8	3.2	④ 64.9	3.3	④ 61.3	3.9	④ 64.9	1.8	④ 61.6	2.9	④ 63.1	3.8	③ 61.0	4.9
	③交通安全体制の状況	49.0	4.2	55.0	4.1	47.9	5.3	52.2	2.9	49.7	3.9	52.4	3.6	50.1	6.0
	④防犯体制の状況	⑩ 53.2	3.2	55.6	4.8	48.6	5.9	54.5	2.9	51.1	4.2	51.5	3.7	50.7	5.4
	⑤消費者対策の状況	40.2	5.2	44.3	6.0	38.8	6.3	41.8	4.0	37.8	5.5	37.5	6.3	38.9	6.7
	⑥環境保全の状況	47.3	3.8	53.2	4.7	46.7	6.5	47.8	4.5	44.3	5.1	46.7	3.9	46.0	5.4
	⑦新エネルギー導入の状況	47.6	⑤ 7.5	⑩ 56.9	6.3	44.6	7.7	37.2	7.9	40.6	⑤ 9.2	43.9	⑧ 8.8	44.9	⑨ 9.3
	⑧景観の状況	51.3	3.7	56.8	5.7	50.6	8.8	⑨ 55.9	6.1	49.2	⑦ 8.1	52.2	7.2	51.6	7.4
	⑨串間市の屋外広告物の景観への影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.8	① 14.1
	⑩公園・緑地の整備状況	49.7	6.2	55.1	6.8	53.1	8.8	50.0	⑨ 8.2	51.0	6.8	55.1	7.2	49.6	8.9
	⑪親水空間の整備状況	45.2	⑧ 6.5	45.9	6.6	46.3	9.2	43.1	⑦ 8.7	45.4	6.6	46.7	8.0	43.4	8.2
	⑫緑化の推進状況	46.8	4.6	50.0	6.6	45.2	8.2	44.2	7.1	41.1	7.0	43.1	⑨ 8.3	38.9	9.0
	⑬ごみ処理・リサイクル等の状況	③ 63.2	1.8	③ 66.1	3.8	③ 62.8	4.1	③ 65.9	3.4	③ 63.2	3.8	③ 65.8	4.2	④ 60.9	5.3
	⑭し尿処理の状況	49.7	2.7	52.9	4.2	48.6	4.1	46.3	4.0	46.2	3.1	46.2	4.5	45.6	5.4
	⑮生活排水処理の状況	52.1	4.2	54.4	5.3	49.9	4.6	47.8	3.7	48.5	3.4	47.6	5.4	45.2	6.2
	⑯上水道の状況	⑤ 57.8	2.2	⑧ 60.7	4.1	⑥ 57.9	4.0	⑨ 55.9	2.6	⑥ 58.3	2.3	⑩ 58.5	3.3	⑨ 55.0	4.0
	⑰墓地・火葬場の整備状況	44.6	3.3	43.7	5.3	40.4	6.6	39.1	5.9	40.4	5.9	39.0	6.0	35.9	6.7
4 生活基盤・産業分野	①土地利用の状況	32.2	3.9	35.7	⑨ 8.4	31.5	6.6	34.5	5.4	32.9	5.7	36.2	5.8	33.3	7.6
	②道路の整備状況	⑨ 53.7	4.1	⑦ 61.0	6.0	⑧ 56.7	7.2	⑦ 56.3	6.3	⑧ 56.4	7.0	⑧ 60.0	5.4	⑤ 60.1	7.9
	③住宅施策の状況	29.6	4.8	35.4	5.9	30.7	6.5	34.8	5.9	31.9	6.4	35.4	5.7	34.3	7.4
	④公共交通機関の状況	42.5	⑥ 7.0	47.1	7.8	39.9	⑥ 10.3	43.8	7.9	46.4	7.5	46.6	⑥ 10.0	45.2	⑧ 10.1
	⑤情報環境の状況	30.1	5.3	34.0	6.9	29.9	7.1	37.5	6.9	38.6	5.1	49.3	6.3	45.0	6.5
	⑥雇用対策の状況	⑧ 55.0	4.9	56.6	6.9	52.1	6.0	50.6	5.4	47.3	5.7	50.7	6.9	46.1	7.4
	⑦農業振興の状況	50.2	3.9	48.9	6.6	46.3	6.6	48.1	5.6	43.0	6.1	45.2	5.7	43.3	7.1
	⑧林業振興の状況	37.4	4.6	35.4	⑩ 8.0	34.1	7.4	35.9	3.8	35.8	6.9	36.7	6.1	37.0	8.1
	⑨水産業振興の状況	38.2	4.1	38.0	6.0	34.3	7.0	38.3	5.1	33.3	6.9	36.8	6.0	36.8	6.1
	⑩工業振興の状況	48.6	5.4	49.8	⑥ 8.9	44.5	⑧ 9.5	43.6	7.5	44.2	7.5	42.6	8.0	40.6	8.1
	⑪商業振興の状況	46.5	4.4	50.5	⑥ 8.9	46.6	6.9	48.1	7.4	44.9	6.9	48.3	7.2	46.2	6.5
	⑫観光振興の状況	52.4	5.3	⑨ 57.2	7.4	50.3	8.8	55.3	7.5	51.2	⑦ 8.1	54.6	6.0	49.3	6.4
5 行政分野	⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49.2	5.1
	①NPO、市民活動の育成等の状況	25.5	⑧ 6.5	31.2	⑧ 8.6	23.5	⑦ 10.2	27.2	⑨ 8.2	22.1	⑥ 8.7	24.9	8.1	24.8	⑩ 9.2
	②コミュニティ活動の状況	28.1	⑦ 6.7	32.4	5.7	26.8	8.6	31.1	7.1	26.3	6.9	27.7	8.1	28.7	8.1
	③行財政改革に関する取組みの状況	41.0	5.4	41.9	5.6	36.4	5.9	37.5	5.6	35.0	4.8	39.2	6.1	36.0	6.3
	④広域的な連携によるまちづくりの状況	39.2	5.8	42.0	7.7	35.0	7.9	40.7	7.5	36.9	6.1	37.5	6.3	36.4	7.6
	⑤広報・広聴の状況	41.5	3.6	43.5	5.0	39.0	5.6	43.1	5.0	40.3	5.1	41.7	5.0	36.7	5.6
6 その他	⑥行政情報の提供の状況	40.3	4.6	43.5	6.0	36.8	6.9	39.1	5.0	36.5	4.4	39.9	5.7	38.0	5.5
	①男女共同参画の意識の浸透状況	-	-	33.1	7.8	27.1	⑤ 11.0	30.1	⑥ 8.8	26.5	⑩ 7.7	32.2	⑦ 9.2	31.4	8.6
	②男女共同参画に関する教育の推進状況	-	-	31.3	7.5	26.3	⑩ 9.3	29.3	⑧ 8.5	28.3	7.3	31.6	⑨ 8.3	31.4	7.9
	③配偶者暴力等に関する相談体制の状況	-	-	31.3	6.0	27.4	8.4	30.6	6.3	28.9	4.0	33.3	4.9	31.7	5.7
	④地域活動における男女共同参画の促進状況	-	-	31.6	6.8	28.0	7.7	31.6	6.7	27.0	5.6	29.3	7.9	28.8	7.5

『串間市の施策に重要』

(全体、上位 10 項目)

	H22	H24	H26	H28	H30	R 2	R 4
第 1 位	医療体制	保健サービス提供体制	医療体制	医療体制	医療体制	医療体制の状況	医療体制の状況
第 2 位	保健サービス提供体制	医療体制	保健サービス提供体制	保健サービス提供体制	保健サービス提供体制	保健サービス提供体制の状況	保健サービス提供体制の状況
第 3 位	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	消防・救急体制の状況
第 4 位	消防・救急体制	消防・救急体制	消防・救急体制	消防・救急体制	消防・救急体制	消防・救急体制の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況
第 5 位	上水道の状況	高齢者支援体制	防災体制	防災体制	防災体制	防災体制の状況	道路の整備状況
第 6 位	高齢者支援体制	防災体制	上水道の状況	高齢者支援体制	上水道の状況	学校教育環境の状況	高齢者支援体制の状況
第 7 位	防災体制	道路の整備状況	高齢者支援体制	道路の整備状況	学校教育環境	子育て支援体制の状況	防災体制の状況
第 8 位	雇用対策の状況	上水道の状況	道路の整備状況	子育て支援体制の状況	高齢者支援体制	道路の整備状況	学校教育環境の状況
第 9 位	道路の整備状況	観光振興の状況	子育て支援体制の状況	景観の状況	道路の整備状況	高齢者支援体制の状況	上水道の状況
第10位	防犯体制	新エネルギー導入の状況	学校教育環境	上水道の状況	子育て支援体制の状況	上水道の状況	子育て支援体制の状況

『串間市の施策に重要でない』

(全体、上位 10 項目)

	H22	H24	H26	H28	H30	R 2	R 4
第 1 位	国内外との交流活動の状況	国内外との交流活動の状況	国内外との交流活動の状況	国内外との交流活動の状況	国内外との交流活動の状況	文化遺産の保存・活用の状況	文化遺産の保存・活用への影響
第 2 位	男女共同参画の状況	文化遺産の保存・活用の状況	文化遺産の保存・活用の状況	文化遺産の保存・活用の状況	文化遺産の保存・活用の状況	人権尊重のまちづくりの状況	串間市の屋外
第 3 位	人権尊重のまちづくりの状況	人権尊重のまちづくりの状況	人権尊重のまちづくりの状況	人権尊重のまちづくりの状況	人権尊重のまちづくりの状況	男女共同参画の状況	国内外との交流活動の状況
第 4 位	スポーツ環境	男女共同参画の状況	文化遺産の保存・活用の状況	文化芸術環境	男女共同参画の状況	国内外との交流活動の状況	文化芸術環境の状況
第 5 位	新エネルギー導入の状況	文化芸術環境	男女共同参画の意識の浸透状況	男女共同参画の状況	新エネルギー導入の状況	文化芸術環境の状況	スポーツ環境の状況
第 6 位	公共交通機関の状況	工業振興の状況	公共交通機関の状況	男女共同参画の意識の浸透状況	NPO、市民活動の育成等の状況	公共交通機関の状況	人権尊重のまちづくりの状況
第 7 位	コミュニティ活動の状況	商業振興の状況	NPO、市民活動の育成等の状況	親水空間の整備状況	観光振興の状況	男女共同参画の意識の浸透状況	男女共同参画の状況
第 8 位	生涯学習環境	文化遺産の保存・活用状況	工業振興の状況	男女共同参画に関する教育の推進状況	景観の状況	新エネルギー導入の状況	公共交通機関の状況
第 9 位		土地利用の状況	文化芸術環境	公園・緑地の整備状況	文化芸術環境	男女共同参画に関する教育の推進状況	新エネルギー導入の状況
第10位		林業振興の状況	男女共同参画に関する教育の推進状況		男女共同参画に関する教育の推進状況	緑化の推進状況	NPO、市民活動の育成等の状況

点数化による分析（評価点）

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

加重平均値（重要度 5 段階の評価にそれぞれ点数を与え算出）による分析を行いました。

評価点が最も高い施策は、「医療体制の状況」（5.38）となっており、次いで「保健サービス提供体制の状況」（4.73）、「消防・救急体制の状況」（4.51）、「ごみ処理・リサイクル等の状況」（4.17）、「道路の整備状況」（4.15）となっています。

一方、評価点が最も低い施策は、「NP0、市民活動の育成等の状況」（1.14）となっており、次いで、「串間市の屋外広告物の景観への影響」（1.18）、「国内外との交流活動の状況」（1.21）、「コミュニティ活動の状況」（1.43）、「地域活動における男女共同参画の促進状況」（1.47）となっています。

評価点の推移（重要度）

令和2年より上昇した項目は、全56項目中以下の5項目となっています。

- 1 人権・教育・文化分野 : 2項目
 - ①人権尊重のまちづくりの状況
 - ②男女共同参画の状況
- 2 保健・医療・福祉分野 : 1項目
 - ④障がい者支援体制の状況
- 3 生活環境分野 : 1項目
 - ⑤消費者対策の状況
- 4 生活基盤・産業分野 : 0項目
- 5 市民参画・行財政分野 : 1項目
 - ②コミュニティ活動の状況
- 6 その他（男女共同参画について） : 0項目

平成22年から令和4年まで下降し続けている項目は、全56項目中以下の4項目となっています。

- 3 生活環境分野 : 3項目
 - ⑪緑化の推進状況
 - ⑬し尿処理の状況
 - ⑭生活排水処理の状況
- 4 生活基盤・産業分野 : 1項目
 - ⑩工業振興の状況

	項目	平成22年調査	平成24年調査	平成26年調査	平成28年調査	平成30年調査	令和2年調査	令和4年調査
1 文化分・野・教育・	①人権尊重のまちづくりの状況	2.50	2.39	2.01	2.20	2.34	2.19	2.44
	②男女共同参画の状況	2.02	2.14	1.98	2.15	2.07	2.37	2.45
	③学校教育環境の状況	4.77	4.28	4.04	4.04	4.46	4.75	3.97
	④青少年の健全育成環境の状況	3.77	3.47	3.22	3.11	3.50	3.37	2.96
	⑤生涯学習環境の状況	3.11	2.79	2.58	2.58	2.77	3.10	2.72
	⑥スポーツ環境の状況	3.31	3.28	3.04	2.92	3.09	3.18	2.68
	⑦文化芸術環境の状況	2.64	2.28	1.89	1.65	2.05	2.06	1.82
	⑧文化財の保存・活用の状況	2.44	1.91	1.86	1.64	1.65	1.74	1.57
	⑨国内外との交流活動の状況	1.31	1.30	1.07	1.33	1.42	1.77	1.21
2 福祉分・野・医療・	①保健サービス提供体制の状況	5.41	5.58	4.67	5.21	4.77	5.08	4.73
	②医療体制の状況	6.25	5.89	5.50	5.69	5.47	6.11	5.38
	③子育て支援体制の状況	4.39	4.05	4.07	4.46	3.88	4.51	4.04
	④障がい者支援体制の状況	3.88	3.74	3.24	3.29	3.04	3.28	3.41
	⑤高齢者支援体制の状況	5.00	4.79	4.16	4.51	3.96	4.04	4.01
	⑥地域福祉体制の状況	3.32	3.09	2.88	3.15	2.46	3.22	3.11
	⑦バリアフリー化の状況	3.71	3.80	3.24	3.71	3.40	3.49	3.30
3 生活環境分野	①防災体制の状況	4.67	5.14	4.51	4.79	4.36	4.71	4.03
	②消防・救急体制の状況	5.14	5.43	4.87	5.33	4.72	4.67	4.51
	③交通安全体制の状況	3.95	4.37	3.35	3.99	3.54	3.70	3.25
	④防犯体制の状況	4.36	4.29	3.42	4.06	3.54	3.62	3.43
	⑤消費者対策の状況	2.94	3.02	2.48	2.92	2.36	2.29	2.40
	⑥環境保全の状況	3.93	4.00	3.13	3.34	2.94	3.26	2.99
	⑦新エネルギー導入の状況	3.59	4.20	2.94	2.15	2.29	2.63	2.61
	⑧景観の状況	4.11	4.15	3.46	3.89	3.39	3.56	3.43
	⑨串間市の屋外広告物の景観への影響	-	-	-	-	-	-	1.18
	⑩公園・緑地の整備状況	3.72	3.73	3.28	3.21	3.21	3.48	2.99
	⑪親水空間の整備状況	3.24	3.07	2.77	2.59	2.87	2.87	2.64
	⑫緑化の推進状況	3.36	3.03	2.68	2.68	2.41	2.37	2.14
	⑬ごみ処理・リサイクル等の状況	5.38	5.03	4.81	4.88	4.62	4.70	4.17
	⑭し尿処理の状況	4.04	3.91	3.56	3.31	3.30	3.19	2.98
	⑮生活排水処理の状況	4.32	3.98	3.66	3.49	3.46	3.18	2.96
	⑯上水道の状況	5.48	4.96	4.68	4.56	4.58	4.49	4.03
	⑰墓地・火葬場の整備状況	3.51	2.98	2.56	2.48	2.56	2.33	2.16
4 生活基盤・産業分野	①土地利用の状況	2.46	2.23	2.00	2.26	2.10	2.33	1.94
	②道路の整備状況	4.57	4.62	4.11	4.14	4.06	4.19	4.15
	③住宅施策の状況	2.28	2.29	1.90	2.20	1.94	2.23	1.90
	④公共交通機関の状況	3.17	3.06	2.39	2.89	3.02	2.76	2.68
	⑤情報環境の状況	2.39	2.28	2.05	2.74	2.71	3.51	3.13
	⑥雇用対策の状況	4.85	4.37	3.88	3.89	3.44	3.45	3.06
	⑦農業振興の状況	4.36	3.44	3.34	3.52	2.95	3.16	2.87
	⑧林業振興の状況	2.96	2.32	2.15	2.53	2.27	2.33	2.11
	⑨水産業振興の状況	3.05	2.56	2.19	2.72	2.11	2.33	2.21
	⑩工業振興の状況	4.13	3.46	3.14	3.09	3.06	2.69	2.50
	⑪商業振興の状況	3.94	3.47	3.41	3.32	3.03	3.16	3.01
	⑫観光振興の状況	4.52	4.30	3.65	4.11	3.72	3.89	3.26
	⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況	-	-	-	-	-	-	3.48
5 行財市 政民分 参野画・	①NPO、市民活動の育成等の状況	1.45	1.54	0.92	1.37	0.90	1.20	1.14
	②コミュニティ活動の状況	1.69	1.89	1.36	1.68	1.32	1.33	1.43
	③行財政改革に関する取組みの状況	3.29	3.01	2.51	2.55	2.45	2.51	2.28
	④広域的な連携によるまちづくりの状況	3.07	2.66	2.10	2.61	2.40	2.40	2.07
	⑤広報・広聴の状況	3.16	2.92	2.48	2.77	2.57	2.65	2.13
	⑥行政情報の提供の状況	3.07	3.01	2.30	2.61	2.39	2.54	2.31
6 その他	①男女共同参画の意識の浸透状況	-	1.81	1.16	1.59	1.36	1.64	1.52
	②男女共同参画に関する教育の推進状況	-	1.76	1.21	1.61	1.53	1.70	1.56
	③配偶者暴力等に関する相談体制の状況	-	1.95	1.51	1.92	1.95	2.24	1.80
	④地域活動における男女共同参画の促進状況	-	1.91	1.41	1.83	1.54	1.54	1.47

地区別の評価点（重要度）の上位項目をまとめると、以下のとおりとなります。

＜福島地区＞

評価点が最も高い施策は、「医療体制の状況」（5.54）となっており、次いで、「保健サービス提供体制の状況」（4.66）、「子育て支援体制の状況」「消防・救急体制の状況」（4.45）、「学校教育環境の状況」（4.27）となっています。

評価点（重要度）上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R4	医療体制の状況	保健サービス提供体制の状況	消防・救急体制の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	道路の整備状況
	5.38	4.73	4.51	4.17	4.15
地区 R4	医療体制の状況	保健サービス提供体制の状況	子育て支援体制の状況／消防・救急体制の状況		学校教育環境の状況
	5.54	4.66	4.45		4.27
R2	医療体制の状況	保健サービス提供体制の状況	学校教育環境の状況	子育て支援体制の状況	消防・救急体制の状況
	6.07	4.96	4.79	4.78	4.54
H30	医療体制	保健サービス提供体制	上水道の状況	学校教育環境	ごみ処理・リサイクル等の状況
	5.59	4.82	4.75	4.72	4.63
H28	医療体制	消防・救急体制	保健サービス提供体制	ごみ処理・リサイクル等の状況	防災体制
	5.46	5.22	5.14	4.83	4.72
H26	医療体制	保健サービス提供体制	消防・救急体制	上水道の状況	防災体制
	6.00	4.93	4.81	4.71	4.69
H24	医療体制	消防・救急体制	保健サービス提供体制	防災体制	上水道の状況
	5.99	5.41	5.38	5.20	5.03
H22	医療体制	上水道の状況	保健サービス提供体制	ごみ処理・リサイクル等の状況	消防・救急体制
	6.71	5.78	5.56	5.36	5.35

<北方地区>

評価点が最も高い施策は、「消防・救急体制の状況」(5.63)となっており、次いで、「医療体制の状況」(5.49)、「保健サービス提供体制の状況」(5.28)、「道路の整備状況」(5.00)、「学校教育環境の状況」「高齢者支援体制の状況」(4.93)となっています。

評価点（重要度）上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R4	医療体制の状況 5.38	保健サービス提供体制の状況 4.73	消防・救急体制の状況 4.51	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.17	道路の整備状況 4.15
地区 R4	消防・救急体制の状況 5.63	医療体制の状況 5.49	保健サービス提供体制の状況 5.28	道路の整備状況 5.00	学校教育環境の状況／高齢者支援体制の状況 4.93
R2	医療体制の状況 6.52	学校教育環境の状況 5.24	消防・救急体制の状況 5.11	保健サービス提供体制の状況 5.06	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.77
H30	医療体制 6.39	消防・救急体制 5.36	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.29	防災体制 5.28	保健サービス提供体制 5.07
H28	医療体制 7.20	学校教育環境 5.85	保健サービス提供体制 5.80	消防・救急体制 5.78	高齢者支援体制 5.50
H26	消防・救急体制 5.26	上水道の状況 5.21	防災体制 5.07	医療体制 4.93	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.86
H24	医療体制 6.44	保健サービス提供体制 5.78	消防・救急体制 5.56	防災体制 5.34	高齢者支援体制 5.11
H22	医療体制 5.09	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.91	消防・救急体制 4.91	上水道の状況 4.55	防犯体制 4.45

<大東地区>

評価点が最も高い施策は、「保健サービス提供体制の状況」(4.91)となっており、次いで、「医療体制の状況」(4.73)、「消防・救急体制の状況」(4.38)、「高齢者支援体制の状況」(4.19)、「上水道の状況」(4.17)となっています。

評価点（重要度）上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R 4	医療体制の状況	保健サービス提供体制の状況	消防・救急体制の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	道路の整備状況
	5.38	4.73	4.51	4.17	4.15
地区 R 4	保健サービス提供体制の状況	医療体制の状況	消防・救急体制の状況	高齢者支援体制の状況	上水道の状況
	4.91	4.73	4.38	4.19	4.17
R 2	医療体制の状況	保健サービス提供体制の状況	防災体制の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	高齢者支援体制の状況
	6.09	5.51	5.21	5.04	4.96
H 30	医療体制	保健サービス提供体制	消防・救急体制／学校教育環境		ごみ処理・リサイクル等の状況
	5.27	4.64	4.55		4.38
H 28	医療体制	保健サービス提供体制	消防・救急体制	子育て支援体制の状況	防災体制
	6.07	5.57	5.40	5.00	4.89
H 26	医療体制	ごみ処理・リサイクル等の状況	保健サービス提供体制	上水道の状況	消防・救急体制
	5.45	4.90	4.80	4.70	4.60
H 24	保健サービス提供体制	消防・救急体制	医療体制	高齢者支援体制	学校教育環境
	5.72	5.32	5.21	4.90	4.48
H 22	上水道の状況	ごみ処理・リサイクル等の状況	医療体制	保健サービス提供体制	高齢者支援体制
	5.52	5.51	5.14	4.65	4.64

<本城地区>

評価点が最も高い施策は、「医療体制の状況」(4.50)となっており、次いで、「高齢者支援体制の状況」(4.18)、「保健サービス提供体制の状況」(4.17)、「道路の整備状況」(3.80)、「上水道の状況」(3.75)となっています。

評価点（重要度）上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R 4	医療体制の状況 5.38	保健サービス提供体制の状況 4.73	消防・救急体制の状況 4.51	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.17	道路の整備状況 4.15
地区 R 4	医療体制の状況 4.50	高齢者支援体制の状況 4.18	保健サービス提供体制の状況 4.17	道路の整備状況 3.80	上水道の状況 3.75
R 2	医療体制の状況 5.56	防災体制の状況 5.16	道路の整備状況 5.08	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.08	上水道の状況 4.92
H 30	医療体制 5.48	消防・救急体制 5.17	保健サービス提供体制 4.76	上水道の状況 4.75	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.67
H 28	医療体制 5.59	保健サービス提供体制 5.44	消防・救急体制 4.85	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.69	防災体制 4.26
H 26	医療体制／消防・救急体制 5.00		防災体制 4.85	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.77	上水道の状況 4.38
H 24	医療体制 6.42	保健サービス提供体制 5.92	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.83	道路の整備状況 5.82	生活排水処理の状況 5.45
H 22	医療体制 7.77	高齢者支援体制 7.17	保健サービス提供体制 6.91	防災体制 6.67	雇用対策の状況 6.06

<都井地区>

評価点が最も高い施策は、「医療体制の状況」(5.38)となっており、次いで、「消防・救急体制の状況」「防災体制の状況」(5.00)、「景観の状況」(4.44)、「保健サービス提供体制の状況」(4.23)となっています。

評価点（重要度）上位5項目

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R 4	医療体制の状況 5.38	保健サービス提供体制の状況 4.73	消防・救急体制の状況 4.51	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.17	道路の整備状況 4.15
地区 R 4	医療体制の状況 5.38	消防・救急体制の状況／防災体制の状況 5.00		景観の状況 4.44	保健サービス提供体制の状況 4.23
R 2	医療体制の状況 5.86	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.00	防災体制の状況 4.83	道路の整備状況 4.68	保健サービス提供体制の状況 4.48
H 30	保健サービス提供体制 4.87	消防・救急体制 4.49	医療体制 4.36	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.21	防災体制 4.19
H 28	ごみ処理・リサイクル等の状況/保健サービス提供体制／消防・救急体制 5.22			医療体制／高齢者支援体制 4.79	
H 26	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.51	消防・救急体制 4.88	上水道の状況 4.87	保健サービス提供体制 4.76	雇用対策の状況 4.36
H 24	上水道の状況 7.31	防災体制 7.29	保健サービス提供体制／消防・救急体制 7.08		医療体制 6.88
H 22	観光振興の状況 5.69	医療体制 5.52	保健サービス提供体制／工業振興の状況 5.34		消防・救急体制／ごみ処理・リサイクル等の状況 5.17

<市木地区>

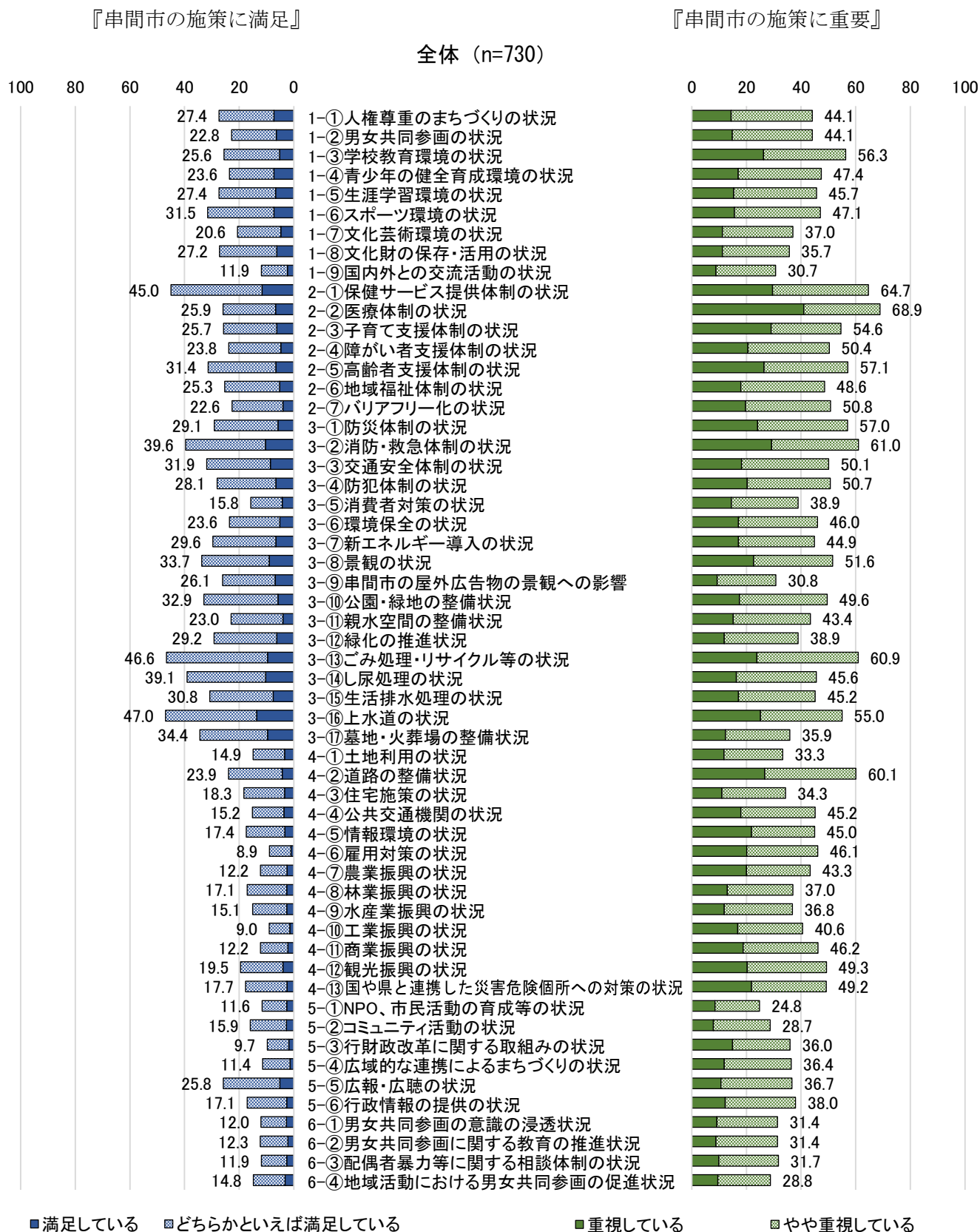
評価点が最も高い施策は、「医療体制の状況」(6.50)となっており、次いで、「道路の整備状況」(5.34)、「国や県と連携した災害危険個所への対策の状況」(5.19)、「ごみ処理・リサイクル等の状況」「保健サービス提供体制の状況」(5.00)となっています。

評価点（重要度）上位5項目

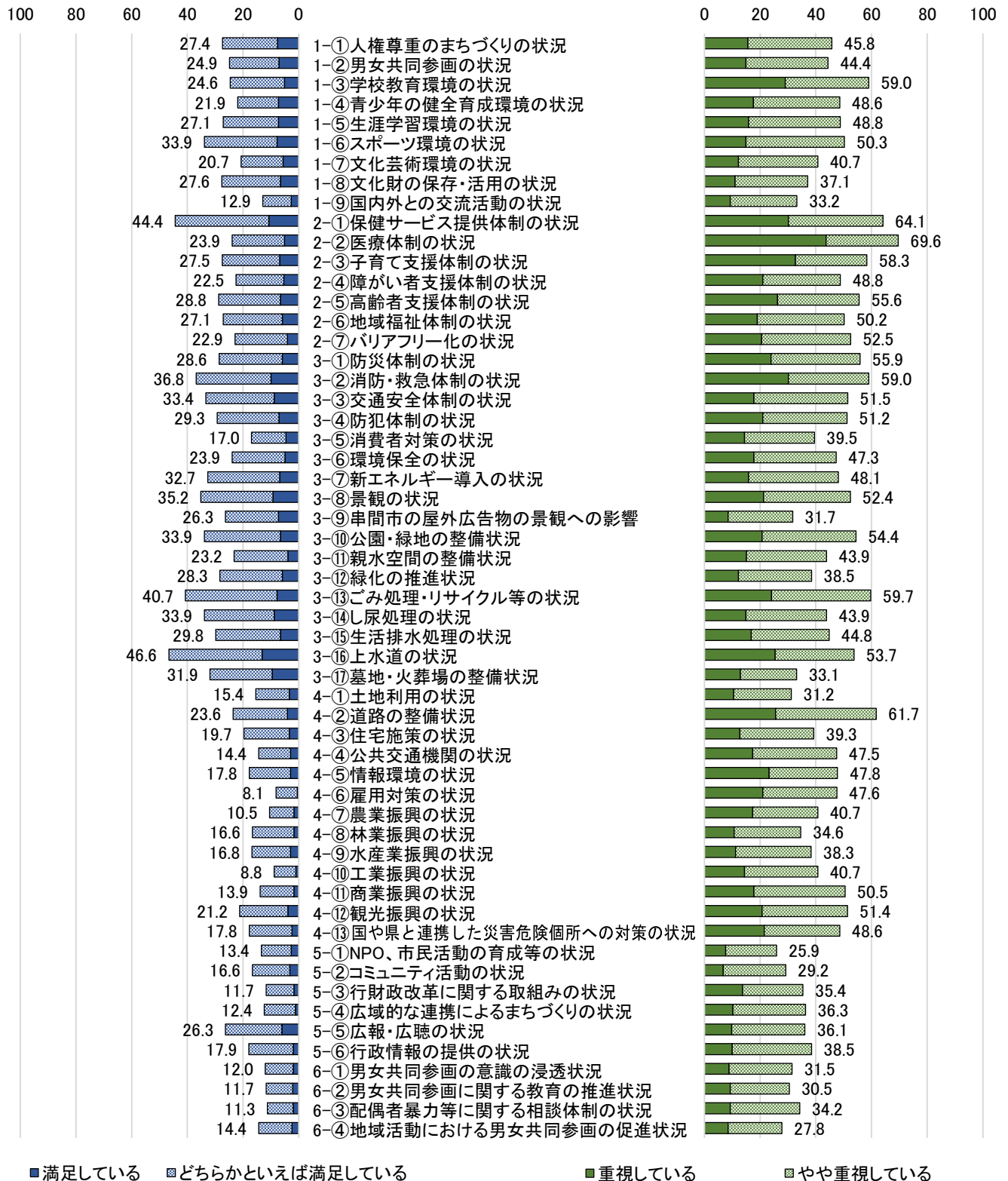
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 R 4	医療体制の状況 5.38	保健サービス提供体制の状況 4.73	消防・救急体制の状況 4.51	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.17	道路の整備状況 4.15
地区 R 4	医療体制の状況 6.50	道路の整備状況 5.34	国や県と連携した災害危険個所への対策の状況 5.19	ごみ処理・リサイクル等の状況／保健サービス提供体制の状況 5.00	
R 2	防災体制の状況 7.37	道路の整備状況 7.35	保健サービス提供体制の状況 6.84	医療体制の状況 6.32	消防・救急体制の状況 6.11
H 30	医療体制／消防・救急体制 5.38		道路の整備状況 5.26	学校教育環境 4.74	防災体制 4.63
H 28	消防・救急体制 6.13	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.95	医療体制 5.90	防災体制 5.88	道路の整備状況 5.00
H 26	防災体制／消防・救急体制 5.15		ごみ処理・リサイクル等の状況 4.85	親水空間の整備状況 4.56	道路の整備状況 4.26
H 24	保健サービス提供体制 4.83	道路の整備状況 4.82	し尿処理の状況 4.48	ごみ処理・リサイクル等の状況 4.46	防災体制 4.14
H 22	ごみ処理・リサイクル等の状況 5.76	道路の整備状況／上水道の状況 5.47		医療体制 5.15	親水空間の整備状況 5.00

(3) 満足度と重要度の相関

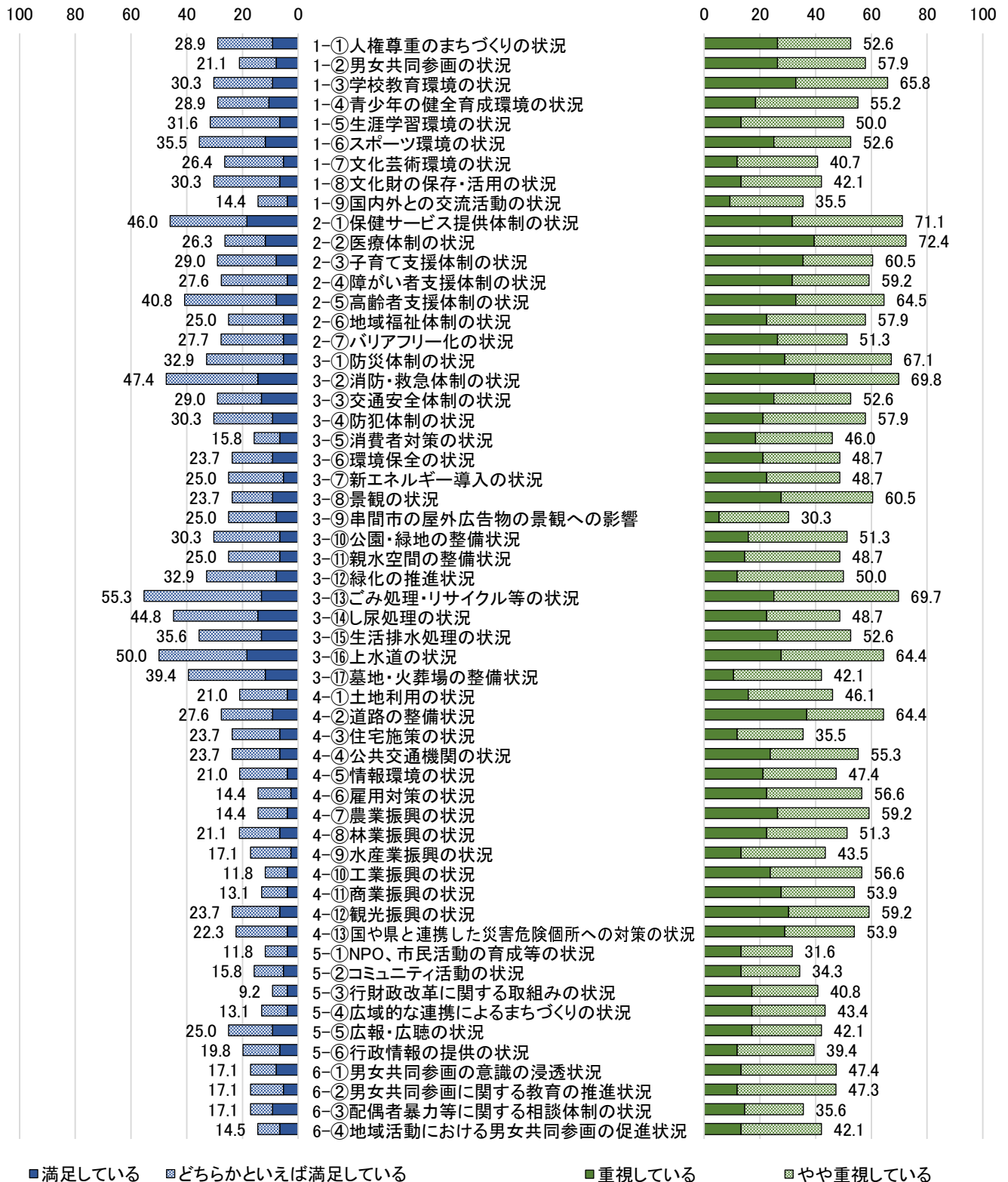
「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『串間市の施策に満足』と「重視している」と「やや重視している」を合わせた『串間市の施策に重要』をグラフ化しました。



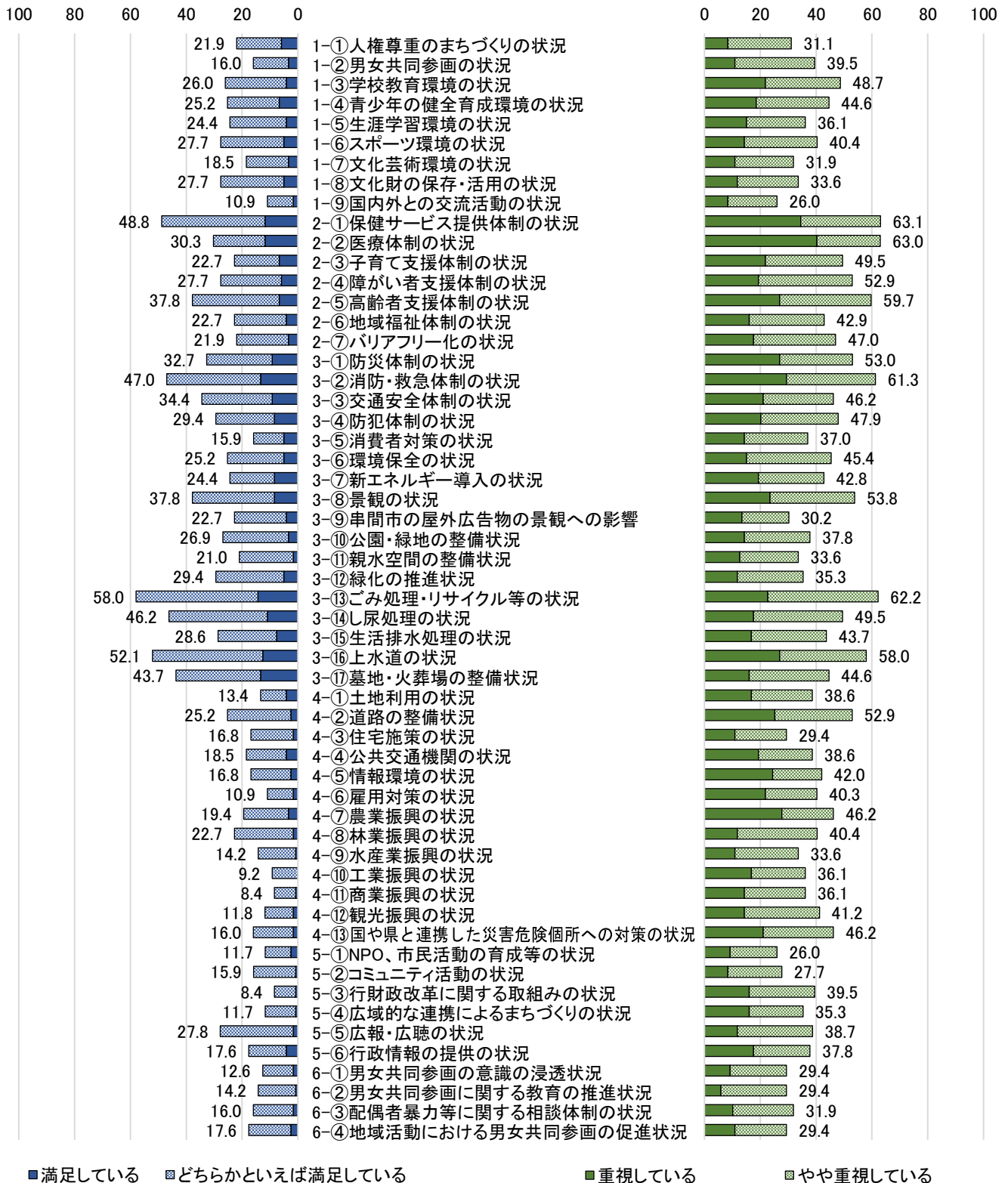
福島地区 (n=410)



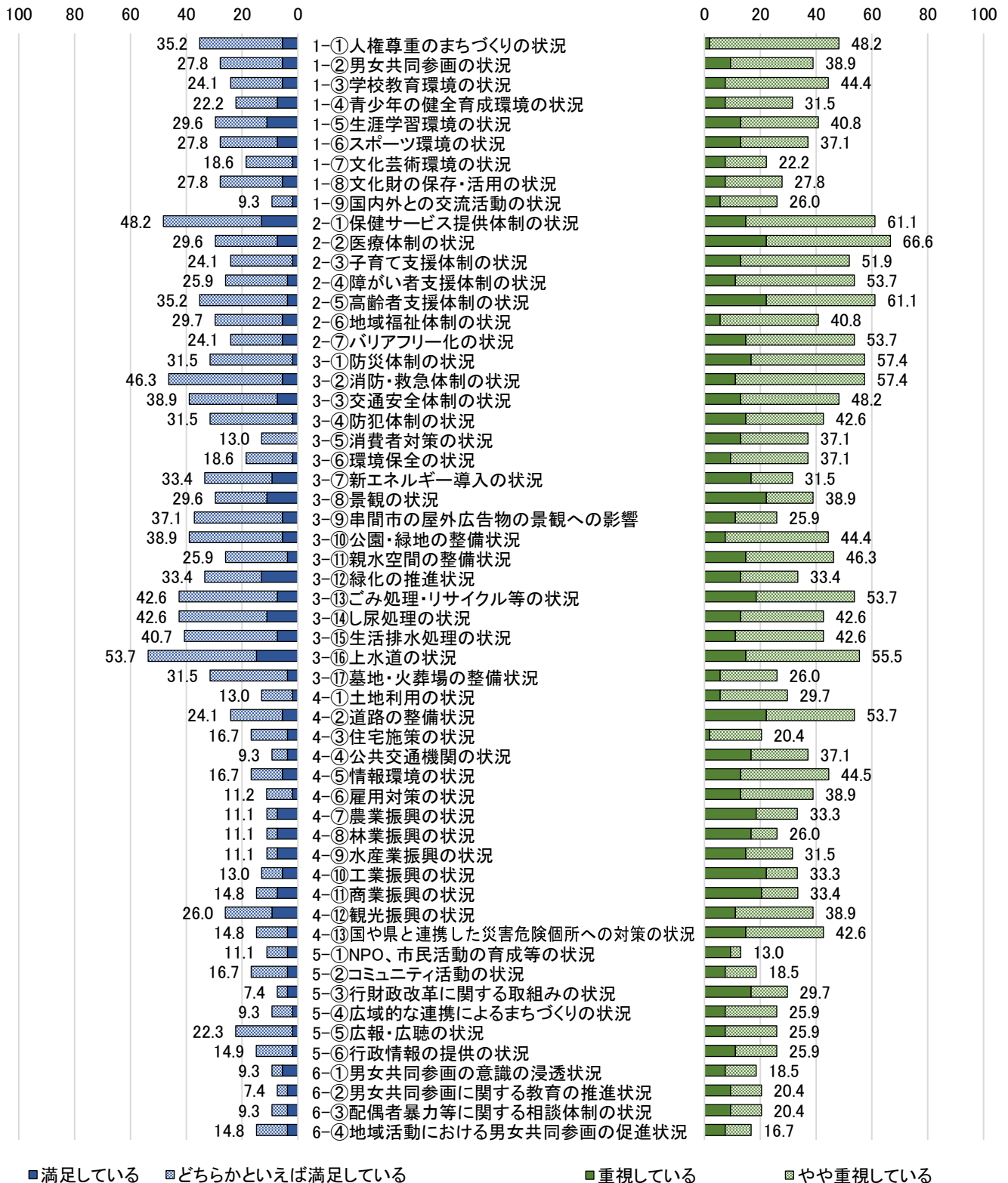
北方地区（n=76）



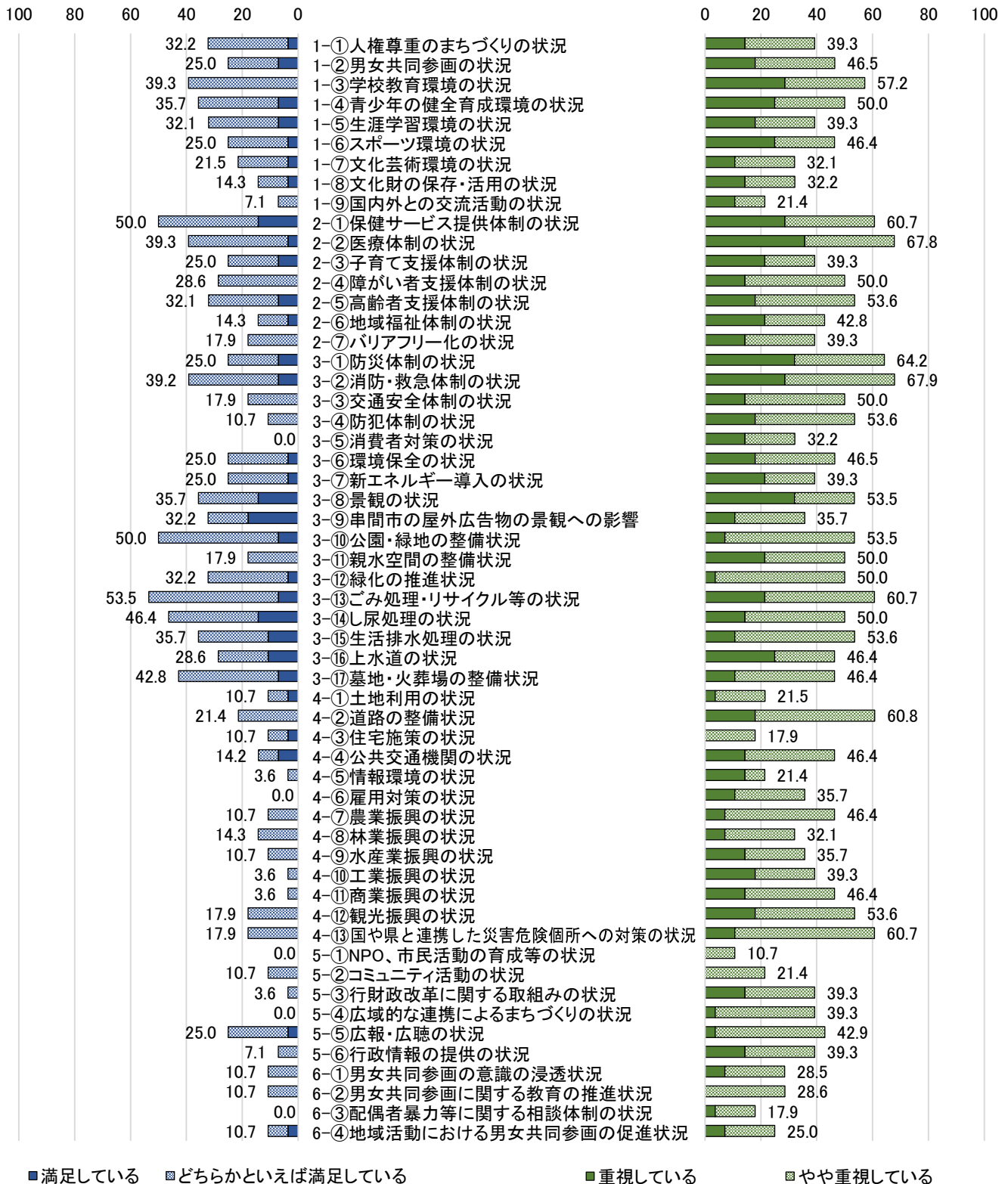
大東地区 (n=119)



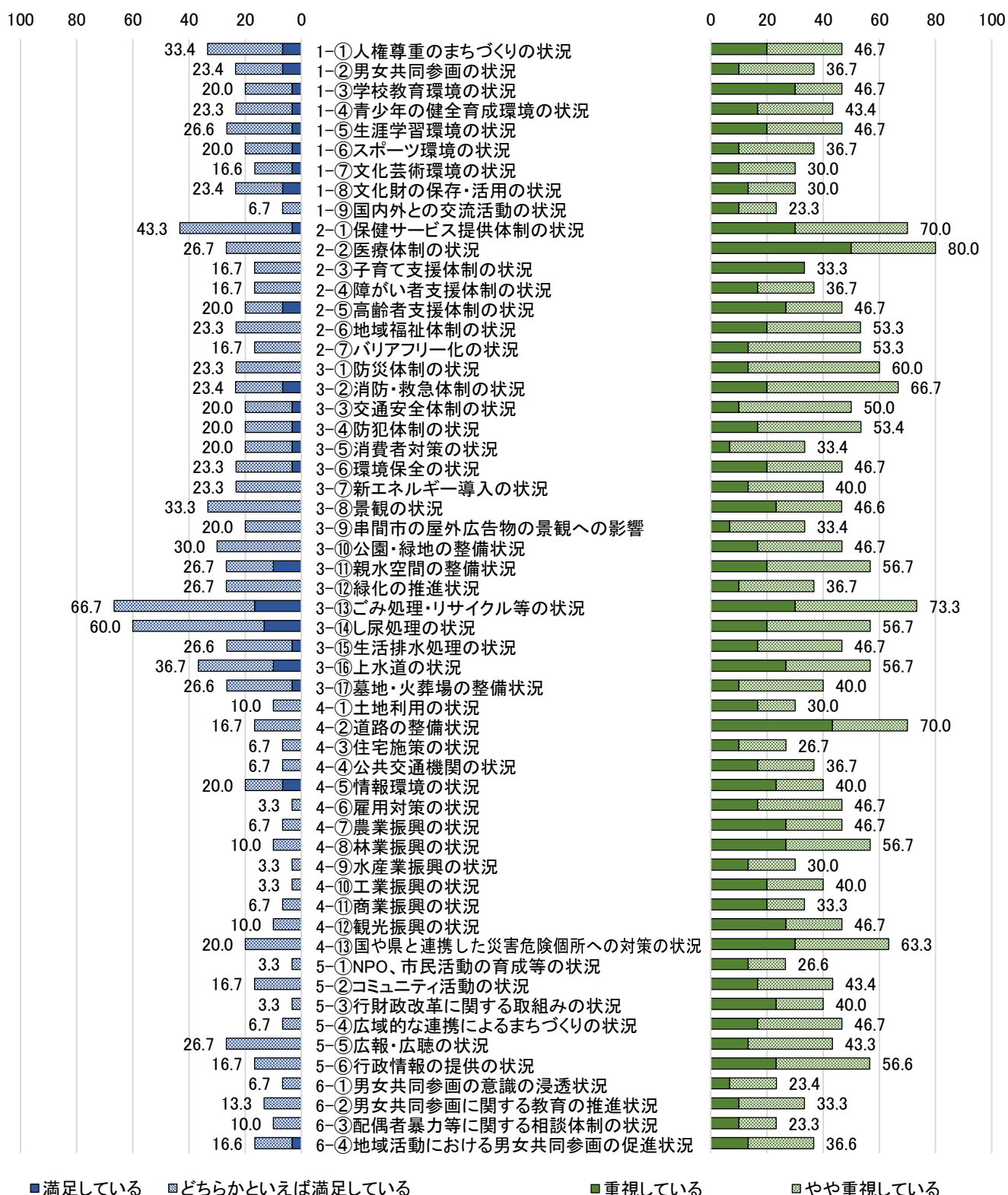
本城地区 (n=54)



都井地区 (n=28)



市木地区 (n=30)



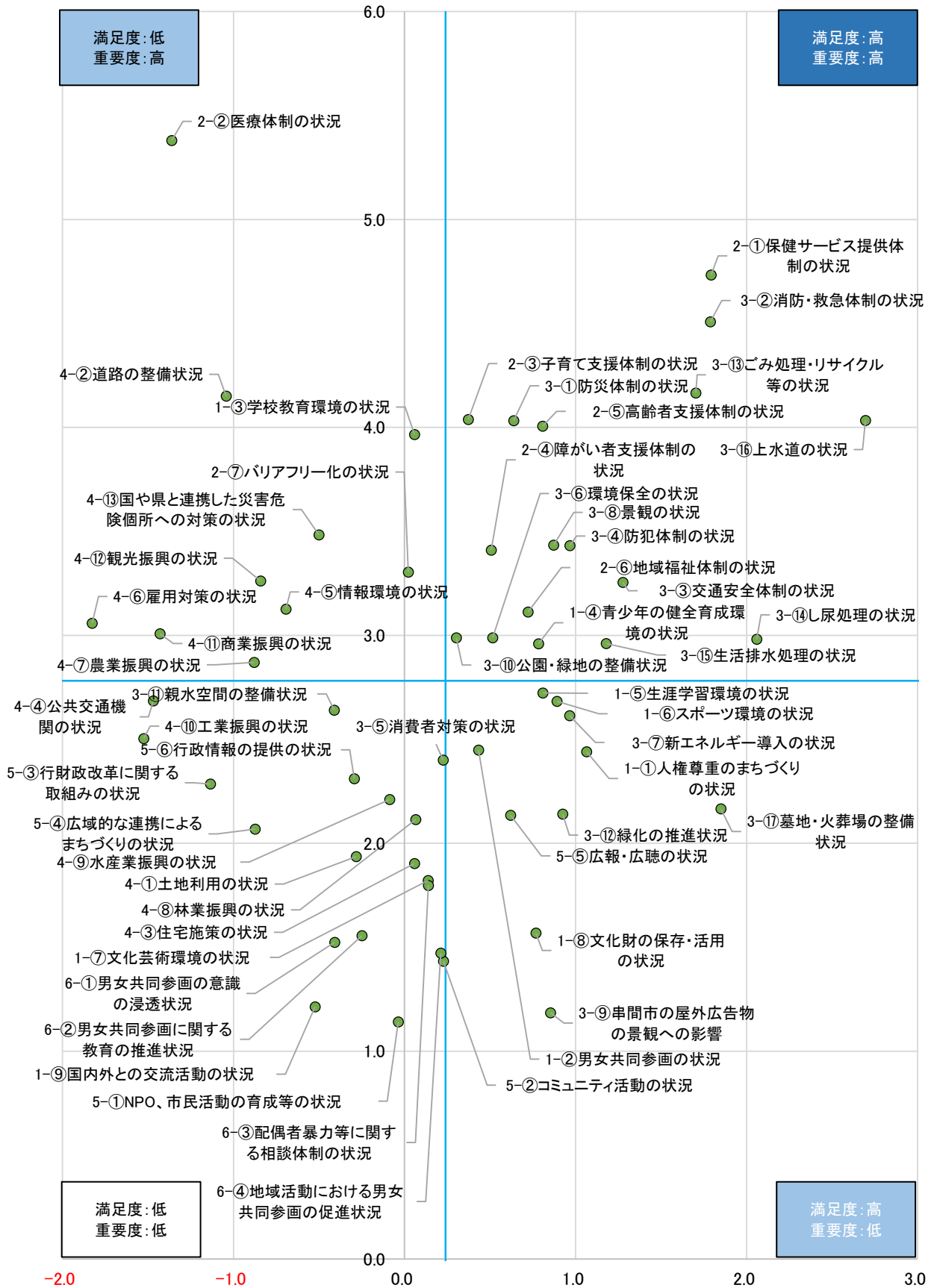
満足度と重要度の相関（評価点）

満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、散布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて 56 項目の評価点の平均を算出し、グラフ上にラインを引くと 4 つのエリアに分類されます。

『満足度が低く重要度が高い（優先して積極的な対応が求められる）』は、以下の 10 項目となります。

- 1 人権・教育・文化分野
 - ③学校教育環境の状況
- 2 保健・医療・福祉分野
 - ②医療体制の状況
 - ⑦バリアフリー化の状況
- 4 生活基盤・産業分野
 - ②道路の整備状況
 - ⑤情報環境の状況
 - ⑥雇用対策の状況
 - ⑦農業振興の状況
 - ⑪商業振興の状況
 - ⑫観光振興の状況
 - ⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況

満足度と重要度の相関（評価点）



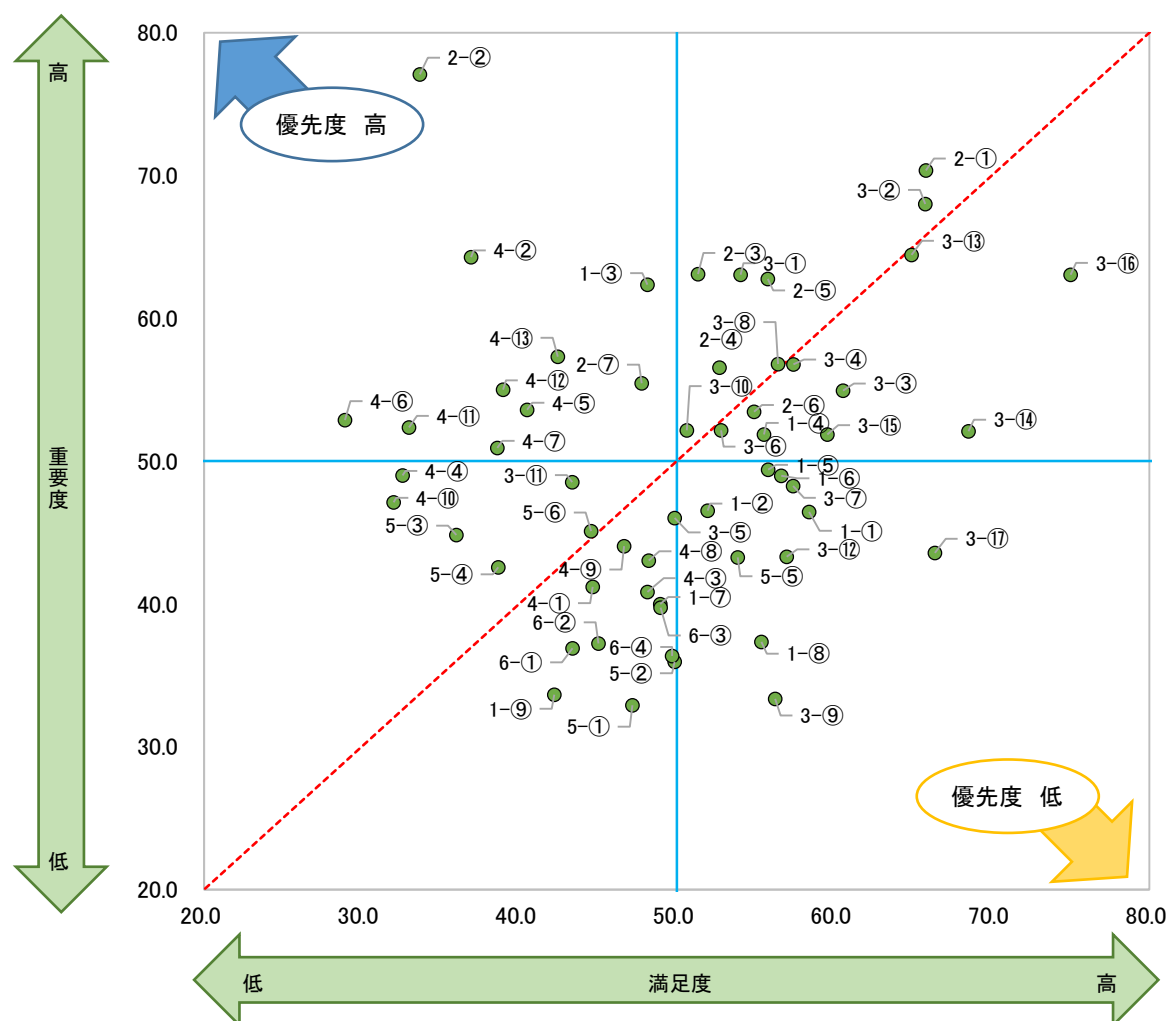
(4) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度が最も高い項目は「医療体制の状況」、次いで、「観光振興の状況」、「道路の整備状況」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、前ページの評価点から偏差値を算出し、散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。さらに、偏差値を数量化し優先度を算出しました。（次ページ【※優先度の算出方法】参照）

この結果をみると、優先度は、「医療体制の状況」（26.71）が第1位となっており、次いで、「道路の整備状況」（18.80）、「雇用対策の状況」（12.47）、「国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況」（10.41）「商業振興の状況」（10.09）となっています。

満足度と重要度の相関（偏差値）

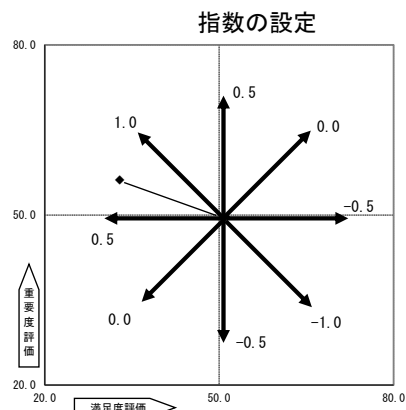
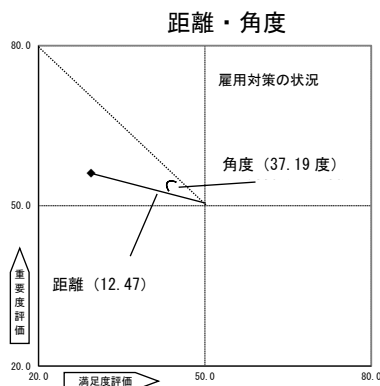


満足度と重要度の相関（優先度）

1-①人権尊重のまちづくりの状況	-6.88		3-⑬ごみ処理・リサイクル等の状況	-0.21	
1-②男女共同参画の状況	-3.30		3-⑭し尿処理の状況	-7.99	
1-③学校教育環境の状況	7.43	第8位	3-⑮生活排水処理の状況	-3.68	
1-④青少年の健全育成環境の状況	-1.72		3-⑯上水道の状況	-5.46	
1-⑤生涯学習環境の状況	-3.30		3-⑰墓地・火葬場の整備状況	-12.99	
1-⑥スポーツ環境の状況	-4.02		4-①土地利用の状況	-1.58	
1-⑦文化芸術環境の状況	-4.37		4-②道路の整備状況	18.80	第2位
1-⑧文化遺産の保存・活用状況	-10.39		4-③住宅施策の状況	-3.49	
1-⑨国内外との交流活動の状況	-3.94		4-④公共交通機関の状況	8.07	第7位
2-①保健サービス提供体制の状況	2.05		4-⑤情報環境	7.42	第9位
2-②医療体制の状況	26.71	第1位	4-⑥雇用対策の状況	12.47	第3位
2-③子育て支援体制の状況	5.73		4-⑦農業振興の状況	6.30	
2-④障害者支援体制の状況	1.77		4-⑧林業振興の状況	-2.45	
2-⑤高齢者支援体制の状況	3.22		4-⑨水産業振興の状況	-1.19	
2-⑥地域福祉体制の状況	-0.66		4-⑩工業振興の状況	7.25	第10位
2-⑦バリアフリー化の状況	4.39		4-⑪商業振興の状況	10.09	第5位
3-①防災体制の状況	4.21		4-⑫観光振興の状況	9.34	第6位
3-②消防・救急体制の状況	1.00		4-⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況	10.41	第4位
3-③交通安全体制の状況	-2.58		5-①NPO、市民活動の育成状況	-6.86	
3-④防犯体制の状況	-0.28		5-②コミュニティ活動の状況	-6.94	
3-⑤消費者対策の状況	-1.90		5-③行財政改革に関する取組みの状況	4.10	
3-⑥環境保全の状況	-0.29		5-④広域的な連携の状況	1.77	
3-⑦新エネルギー導入の状況	-4.92		5-⑤広報・広聴の状況	-6.46	
3-⑧景観の状況	0.16		5-⑥行政情報の提供の状況	0.24	
3-⑨串間市の屋外広告物の景観への影響	-12.96		6-①男女共同参画の意識の浸透状況	-2.98	
3-⑩公園・緑地の整備状況	0.71		6-②男女共同参画に関する教育の推進状況	-3.61	
3-⑪親水空間の整備状況	2.45		6-③配偶者暴力等に関する相談体制の状況	-4.50	
3-⑫緑化の推進状況	-9.53		6-④地域活動における男女共同参画の推進状況	-6.64	

※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「雇用対策の状況」→満足度偏差値 28.951…、重要度偏差値 52.885…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「雇用対策の状況」→ $21.246\cdots = \sqrt{(28.951-50)^2 + (52.885-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「雇用対策の状況」→37.195度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「雇用対策の状況」→ $0.58672 = (90-37.195) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「雇用対策の状況」→ $12.47 = 21.246\cdots \times 5867.2\cdots$



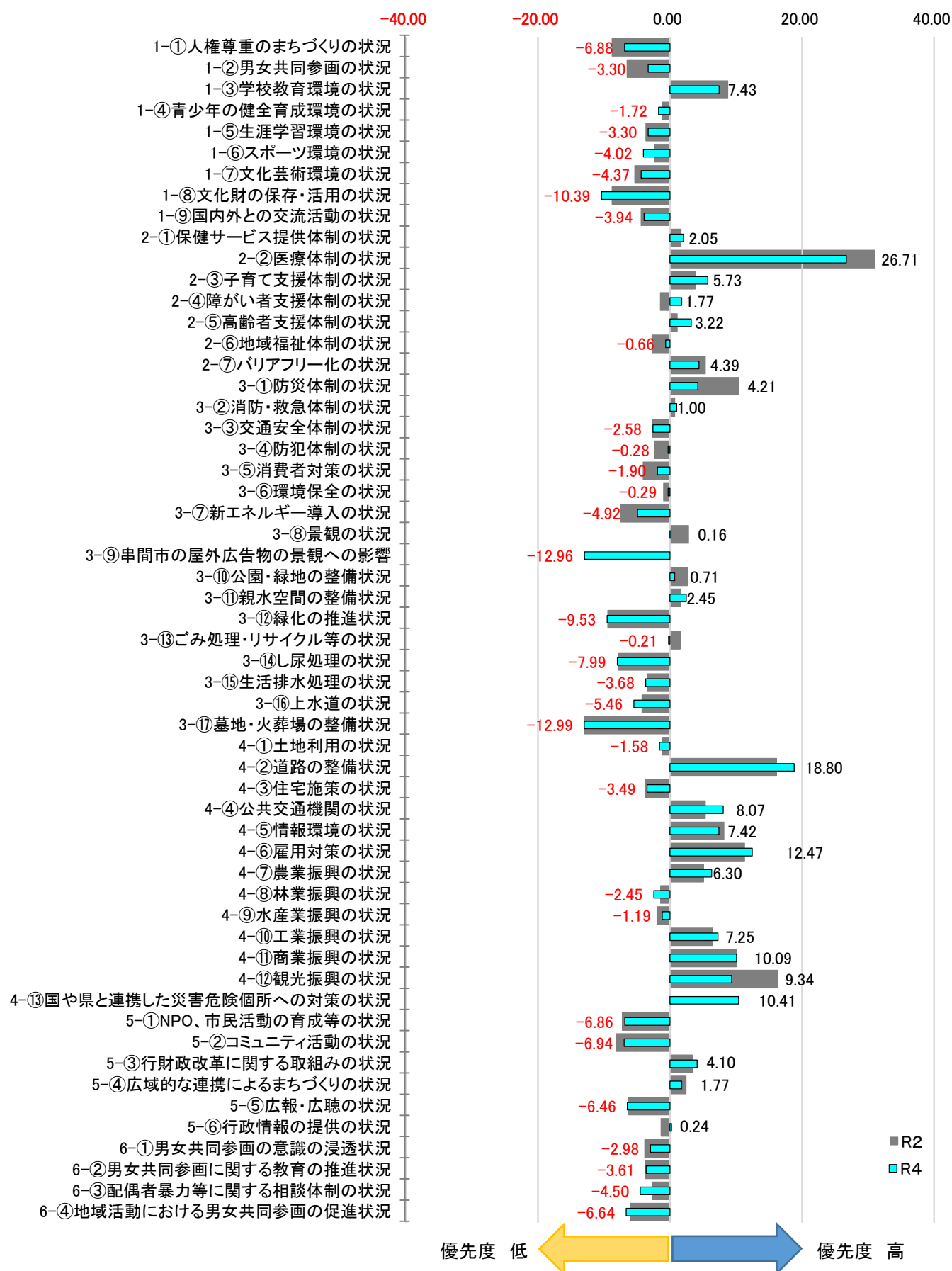
優先度の推移（優先度の高い施策）

		H22 年	H24 年	H26 年	H28 年	H30 年	R 2 年	R 4 年
優先度高い	第 1 位	4-⑥雇用対策の状況	4-⑥雇用対策の状況	2-②医療体制	4-⑫観光振興の状況	2-②医療体制	2-②医療体制の状況	2-②医療体制の状況
		20.70	18.18	19.03	19.02	19.81	31.05	26.71
	第 2 位	4-⑫観光振興の状況	4-②道路の整備状況	4-⑥雇用対策の状況	2-②医療体制	4-⑫観光振興の状況	4-⑫観光振興の状況	4-②道路の整備状況
		16.44	16.38	16.88	17.77	18.09	16.30	18.80
	第 3 位	2-②医療体制	4-⑫観光振興の状況	4-⑫観光振興の状況	4-⑥雇用対策の状況	4-②道路の整備の状況	4-②道路の整備状況	4-⑥雇用対策の状況
		15.59	16.24	14.90	15.17	17.48	16.12	12.47
	第 4 位	4-⑩工業振興の状況	2-②医療体制	4-⑪商業振興の状況	4-②道路の整備状況	4-⑥雇用対策の状況	4-⑥雇用対策の状況	4-⑬国や県と連携した災害危険箇所への対策の状況
		14.67	13.16	14.02	14.75	12.81	11.29	10.41
	第 5 位	4-②道路の整備状況	3-①防災体制	4-②道路の整備状況	4-⑪商業振興の状況	4-⑩工業振興の状況	3-①防災体制の状況	4-⑪商業振興の状況
		12.17	12.84	13.87	11.54	11.76	10.41	10.09
	第 6 位	4-⑪商業振興の状況	4-⑩工業振興の状況	4-⑩工業振興の状況	4-⑩工業振興の状況	4-⑪商業振興の状況	4-⑪商業振興の状況	4-⑫観光振興の状況
		11.00	12.14	13.06	9.87	11.48	10.06	9.34
	第 7 位	4-⑦農業振興の状況	3-⑦新エネルギー導入の状況	3-①防災体制	3-①防災体制	4-④公共交通機関の状況	1-③学校教育環境の状況	4-④公共交通機関の状況
		10.99	11.94	10.19	9.66	8.89	8.76	8.07
	第 8 位	1-③学校教育環境	4-⑪商業振興の状況	4-⑦農業振興の状況	3-⑧景観の状況	3-⑧景観の状況	4-⑤情報環境の状況	1-③学校教育環境の状況
		4.82	11.65	8.86	8.40	7.89	8.17	7.43
	第 9 位	3-⑧景観の状況	3-⑧景観の状況	3-⑧景観の状況	4-⑦農業振興の状況	3-①防災体制	4-⑩工業振興の状況	4-⑤情報環境の状況
		4.44	6.31	6.75	8.37	7.84	6.43	7.42
	第 10 位	5-③行財政改革に関する取組みの状況	4-⑦農業振興の状況	1-③学校教育環境	1-③学校教育環境	1-③学校教育環境	4-④公共交通機関の状況	4-⑩工業振興の状況
		4.12	6.18	6.34	6.66	7.66	5.36	7.25

優先度の推移（優先度の低い施策）

		H22 年	H24 年	H26 年	H28 年	H30 年	R 2 年	R 4 年
優先度低い	第 1 位	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑯墓地・火葬場の整備状況	3-⑰墓地・火葬場の整備状況
		-18.61	-11.26	-16.87	-13.62	-9.69	-12.34	-12.99
	第 2 位	1-⑨国内外との交流活動の状況	1-⑨国内外との交流活動の状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況	1-①人権尊重のまちづくりの状況	5-①NPO、市民活動の育成の状況	1-①人権尊重のまちづくりの状況	3-⑨串間市の屋外広告物の景観への影響
		-11.92	-10.73	-8.48	-9.30	-9.12	-8.77	-12.96
	第 3 位	5-②コミュニティ活動の状況	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	1-⑨国内外との交流活動の状況	1-②男女共同参画の状況	5-②コミュニティ活動の状況	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	1-⑧文化財の保存・活用の状況
		-10.47	-9.72	-8.04	-8.93	-8.90	-8.76	-10.39
	第 4 位	5-①NPO、市民活動の育成の状況	1-②男女共同参画の状況	1-①人権尊重のまちづくりの状況	5-⑤広報・広聴の状況	1-②男女共同参画の状況	5-②コミュニティ活動の状況	3-⑫緑化の推進状況
		-9.75	-8.29	-8.03	-8.66	-8.15	-8.12	-9.53
	第 5 位	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	5-②コミュニティ活動の状況	5-①NPO、市民活動の育成の状況	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	3-⑬し尿処理の状況	3-⑭し尿処理の状況
		-9.47	-8.29	-8.02	-7.35	-7.80	-7.74	-7.99
	第 6 位	1-②男女共同参画の状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況	6-①男女共同参画の意識の浸透状況	3-⑪緑化の推進状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況	5-①NPO、市民活動の育成の状況	5-②コミュニティ活動の状況
		-8.38	-8.26	-7.50	-7.15	-7.58	-7.23	-6.94
	第 7 位	1-⑤生涯学習環境	5-①NPO、市民活動の育成の状況	1-⑧文化遺産の保存・活用の状況	5-①NPO、市民活動の育成の状況	3-⑪緑化の推進状況	3-⑦新エネルギー導入の状況	1-①人権尊重のまちづくりの状況
		-6.85	-8.21	-7.22	-6.90	-7.31	-6.74	-6.88
	第 8 位	5-⑤広報・広聴の状況	1-⑤生涯学習環境	5-②コミュニティ活動の状況	1-⑨国内外との交流活動の状況	5-⑤広報・広聴の状況	1-②男女共同参画の状況	5-①NPO、市民活動の育成等の状況
		-6.53	-7.88	-7.04	-6.29	-7.14	-6.50	-6.86
	第 9 位	3-⑪緑化の推進状況	5-⑤広報・広聴の状況	5-⑤広報・広聴の状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況	3-⑦新エネルギー導入の状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況	6-④地域活動における男女共同参画の促進状況
		-6.47	-7.35	-6.86	-6.03	-6.65	-5.99	-6.64
	第 10 位	1-⑦文化芸術環境	6-②男女共同参画に関する教育の推進状況	6-②男女共同参画に関する教育の推進状況	6-①男女共同参画の意識の浸透状況	6-①男女共同参画の意識の浸透状況	1-⑦文化芸術環境の状況	5-⑤広報・広聴の状況
		-6.09	-7.12	-6.74	-5.62	-6.50	-5.35	-6.46

優先度の推移（令和4年・令和2年）



4 あなたの日頃の行動などについて

(1) 週1回以上のスポーツ活動

問4① あなたは、週1回以上、スポーツ活動をしていますか。



- スポーツ活動をしている人は40.7%で、前回より増加。

週1回以上のスポーツ活動については、「している」が40.7%、「していない」が58.5%となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が46.7%、女性が35.8%となっており、男性が10.9ポイント高くなっています。

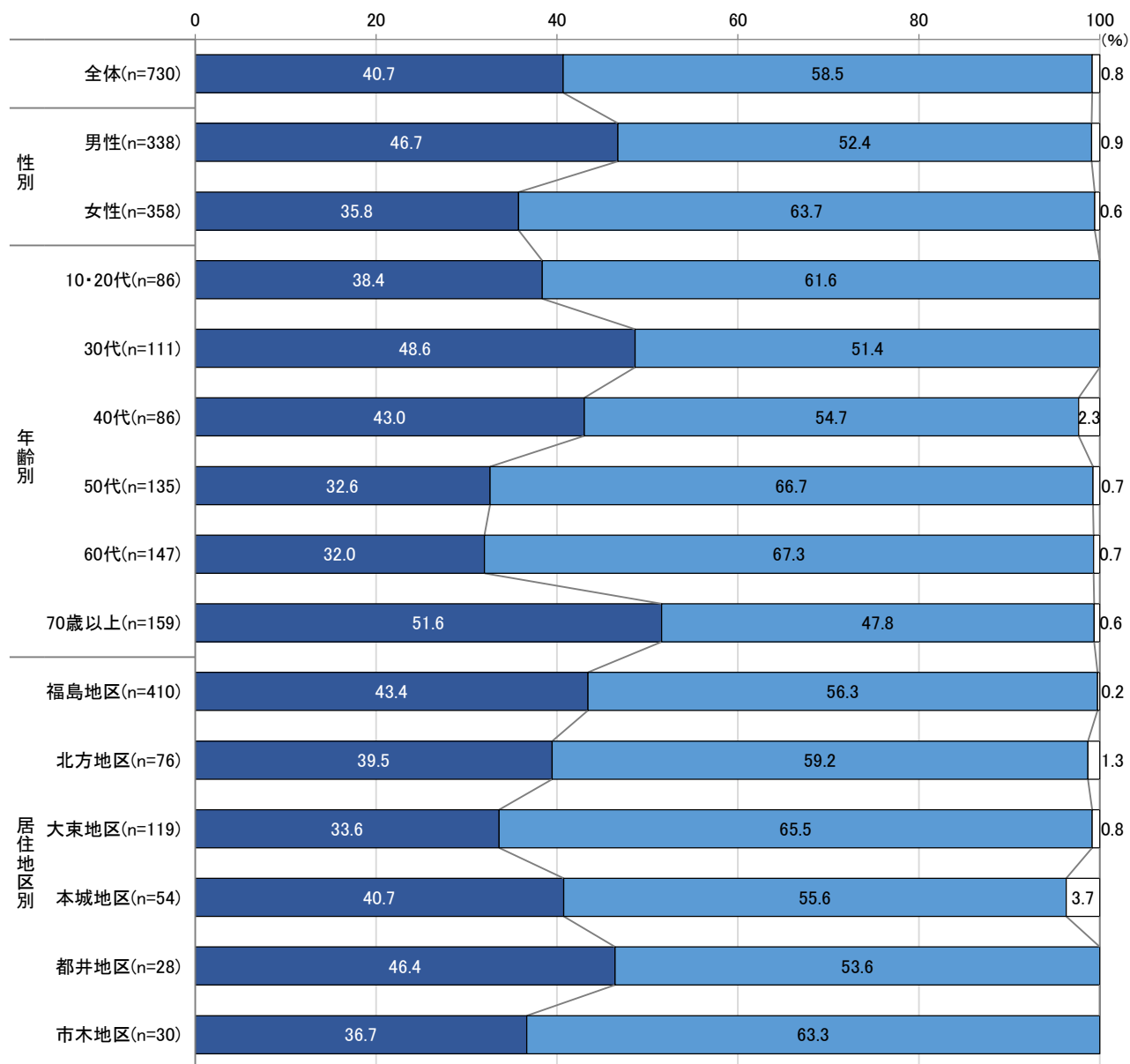
年齢では、70歳以上(51.6%)が最も高く、次いで、30代(48.6%)、40代(43.0%)の順となっており、60代(32.0%)が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区(46.4%)が最も高く、大東地区(33.6%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が15.7ポイント増加、女性が16.6ポイント増加しています。年齢では、全ての年代で増加しています。

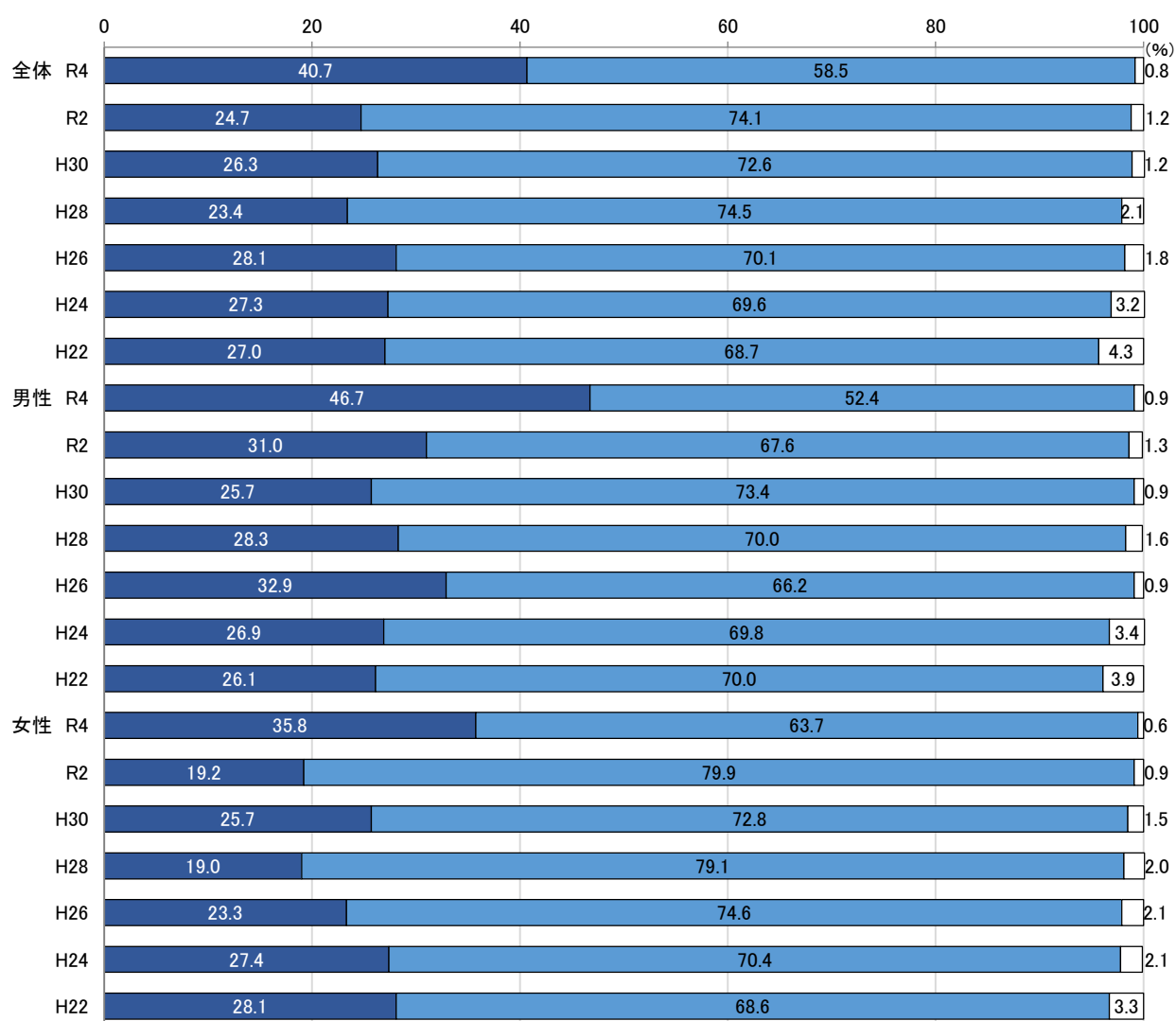
週1回以上のスポーツ活動
(全体・性別・年齢・居住地区)

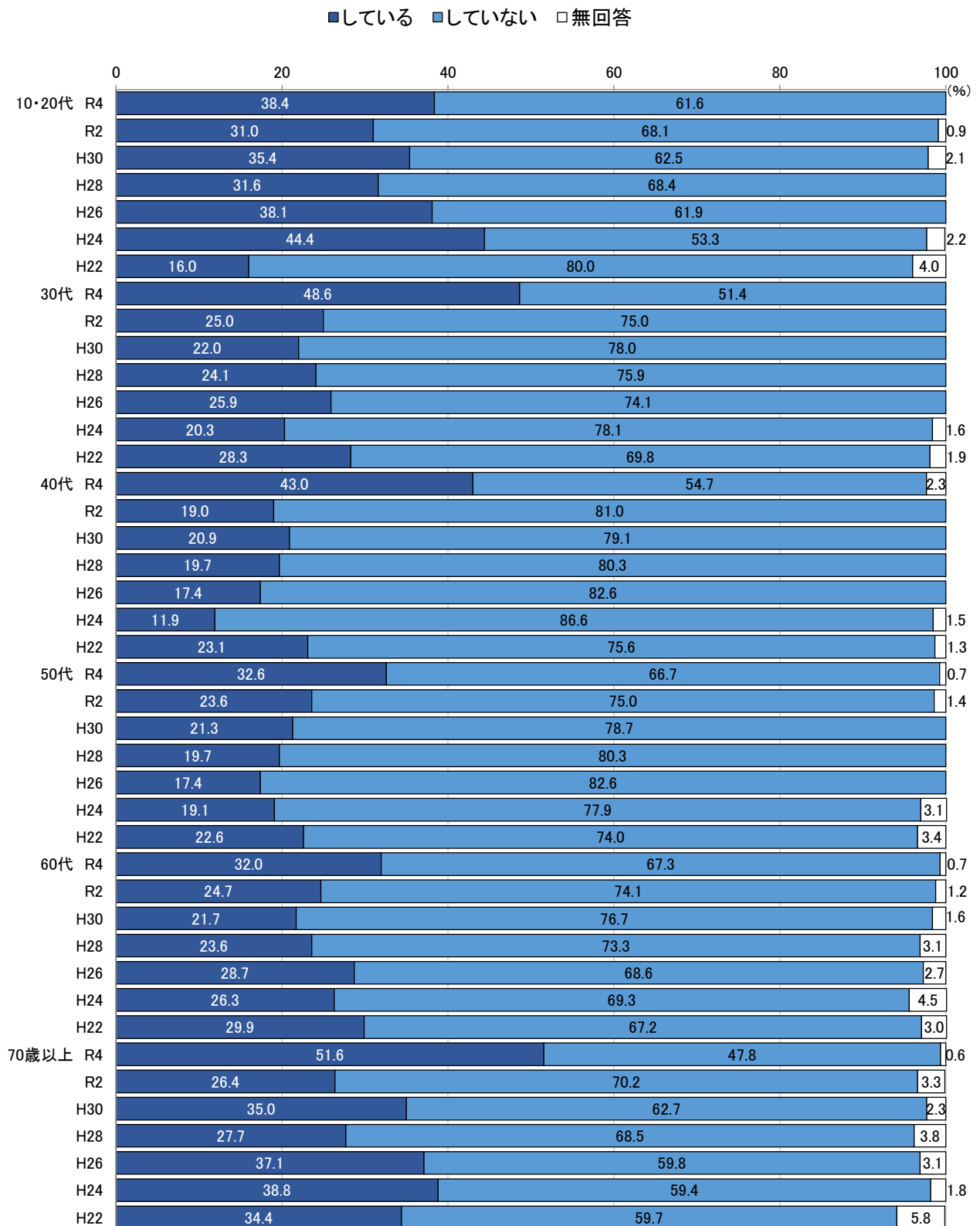
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している □していない □無回答





(2) 健康増進への取組み

問4② あなたは、日頃、健康増進のための取組み（食生活の改善や運動など）をしていますか。



- 健康増進のための取組みをしている人は 54.4%で、前回とほぼ同じ。

健康増進のための取組みについては、「している」が 54.4%、「していない」が 44.7%となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が 57.7%、女性が 52.0%となっており、男性が 5.7 ポイント高くなっています。

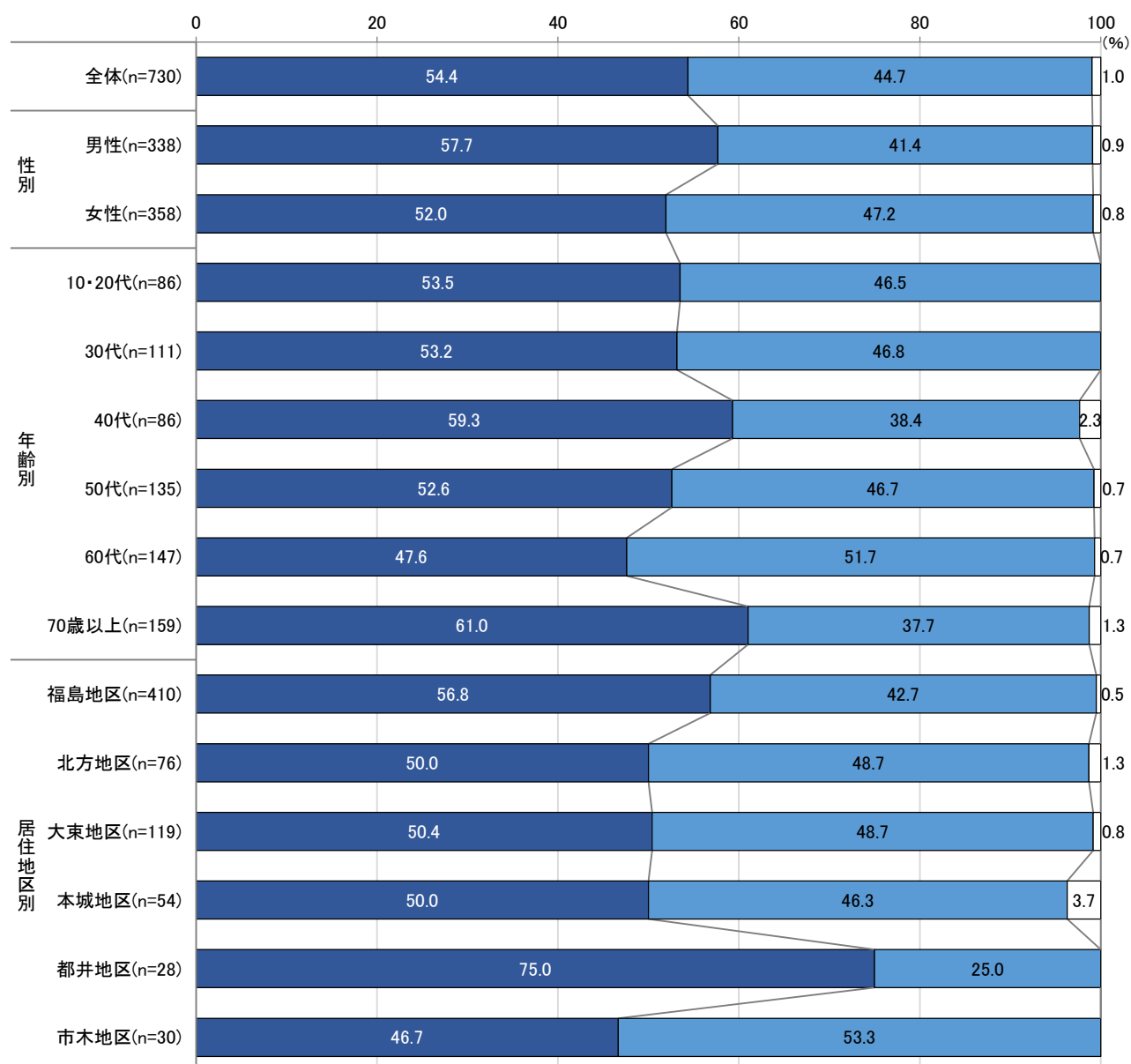
年齢では、70 歳以上 (61.0%) が最も高く、次いで、40 代 (59.3%)、10・20 代 (53.5%) の順となっており、60 代 (47.6%) が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区 (75.0%) が最も高く、市木地区 (46.7%) が最も低くなっています。

令和 2 年と比べると、男性が 4.8 ポイント増加、女性が 3.0 ポイント減少しています。年齢では、40 代、50 代、70 歳以上が増加しています。

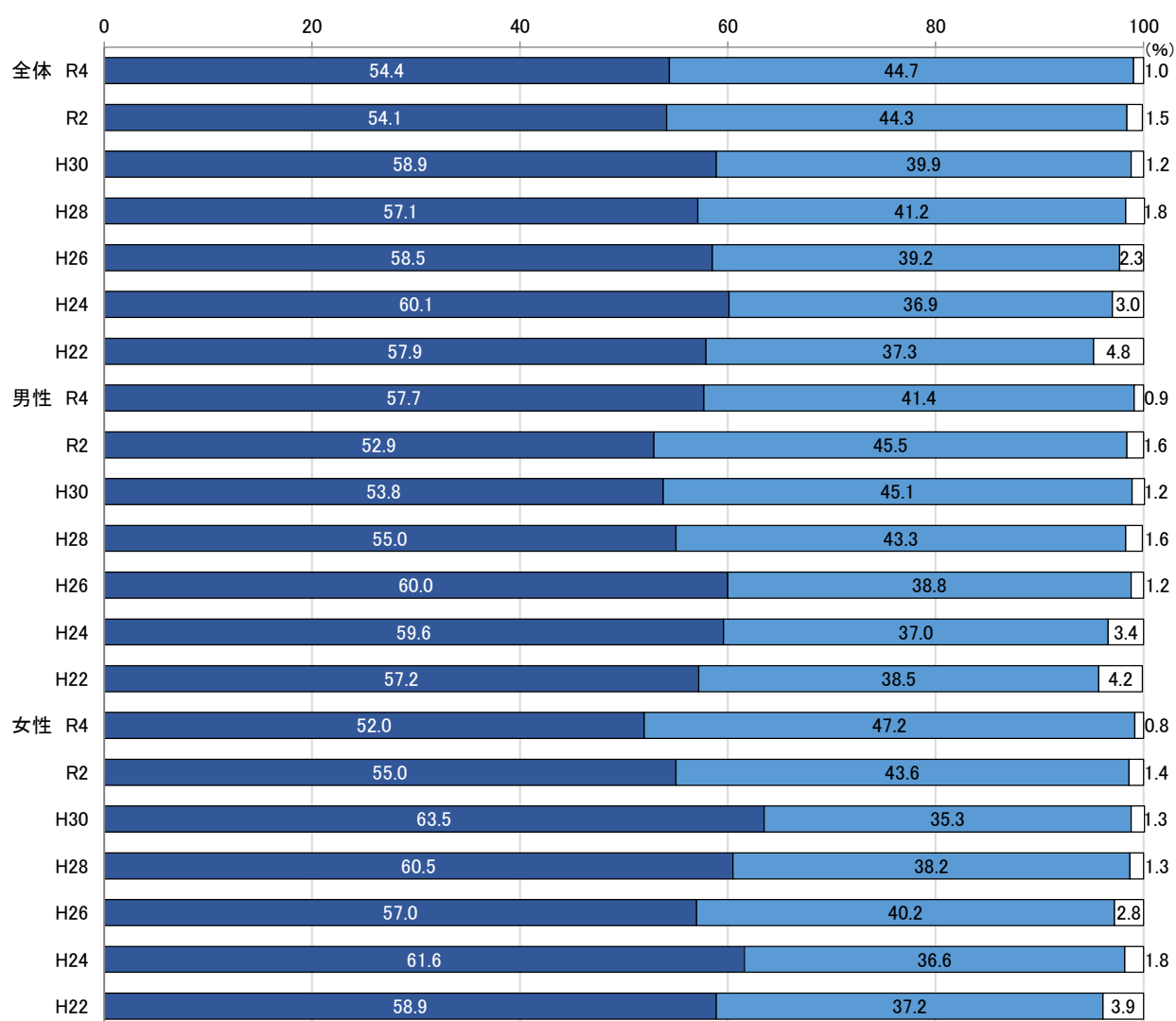
健康増進への取組み
(全体・性別・年齢・居住地区)

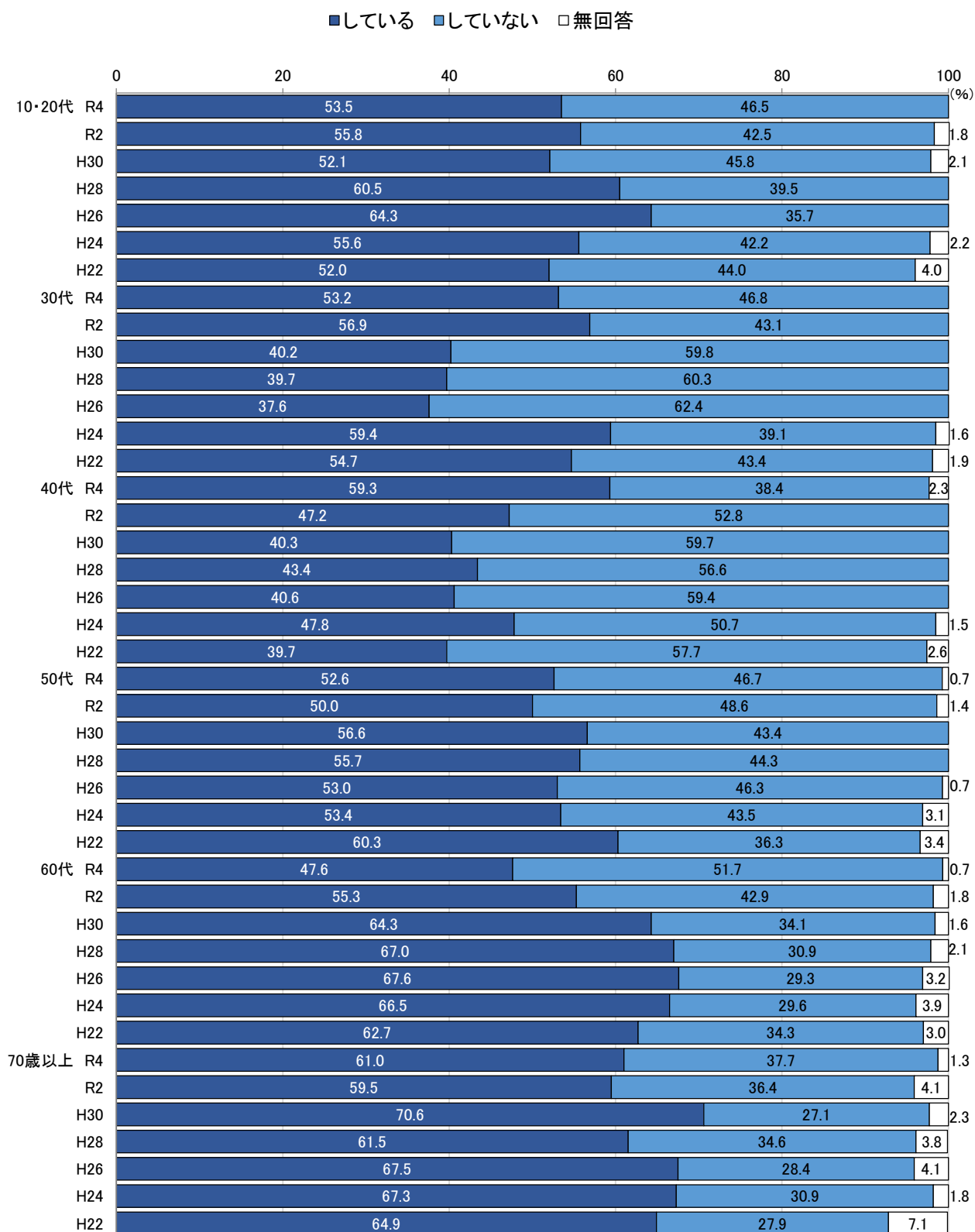
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している □していない □無回答





(3) 地域福祉活動への参加

問4③ あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。



- 地域福祉活動に参加している人は 21.6%で、前回より増加。

地域福祉活動については、「している」人が 21.6%、「していない」人が 77.3%となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が 26.9%、女性が 16.8%となっており、男性が 10.1 ポイント高くなっています。

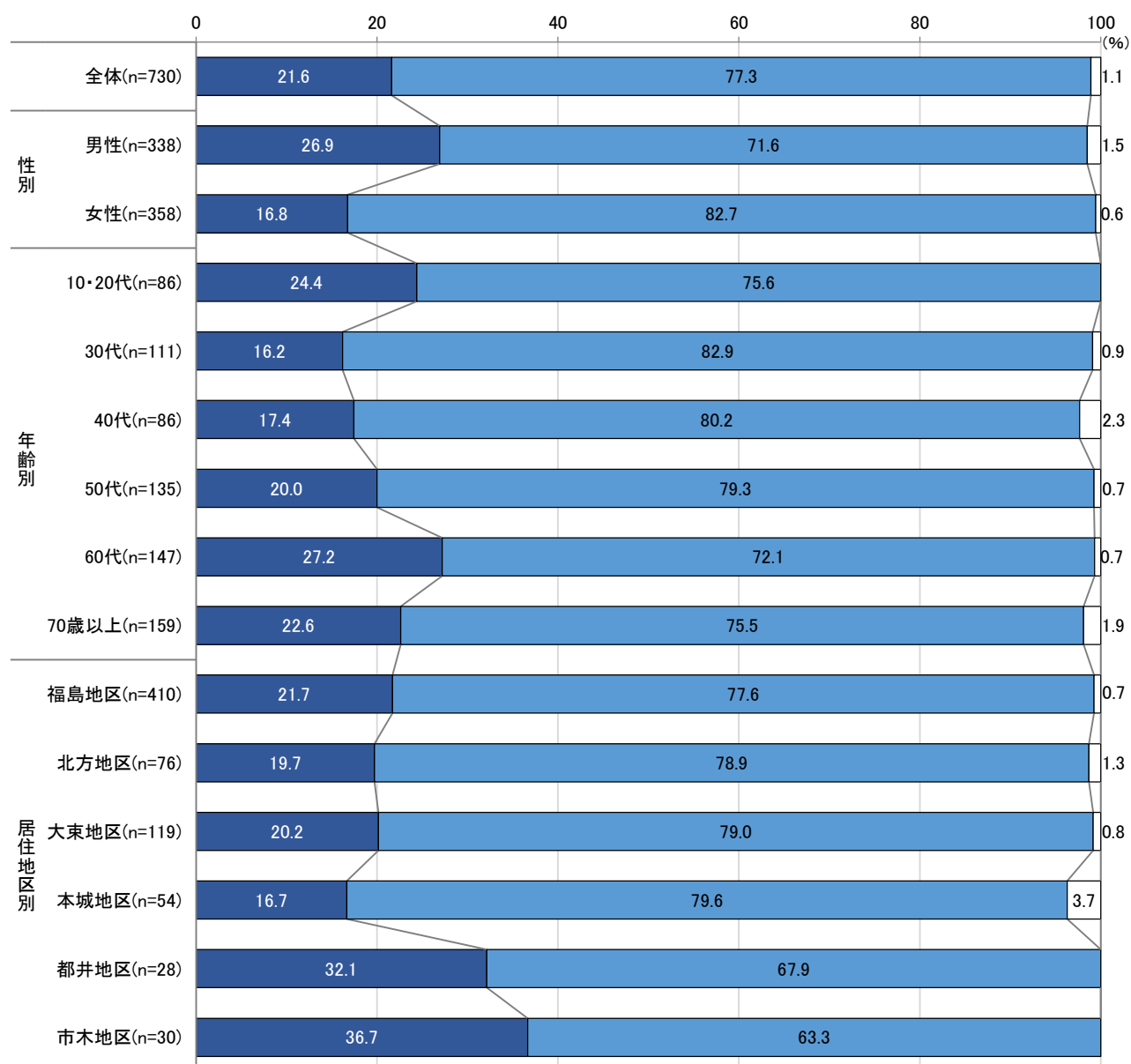
年齢では、60代(27.2%)が最も高く、次いで、10・20代(24.4%)、70歳以上(22.6%)の順となっており、30代(16.2%)が最も低くなっています。

居住地区では、市木地区(36.7%)が最も高く、本城地区(16.7%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が 2.3 ポイント増加、女性が 0.1 ポイント減少しています。年齢では、10・20代、60代が増加しています。

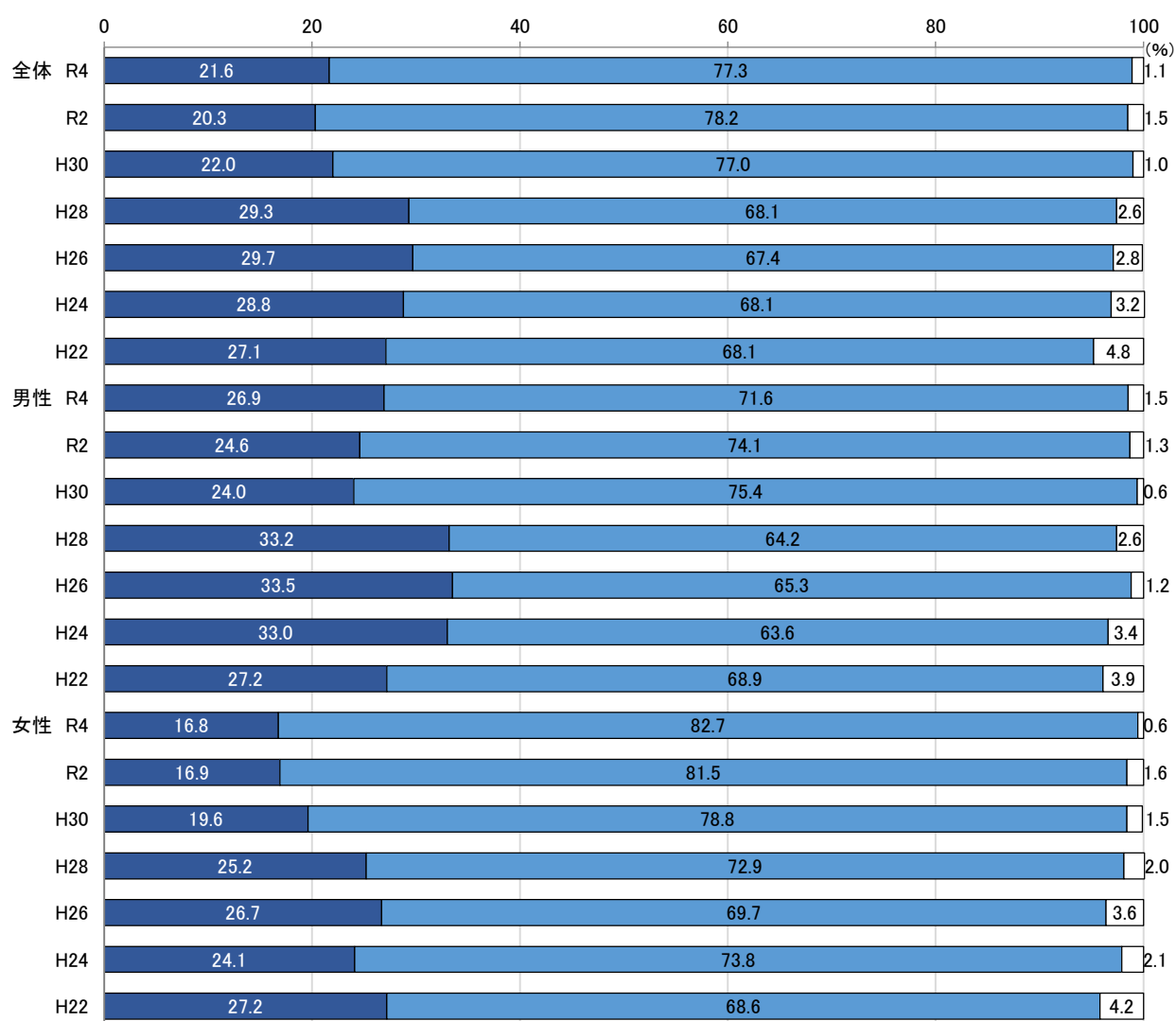
地域福祉活動への参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

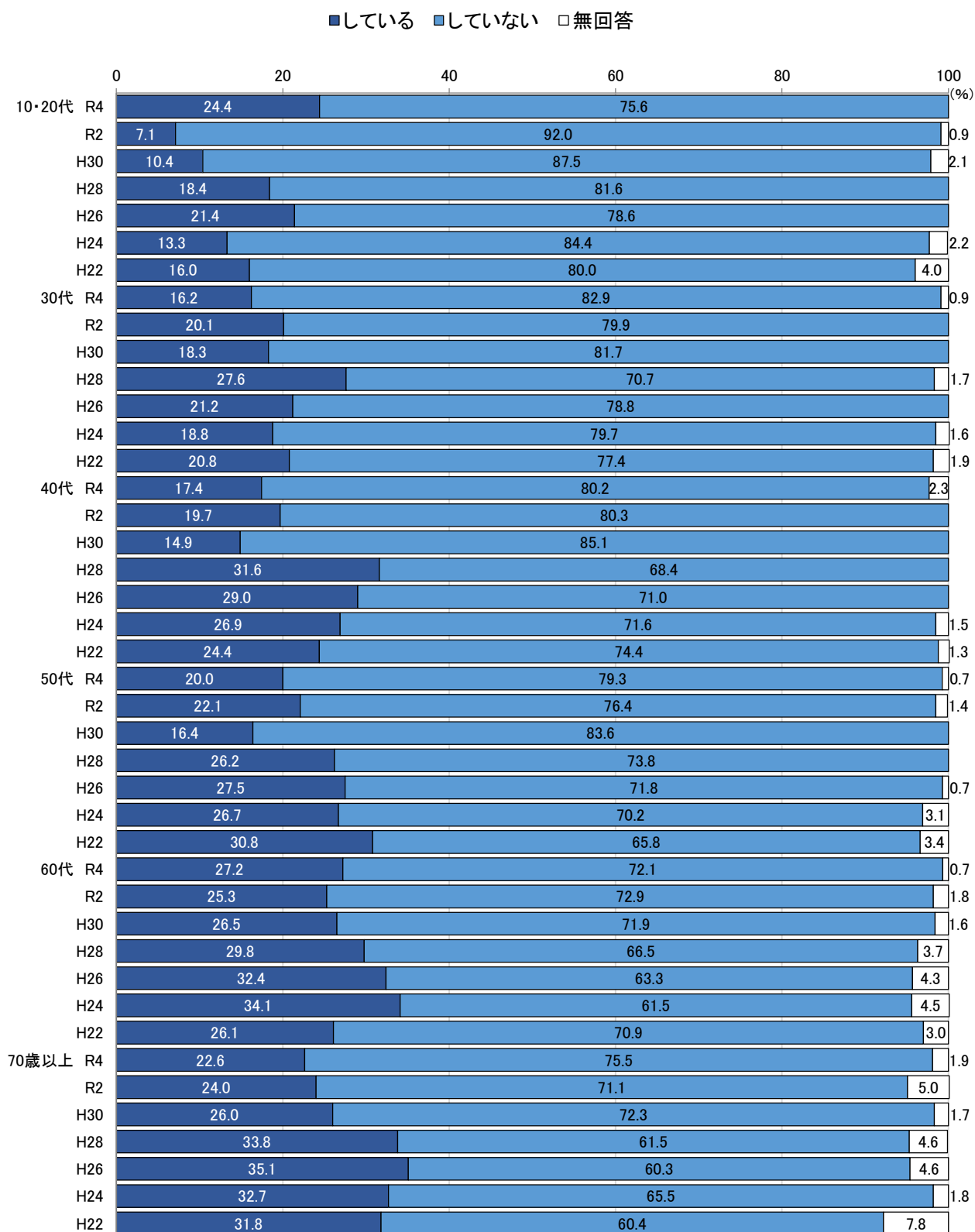
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している ■していない □無回答





(4) 避難路・避難場所

問4④ あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。



- 避難路・避難場所を知っている人は75.3%で、前回より減少。

避難路・避難場所を知っているかについては、「知っている」が75.3%、「知らない」が23.0%となっています。

属性別に「知っている」をみたところ、性別では男性が78.4%、女性が72.6%となっており、男性が5.8ポイント高くなっています。

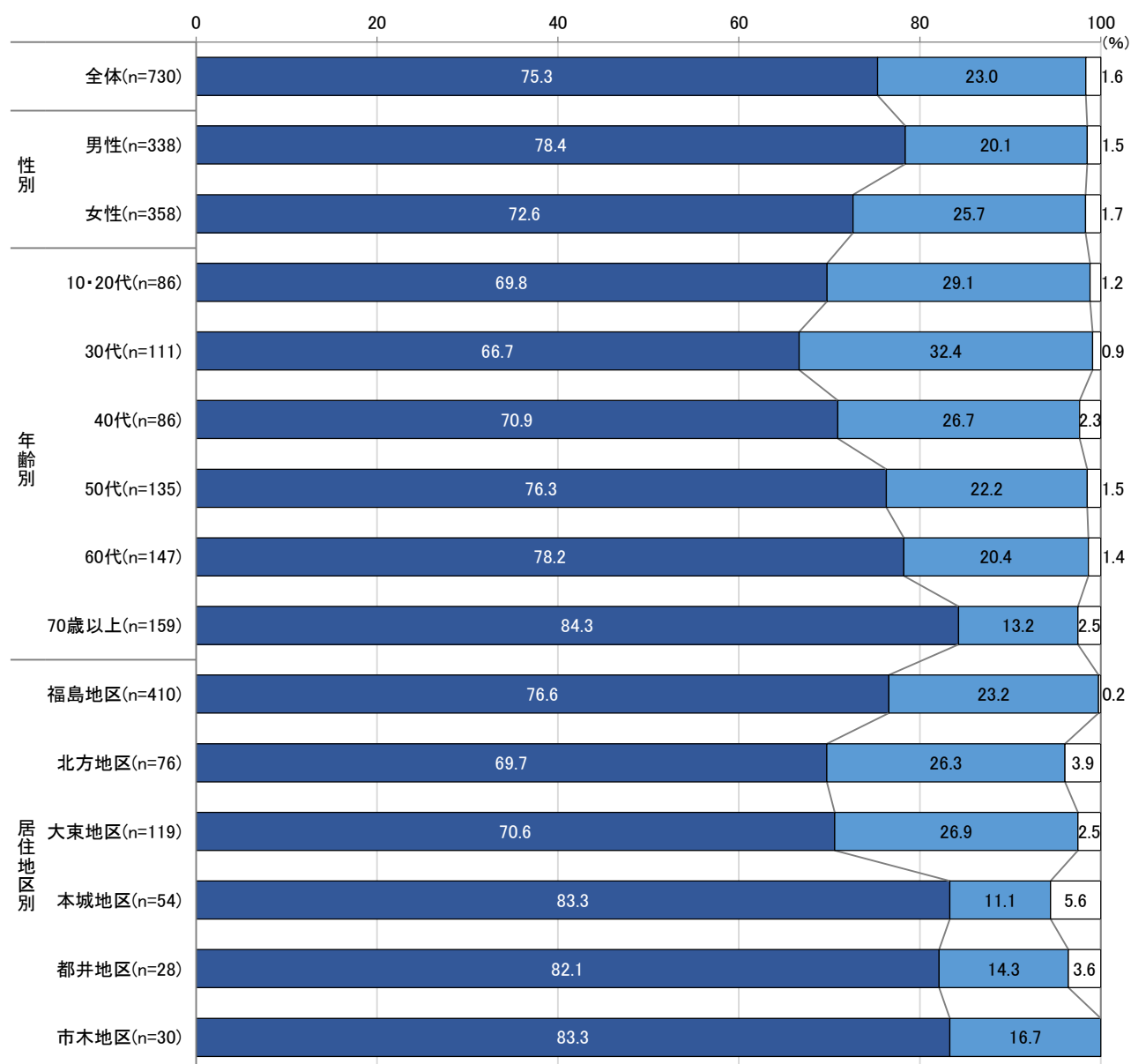
年齢では、70歳以上(84.3%)が最も高く、次いで、60代(78.2%)、50代(76.3%)の順となっており、30代(66.7%)が最も低くなっています。

居住地区では、本城地区と市木地区(83.3%)が最も高く、北方地区(69.7%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が3.3ポイント増加、女性が6.6ポイント減少しています。年齢では、10・20代が増加しています。

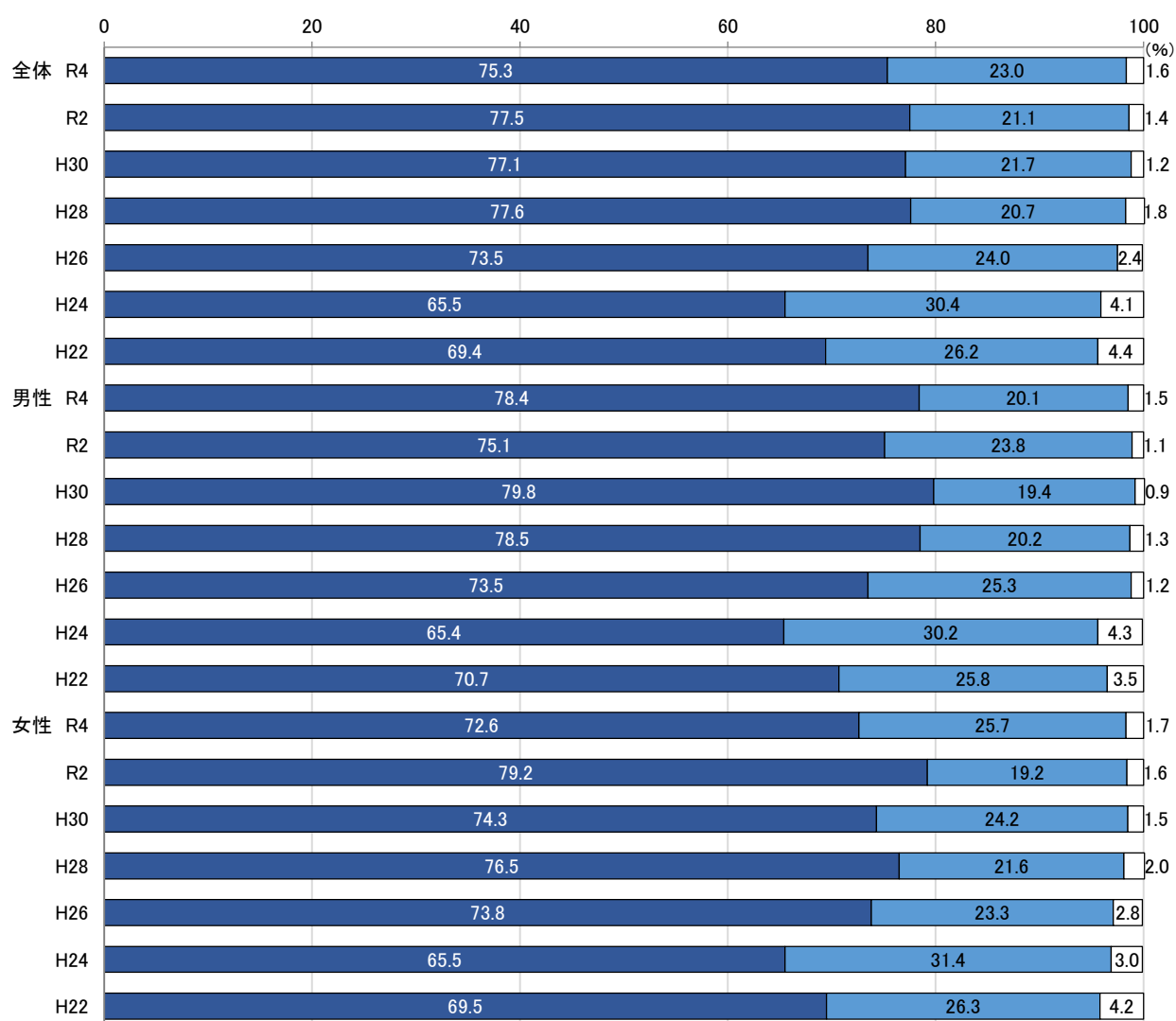
避難路・避難場所
(全体・性別・年齢・居住地区)

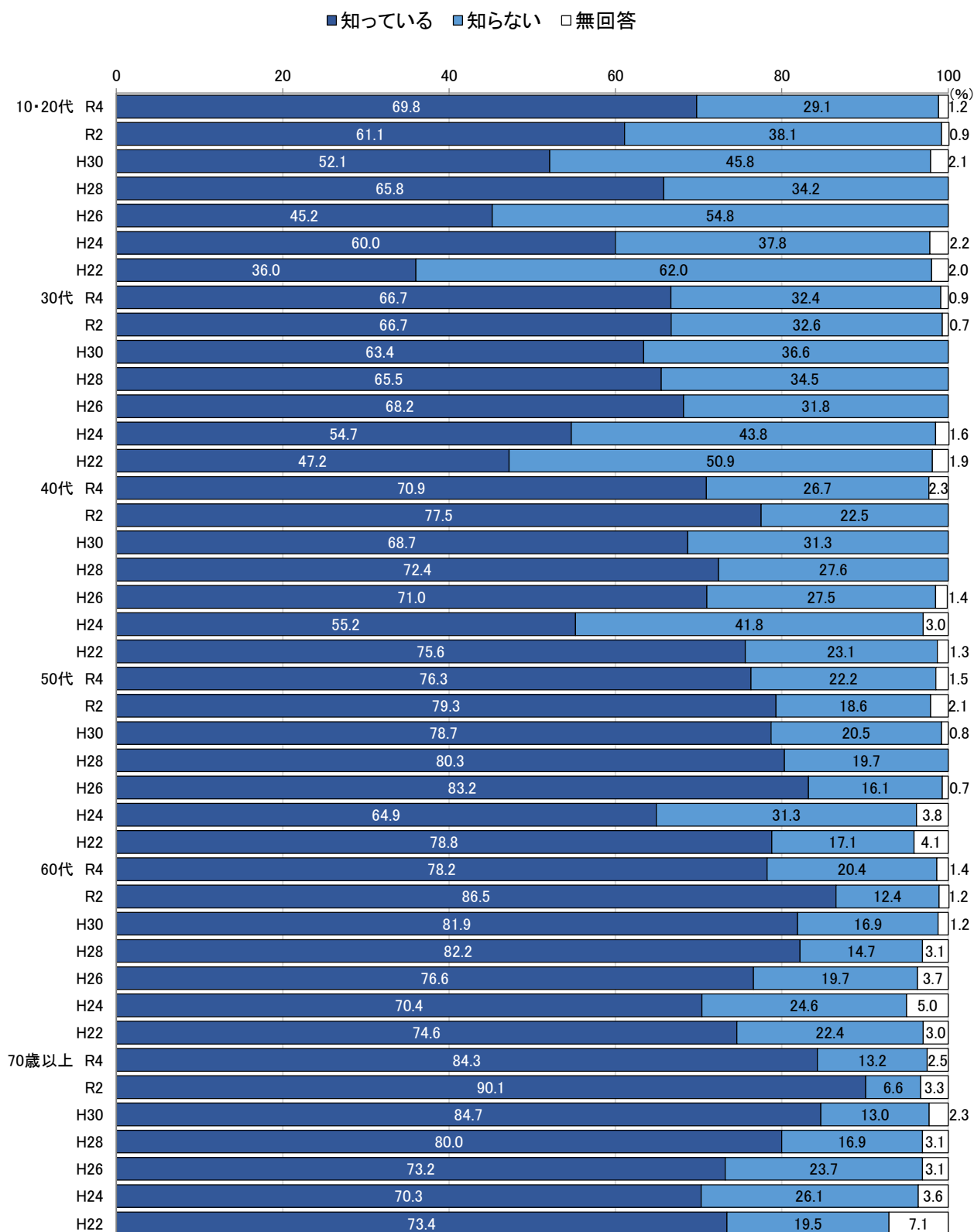
■知っている ■知らない □無回答



■過去の調査との比較

■知っている ■知らない □無回答





(5) 防火・防災訓練への参加

問4⑤ あなたは、この1年間に、防火・防災訓練に参加しましたか。



● 防火・防災訓練に参加した人は18.9%で、前回より減少。

防火・防災訓練への参加については、参加「した」が18.9%、「しなかった」が80.0%になっています。

属性別に「した」をみたところ、性別では男性が24.9%、女性が13.7%となっており、男性が11.2ポイント高くなっています。

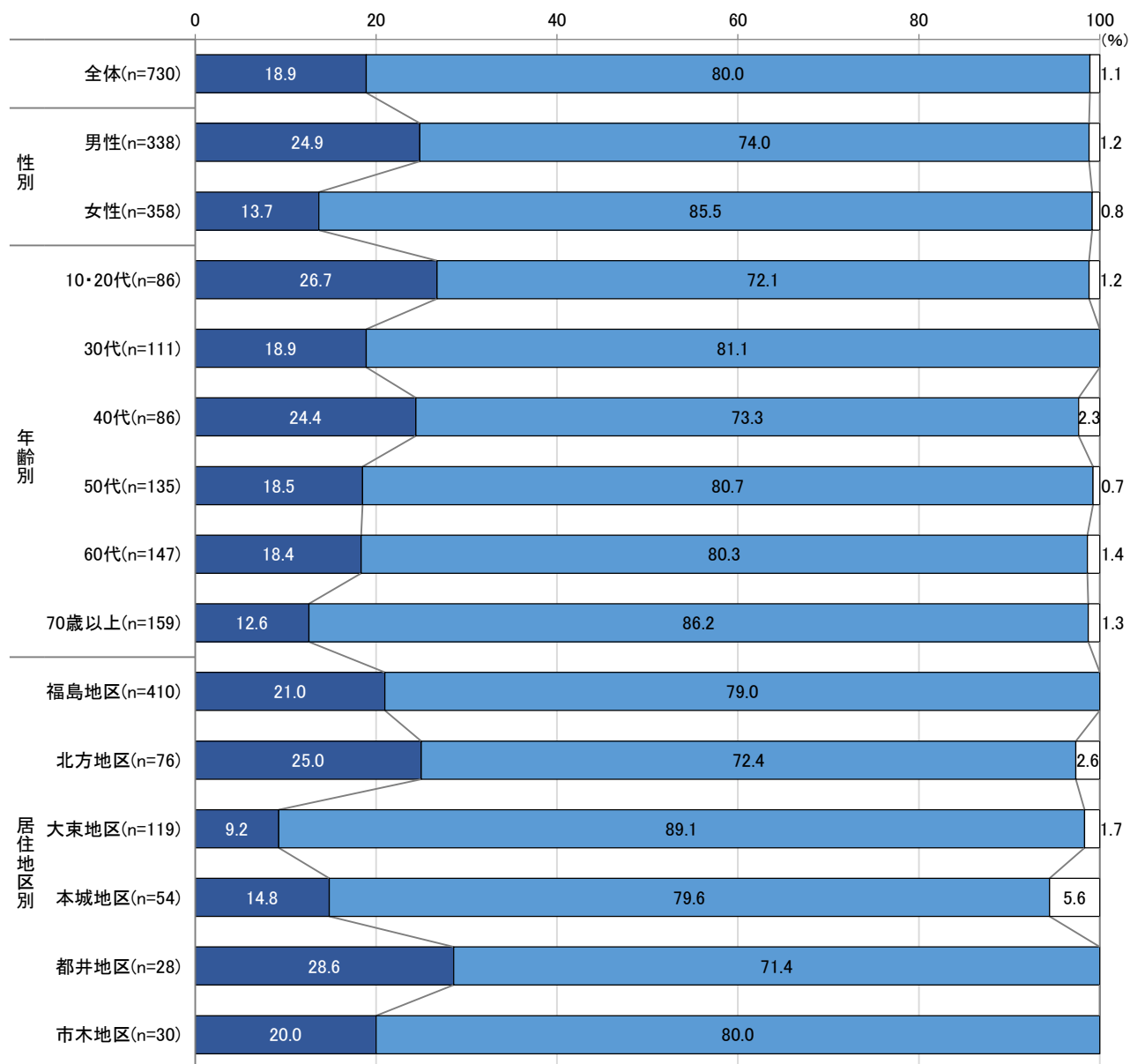
年齢では、10・20代(26.7%)が最も高く、次いで、40代(24.4%)、30代(18.9%)の順となっており、70歳以上(12.6%)が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区(28.6%)が最も高く、大東地区(9.2%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が6.4ポイント減少、女性が8.9ポイント減少しています。年齢では、全ての年代で減少しています。

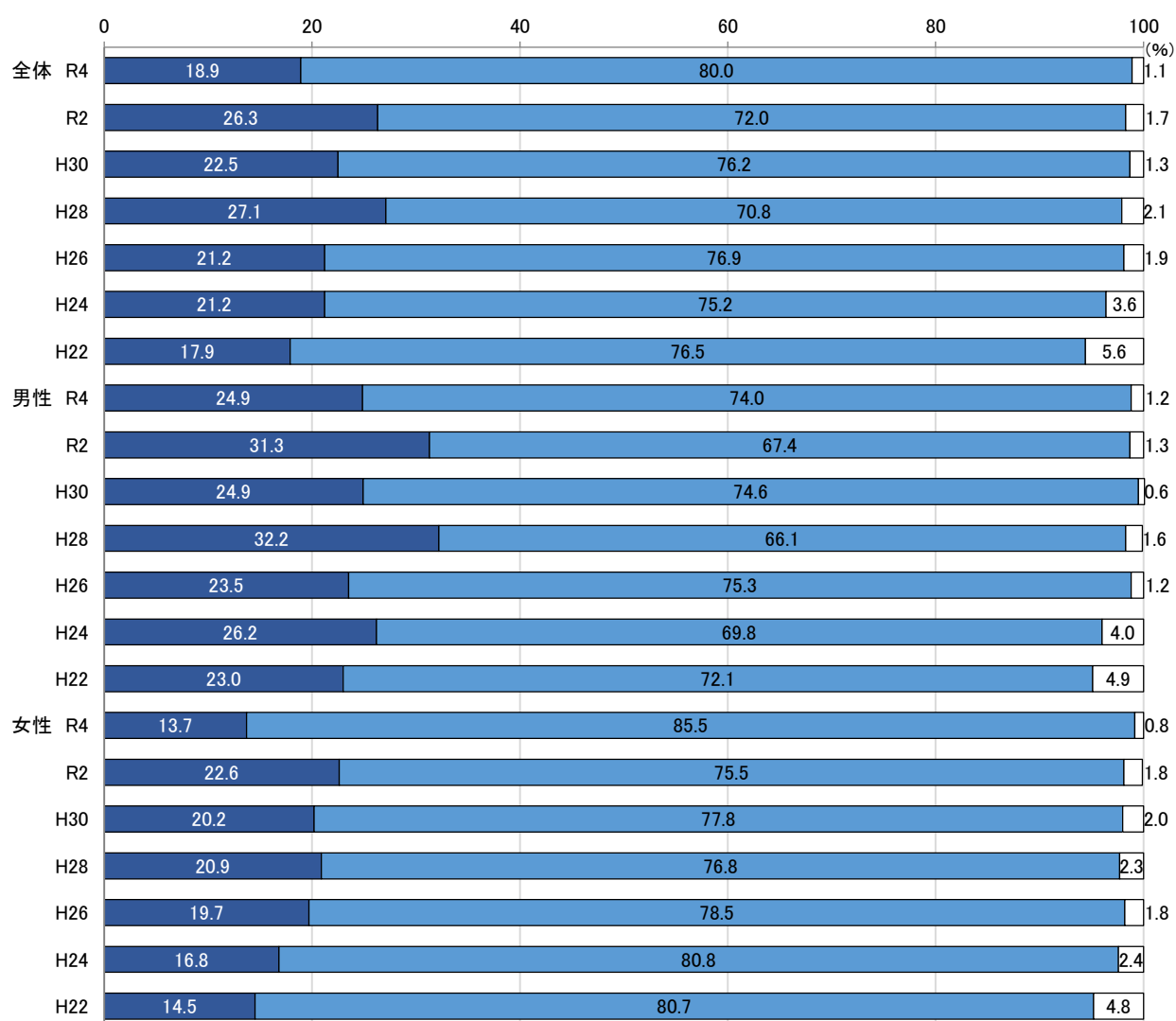
防火・防災訓練への参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

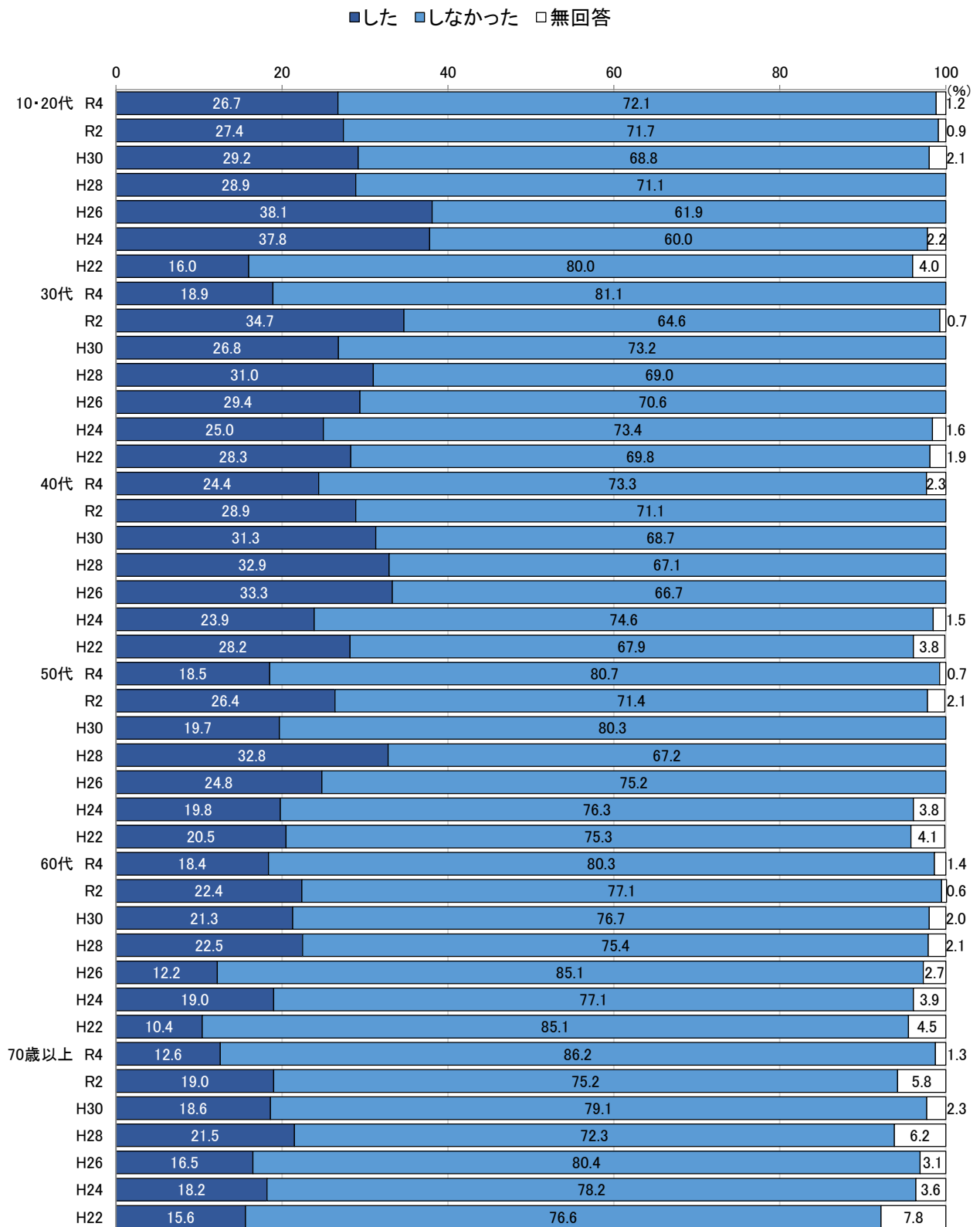
■した ■しなかった □無回答



■過去の調査との比較

■した ■しなかった □無回答





(6) 地域の防犯活動等

問4⑥ あなたは、身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加していますか。



● 防犯活動・パトロール活動に参加している人は8.1%で、前回より減少。

防犯活動・パトロール活動については、「している」が8.1%、「していない」が90.7%になっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が13.3%、女性が2.8%となっており、男性が10.5ポイント高くなっています。

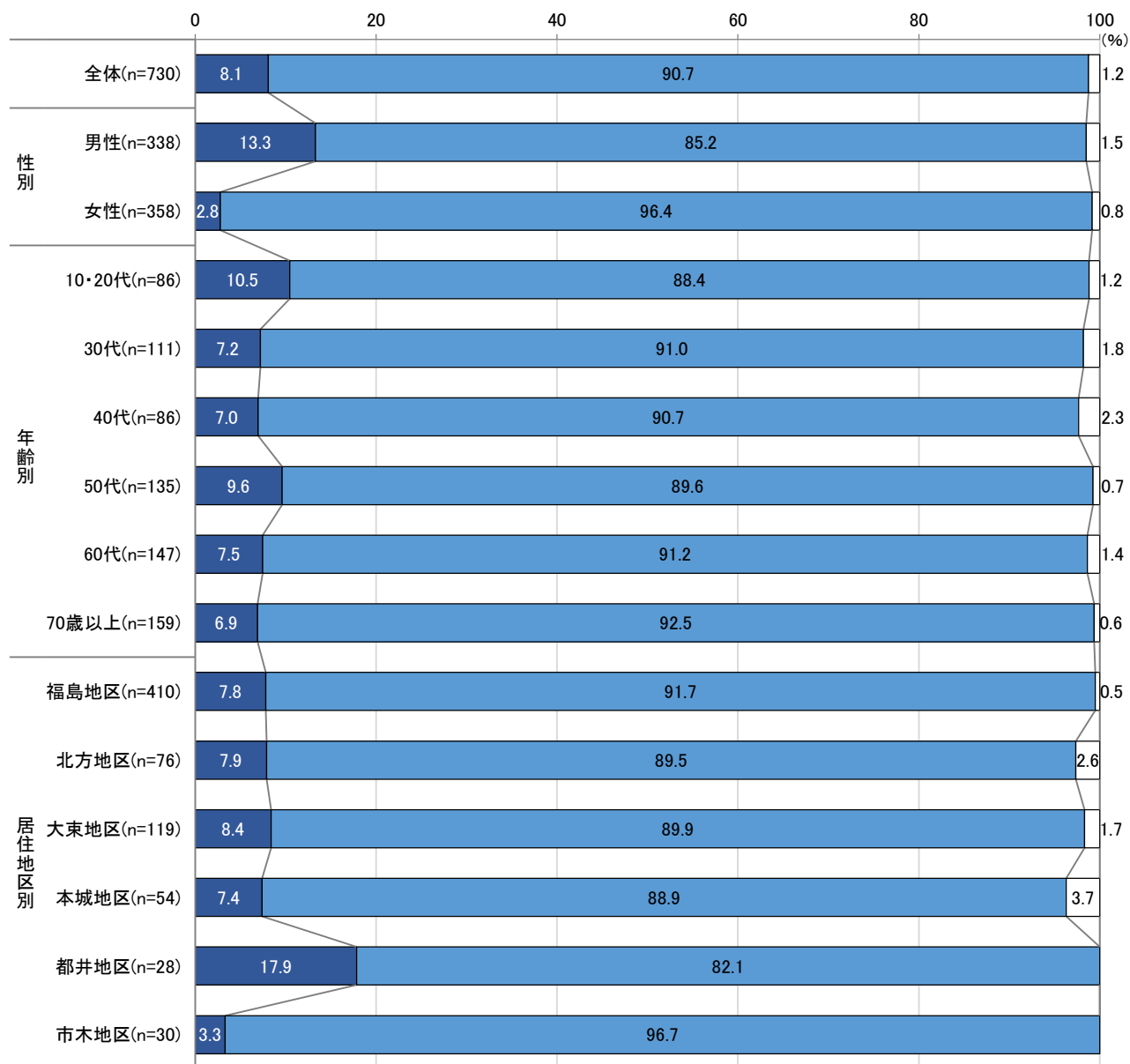
年齢では、10・20代(10.5%)が最も高く、次いで、50代(9.6%)、60代(7.5%)の順となっており、70歳以上(6.9%)が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区(17.9%)が最も高く、市木地区(3.3%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が2.7ポイント減少、女性が2.5ポイント減少しています。年齢では、10・20代が増加しています。

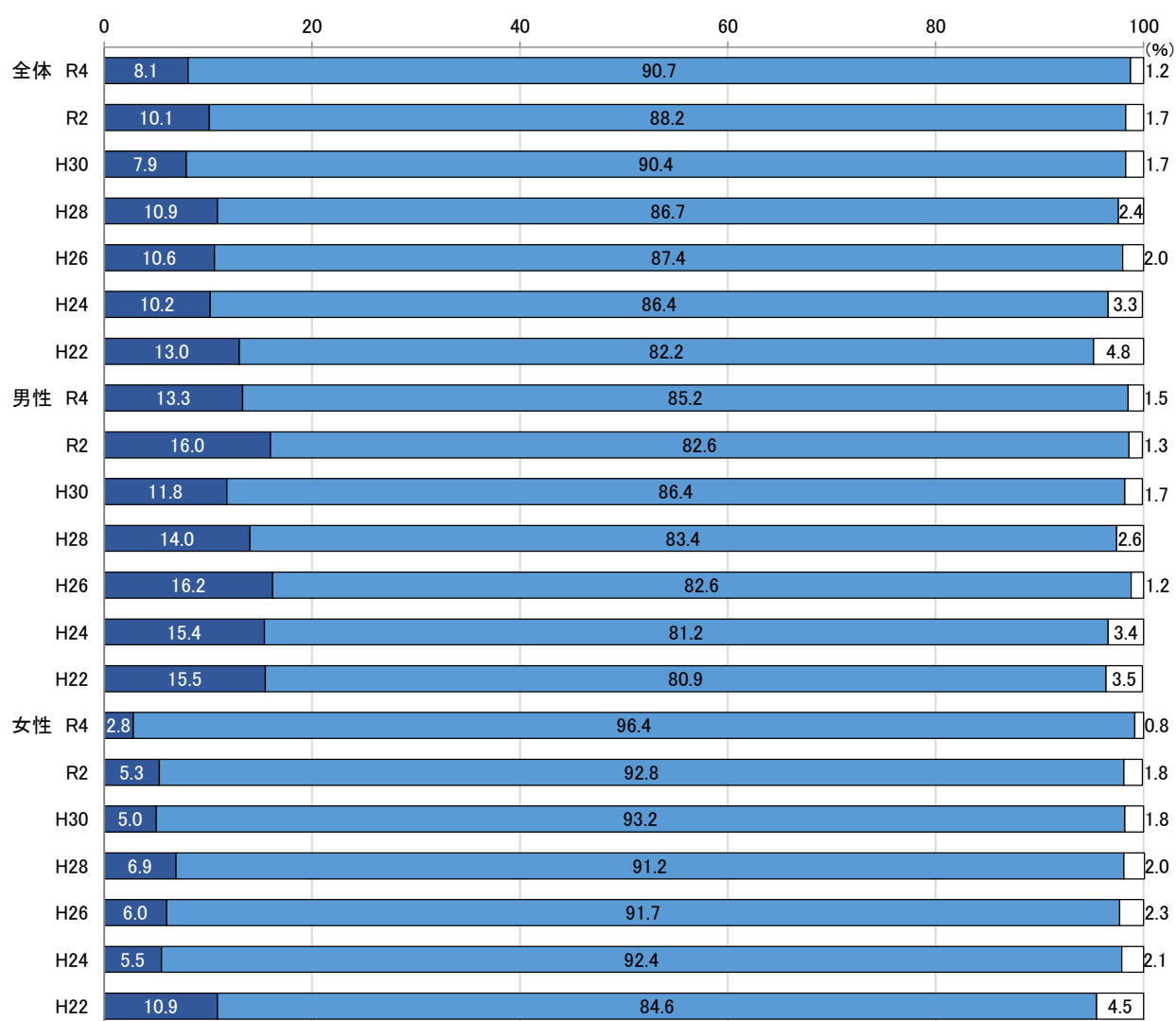
地域の防犯活動等への参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

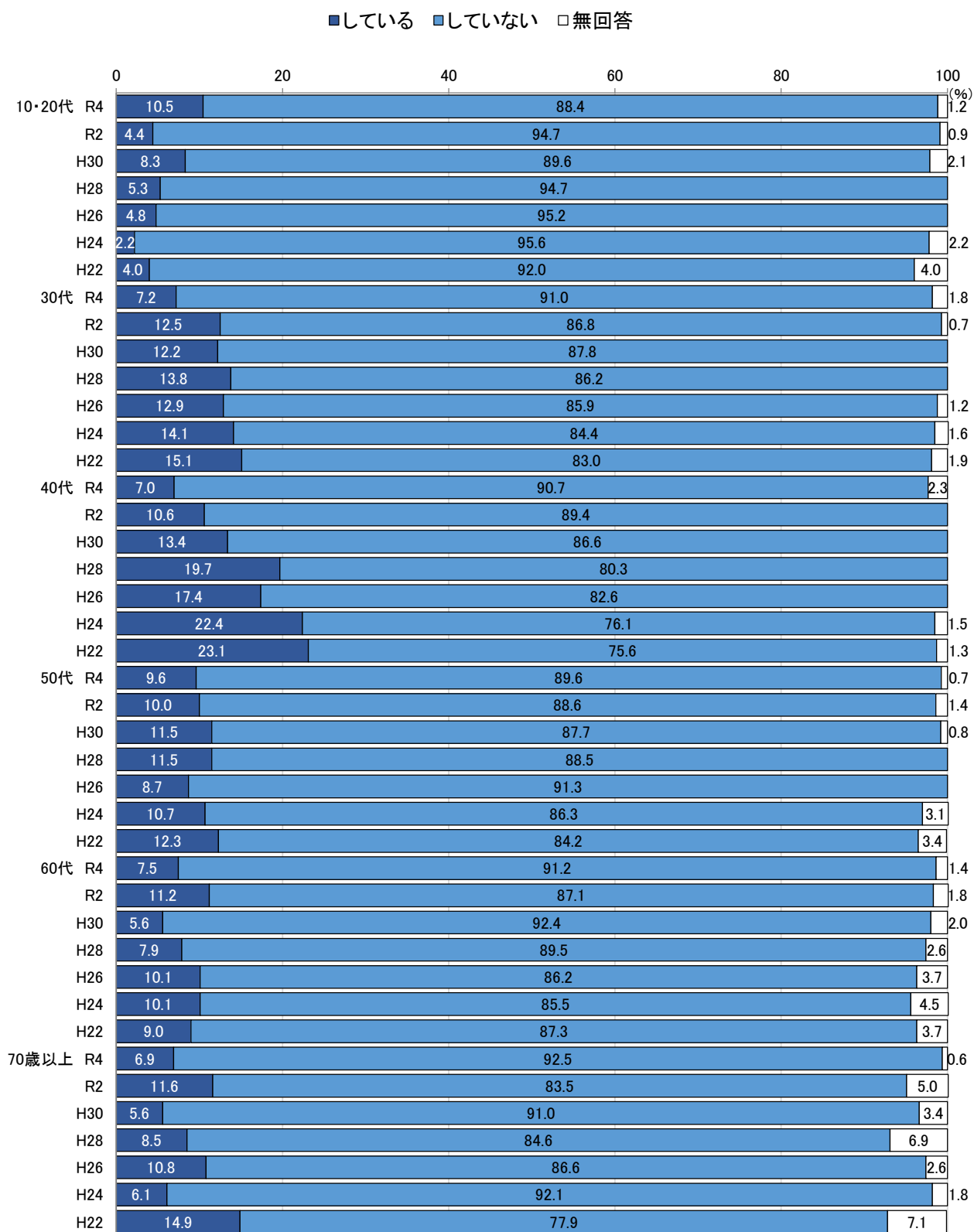
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している □していない □無回答





(7) 環境に配慮した生活

問4⑦ あなたは、環境美化や水質浄化、省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。



● 環境に配慮した生活をしている人は 66.8%で、前回より減少。

環境に配慮した生活については、「している」が 66.8%、「していない」が 31.2%となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が 63.0%、女性が 70.9%となっており、女性が 7.9 ポイント高くなっています。

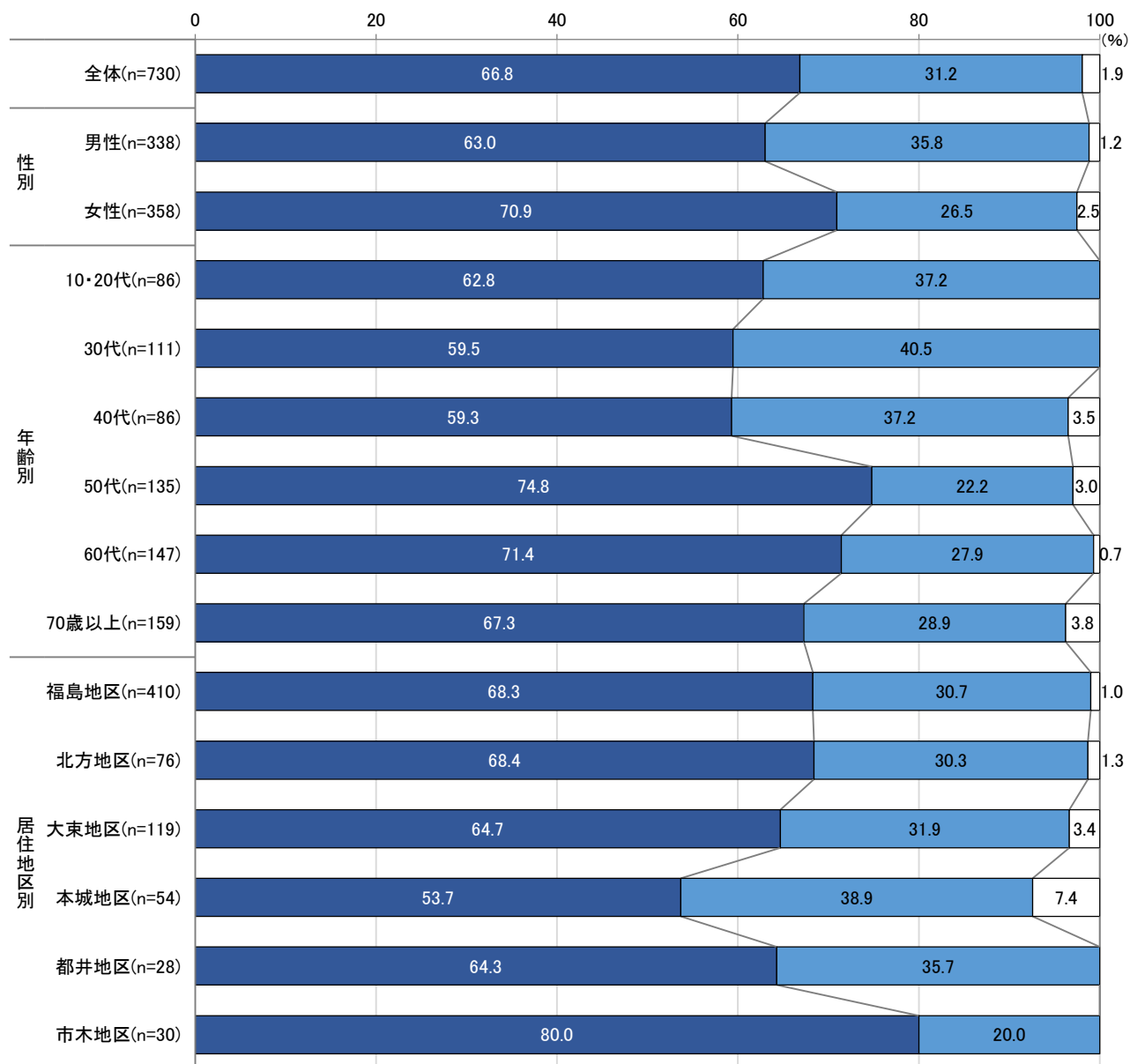
年齢では、50 代（74.8%）が最も高く、次いで、60 代（71.4%）、70 歳以上（67.3%）の順となっており、40 代（59.3%）が最も低くなっています。

居住地区では、市木地区（80.0%）が最も高く、本城地区（53.7%）が最も低くなっています。

令和 2 年と比べると、男性が 1.9 ポイント増加、女性が 1.5 ポイント減少しています。年齢では、10・20 代、50 代が増加しています。

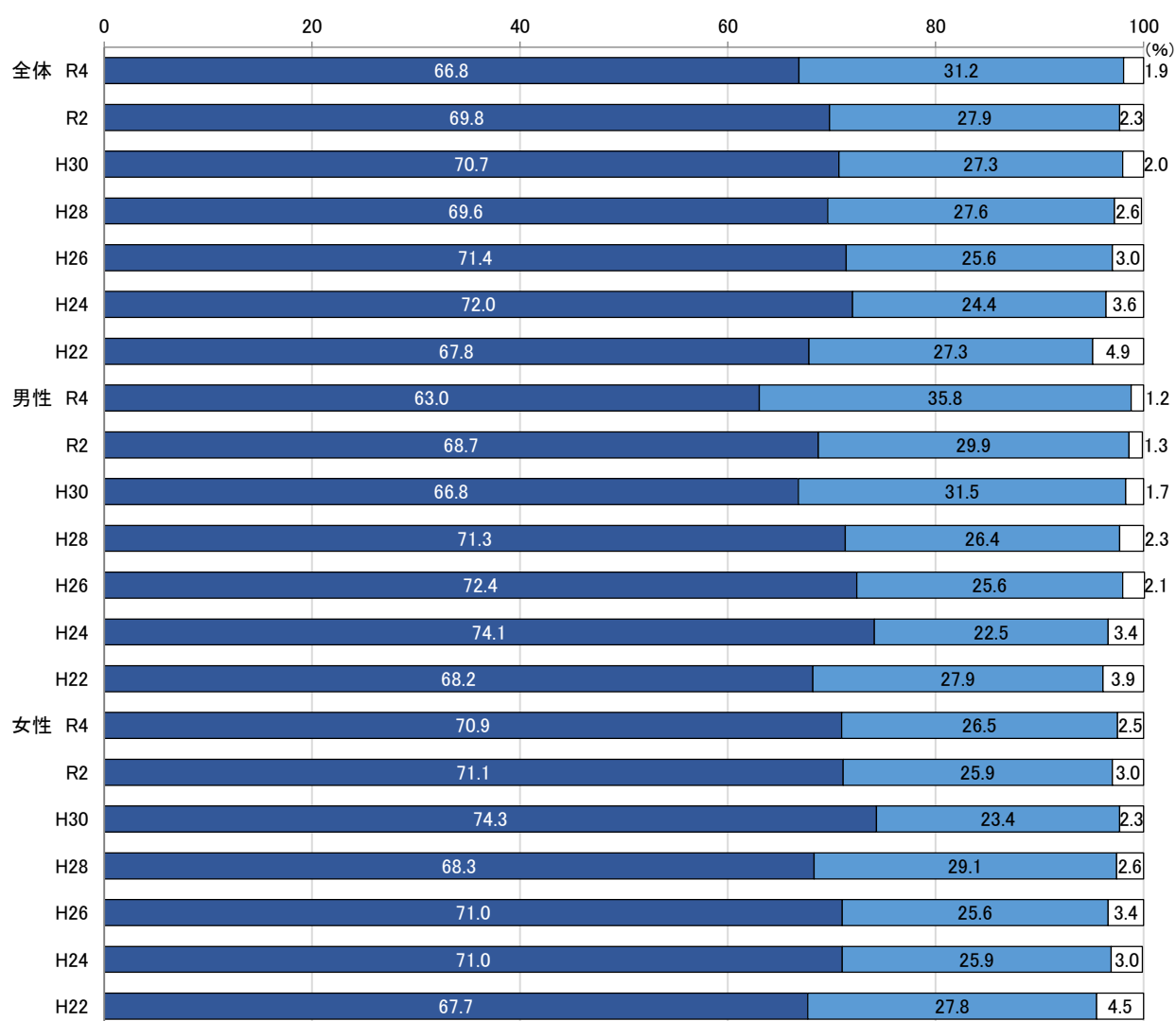
環境に配慮した生活
(全体・性別・年齢・居住地区)

■している ■していない □無回答

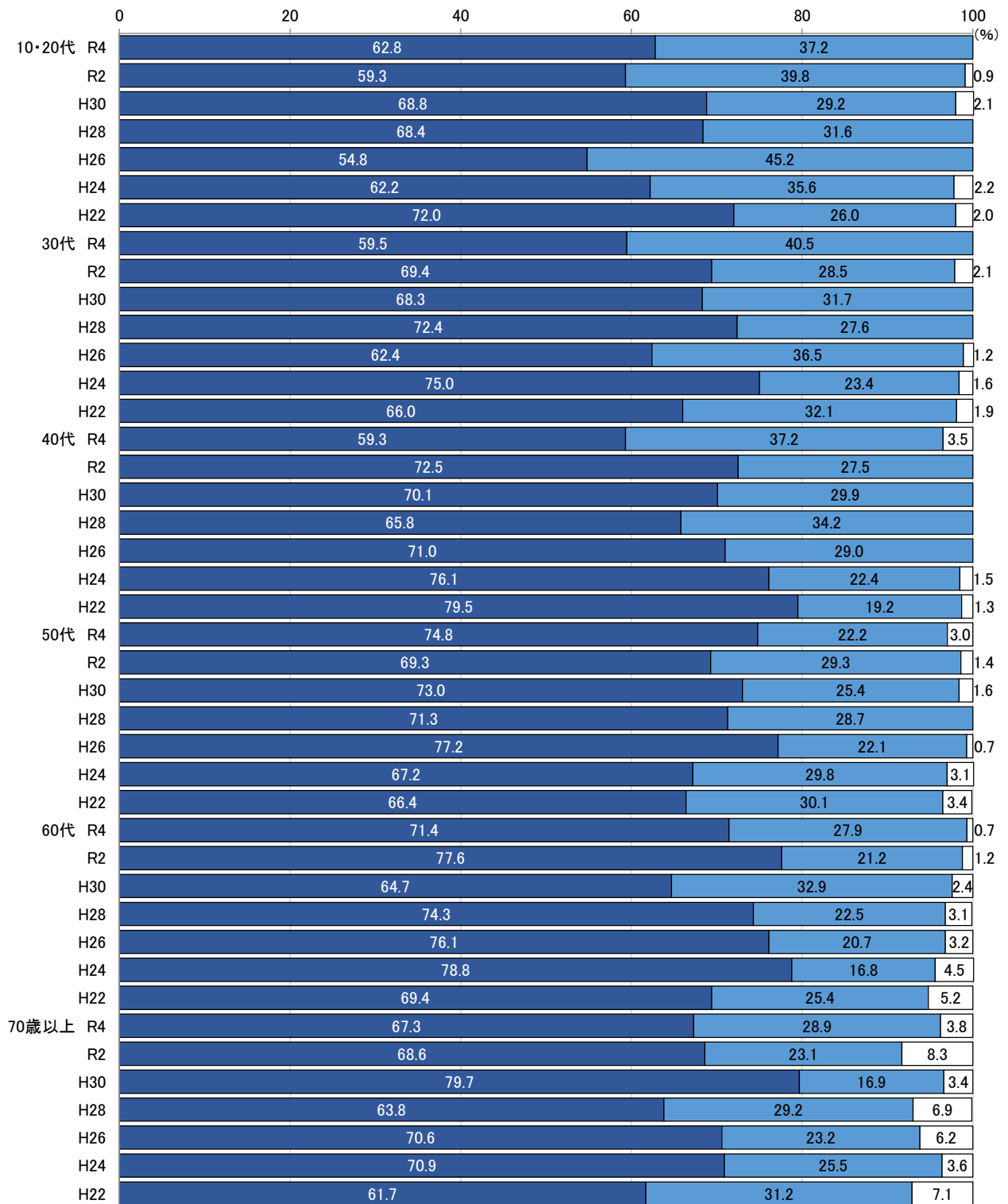


■過去の調査との比較

■している □していない □無回答



■している ■していない □無回答



(8) 地元の公園の維持管理

問4⑧ あなたは、地元の公園など公共施設の維持管理（草刈りや清掃など）に参加していますか。



● 地元の公園などの維持管理に参加している人は 38.2%で、前回とほぼ同じ。

地元の公園の維持管理については、参加「している」が 38.2%、参加「していない」が 60.8% となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が 44.7%、女性が 31.8%となっており、男性が 12.9 ポイント高くなっています。

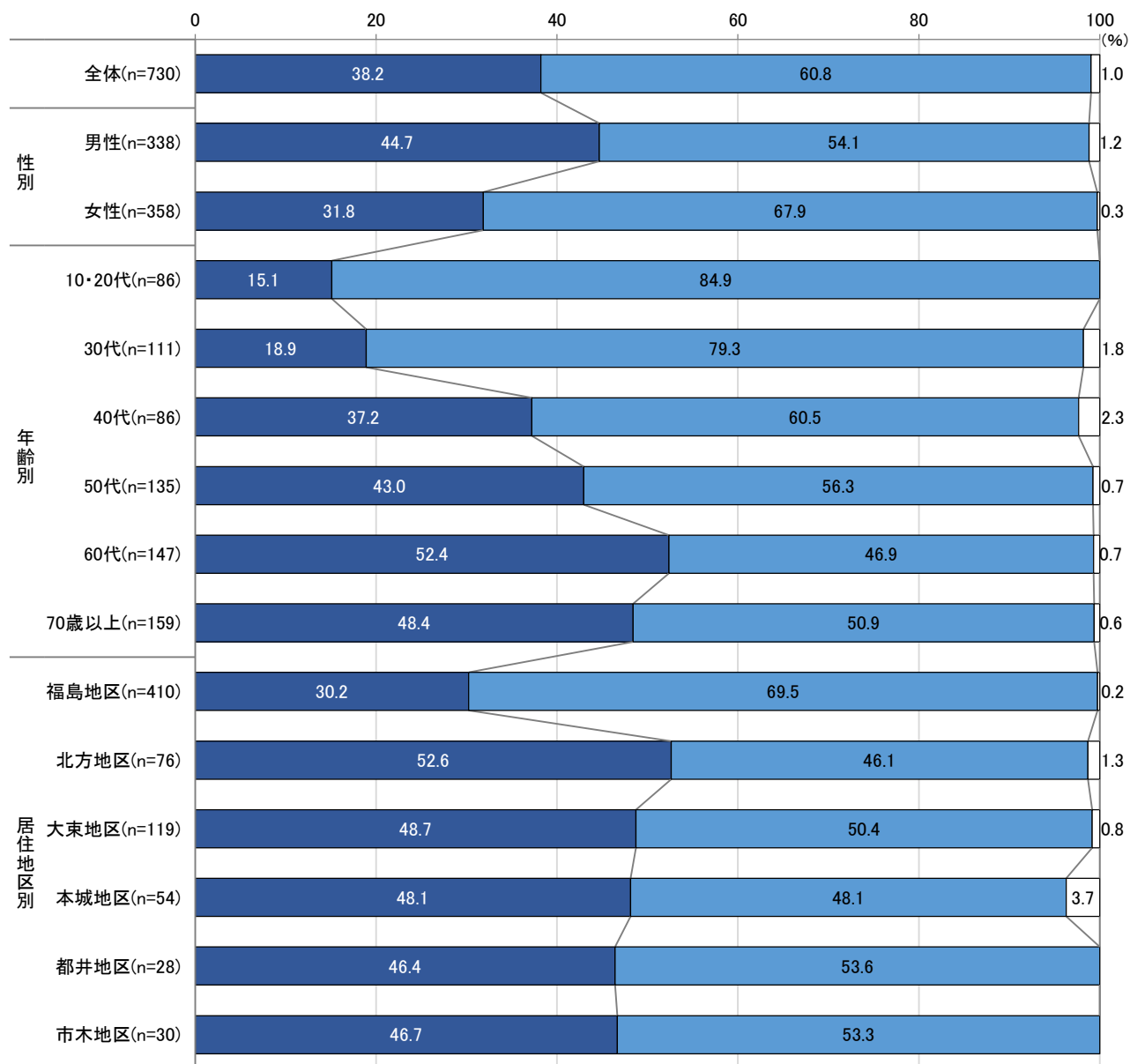
年齢では、60 代（52.4%）が最も高く、次いで、70 歳以上（48.4%）、50 代（43.0%）の順となっており、10・20 代（15.1%）が最も低くなっています。

居住地区では、北方地区（52.6%）が最も高く、福島地区（30.2%）が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が 0.1 ポイント減少、女性が 1.9 ポイント減少しています。年齢では、10・20 代、40 代が増加しています。

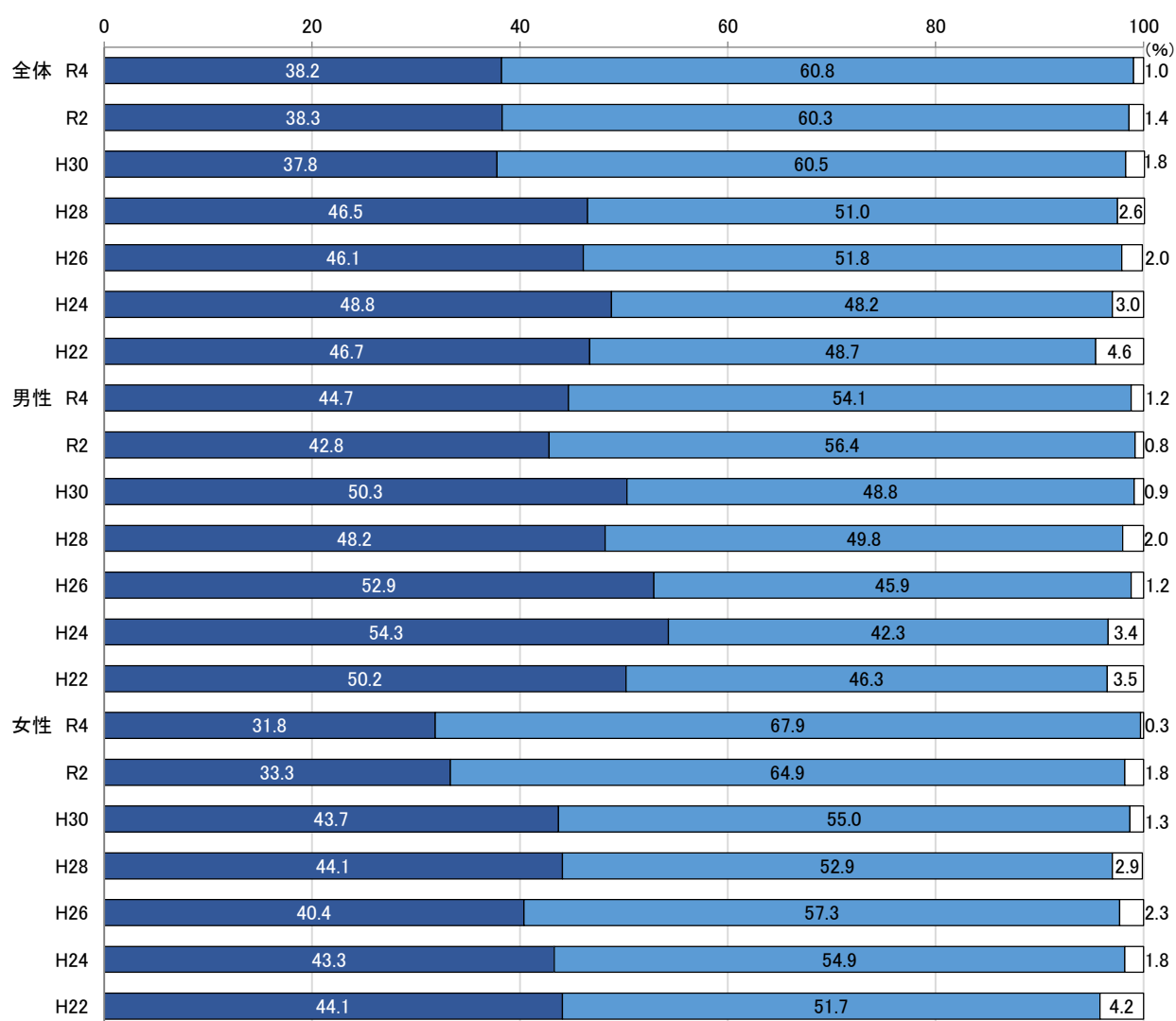
地元の公園の維持管理
(全体・性別・年齢・居住地区)

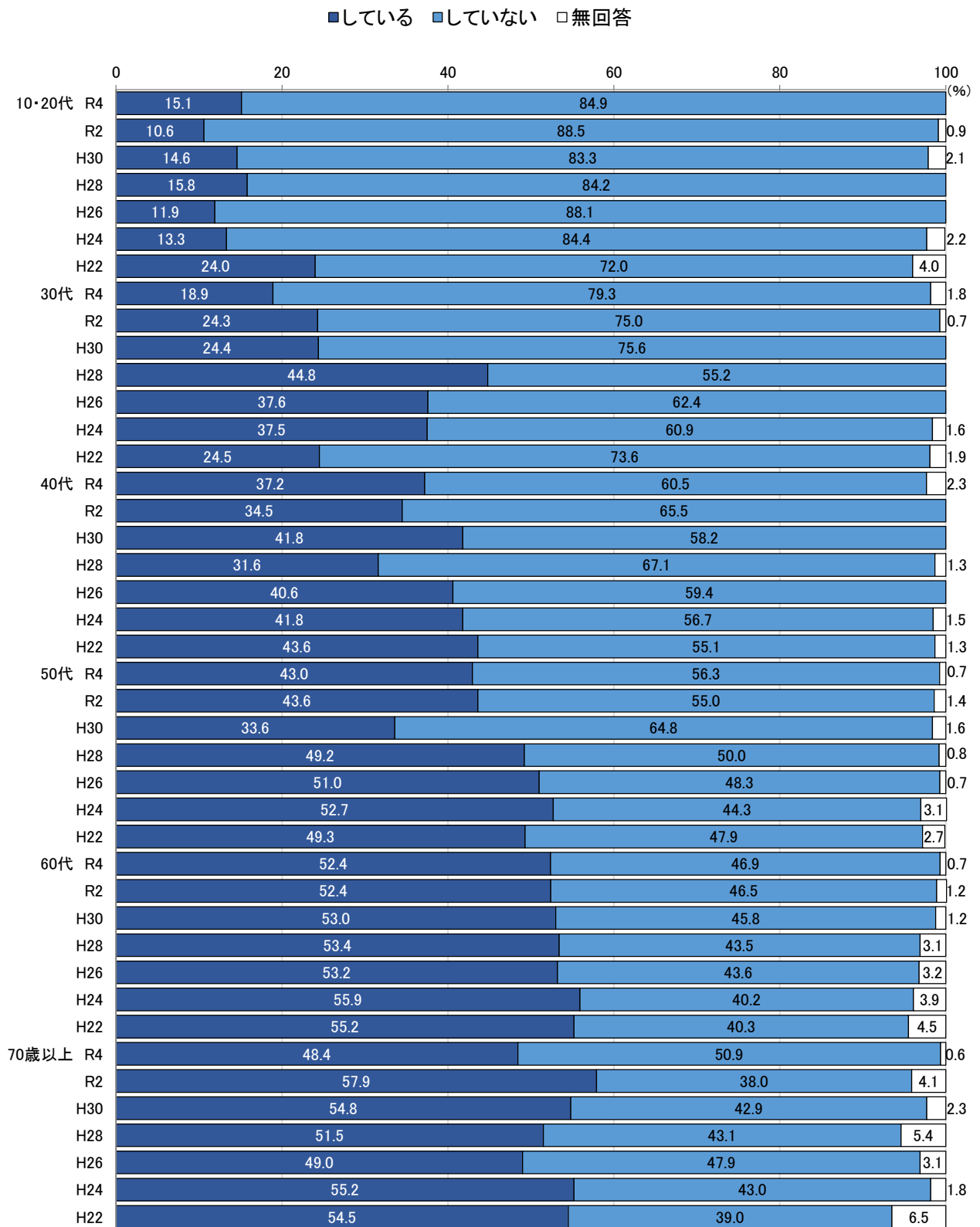
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している □していない □無回答





(9) 市内での買物

問4⑨ あなたは、日頃、市内で買物をしていますか。



- 市内で買物をしている人は92.1%で、前回より増加。

市内で買物をしているかについては、「している」が92.1%、「していない」が7.3%となっています。

属性別に「している」をみたところ、性別では男性が91.7%、女性が92.5%となっており、女性が0.8ポイント高くなっています。

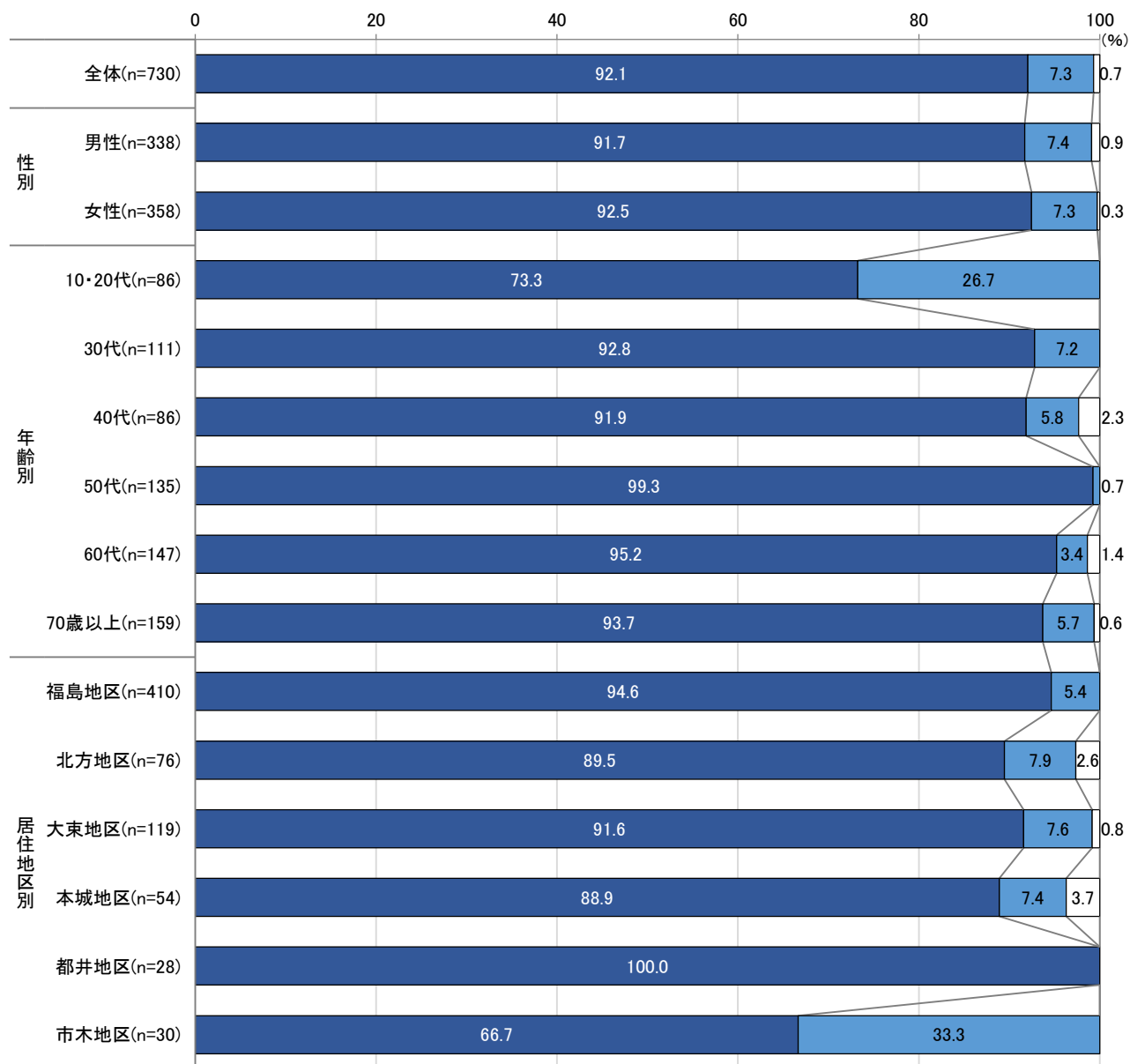
年齢では、50代(99.3%)が最も高く、次いで、60代(95.2%)、70歳以上(93.7%)の順となっており、10・20代(73.3%)が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区(100.0%)が最も高く、市木地区(66.7%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が1.9ポイント増加、女性が0.6ポイント減少しています。年齢では、30代、50代、70歳以上が増加しています。

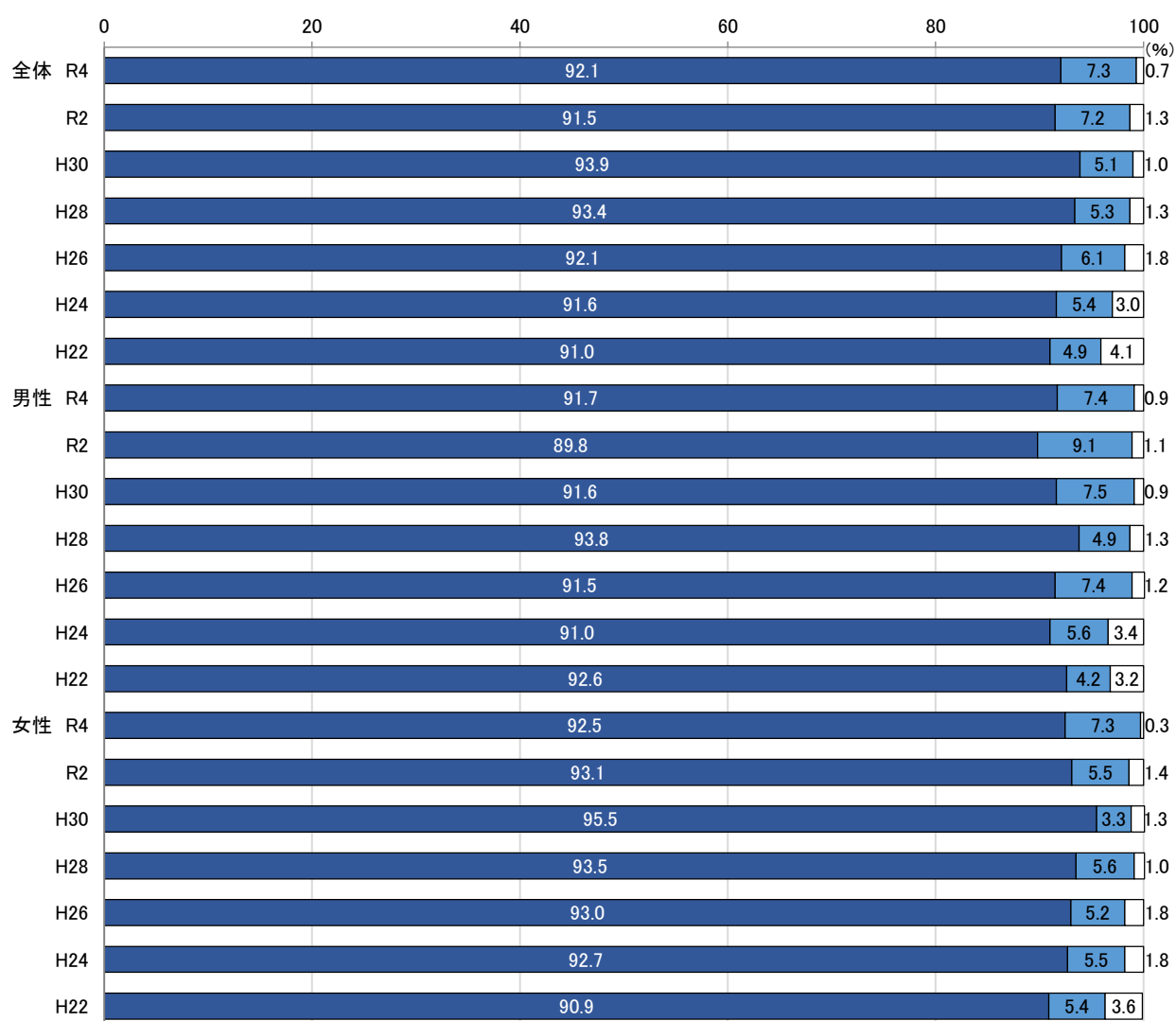
市内での買物
(全体・性別・年齢・居住地区)

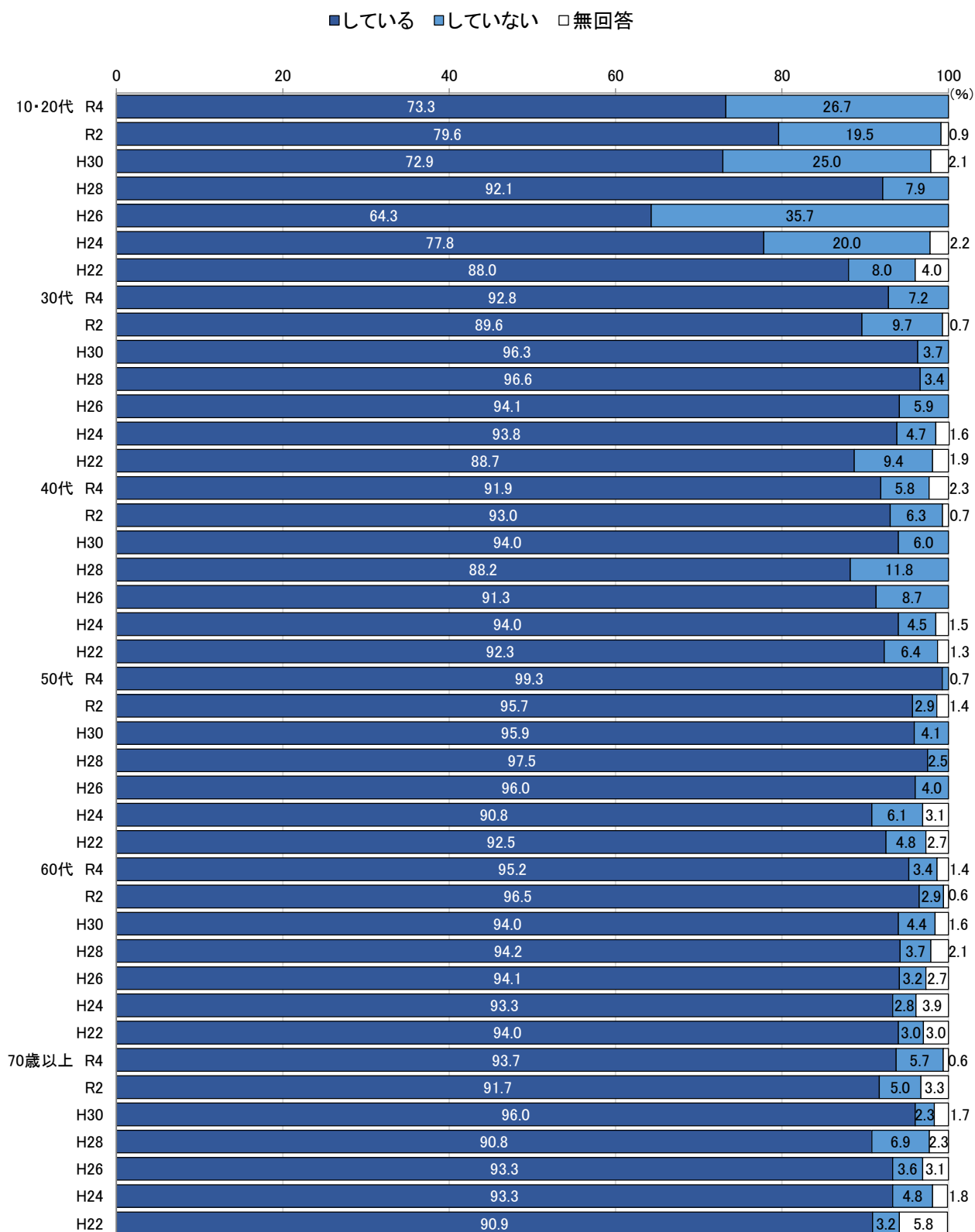
■している ■していない □無回答



■過去の調査との比較

■している ■していない □無回答





5 地方創生について

(1) SDGs

問5 2015年の国連サミットで採択され、全世界で推進されているSDGs（持続可能な開発目標）について知っていますか。



- SDGs（持続可能な開発目標）を「知っている」は59.8%で、前回より増加。

「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知については、「よく知っている」が13.4%、「ある程度知っている」が46.4%、「聞いたことはあるが内容は分からない」が27.0%、「知らない」人が11.5%となっています。『知っている（「よく知っている」及び「ある程度知っている」の合計）』は59.8%となっています。

属性別に『知っている』をみたところ、性別では男性が59.5%、女性が59.8%となっています。

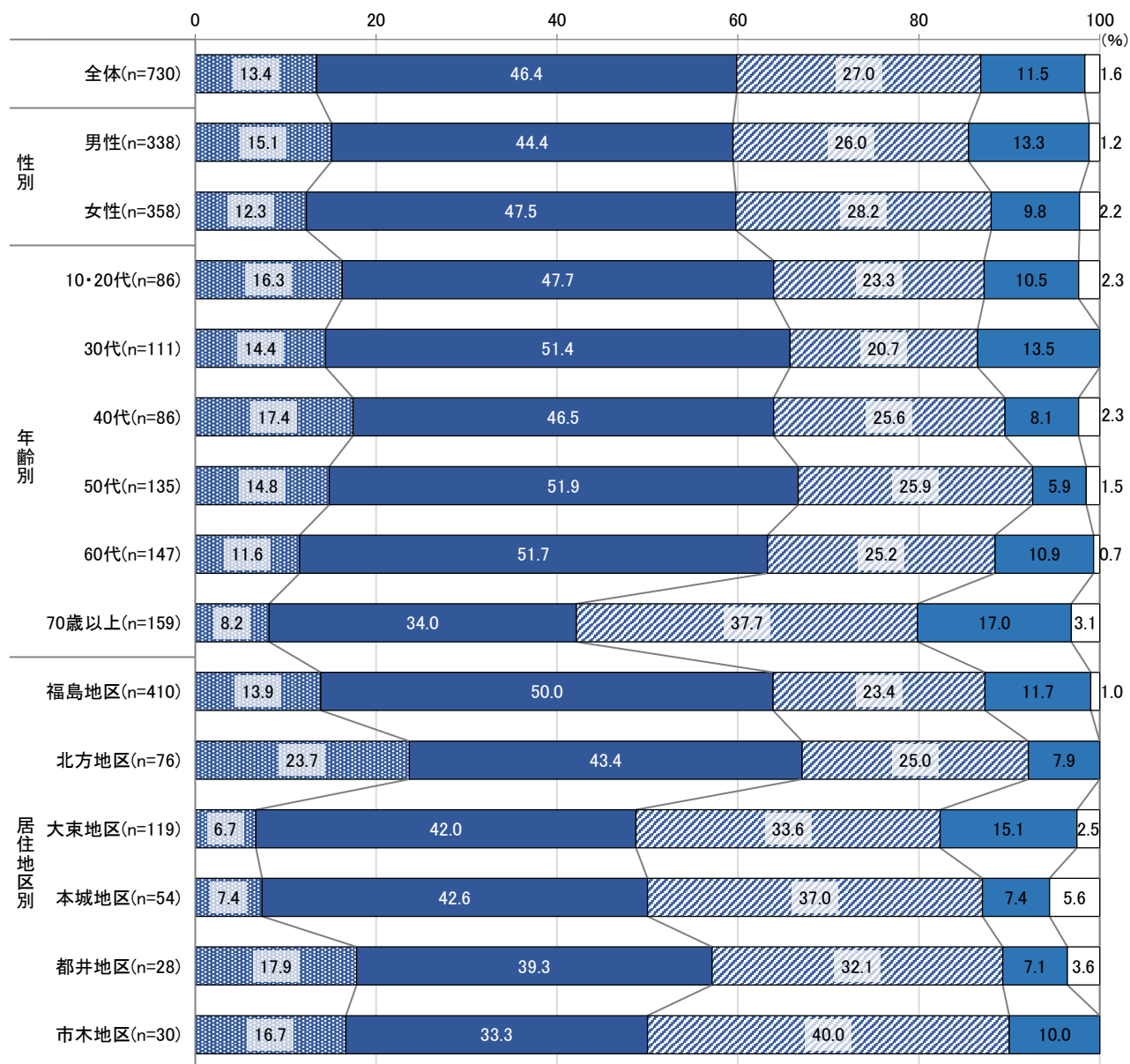
年齢では、50代（66.7%）が最も高く、次いで、30代（65.8%）、10・20代（64.0%）の順となっており、70歳以上（42.2%）が最も低くなっています。

居住地区では、北方地区（67.1%）が最も高く、大東地区（48.7%）が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が33.3ポイント増加、女性が44.5ポイント増加しています。年齢では、全ての年代で増加しています。

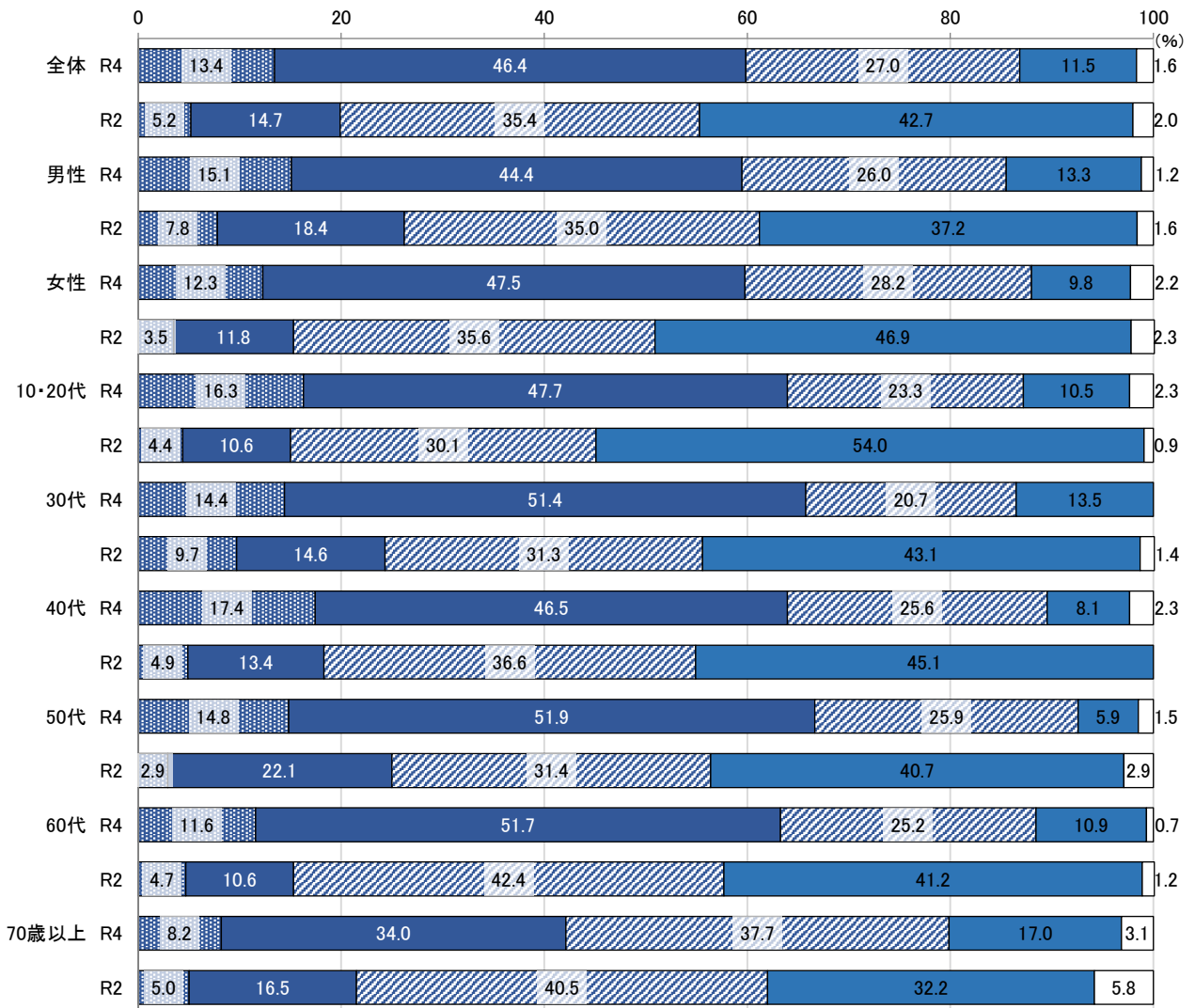
SDGs（持続可能な開発目標）の認知度
（全体・性別・年齢・居住地区）

■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ 聞いたことはあるが内容は分からない ■ 知らない □ 無回答



■過去の調査との比較

■よく知っている ■ある程度知っている ▨聞いたことはあるが内容は分からない ■知らない □無回答



(2) エネルギー

問6 エネルギーを海外に依存することは、有事の際などにおいて電力供給に課題があるため、エネルギーの地産地消を実現し、自立的で災害に強い地域分散型の取組み（自立分散）が注目されています。そのことに、あなたは関心がありますか。



● 関心がある人は 74.0%、前回より増加。

自立的で災害に強い地域分散型の取組みについては、「関心がある」が 74.0%、「関心がない」が 23.3%となっています。

属性別に「関心がある」をみたところ、性別では男性が 78.7%、女性が 70.4%となっており、男性が 8.3 ポイント高くなっています。

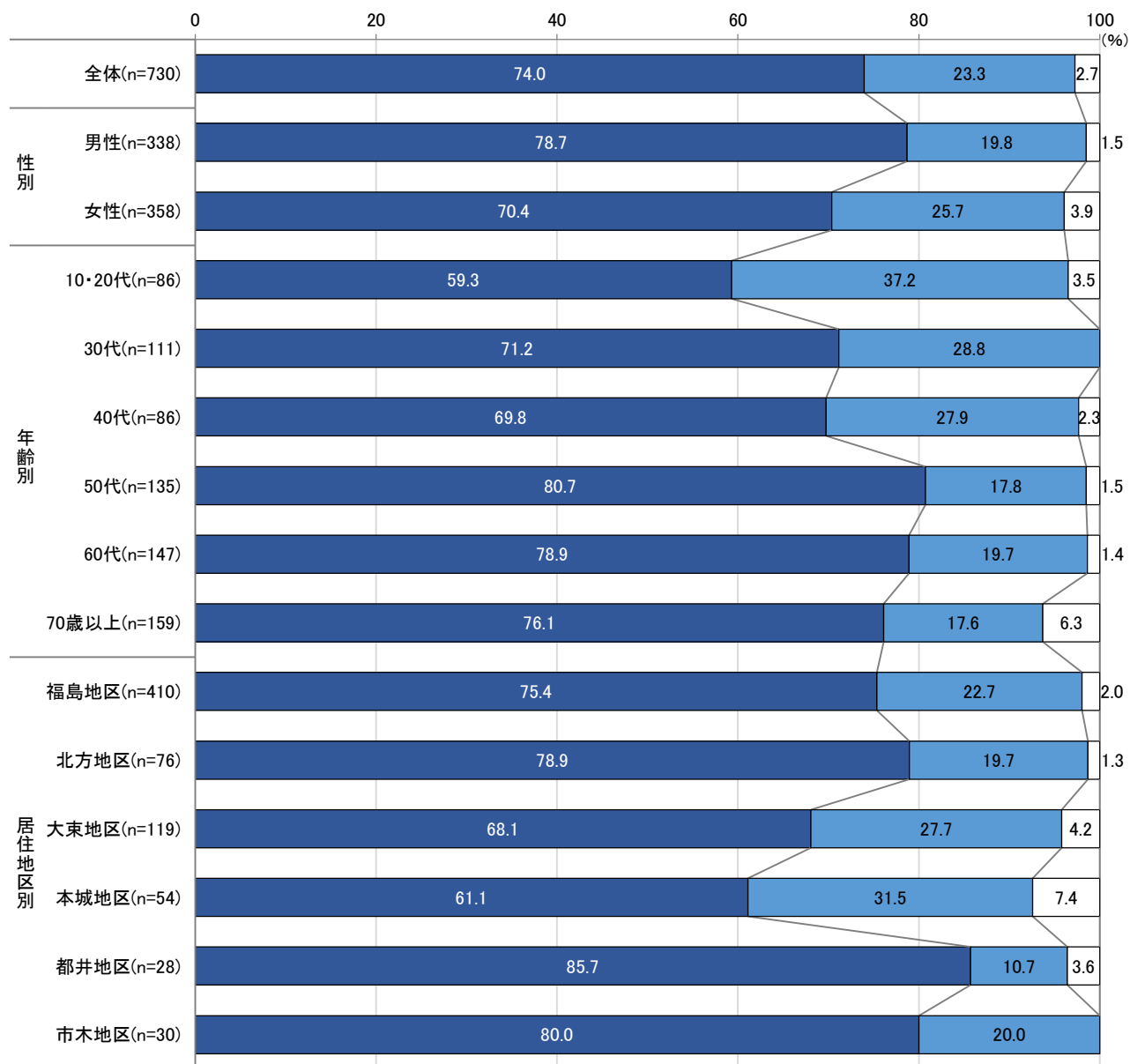
年齢では、50 代（80.7%）が最も高く、次いで、60 代（78.9%）、70 歳以上（76.1%）の順となっており、10・20 代（59.3%）が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区（85.7%）が最も高く、本城地区（61.1%）が最も低くなっています。

令和 2 年と比べると、男性が 4.1 ポイント増加、女性が 9.9 ポイント増加しています。年齢では、全ての年代で増加しています。

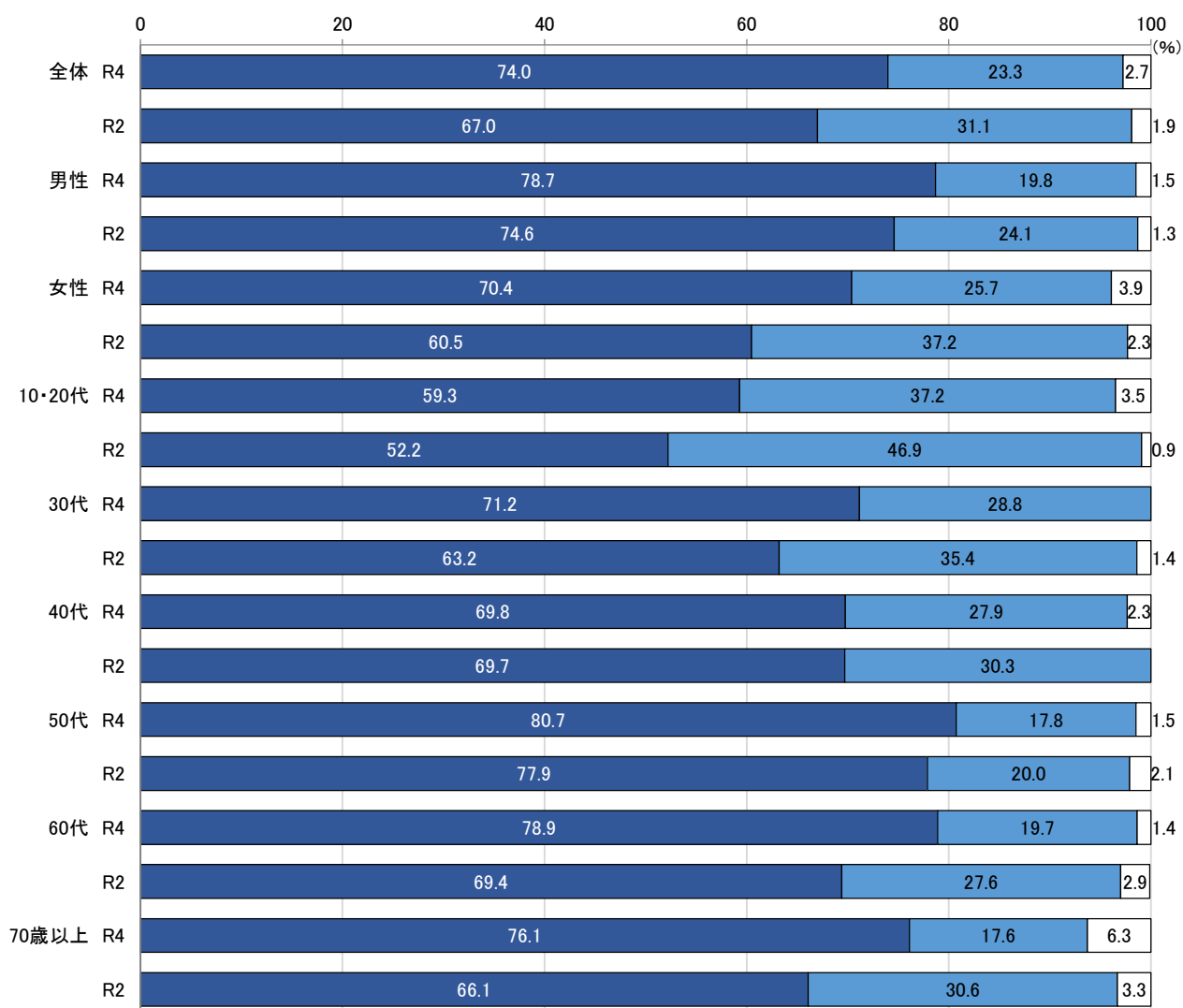
自立的で災害に強い地域分散型の取組みに興味があるか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■ 関心がある ■ 関心はない □ 無回答



■過去の調査との比較

■ 関心がある ■ 関心はない □ 無回答



問7 串間市では、自宅で発電した電気を蓄電池に貯めて使用できる蓄電池の設置補助を行っています。そのことをあなたは知っていますか。



- 知っているが29.3%、前回より減少。

蓄電池の設置補助を知っているかについては、「知っている」が29.3%、「知らない」69.3%でした。

属性別に「知っている」をみたところ、性別では男性が28.4%、女性が30.7%となっており、男性が2.3ポイント高くなっています。

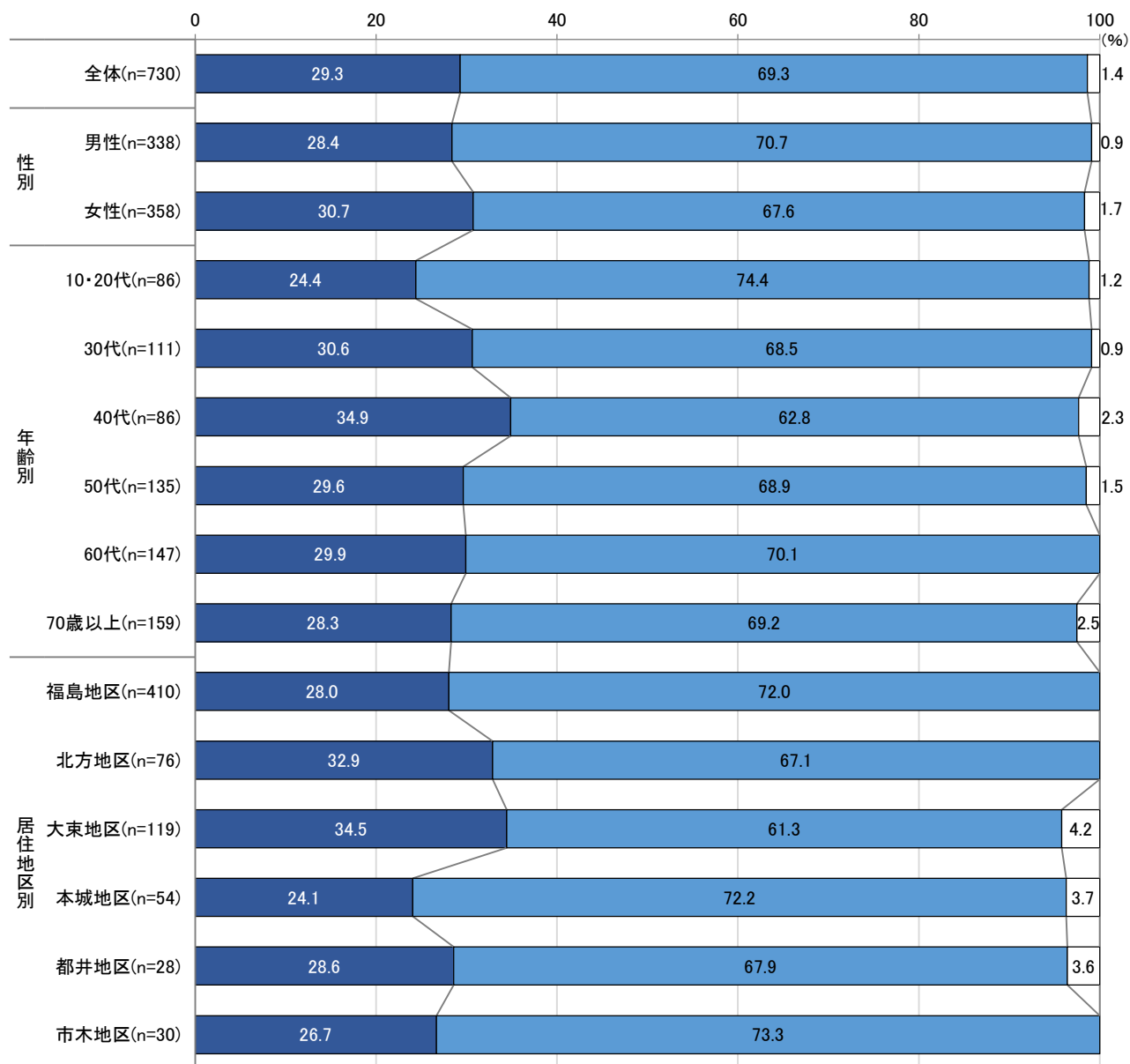
年齢では、40代（34.9%）が最も高く、次いで、30代（30.6%）、60代（29.9%）の順となっており、10・20代（24.4%）が最も低くなっています。

居住地区では、大東地区（34.5%）が最も高く、本城地区（24.1%）が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が4.2ポイント減少、女性が0.5ポイント減少しています。年齢では、10・20代、30代、40代が増加しています。

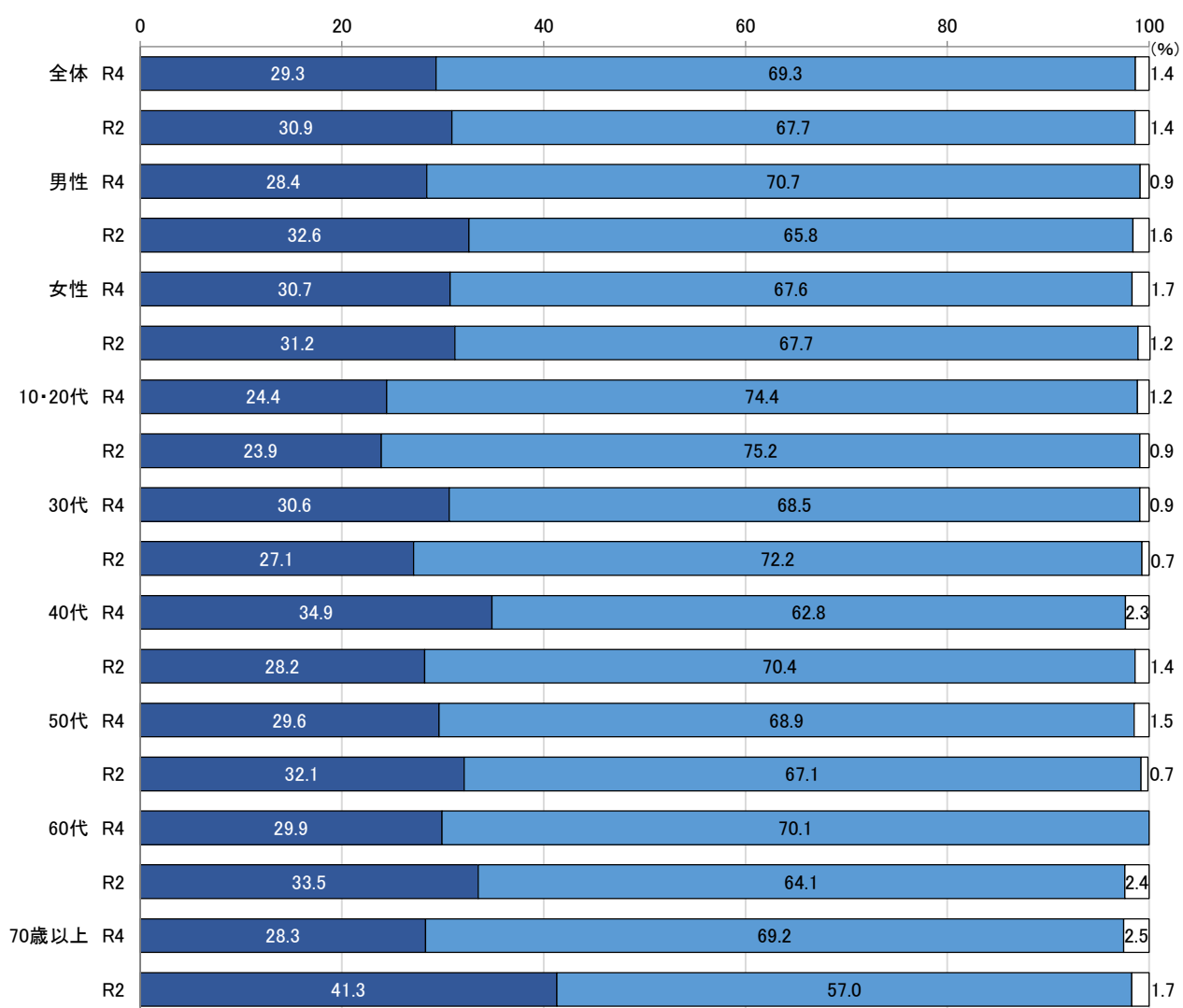
蓄電池の設置補助を知っていますか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■知っている ■知らない □無回答



■過去の調査との比較

■知っている ■知らない □無回答



(3) 結婚

問8 結婚したい人に対する支援について、どんな取組みがあったらよいですか。
【複数回答いくつでも】

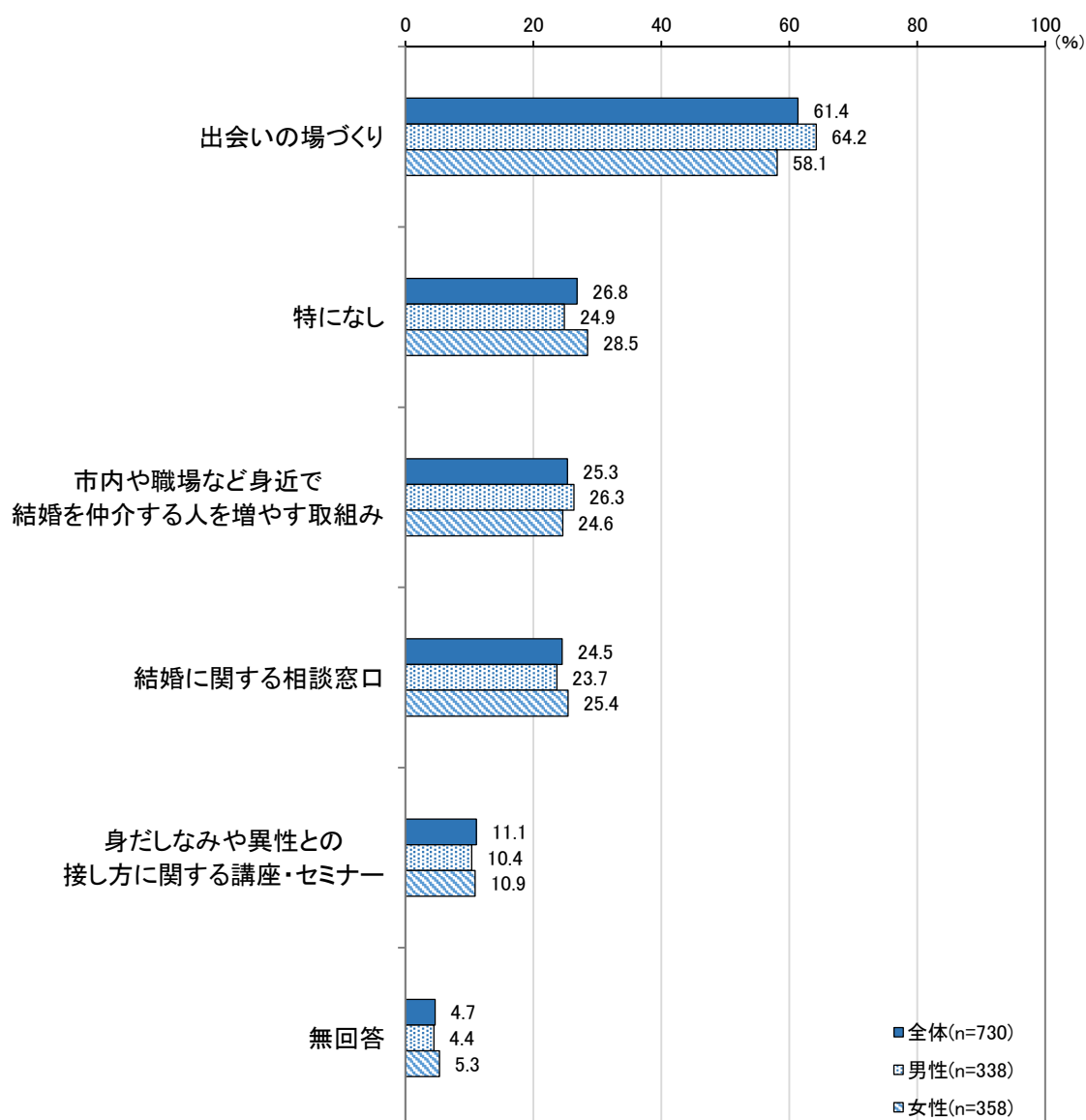


● 出会いの場づくり (61.4%) が第1位

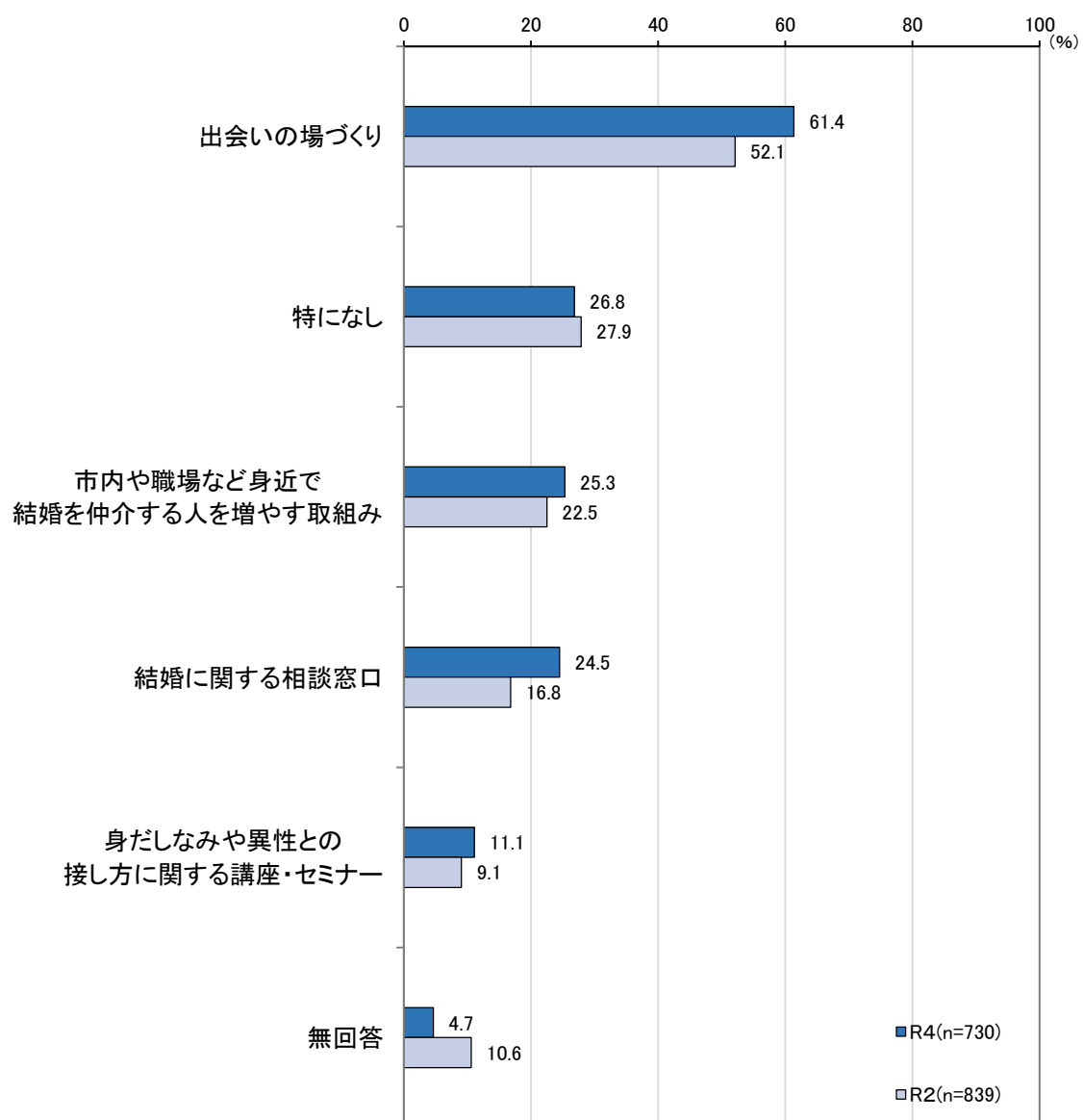
結婚したい人に対する支援はどんな取組みがあったらよいかをたずねたところ、第1位は「出会いの場づくり」(61.4%)、第2位が「特になし」(26.8%)、第3位が「市内や職場など身近で結婚を仲介する人を増やす取組み」(25.3%)の順となっています。

令和2年と比べると、「出会いの場づくり」は9.3ポイント増加しています。

結婚したい人に対する支援はどんな取組みがあったらよいか
(全体・性別／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



(4) 子育て

問9 子育てをするうえで、不安なこと、又は不安に感じたことや悩むこと、又は悩んだことはどのようなことですか。【複数回答いくつでも】

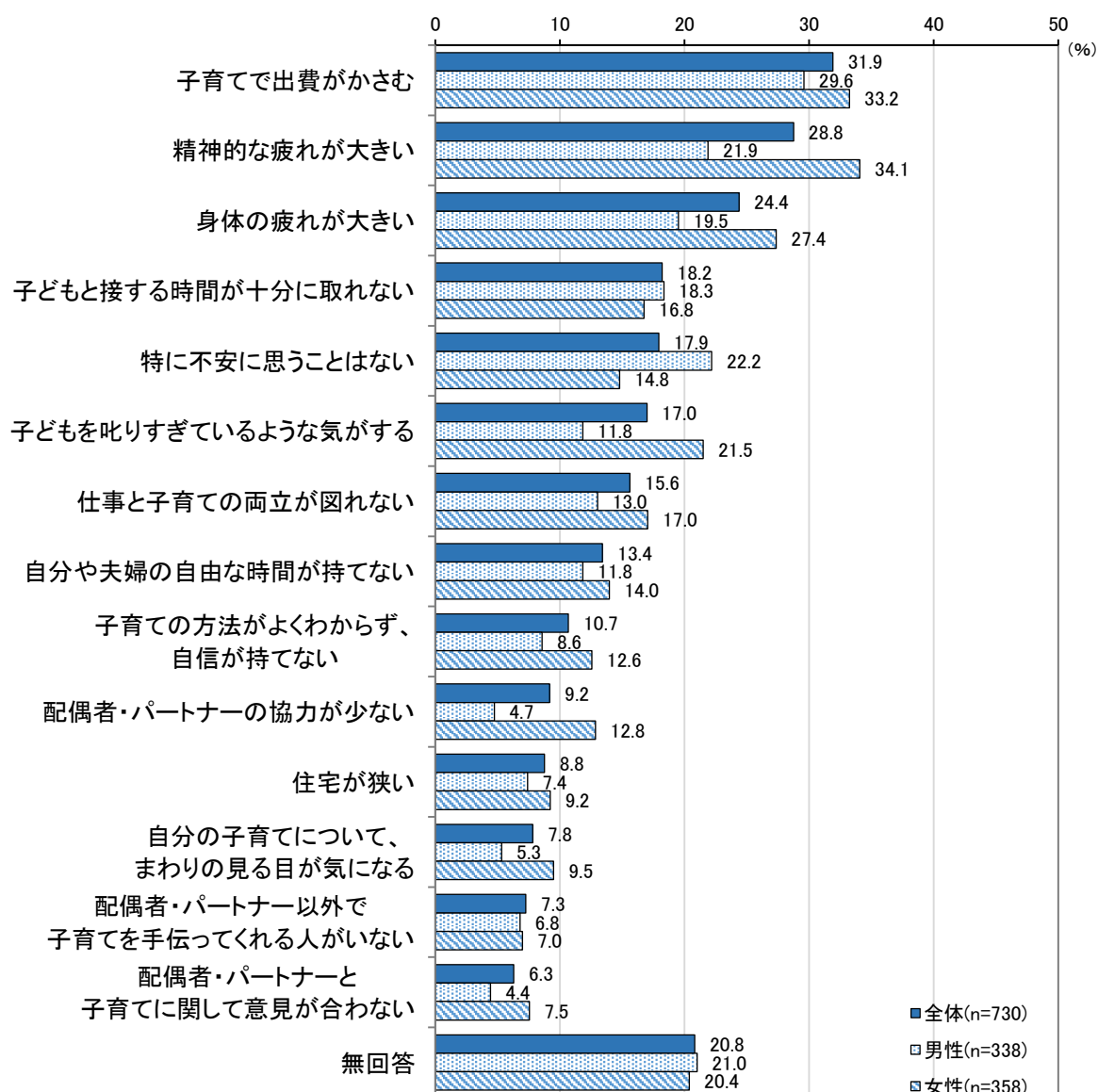


- 子育てで出費がかさむ (31.9%) が第1位

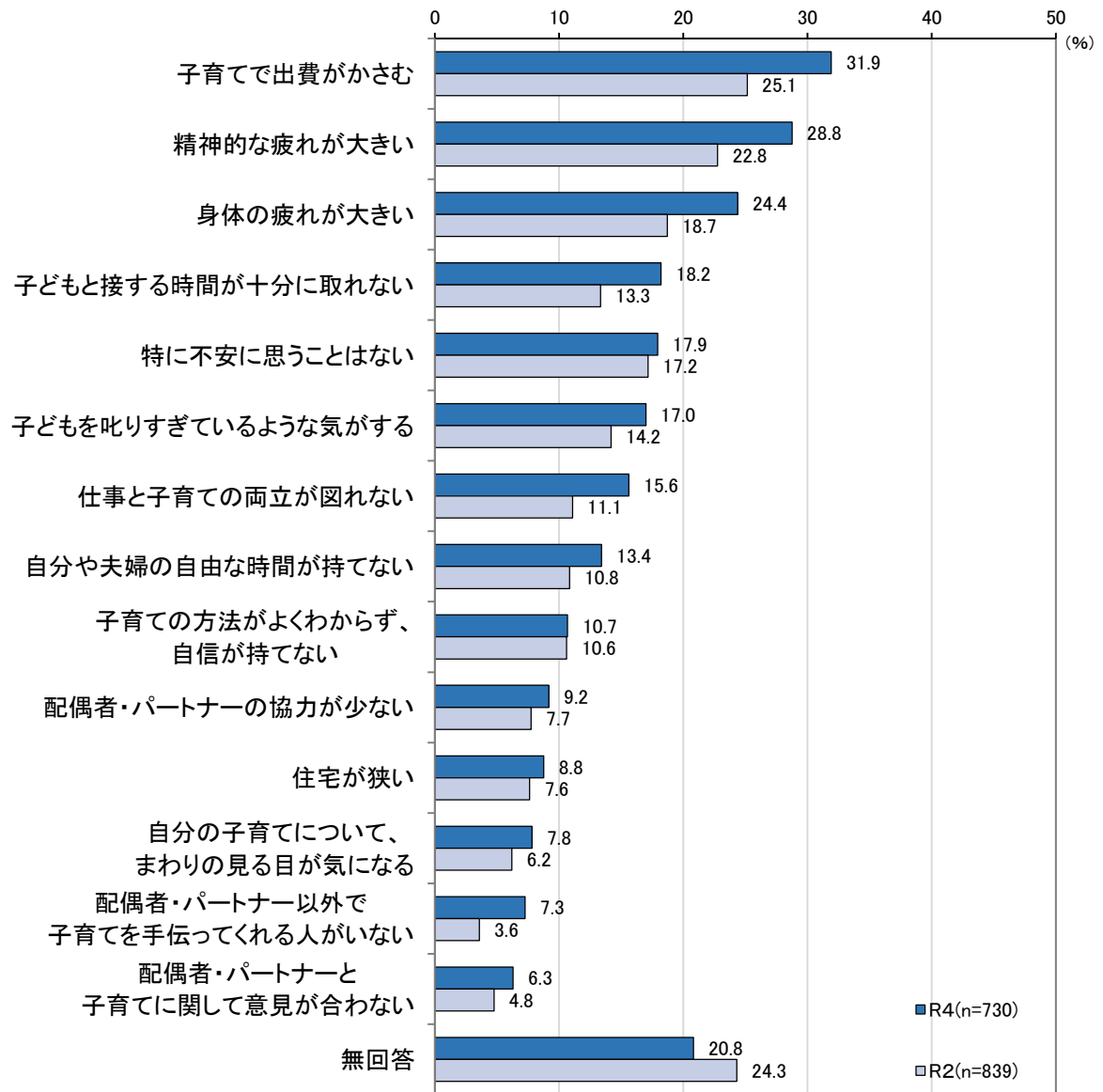
子育てで不安なこと、又は不安に感じたことや悩むこと、又は悩んだことをたずねたところ、第1位は「子育てで出費がかさむ」(31.9%)、第2位が「精神的な疲れが大きい」(28.8%)、第3位が「身体の疲れが大きい」(24.4%)の順となっています。

令和2年と比べると、「子育てで出費がかさむ」は6.8ポイント増加しています。

子育ての不安、悩み
(全体・性別／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



問 10 仕事と子育てを両立するうえで、大変だと感じることは何か、又は感じたことは何ですか。
【複数回答いくつでも】

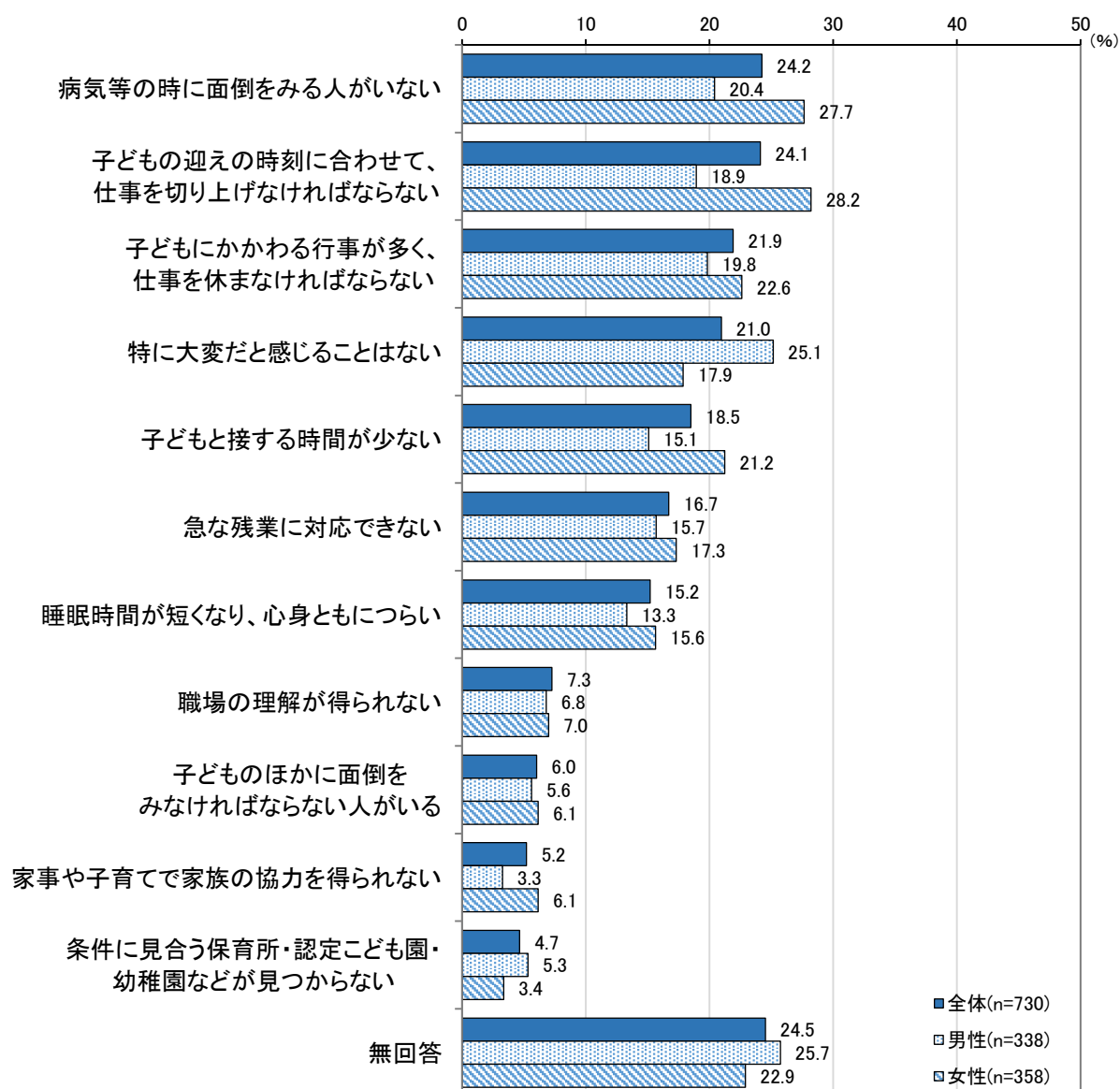


- 病気等の時に面倒をみる人がいない (24.2%) が第 1 位

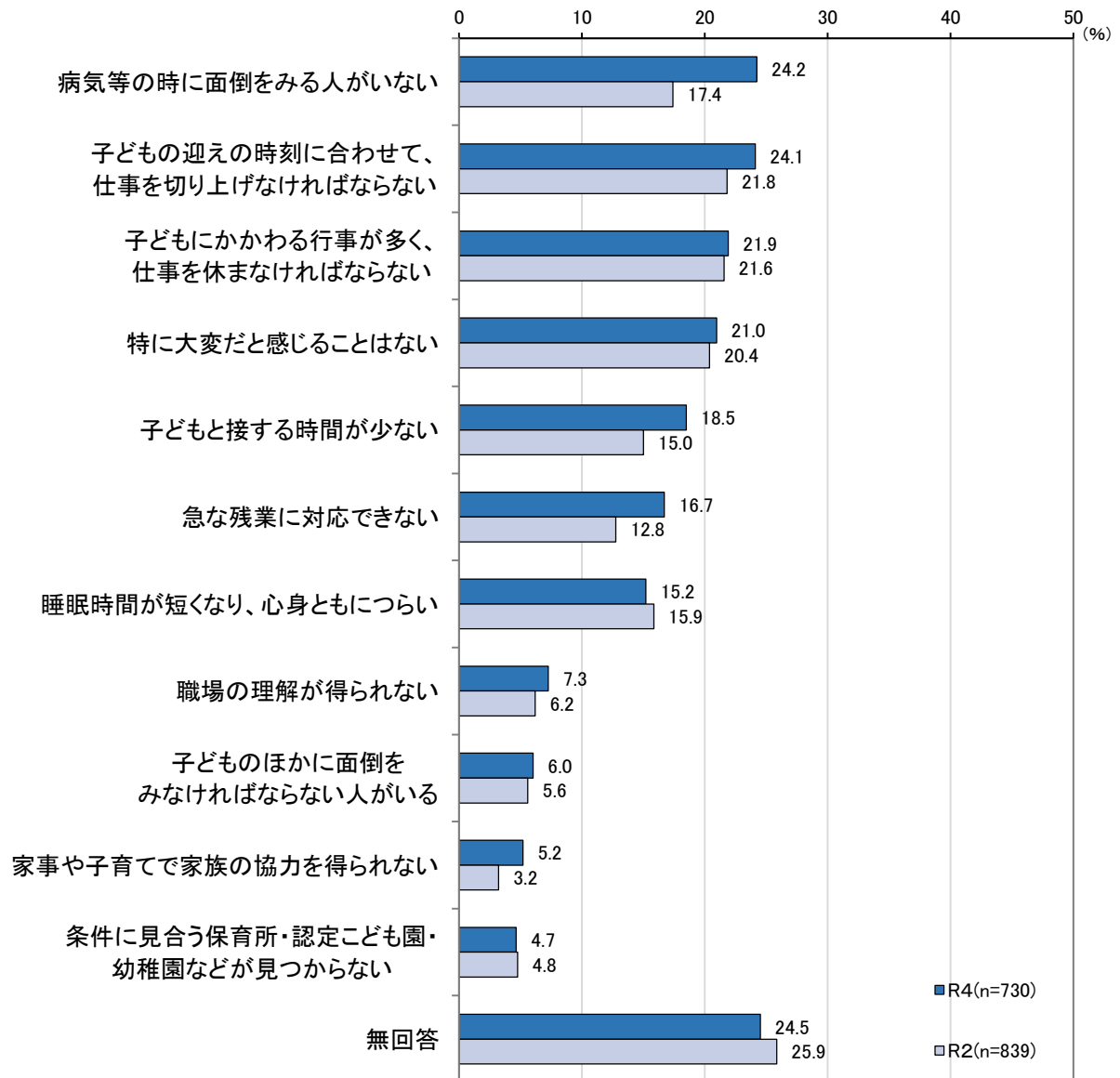
仕事と子育てを両立するうえで、大変なことをたずねたところ、第 1 位は「病気等の時に面倒をみる人がいない」(24.2%)、第 2 位が「子どもの迎えの時刻に合わせて、仕事を切り上げなければならない」(24.1%)、第 3 位が「子どもにかかわる行事が多く、仕事を休まなければならない」(21.9%) の順となっています。

令和 2 年と比べると、「病気等の時に面倒をみる人がいない」は 6.8 ポイント増加しています。

仕事と子育てを両立するうえで、大変なこと (全体・性別／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



問 11 今後、育児に関するサービスとして、市が最も力を入れるべきもの1つは、次のうちどれですか。

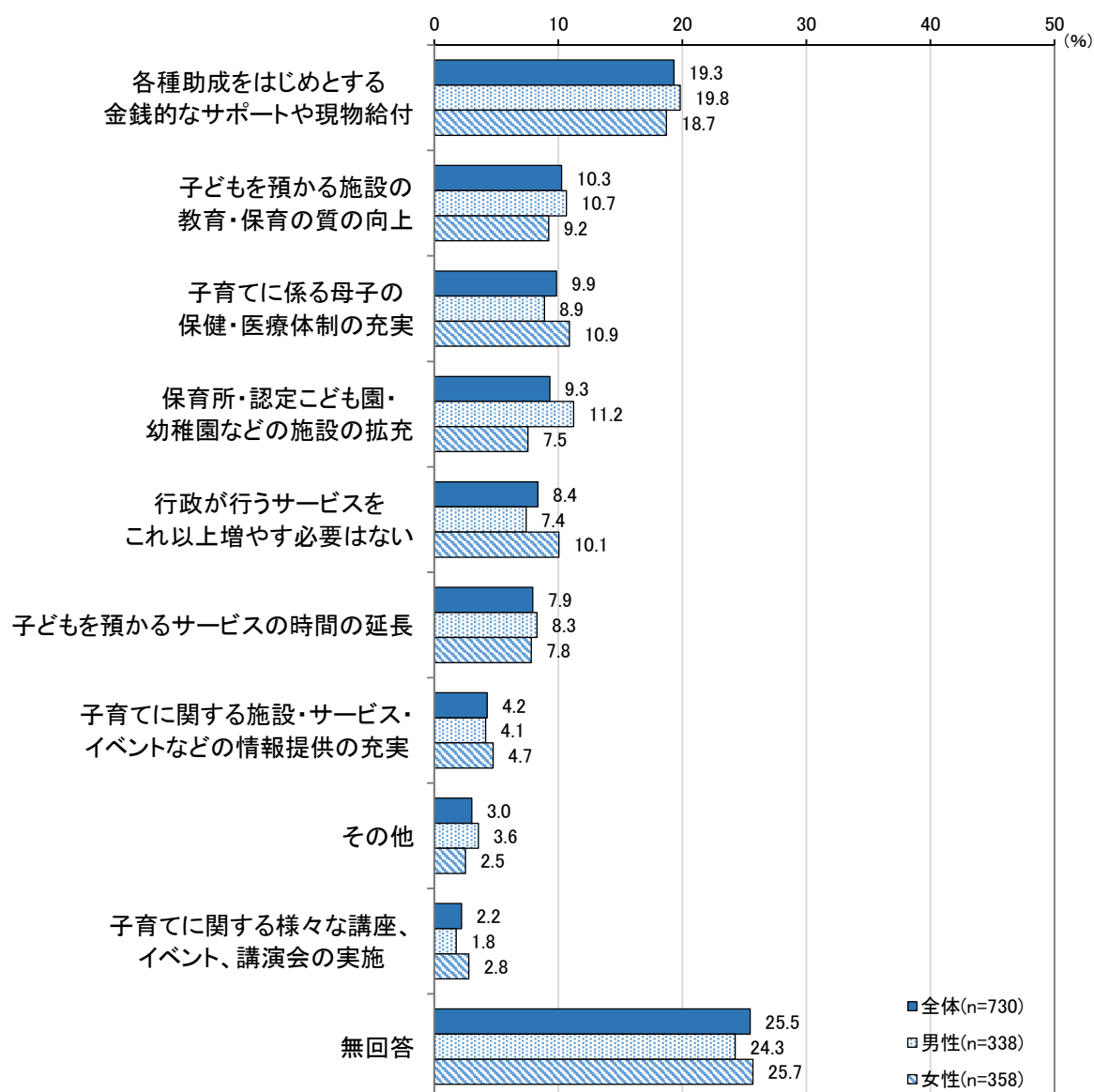


- 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付（19.3%）が第1位

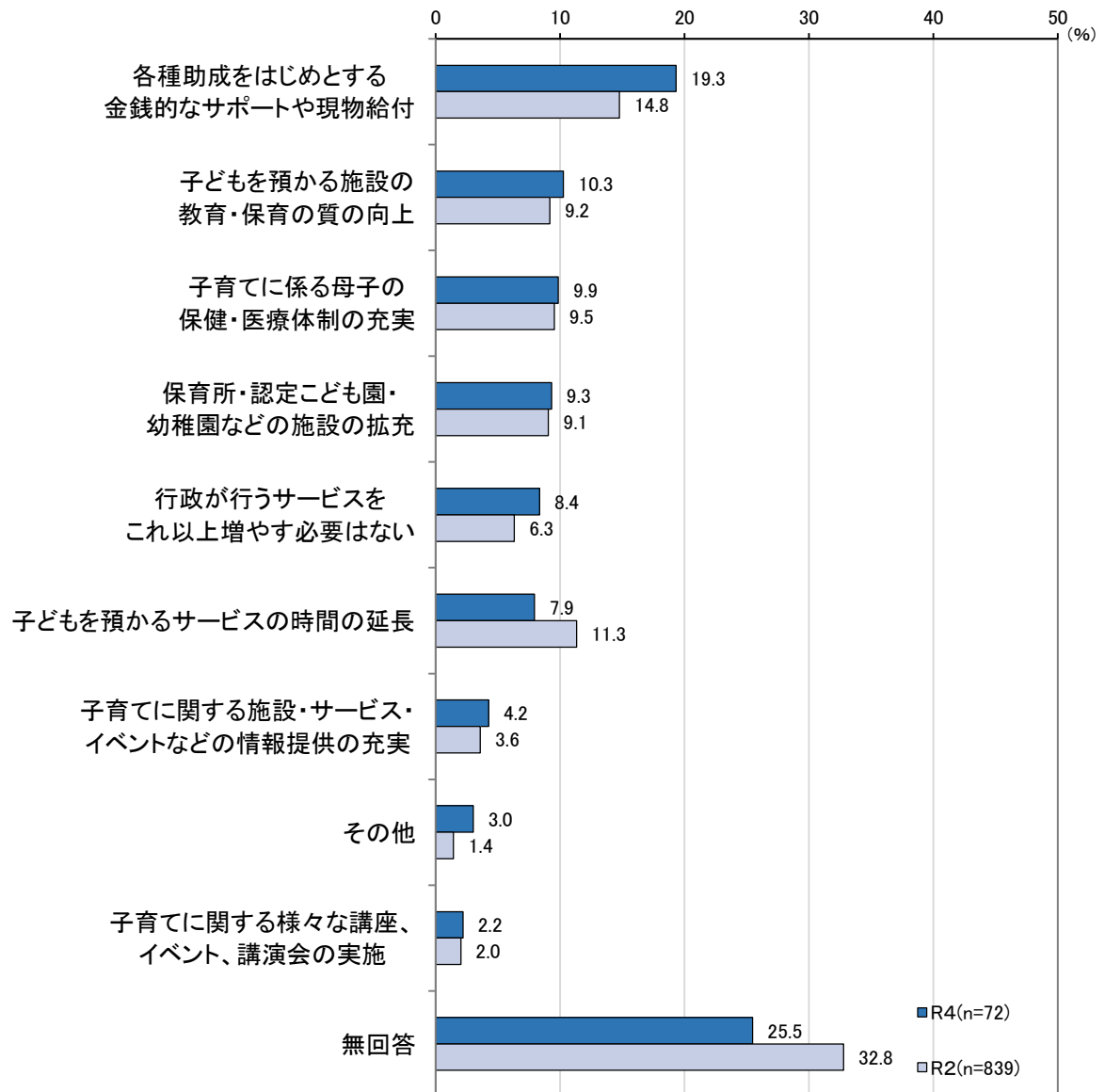
育児に関するサービスとして、市が最も力を入れるべきだと思うことをたずねたところ、第1位は「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」（19.3%）、第2位が「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」（10.3%）、第3位が「子育てに係る母子の保健・医療体制の充実」（9.9%）の順となっています。

令和2年と比べると、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」は4.5ポイント増加しています。

育児に関するサービスとして、市が最も力を入れるべきだと思うこと
（全体・性別）



■過去の調査との比較



(5) 仕事

問 12 市のよりよい労働市場を形成するために、次の行政サービスのうち、必要だと感じるものはどれですか。【複数回答いくつでも】

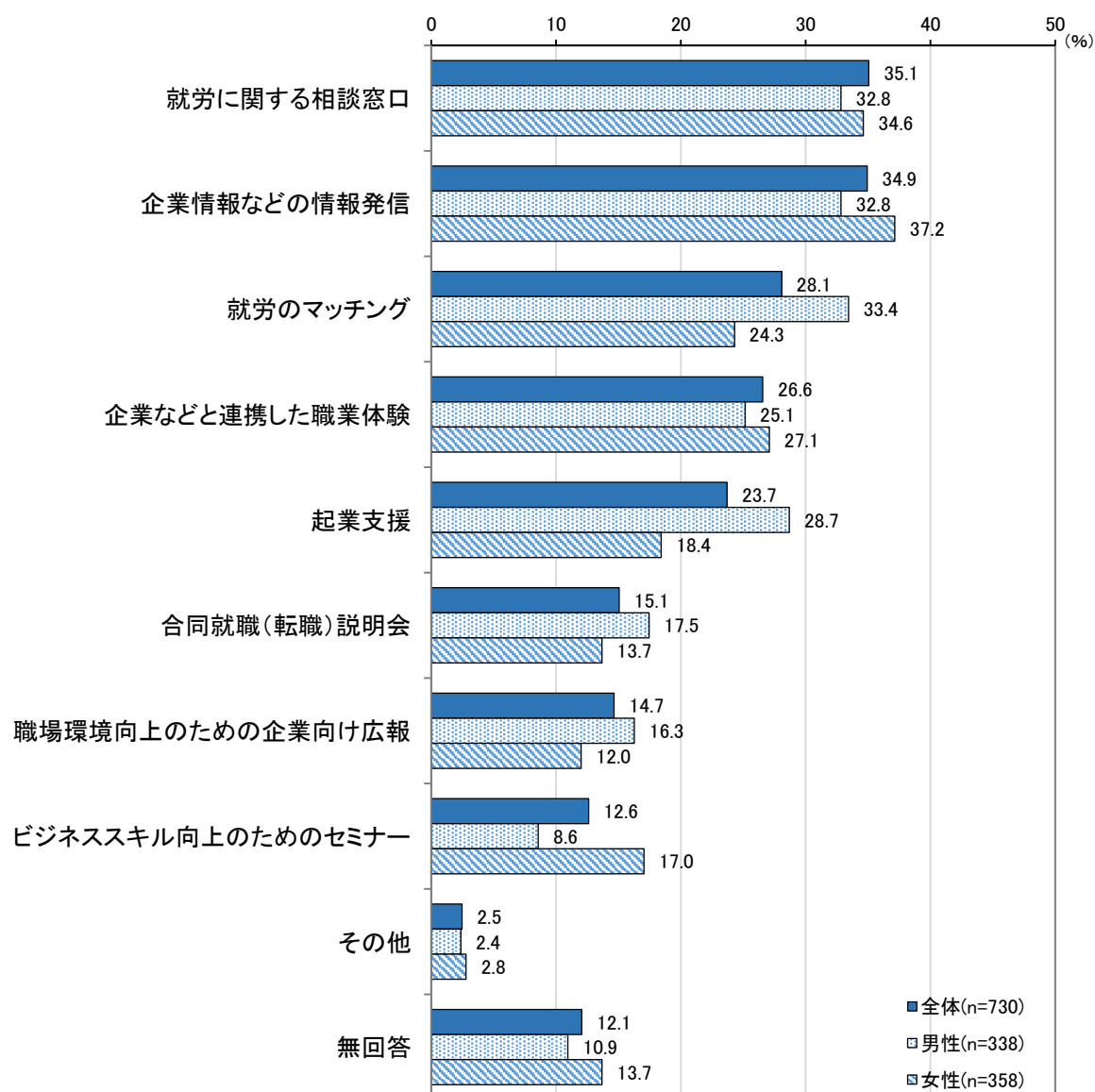


● 就労に関する相談窓口（35.1%）が第1位

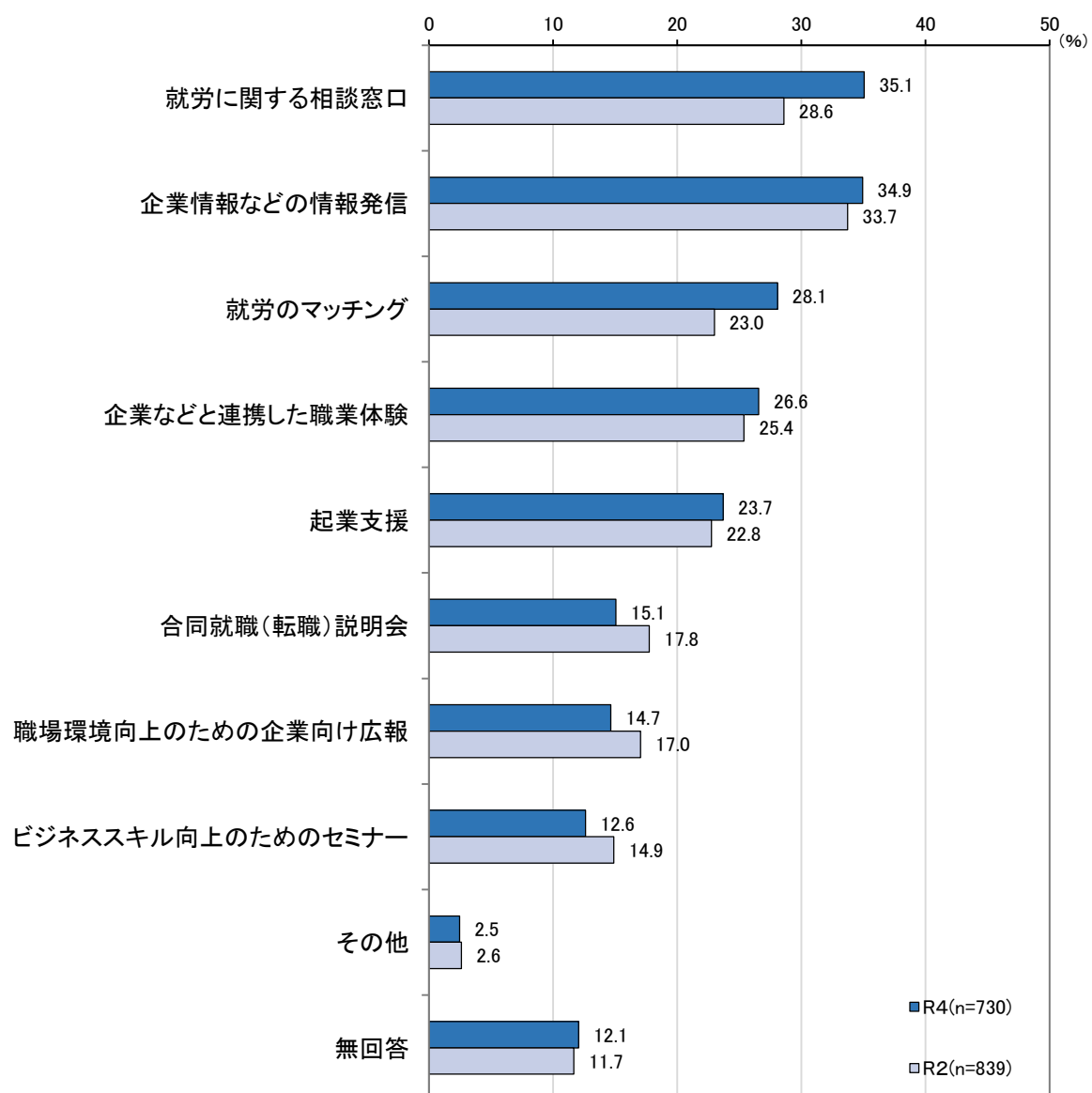
よりよい労働市場を形成するために必要だと感じるものをたずねたところ、第1位は「就労に関する相談窓口」（35.1%）、第2位が「企業情報などの情報発信」（34.9%）、第3位が「就労のマッチング」（28.1%）の順となっています。

令和2年と比べると、「就労に関する相談窓口」は6.5ポイント増加しています。

よりよい労働市場を形成するために必要だと感じるもの
（全体・性別／複数回答いくつでも）



■過去の調査との比較



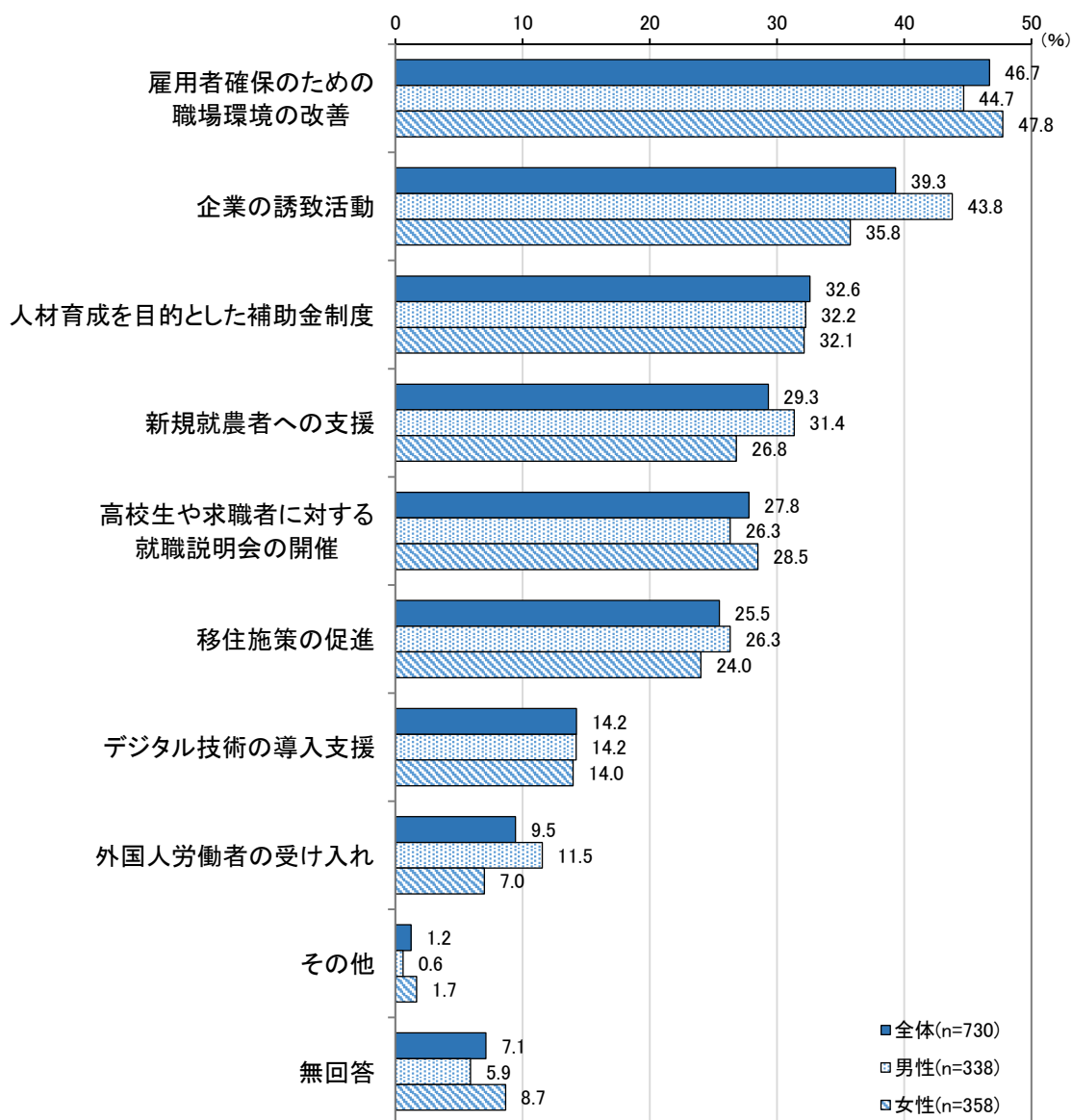
問 13 市が人手不足、担い手不足解消のために力を入れるべきものは何ですか。
【複数回答 3 つまで】



- 雇用確保のための職場環境の改善（46.7%）が第 1 位

市が人手不足、担い手不足解消のために力を入れるべきものについてたずねたところ、第 1 位は「雇用確保のための職場環境の改善」（46.7%）、第 2 位が「企業の誘致活動」（39.3%）、第 3 位が「人材育成を目的とした補助金制度」（32.6%）の順となっています。

市が人手不足、担い手不足解消のために力を入れるべきもの
（全体・性別／複数回答いくつでも）



(6) 人口減少

問 14 串間市の人口の社会減は、主に若者世代が進学や就職のために転出したまま串間市に戻らないことに起因しています。あなたは、この原因は何だと思いますか。最も大きな原因として考えられる番号 1 つに○を付けてください。

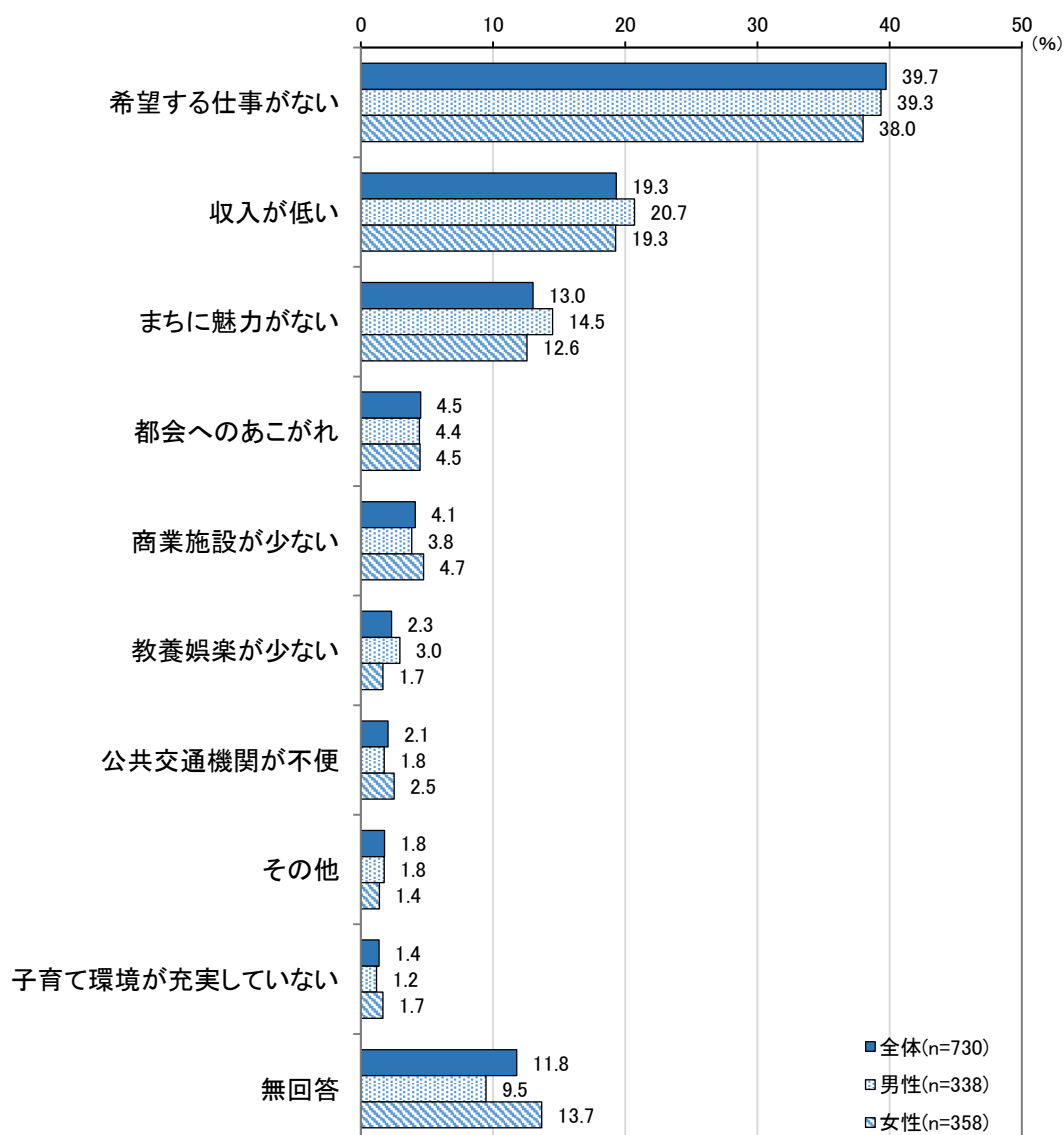


- 希望する仕事がない (39.7%) が第 1 位

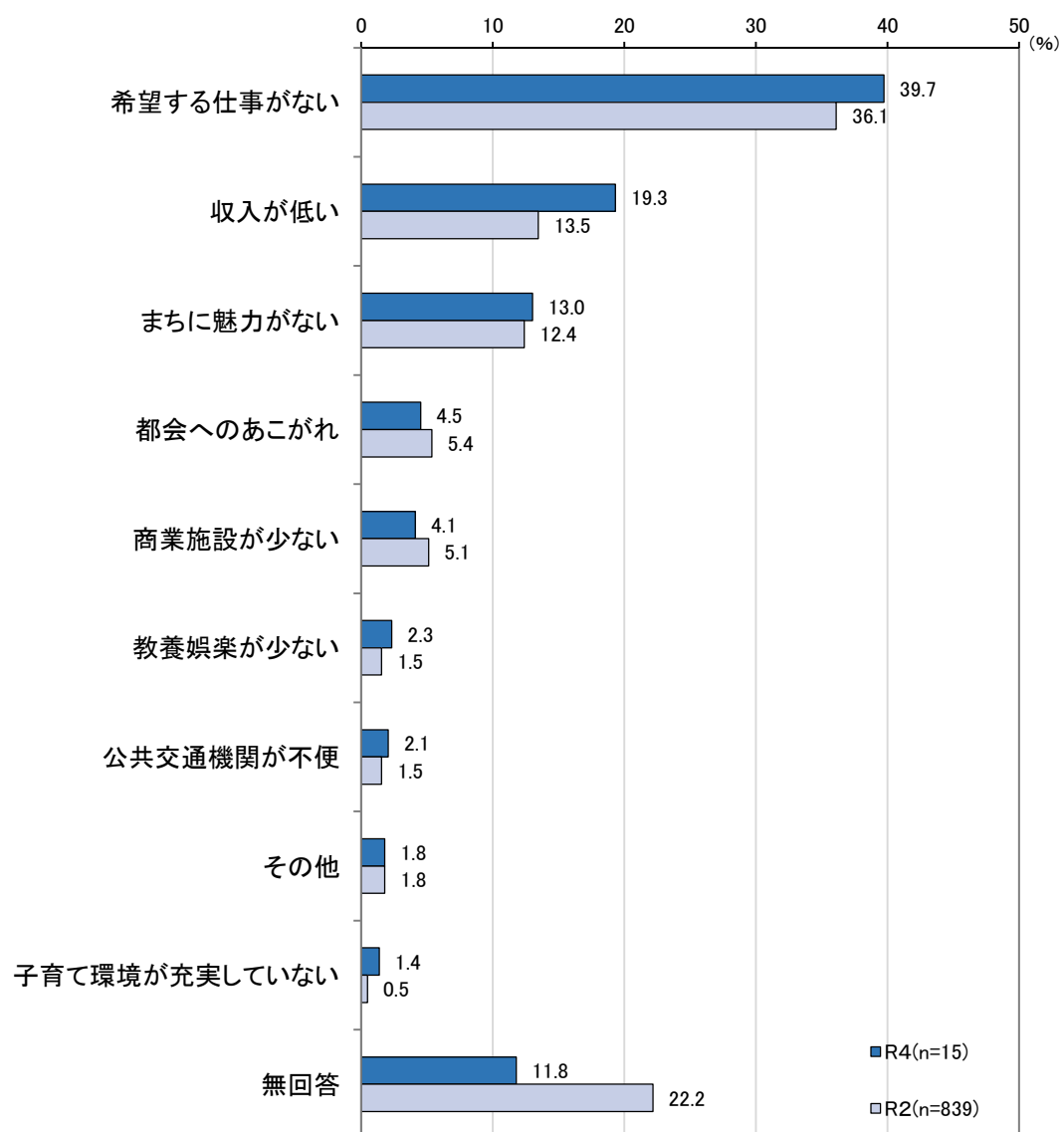
主に若者世代が進学や就職のために転出したまま串間市に戻らない原因だと思うことをたずねたところ、第 1 位は「希望する仕事がない」(39.7%)、第 2 位が「収入が低い」(19.3%)、第 3 位が「まちに魅力がない」(13.0%) の順となっています。

令和 2 年と比べると、「希望する仕事がない」は 3.6 ポイント増加しています。

主に若者世代が串間市に戻らない原因だと思うこと
(全体・性別)



■過去の調査との比較



問 15 人口減少の対策として、あなたの自治会内に市外からの移住者を受け入れたいと思いますか。



- 『受け入れたい』が 75.5%、『受け入れたくない』が 22.3%

自治会内に市外からの移住者を受け入れたいと思うかをたずねたところ「ある程度そう思う」と答えた人が 44.1%と最も高く、これに「そう思う」(31.4%)を合わせた 75.5%の人が『受け入れたい』という意向を示しています。一方、「あまり思わない」(17.0%)及び「そう思わない」(5.3%)と答えた『受け入れたくない』という人の合計は 22.3%でした。

属性別に『受け入れたい』をみたところ、性別では男性が 74.2%、女性が 76.0%となっており、女性が 1.8 ポイント高くなっています。

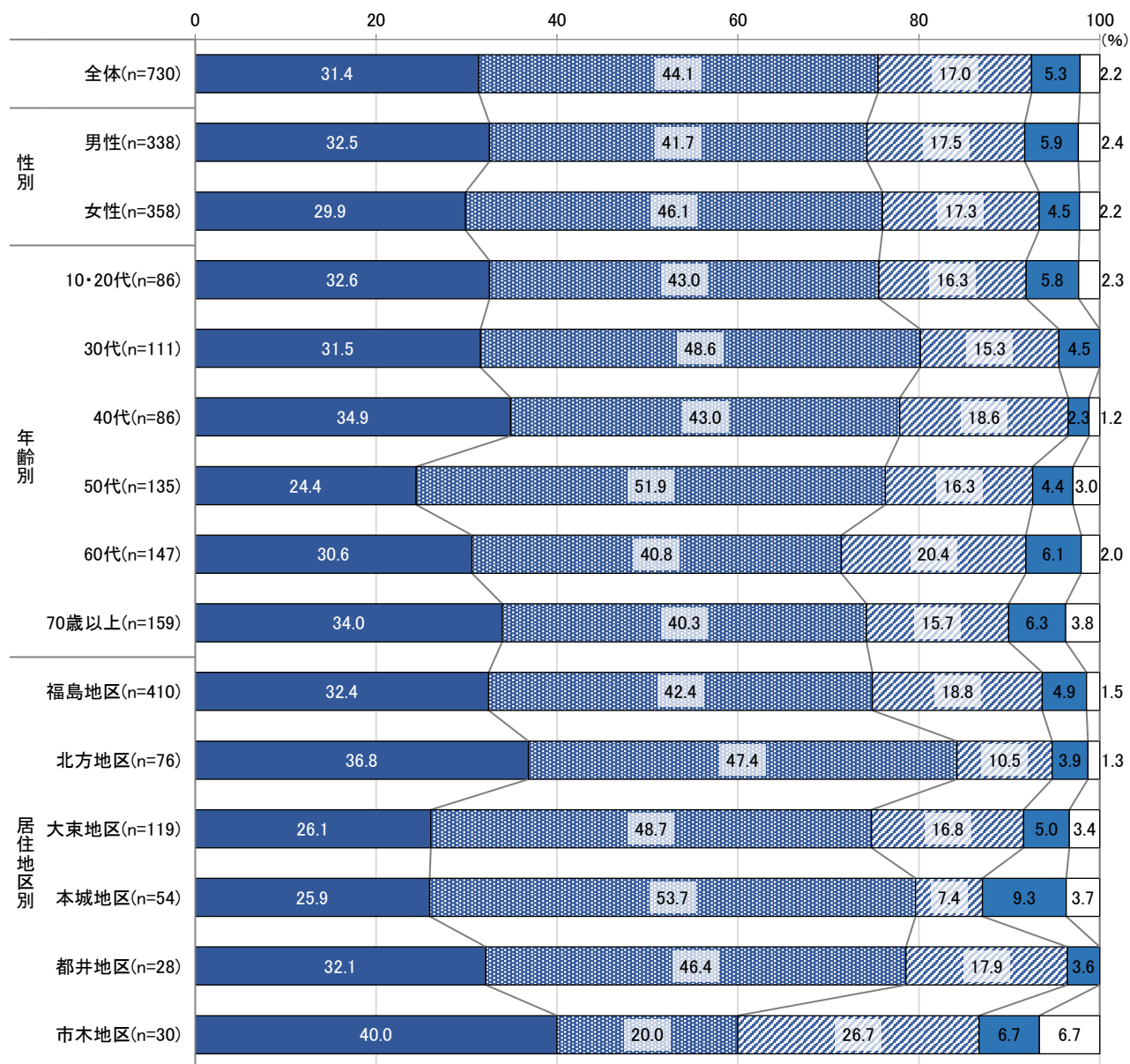
年齢では、30 代 (80.1%) が最も高く、次いで、40 代 (77.9%)、50 代 (76.3%) の順となっており、60 代 (71.4%) が最も低くなっています。

居住地区では、北方地区 (84.2%) が最も高く、市木地区 (60.0%) が最も低くなっています。

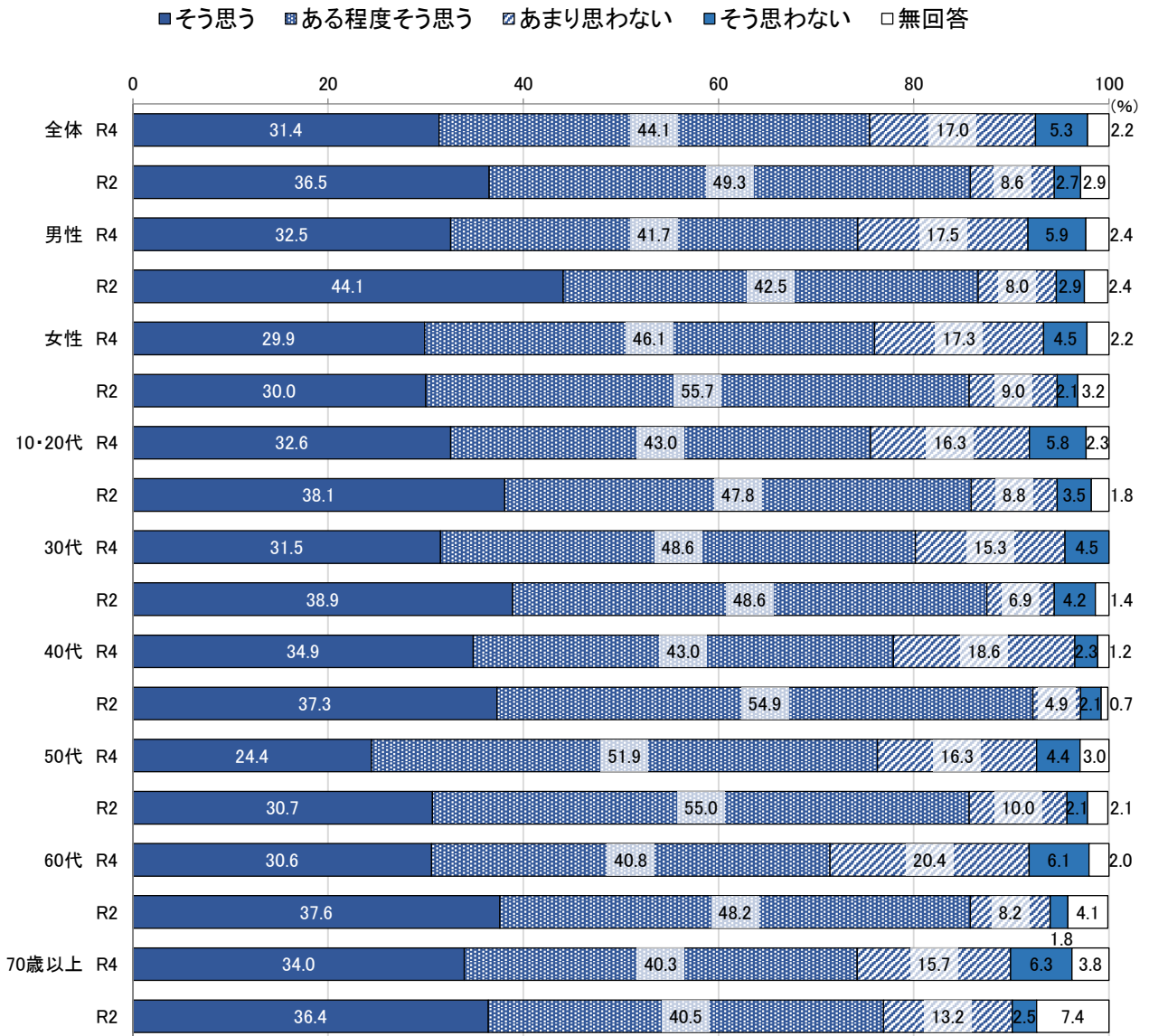
令和 2 年と比べると、男性が 12.4 ポイント減少、女性が 9.7 ポイント減少しています。年齢では、全ての年代で減少しています。

人口減少の対策として、市外からの移住者を受け入れたいか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ あまり思わない ■ そう思わない □ 無回答



■過去の調査との比較



問 16 あなたが住む場所を決めたり住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスは何ですか。【複数回答いくつでも】

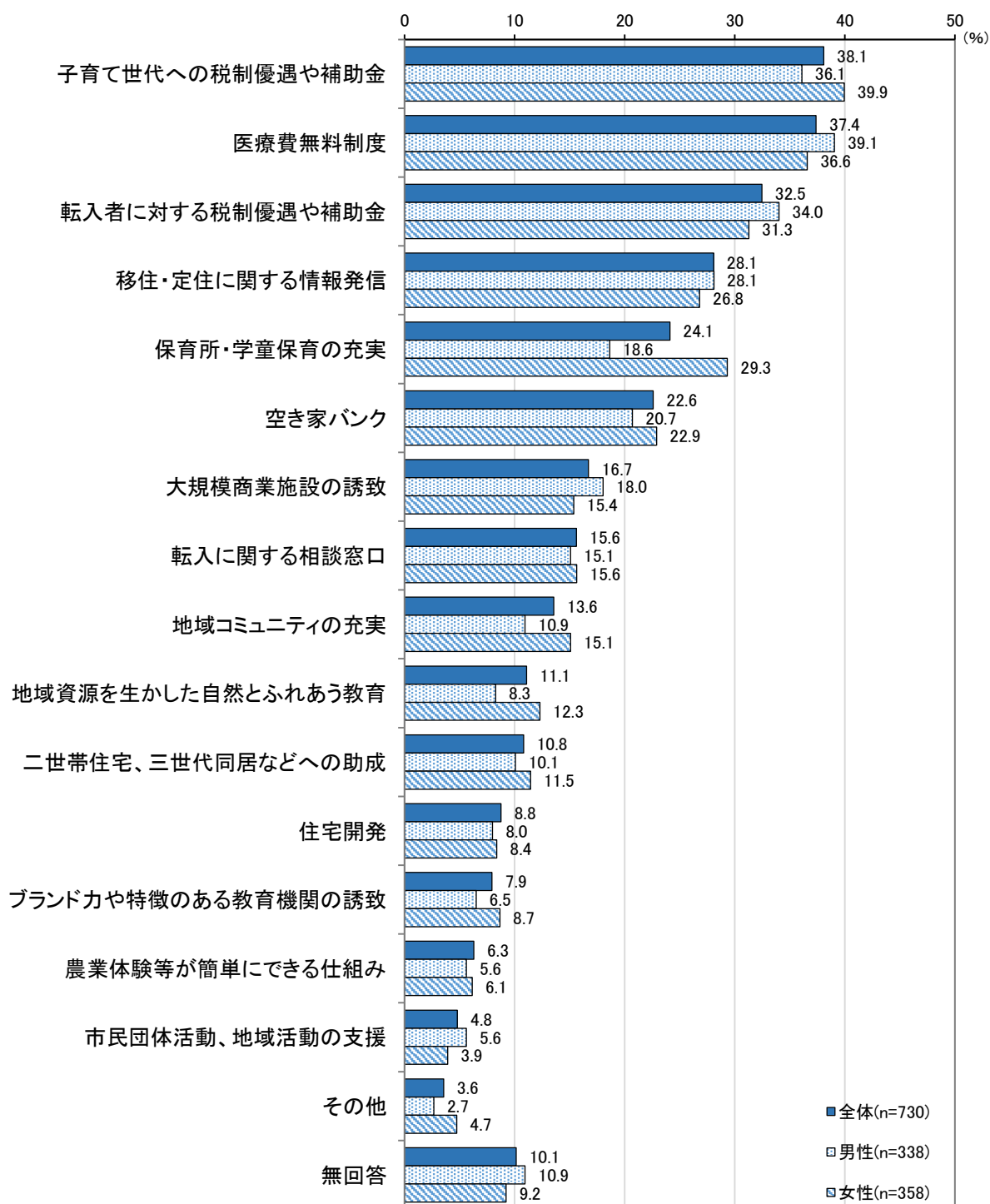


- 子育て世代への税制優遇や補助金（38.1%）が第1位

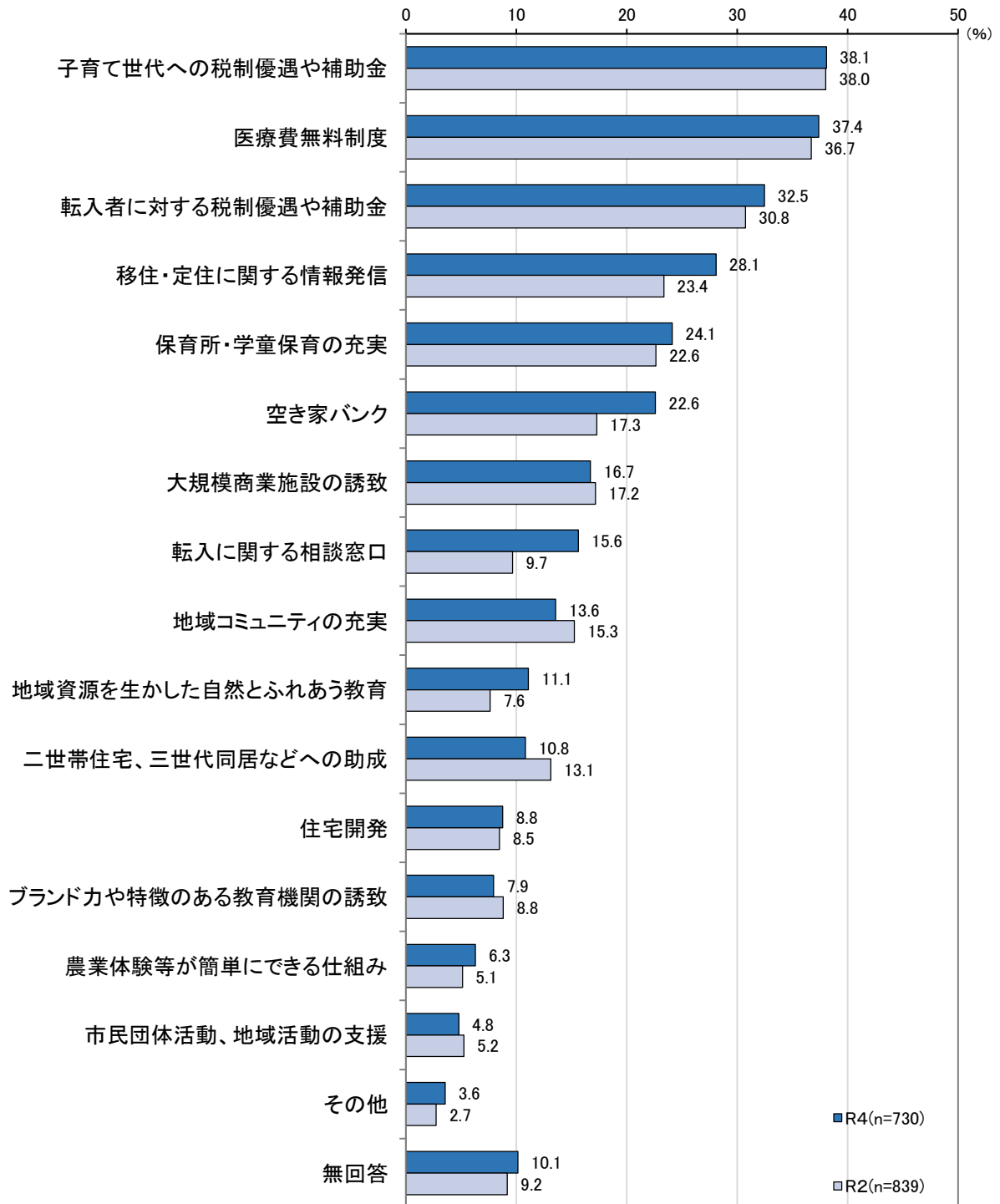
住む場所を決めたり住宅を購入したりする際に、きっかけになり得る行政サービスだと思うものをたずねたところ、第1位は「子育て世代への税制優遇や補助金」（38.1%）、第2位が「医療費無料制度」（37.4%）、第3位が「転入者に対する税制優遇や補助金」（32.5%）、第4位が「移住・定住に関する情報発信」（28.1%）、第5位が「保育所・学童保育の充実」（24.1%）の順となっています。

令和2年と比べると、上位5位は変動ありません。

住む場所を決めたり住宅を購入したりする際に、
きっかけになり得る行政サービスだと思うもの
(全体・性別／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



6 デジタル化に関する分野について

(1) インターネットの利用状況

問 17 生活の中で、インターネット（パソコン・スマートフォン等）を利用していますか。



- 「利用している」が 74.9%、一方、「利用していない」が 22.8%。

インターネットを利用しているかについては、「利用している」が 74.9%、「利用していない」が 22.6%となっています。

属性別に「利用している」をみたところ、性別では男性が 71.3%、女性が 78.8%となっており、女性が 7.5 ポイント高くなっています。

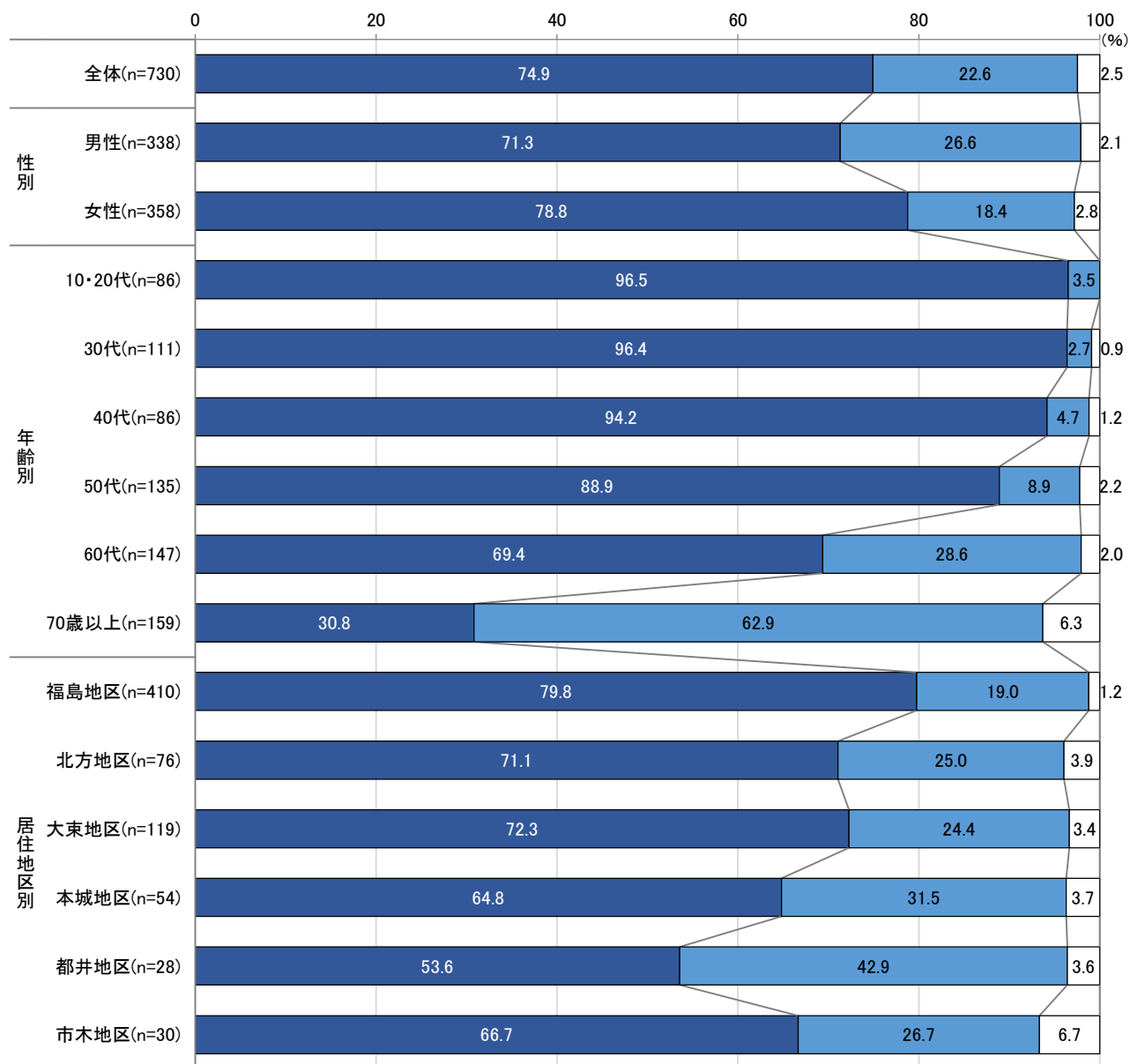
年齢では、10・20 代（96.5%）が最も高く、次いで、30 代（96.4%）、40 代（94.2%）の順となっており、70 歳以上（30.8%）が最も低くなっています。

居住地区では、福島地区（79.8%）が最も高く、都井地区（53.6%）が最も低くなっています。

令和 2 年と比べると、男性が 2.0 ポイント減少、女性が 5.8 ポイント増加しています。年齢では、全ての年代で増加しています。

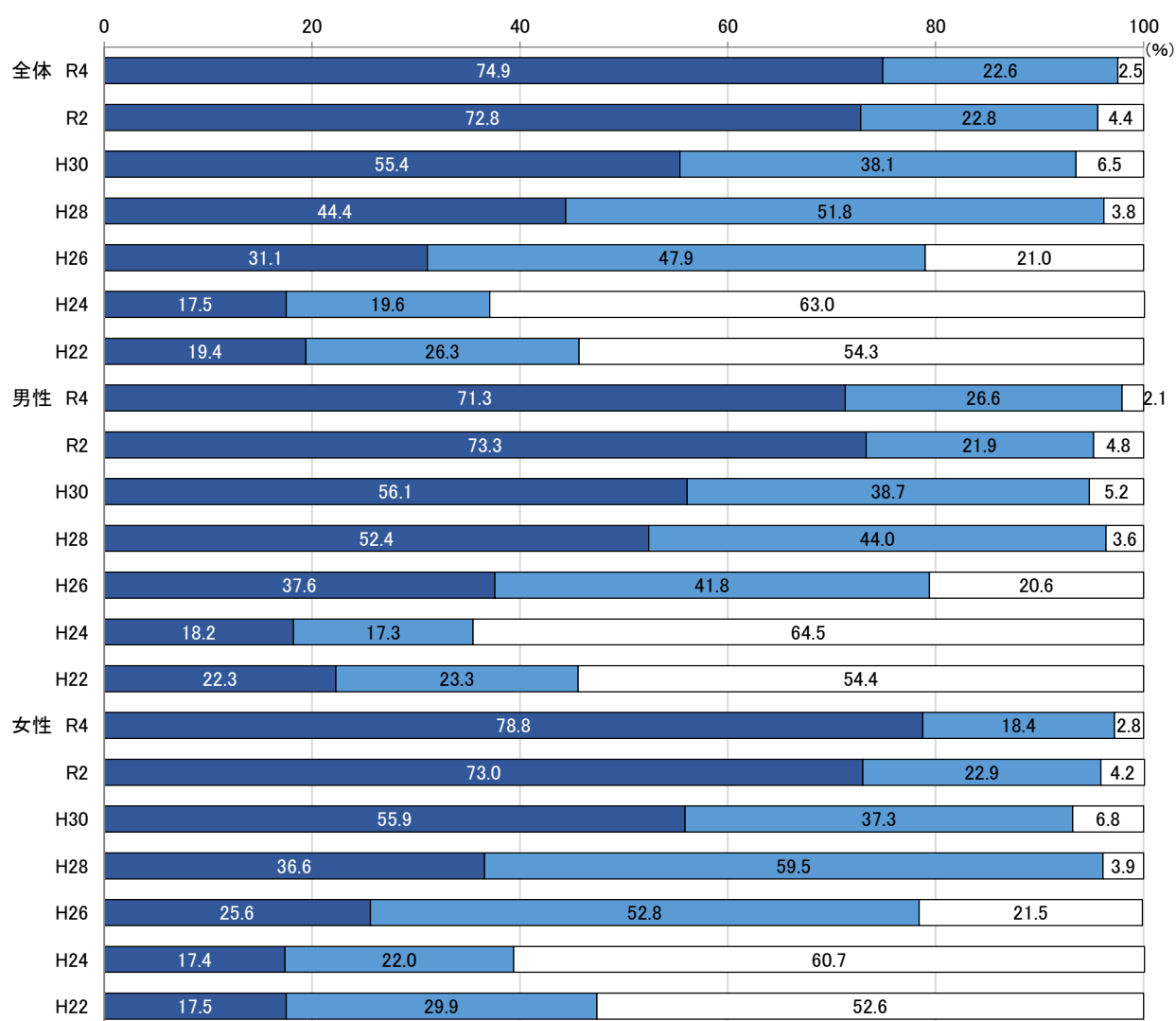
インターネットを利用しているか (全体・性別・年齢・居住地区)

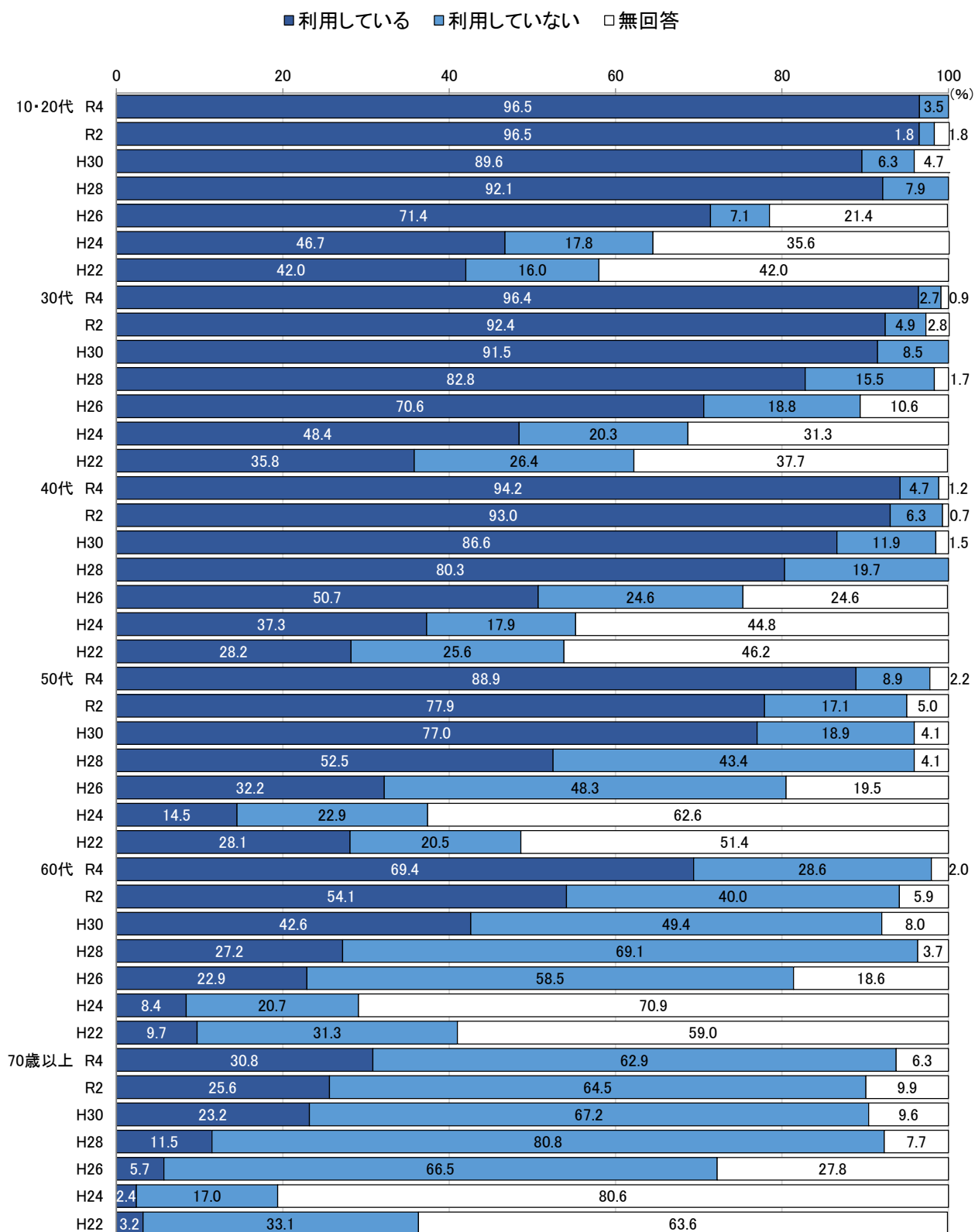
■利用している ■利用していない □無回答



■過去の調査との比較

■利用している ■利用していない □無回答





(2) 行政のデジタル化

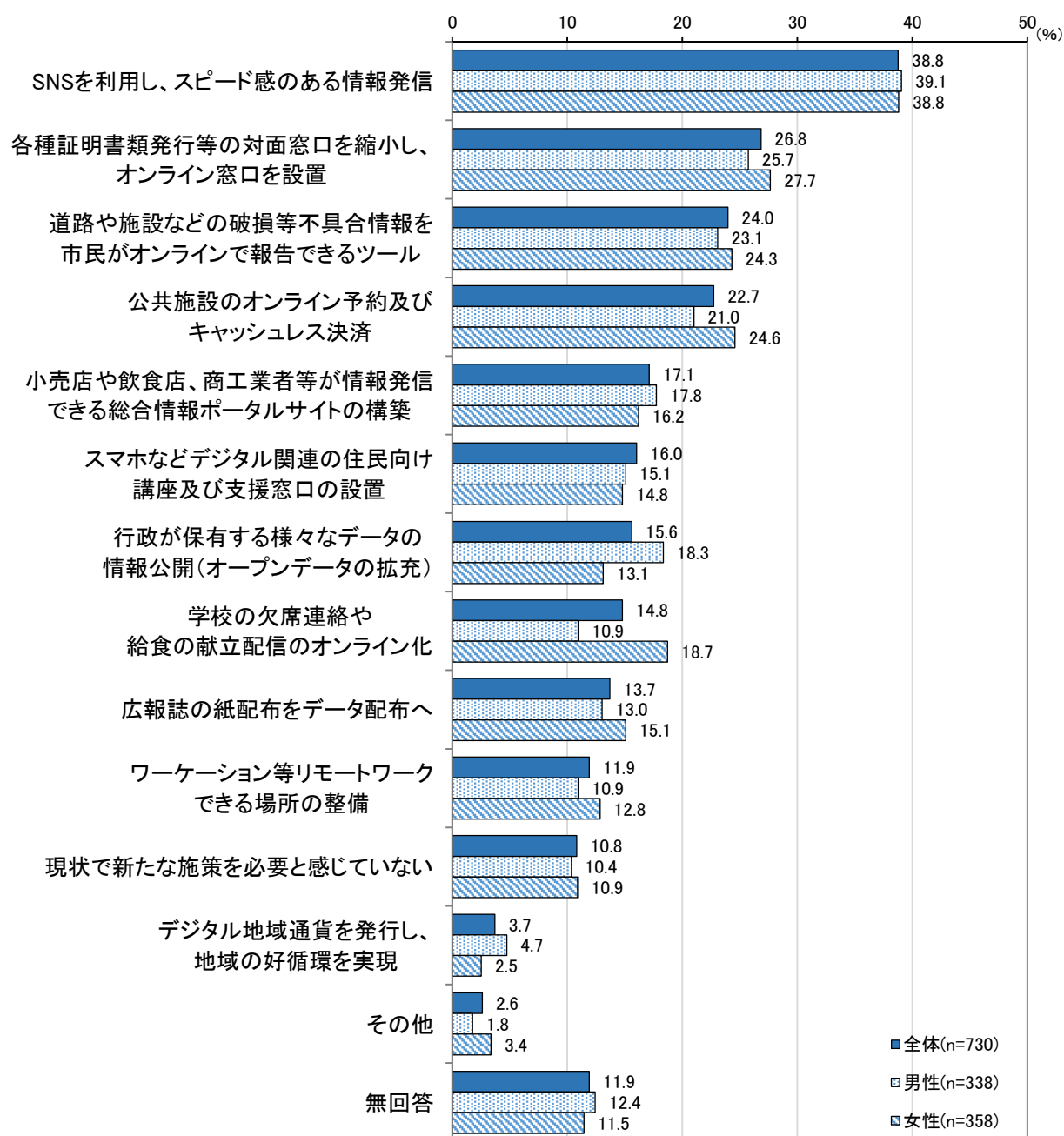
問 18 行政のデジタル化で優先すべきだと思う施策はどのようなことですか
【複数回答いくつでも】



- 「SNS を利用し、スピード感のある情報発信」(38.8%) が第 1 位

行政のデジタル化で優先すべきだと思う施策についてたずねたところ、第 1 位は「SNS を利用し、スピード感のある情報発信」(38.8%)、第 2 位が「各種証明書類発行等の対面窓口を縮小し、オンライン窓口を設置」(26.8%)、第 3 位が「道路や施設などの破損等不具合情報を市民がオンラインで報告できるツール」(24.0%)、第 4 位が「公共施設のオンライン予約及びキャッシュレス決済」(22.7%)、第 5 位が「小売店や飲食店、商工業者等が情報発信できる総合情報ポータルサイトの構築」(17.1%) の順になっています。

行政のデジタル化で優先すべきだと思う施策
(全体・性別／複数回答いくつでも)



7 コミュニティ活動、参画・協働について

(1) 地域活動

問 19 あなたの現在のコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- 現在『参加している』が 28.9%、『参加していない』が 65.7%
- 今後『参加したい』が 55.2%、『参加するつもりはない』が 39.4%。

コミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についてたずねたところ、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 35.8%と最も高く、次いで、「現在参加していないが、今後は参加したい」（29.9%）、「現在参加しており、今後も参加したい」（25.3%）、「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」（3.6%）の順となっています。

現在の参加状況でみると、「現在参加しており、今後も参加したい」と「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」を合わせた『参加している』は 28.9%、一方「現在参加していないが、今後は参加したい」と「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」を合わせた『参加していない』は 65.7%となっています。

これを今後の参加意向でみると、「現在参加していないが、今後は参加したい」と「現在参加しており、今後も参加したい」を合わせた『参加したい』が 55.2%、「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」と「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」を合わせた『参加するつもりはない』が 39.4%となっており、現在『参加している』人の 28.9%から今後『参加したい』人が 55.2%と大きく上回る結果となっています。

属性別で『参加したい』をみると、性別では男性が 60.3%、女性が 50.0%となっており、男性が 10.3 ポイント高くなっています。

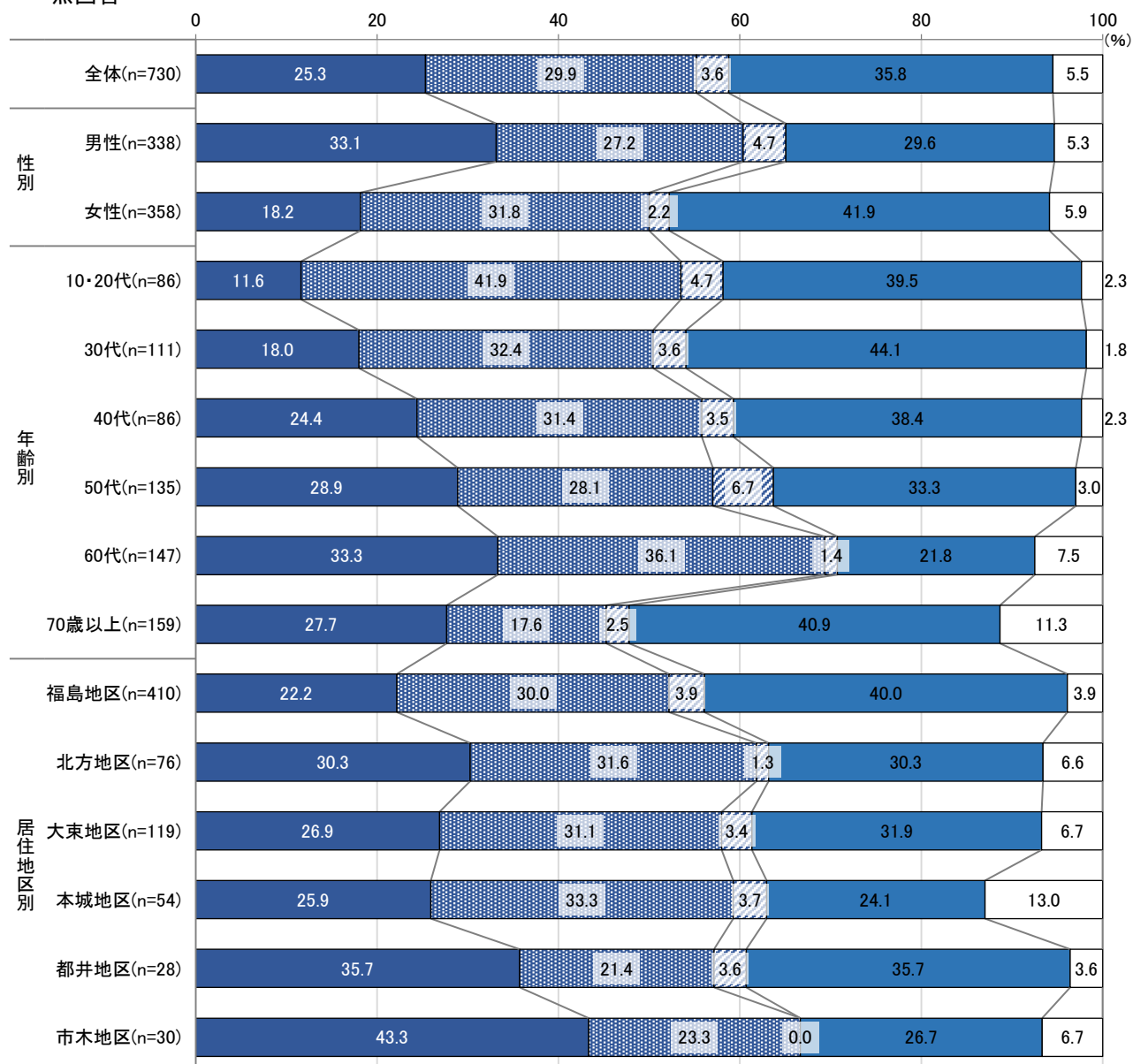
年齢では、60 代（69.4%）が最も高く、次いで、50 代（57.0%）、40 代（55.8%）の順となっており、70 歳以上（45.3%）が最も低くなっています。

居住地区では、市木地区（66.6%）が最も高く、福島地区（52.2%）が最も低くなっています。

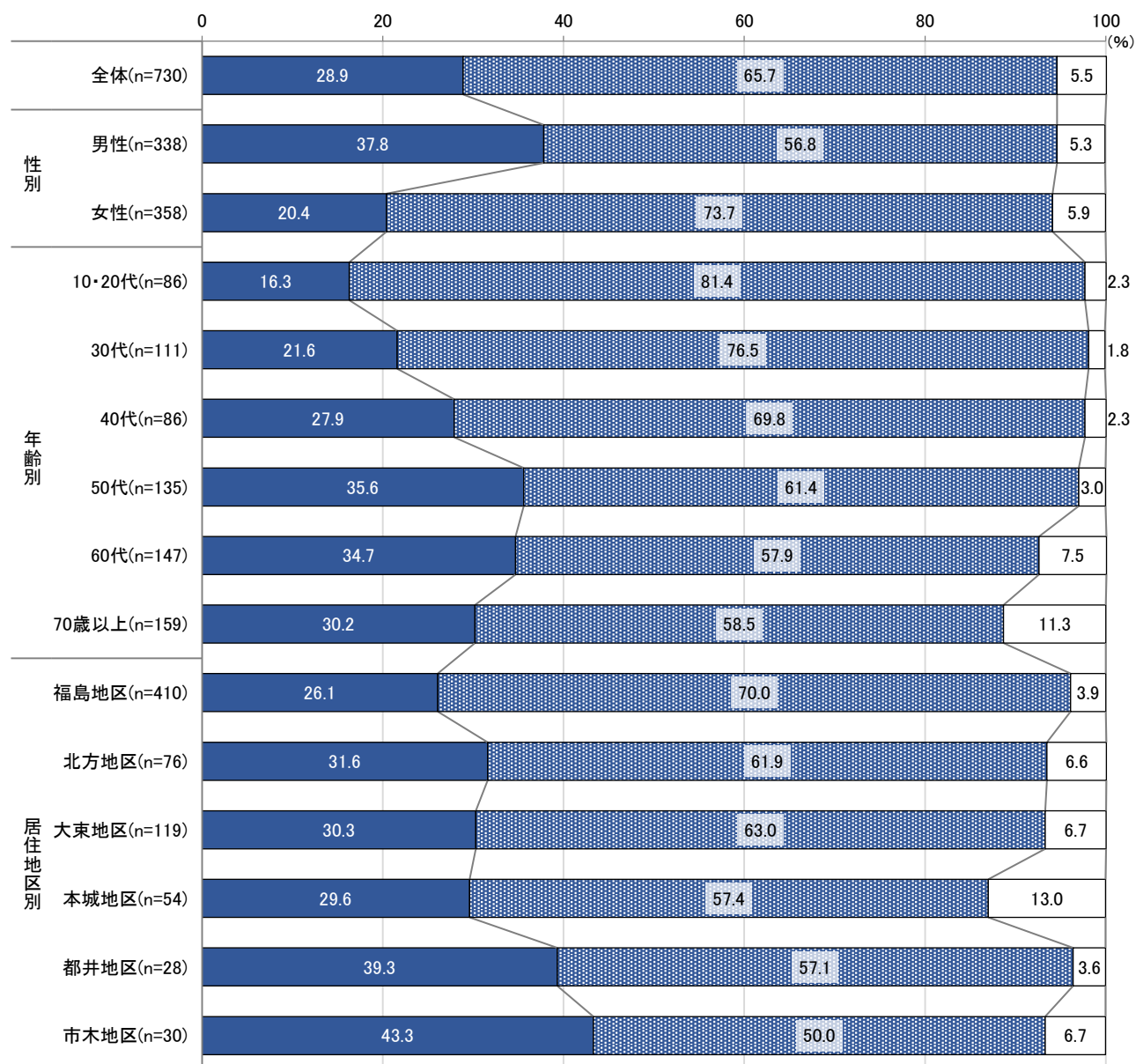
令和 2 年と比べると、男性が 2.5 ポイント減少、女性が 0.1 ポイント増加しています。年齢では、10・20 代、40 代、60 代が増加しています。

地域活動・ボランティア活動の参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

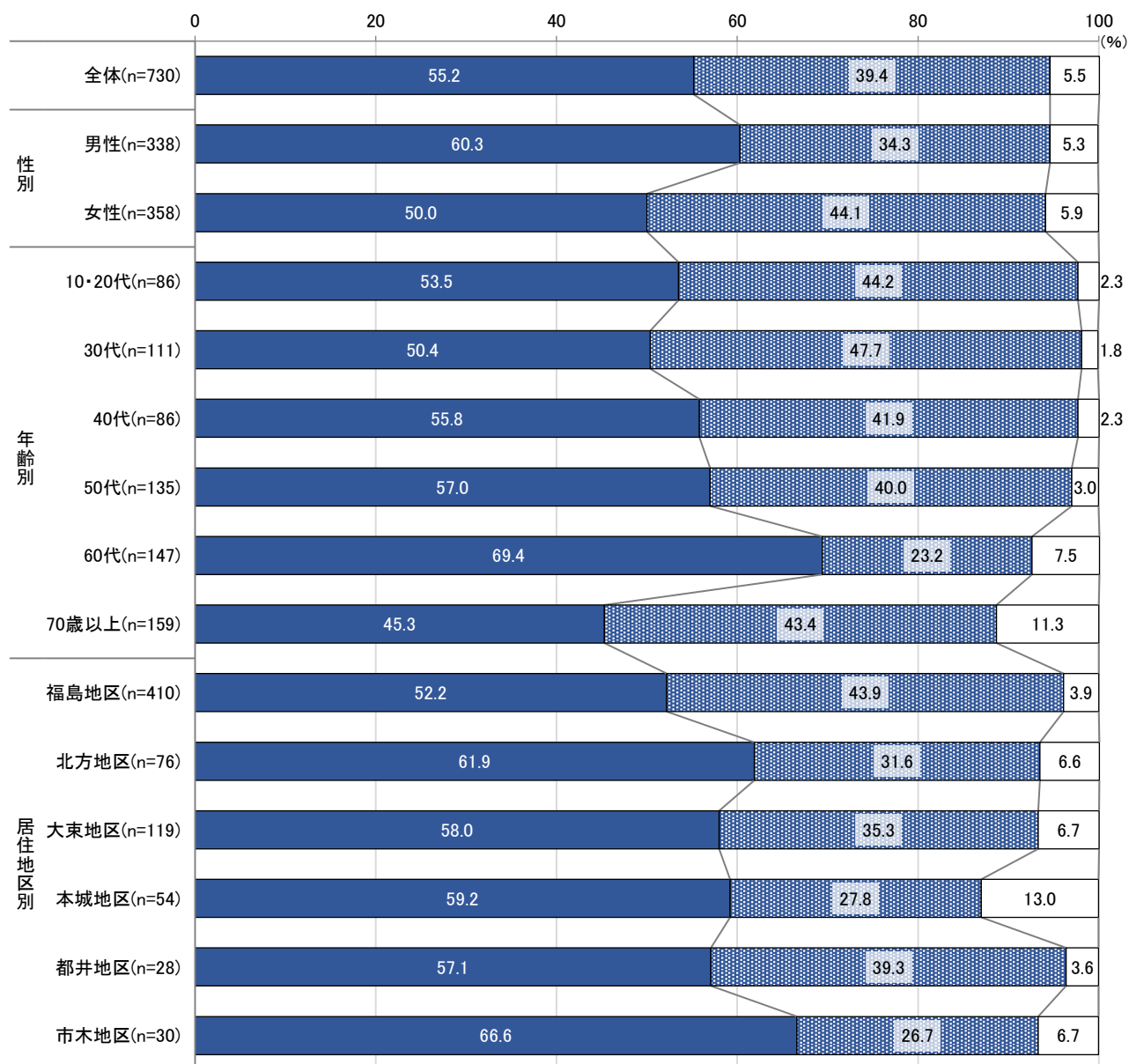
- 現在参加しており、今後も参加したい
 ■ 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
 □ 無回答
 ■ 現在参加していないが、今後は参加したい
 ■ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない



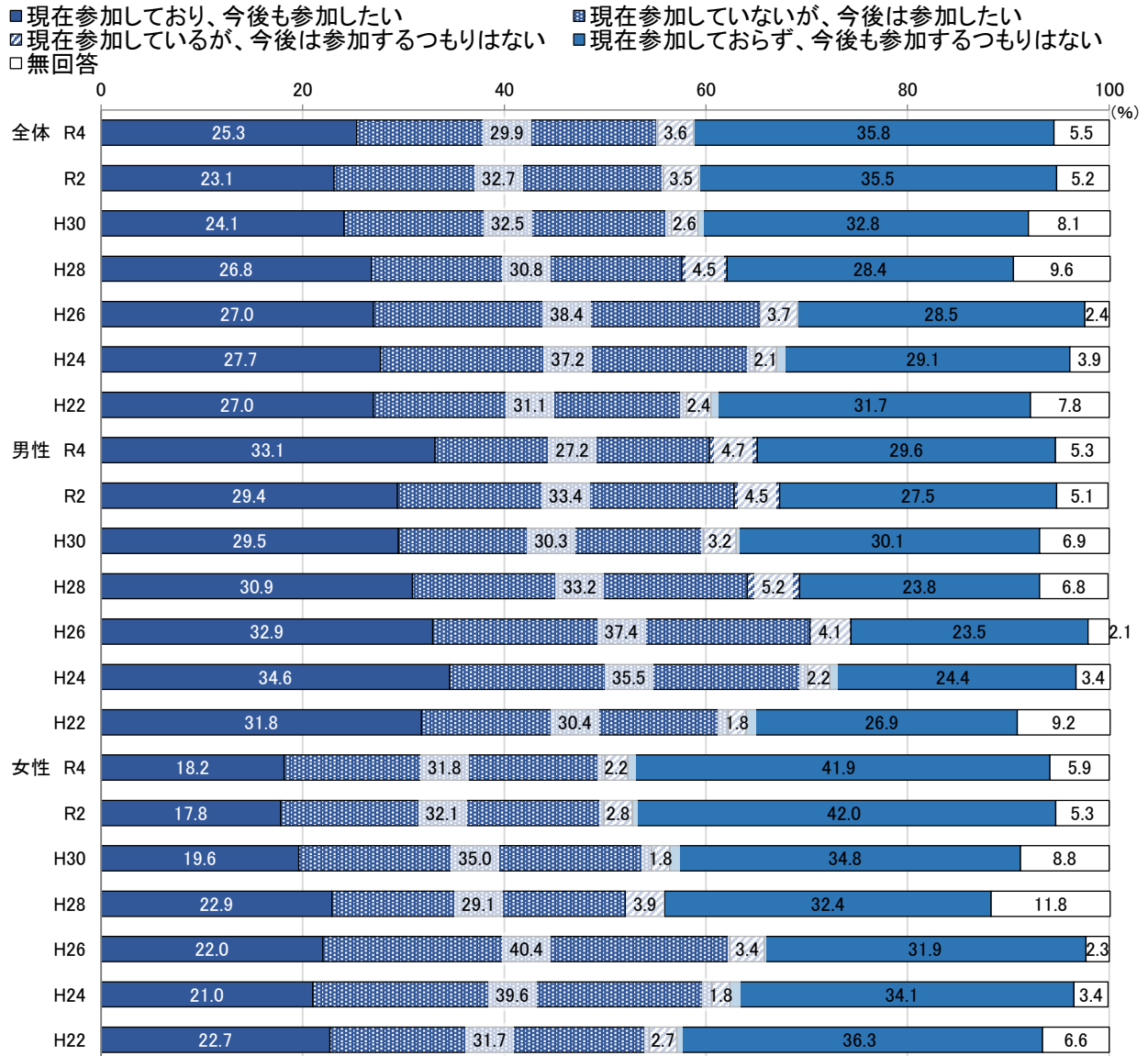
■参加している ■参加していない □無回答

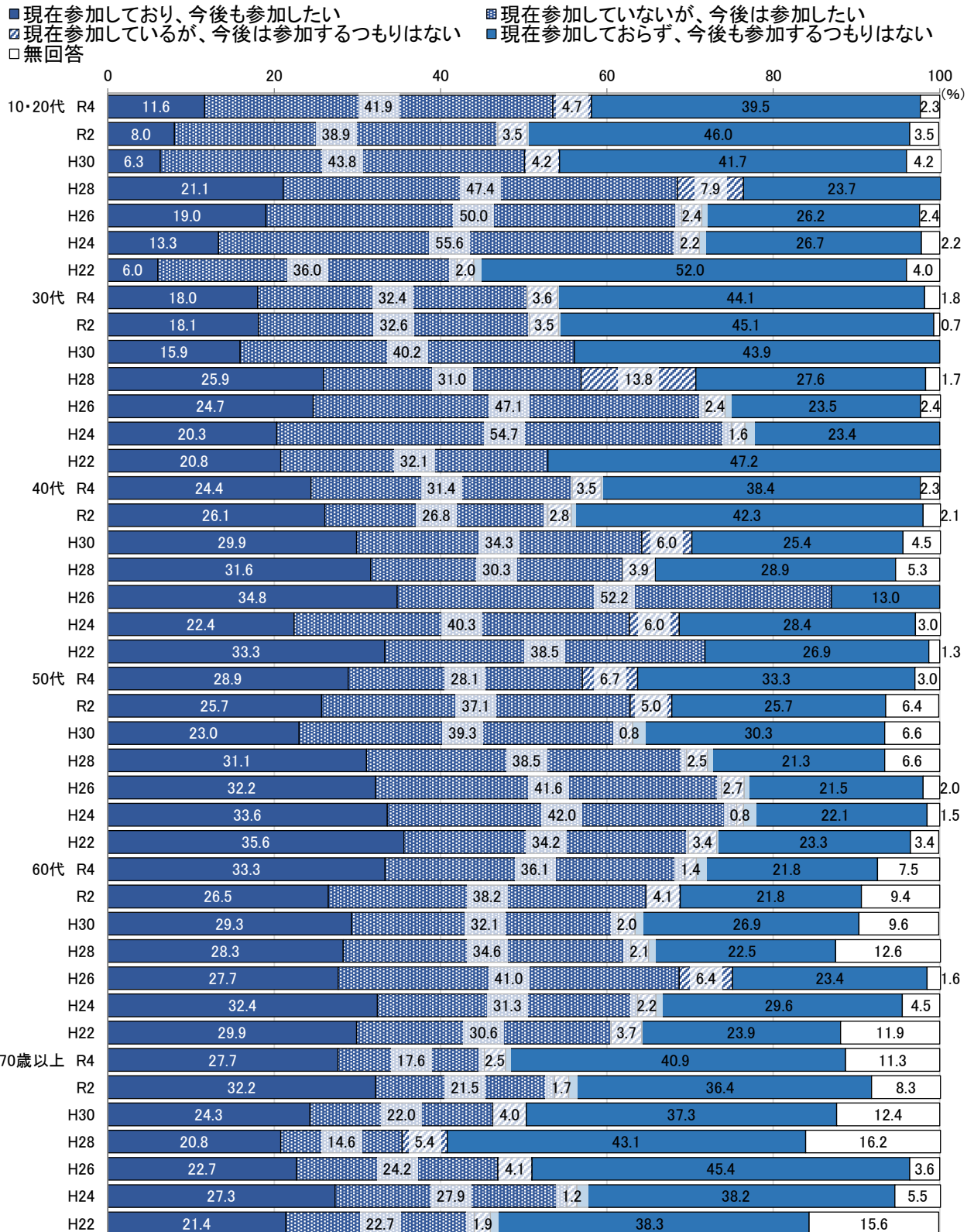


■参加したい ■参加するつもりはない □無回答



■過去の調査との比較





問 20 あなたは、地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。【複数回答いくつでも】

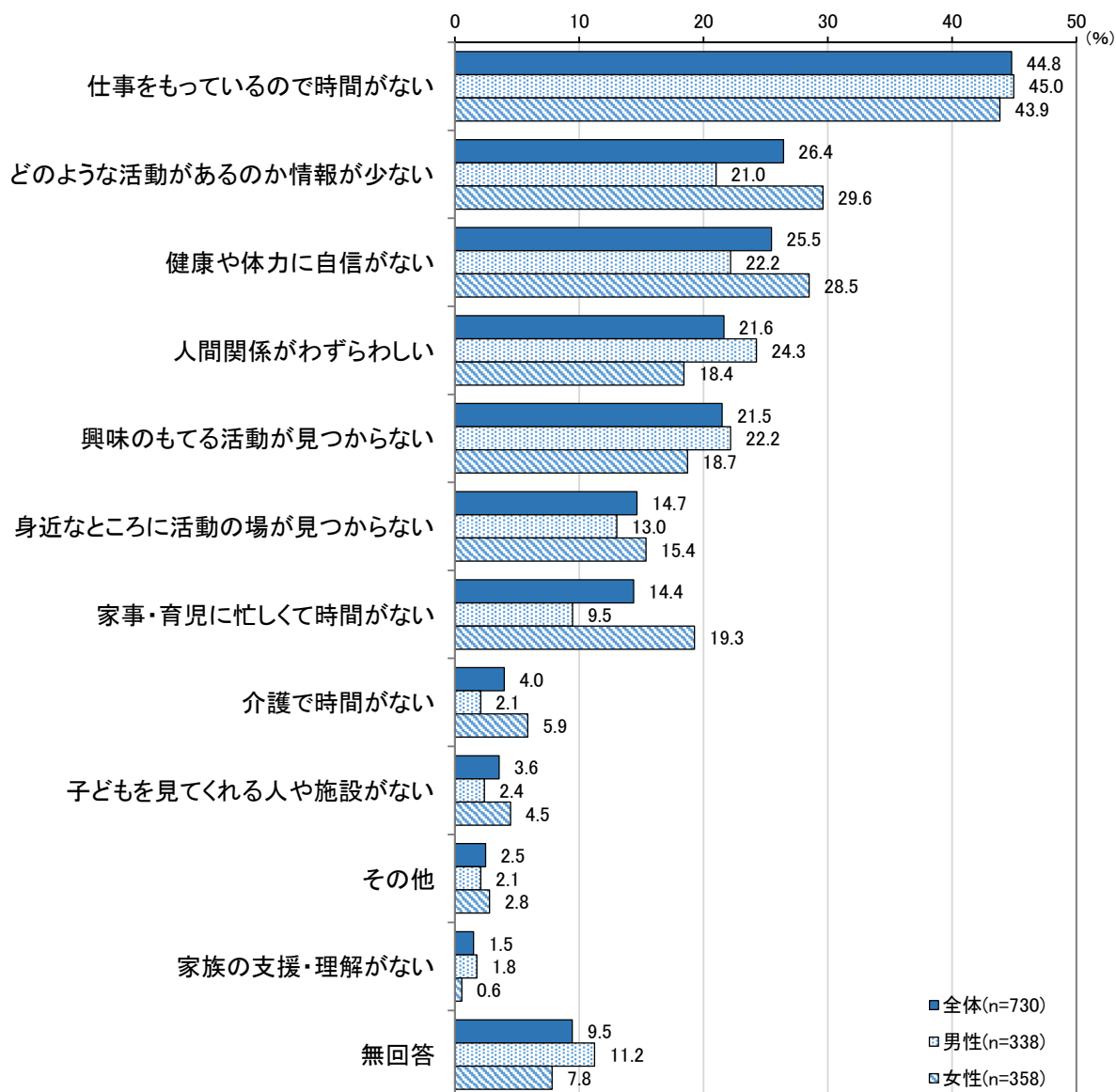


● 「仕事をもっているので時間がない」(44.8%) が第1位

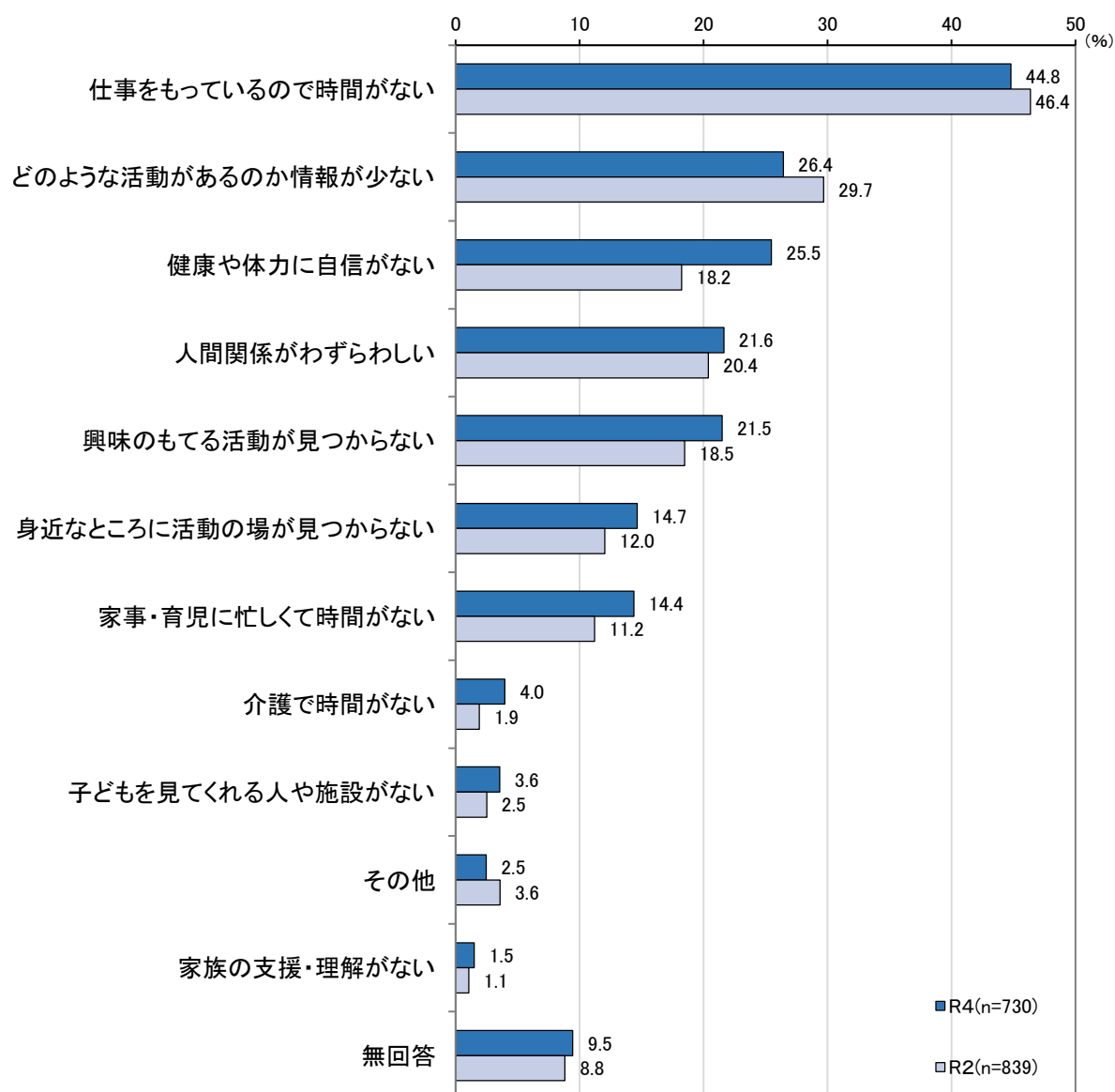
地域活動に参加するうえで、支障になることについてたずねたところ、第1位は「仕事をもっているので時間がない」(44.8%)、第2位は「どのような活動があるのか情報が少ない」(26.4%)、第3位は「健康や体力に自信がない」(25.5%) の順となっています。

令和2年と比べると、「仕事をもっているので時間がない」は1.6ポイント減少しています。

地域活動に参加するうえで、支障になること
(全体／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



(2) 地域コミュニティ

問 21 あなたは、自治会などご自分の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。【複数回答 2 つまで】

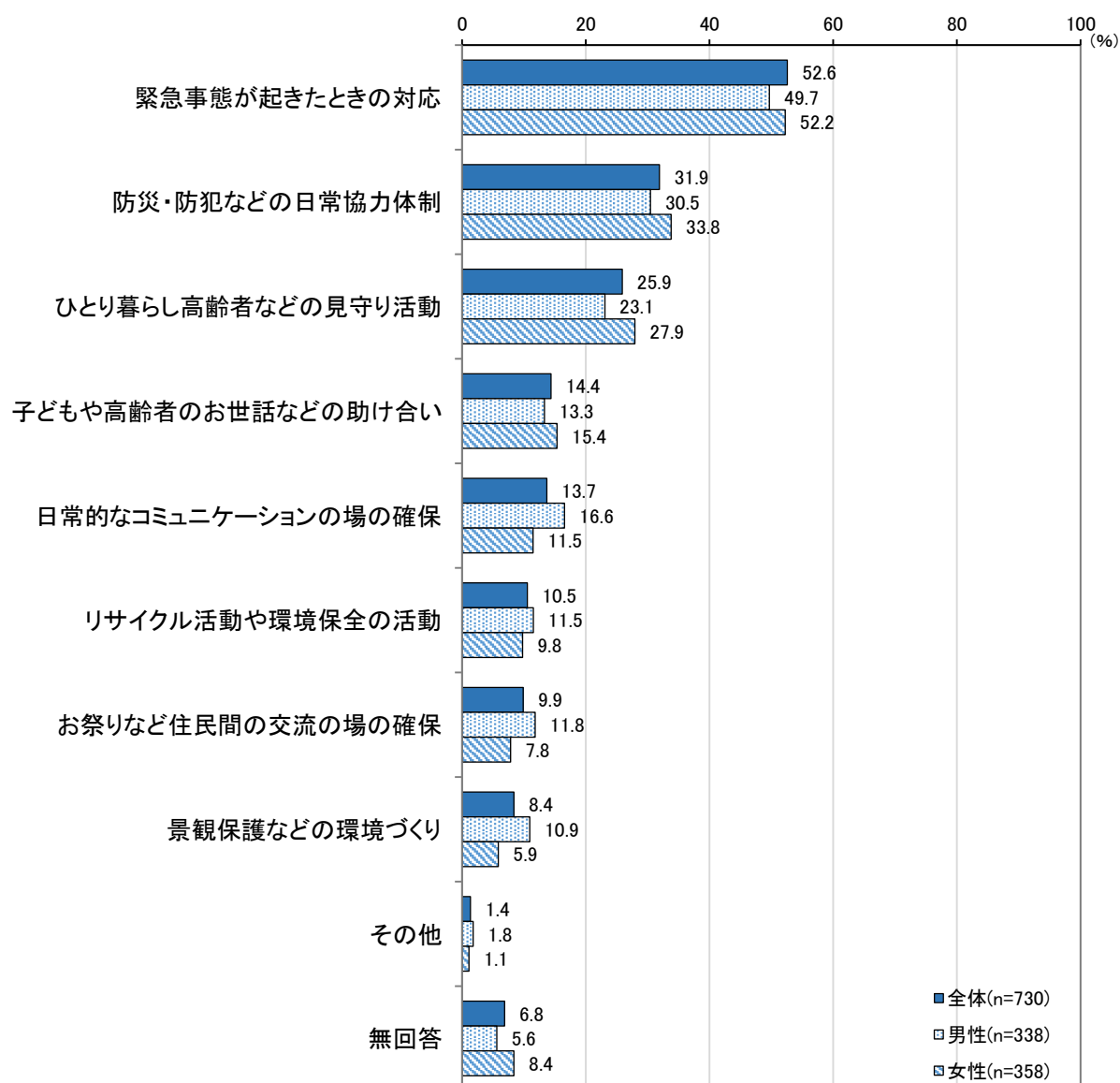


● 「緊急事態が起きたときの対応」(52.6%) が第 1 位

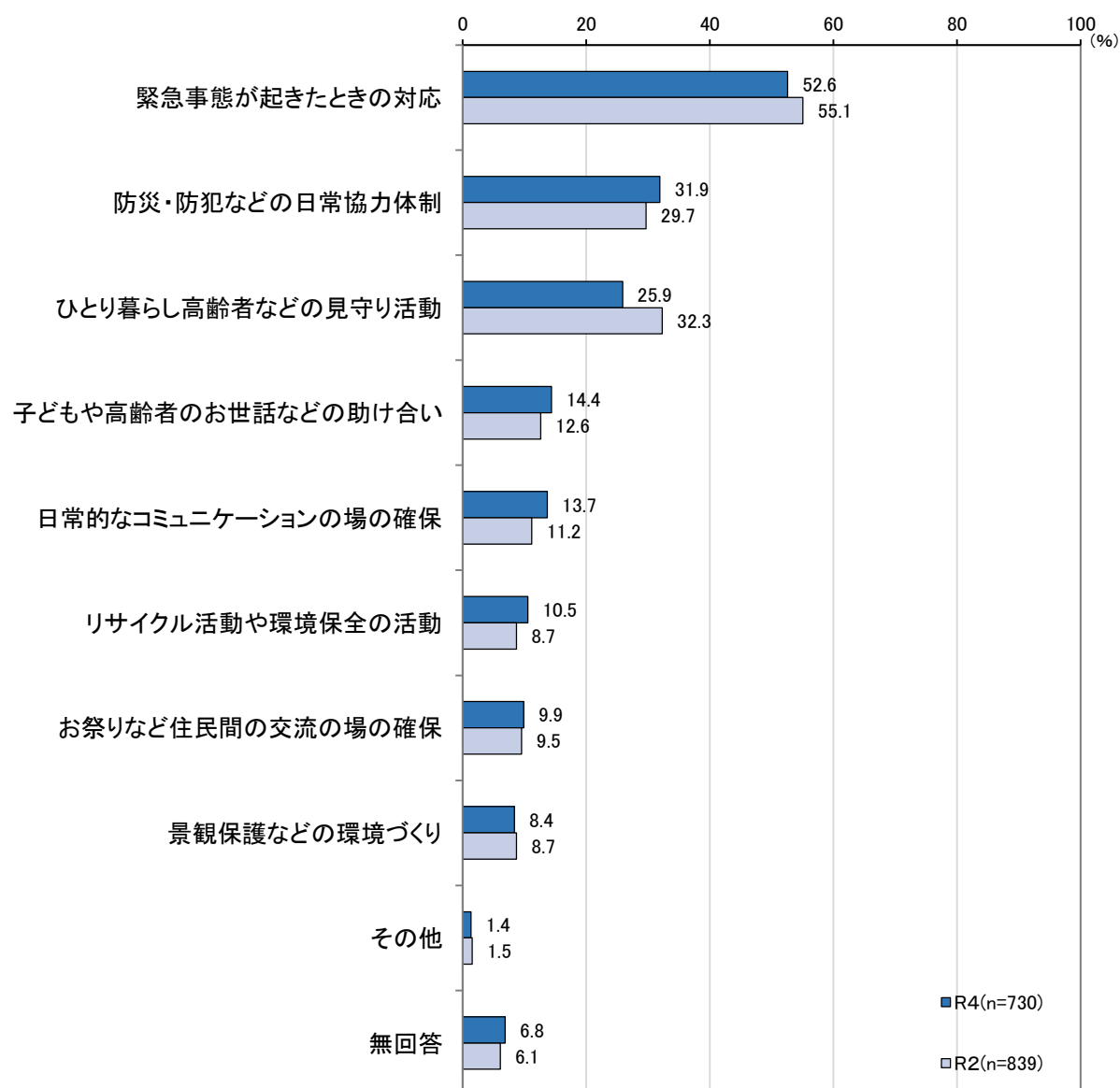
自分の地域コミュニティにどのようなことを期待するかをたずねたところ、第 1 位は「緊急事態が起きたときの対応」(52.6%)、第 2 位が「防災・防犯などの日常協力体制」(31.9%)、第 3 位が「ひとり暮らし高齢者などの見守り活動」(25.9%) の順となっています。

令和 2 年と比べると、「緊急事態が起きたときの対応」は 2.5 ポイント減少しています。

地域コミュニティにどのようなことを期待するか
(全体・性別／複数回答 2 つまで)



■過去の調査との比較



問 22 「地域連携組織」を知っていますか。



● 「知らない」が 47.0%

「地域連携組織」を知っているかをたずねたところ、「知らない」が 47.0%と最も高く、次いで、「名前は聞いたことがあるが、どんな組織か知らない」(35.9%)、「知っている」(13.7%)の順となっています。

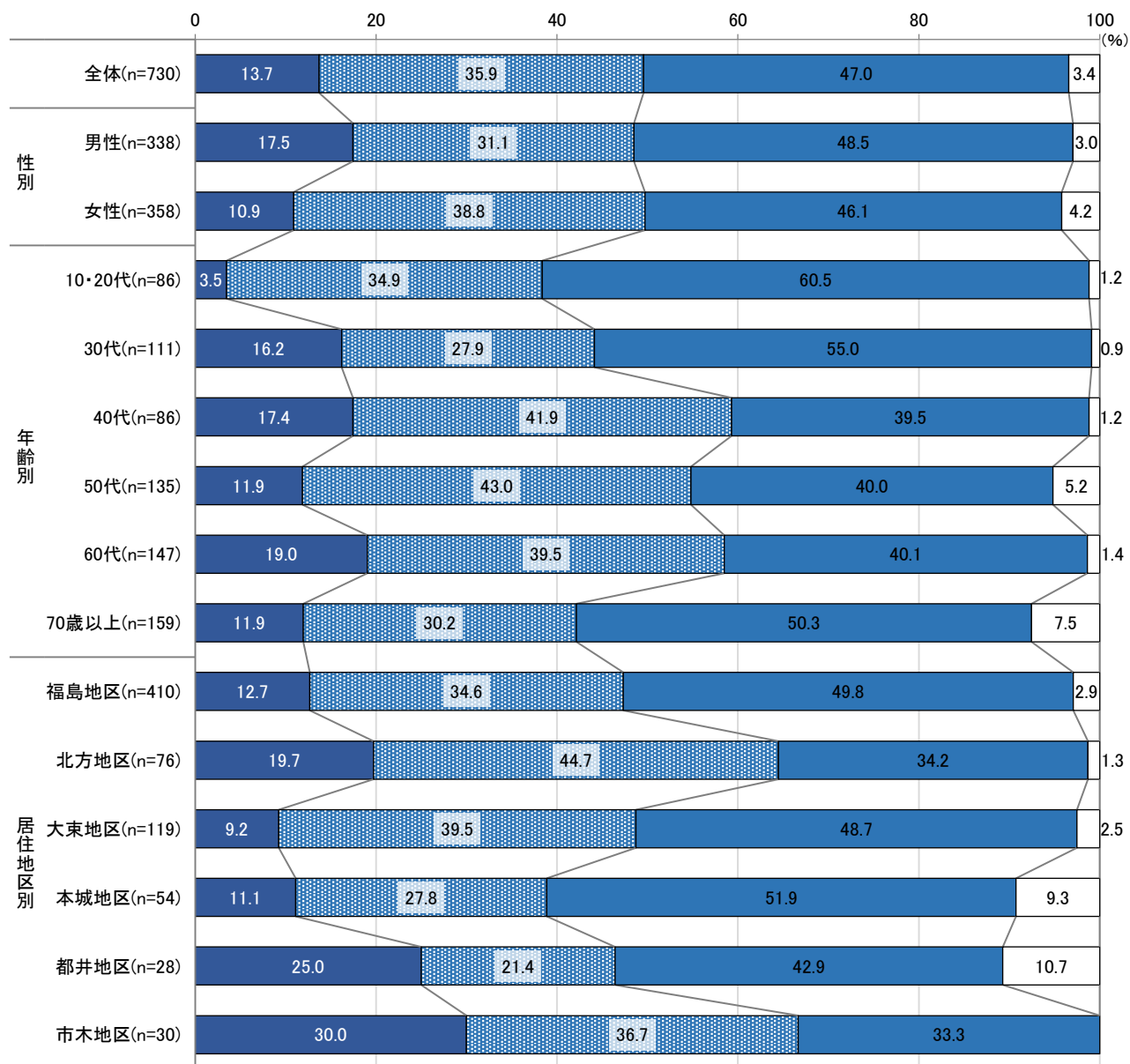
属性別に「知っている」をみたところ、性別では男性が 17.5%、女性が 10.9%となっており、男性が 6.6 ポイント高くなっています。

年齢では、60 代 (19.0%) が最も高く、次いで、40 代 (17.4%)、30 代 (16.2%) の順となっており、10・20 代 (3.5%) が最も低くなっています。

居住地区では、市木地区 (30.0%) が最も高く、大束地区 (9.2%) が最も低くなっています。

「地域連携組織」を知っているか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■知っている ■名前は聞いたことがあるが、どんな組織か知らない ■知らない □無回答



(3) 移動手段

問 23 地域活動や買い物、通院等を行う際、どのような手段で移動を行いますか。【複数回答
いくつでも】

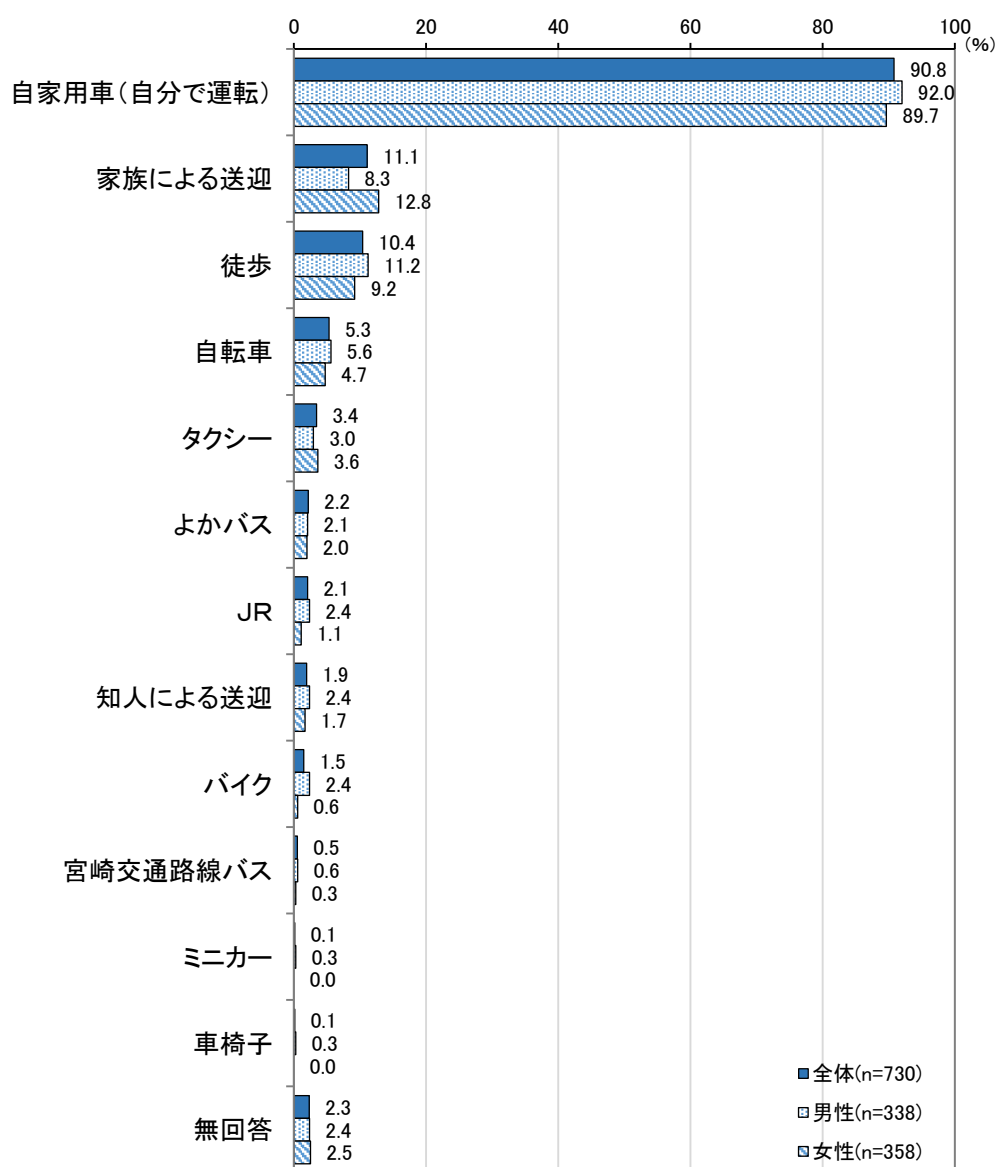


- 「自家用車」(90.8%) が第 1 位

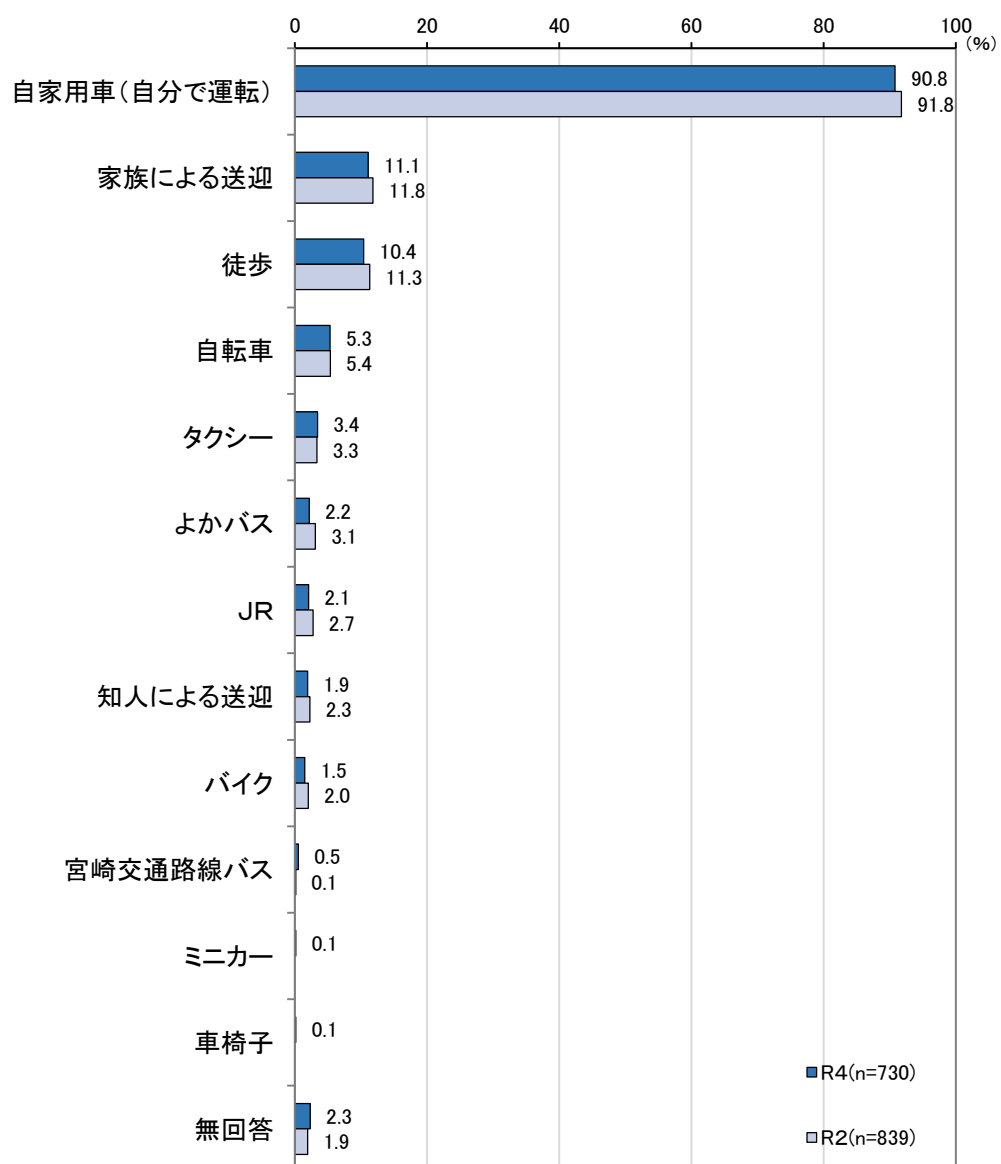
どのような手段で移動を行うかをたずねたところ、第 1 位は「自家用車」(90.8%)、第 2 位が「家族による送迎」(11.1%)、第 3 位が「徒歩」(10.4%) の順となっています。

令和 2 年と比べると、大きな変動はありません。

どのような手段で移動を行うか
(全体／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



問 24 JR 日南線を利用していますか。



● 『利用する』が 14.0%

JR 日南線を利用しているかをたずねたところ、「利用していない」が 83.4%と最も高く、次いで、「年に数回利用する」(9.3%)、「時々利用する」(3.6%)、「よく利用する」(1.1%)の順となっています。「年に数回利用する」、「時々利用する」、「よく利用する」を合わせた『利用する』は 14.0%となっています。

属性別に『利用する』をみたところ、性別では男性が 13.7%、女性が 13.1%となっており、男性が 0.6 ポイント高くなっています。

年齢では、10・20 代 (25.5%) が最も高く、次いで、30 代 (17.1%)、70 歳以上 (13.2%) の順となっており、50 代 (9.6%) が最も低くなっています。

職業では、学生、その他 (28.2%) が最も高く、農林水産業 (7.5%) が最も低くなっています。

進学先・勤務先では、市外 (22.0%) が最も高く、就学・勤務していない (11.2%) が最も低くなっています。

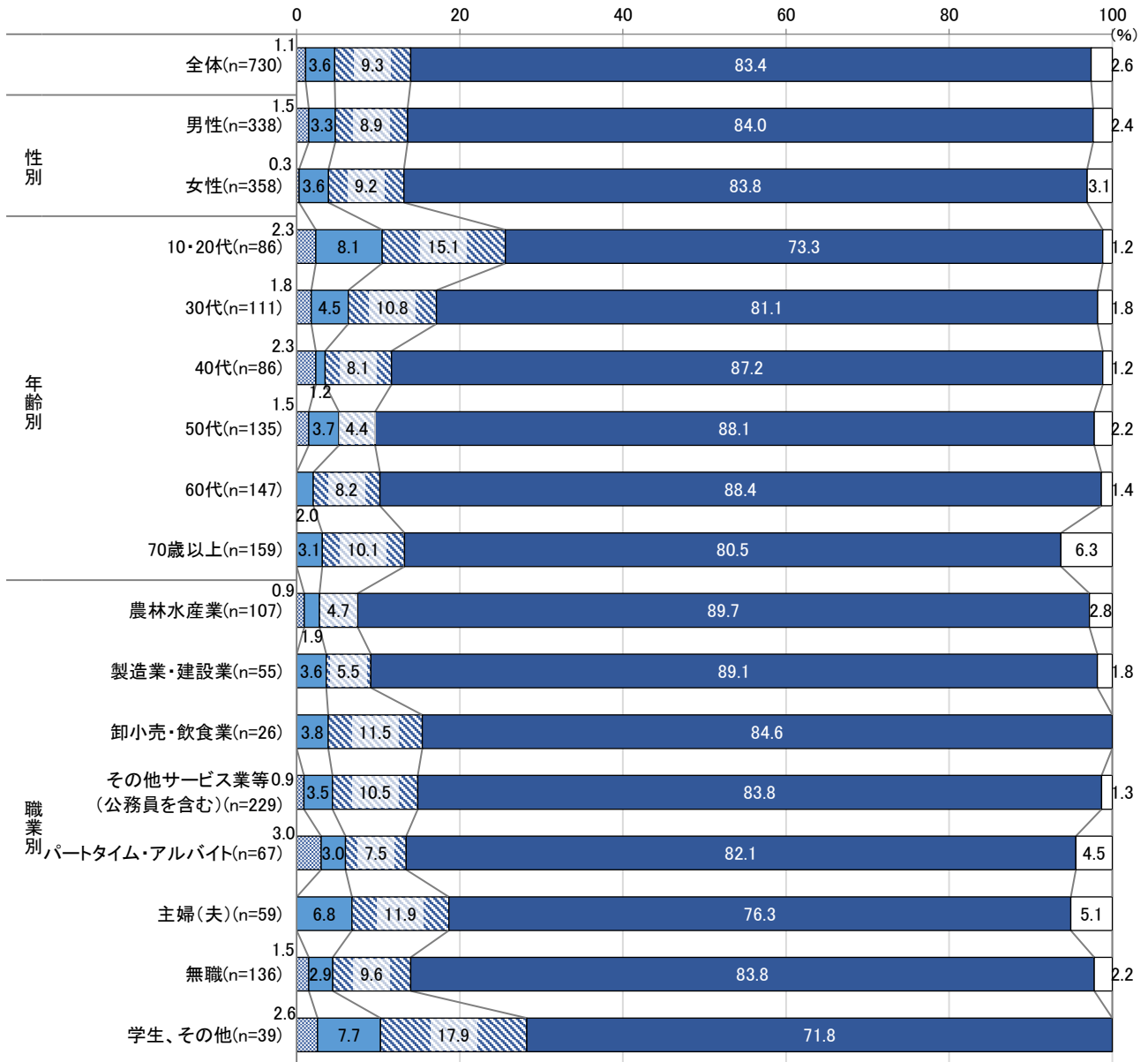
居住年数では、10 年以上 20 年未満 (25.6%) が最も高く、20 年以上 (11.5%) が最も低くなっています。

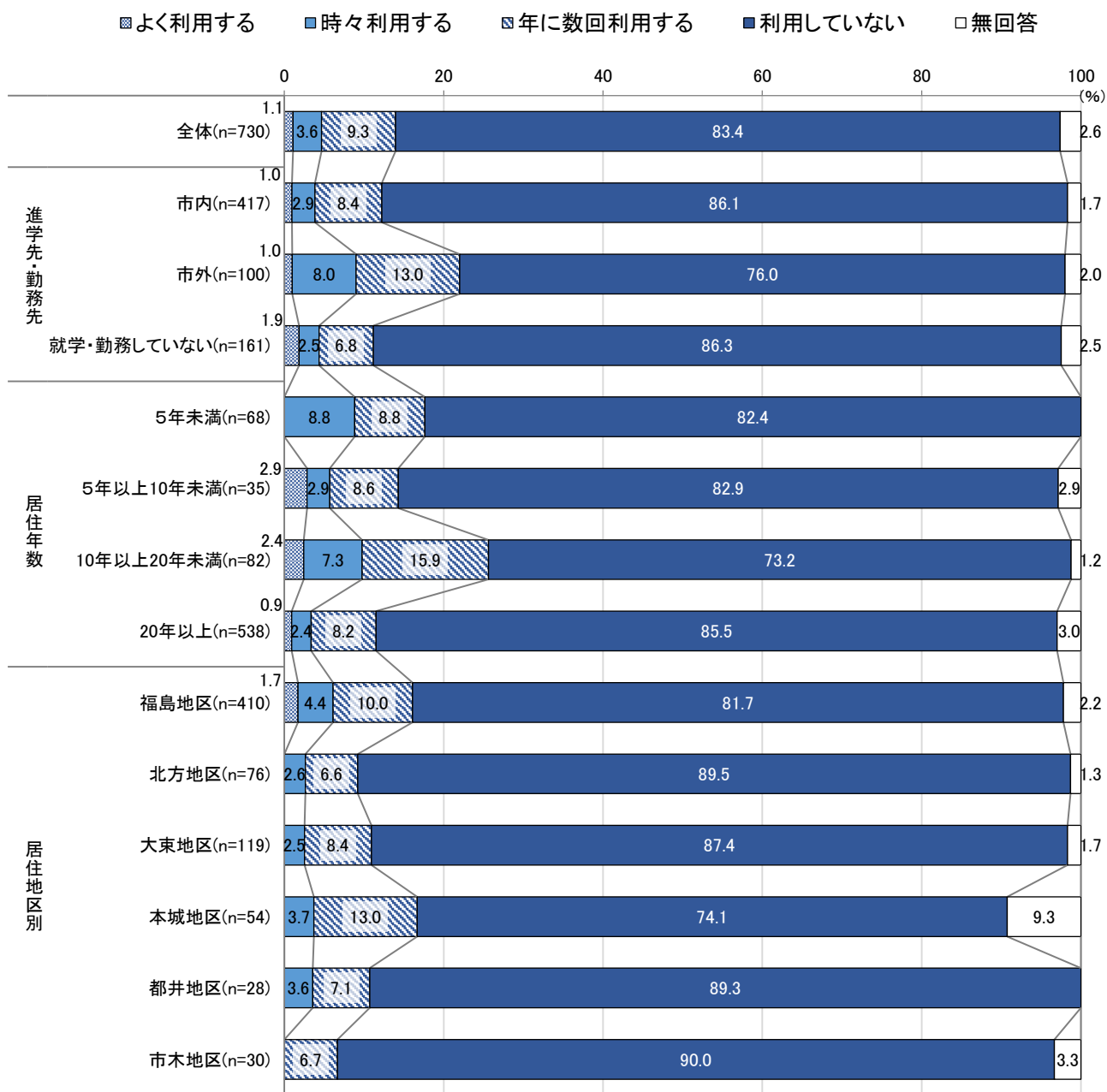
居住地区では、本城地区 (16.7%) が最も高く、市木地区 (6.7%) が最も低くなっています。

JR 日南線を利用しているか

(全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)

■よく利用する ■時々利用する ■年に数回利用する ■利用していない □無回答





※問 24 で利用していない（「4.」に○をつけた）方にうかがいます。
問 24-1 将来、JR 日南線が移動手段の 1 つになる可能性がありますか。



● 「ある」が 30.7%

将来、JR 日南線が移動手段の 1 つになる可能性があるかをたずねたところ、「ある」が 30.7%、「ない」が 66.3%となっています。

属性別に「ある」をみたところ、性別では男性が 25.4%、女性が 35.7%となっており、女性が 10.3 ポイント高くなっています。

年齢では、60 代（40.8%）が最も高く、次いで、50 代（35.3%）、70 歳以上（29.7%）の順となっており、30 代（21.1%）が最も低くなっています。

職業では、パートタイム・アルバイト（40.0%）が最も高く、製造業・建設業（24.5%）が最も低くなっています。

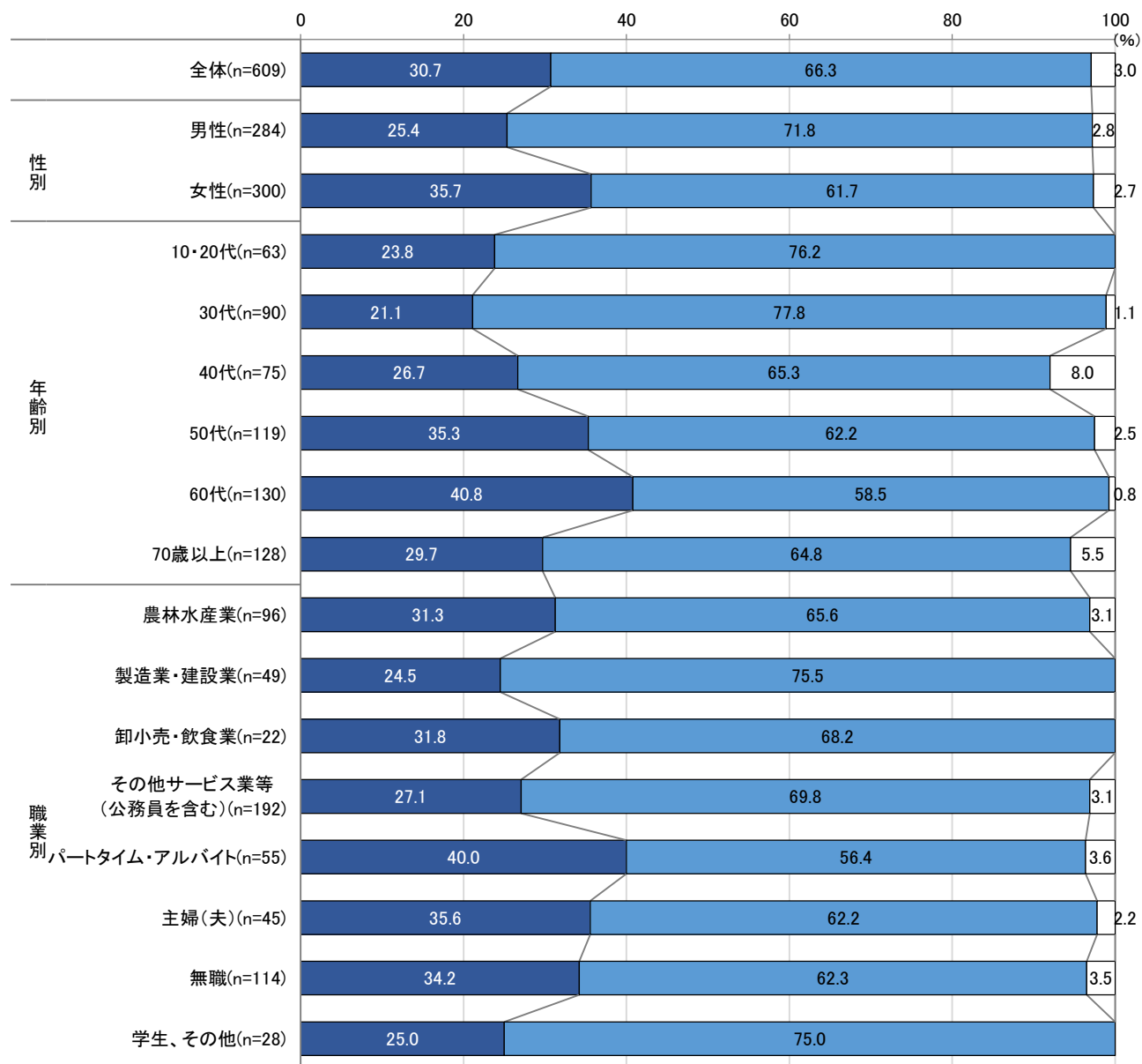
進学先・勤務先では、就学・勤務していない（34.5%）が最も高く、市外（28.9%）が最も低くなっています。

居住年数では、5 年以上 10 年未満（37.9%）が最も高く、10 年以上 20 年未満（28.3%）が最も低くなっています。

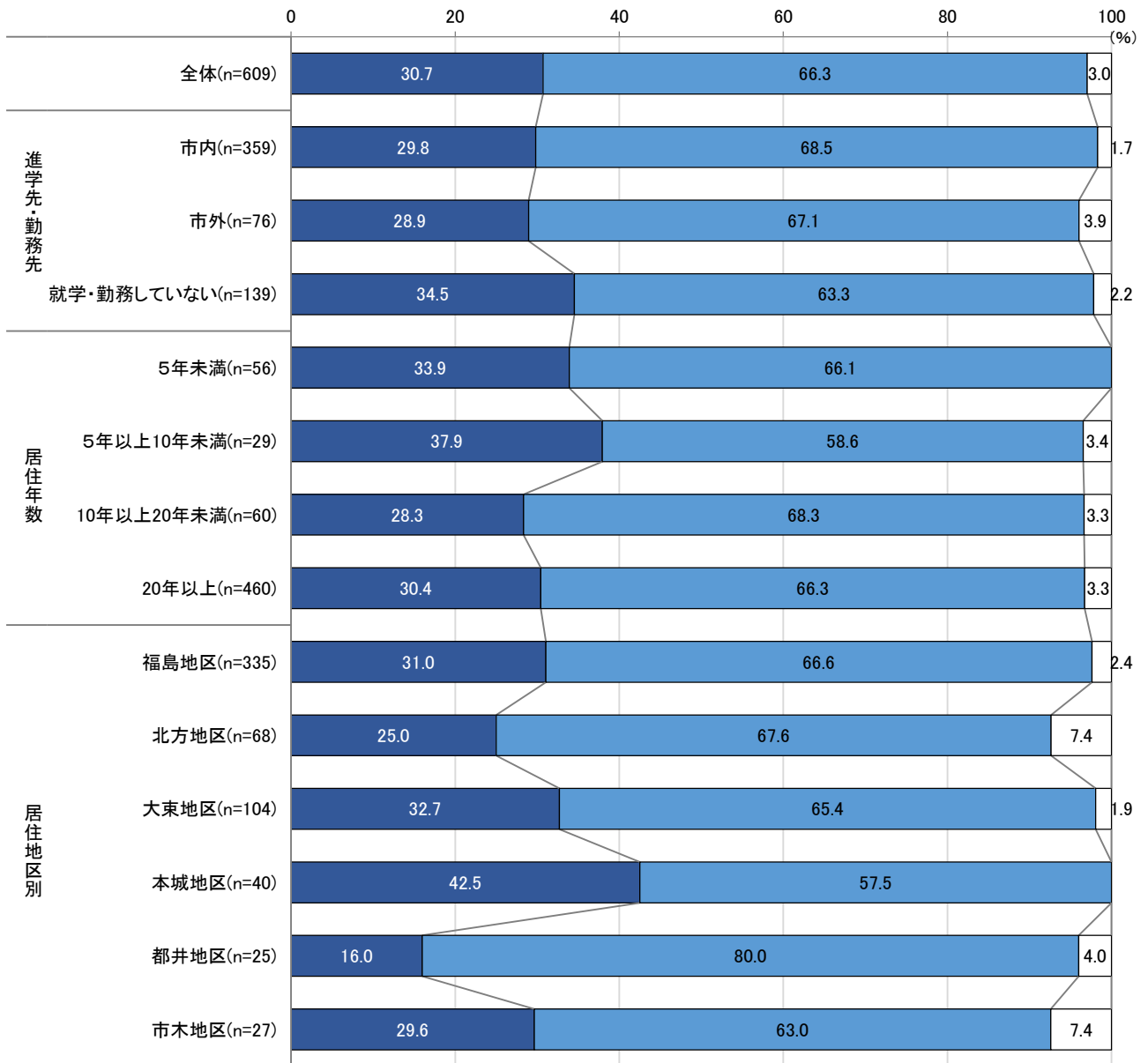
居住地区では、本城地区（42.5%）が最も高く、都井地区（16.0%）が最も低くなっています。

将来、JR 日南線が移動手段の1つになる可能性があるか
 (全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)

■ある ■ない □無回答



■ある ■ない □無回答



(4) 中心市街地

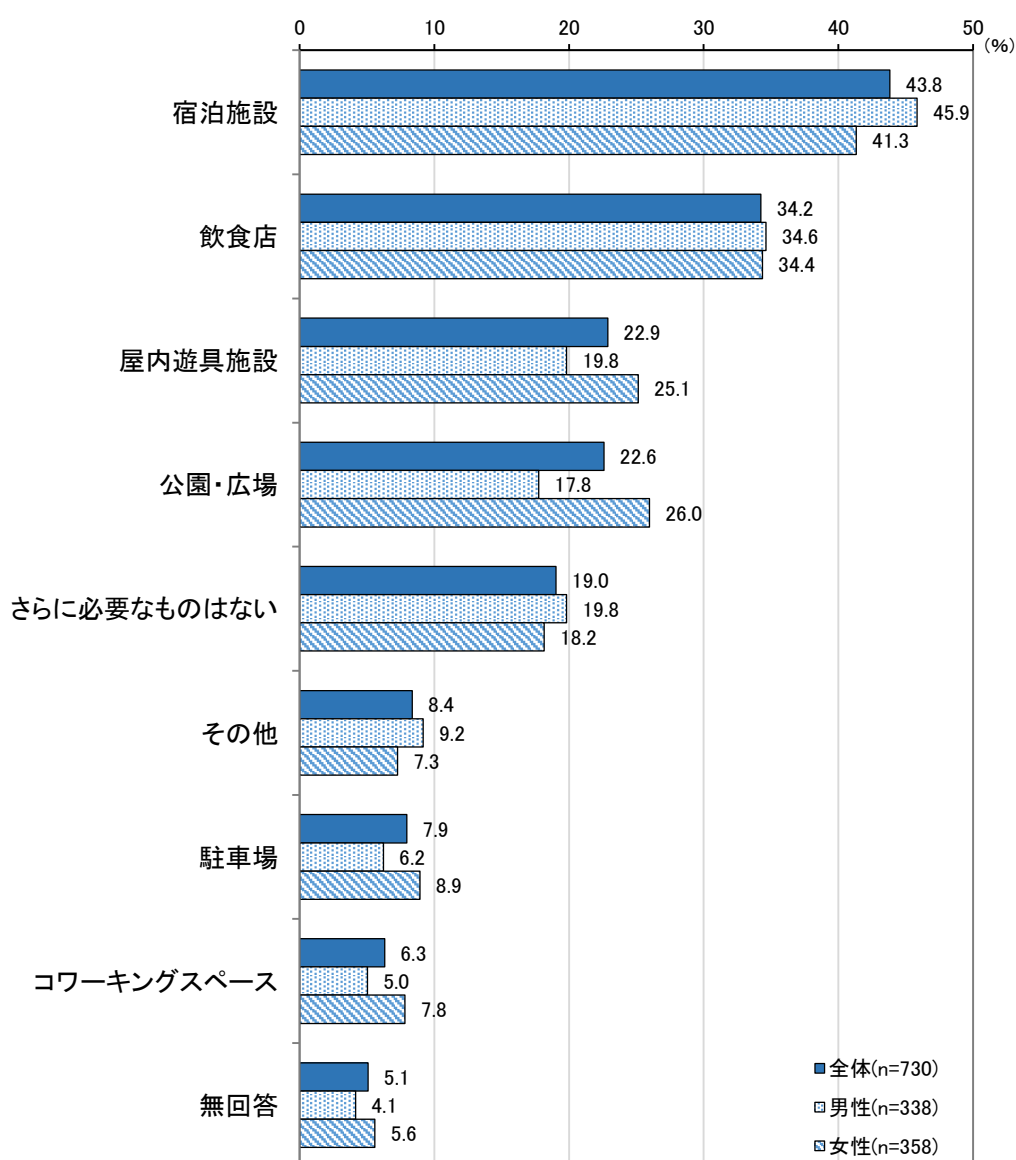
問 26 道の駅くしま周辺を含む今後の中心市街地まちづくりについて、さらに必要な整備がありますか。【複数回答いくつでも】



● 「宿泊施設」(43.8%) が第1位

今後の中心市街地まちづくりについて、さらに必要な整備をたずねたところ、第1位は「宿泊施設」(43.8%)、第2位が「飲食店」(34.2%)、第3位が「屋内遊具施設」(22.9%)の順となっています。

今後の中心市街地まちづくりについて、さらに必要な整備
(全体／複数回答いくつでも)



8 串間市内の福祉医療について

(1) 福祉

問 27 高齢者や障がい者等の権利擁護についておたずねします。高齢者や障がい者等の権利を守るために「成年後見制度」があることを知っていますか。



● 『知っている』が42.1%

「成年後見制度」があることを知っているかをたずねたところ、「知らない」が29.3%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが内容は分からない」(25.9%)、「ある程度知っている」(25.8%)、「よく知っている」(16.3%)の順となっています。「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』は42.1%でした。

属性別に『知っている』をみたところ、性別では男性が42.6%、女性が41.6%となっており、男性が1.0ポイント高くなっています。

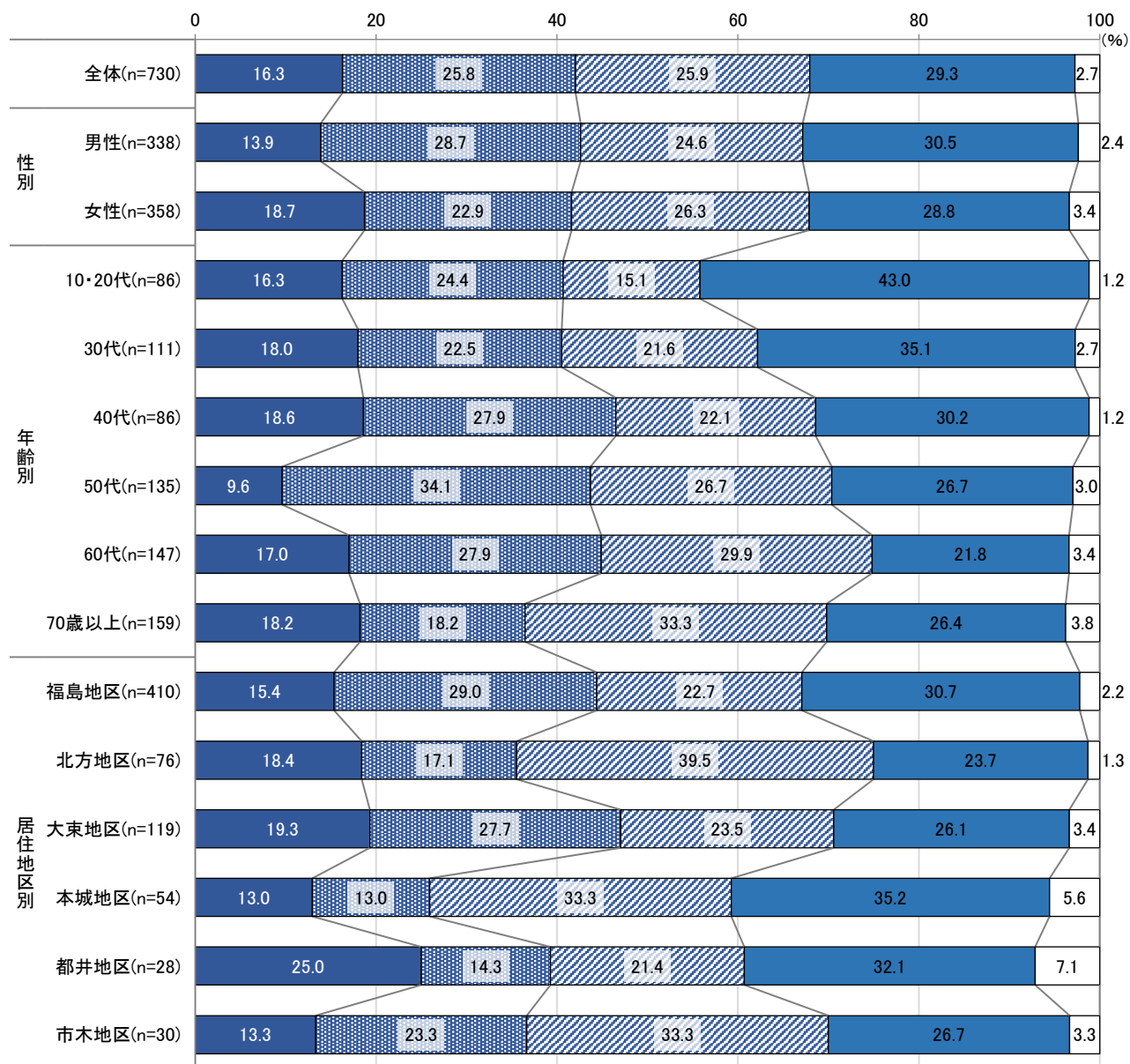
年齢では、40代(46.5%)が最も高く、次いで、60代(44.9%)、50代(43.7%)の順となっており、70歳以上(36.4%)が最も低くなっています。

居住地区では、大東地区(47.0%)が最も高く、本城地区(26.0%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が1.4ポイント増加、女性が1.8ポイント減少しています。年齢では、10・20代、40代が増加しています。

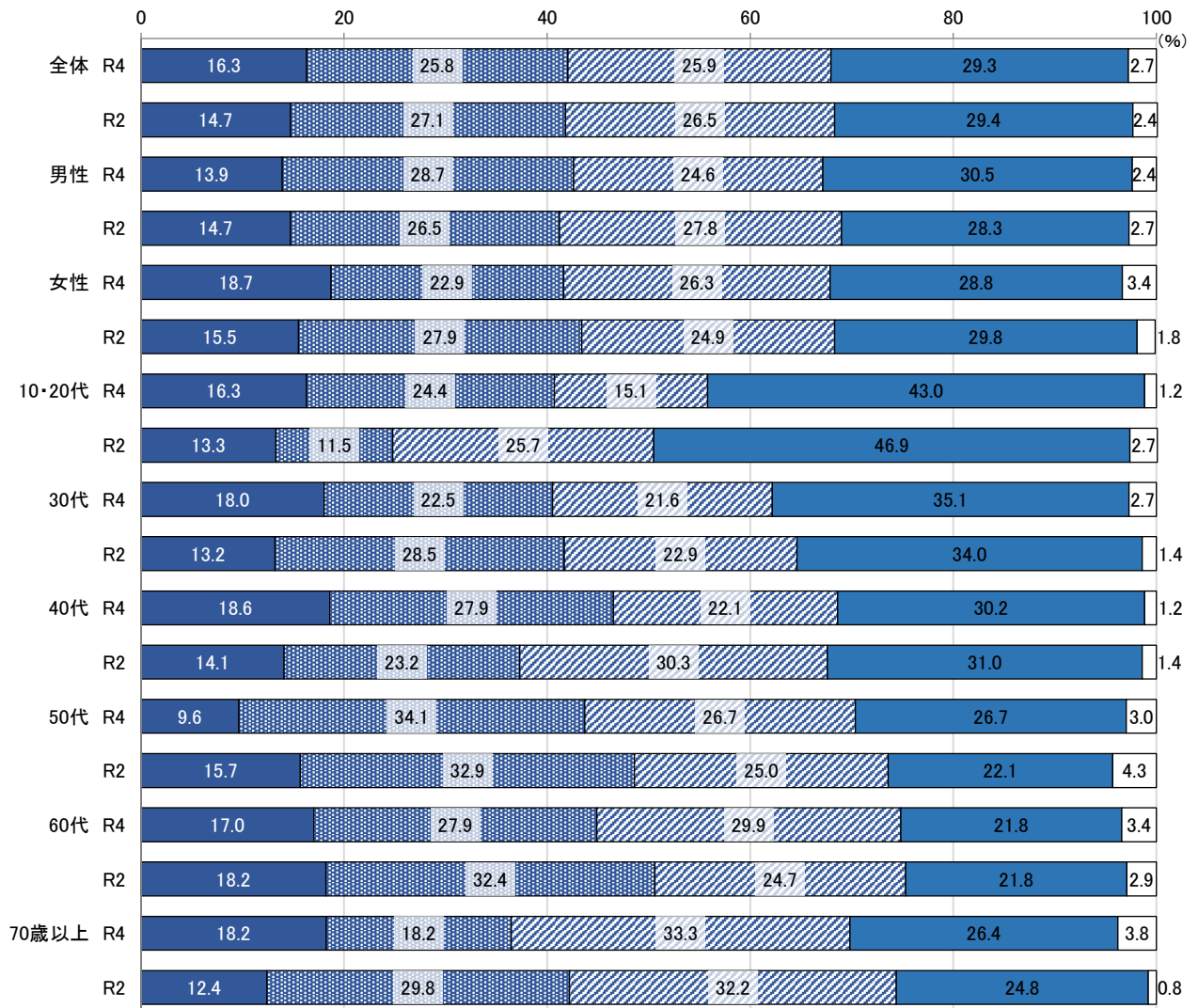
「成年後見制度」があることを知っているか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■よく知っている ■ある程度知っている ■聞いたことはあるが内容は分からない ■知らない □無回答



■過去の調査との比較

■よく知っている ■ある程度知っている ▨聞いたことはあるが内容は分からない ■知らない □無回答



問 28 「成年後見制度」について、市内に相談できる窓口があることを知っていますか



- 「知っている」が 23.4%、「知らない」が 72.1%。

市内に相談できる窓口があることを知っているかについては、「知っている」が 23.4%、「知らない」が 72.1%となっています。

属性別で「知っている」をみたところ、性別では男性が 19.2%、女性が 26.3%となっており、女性が 7.1 ポイント高くなっています。

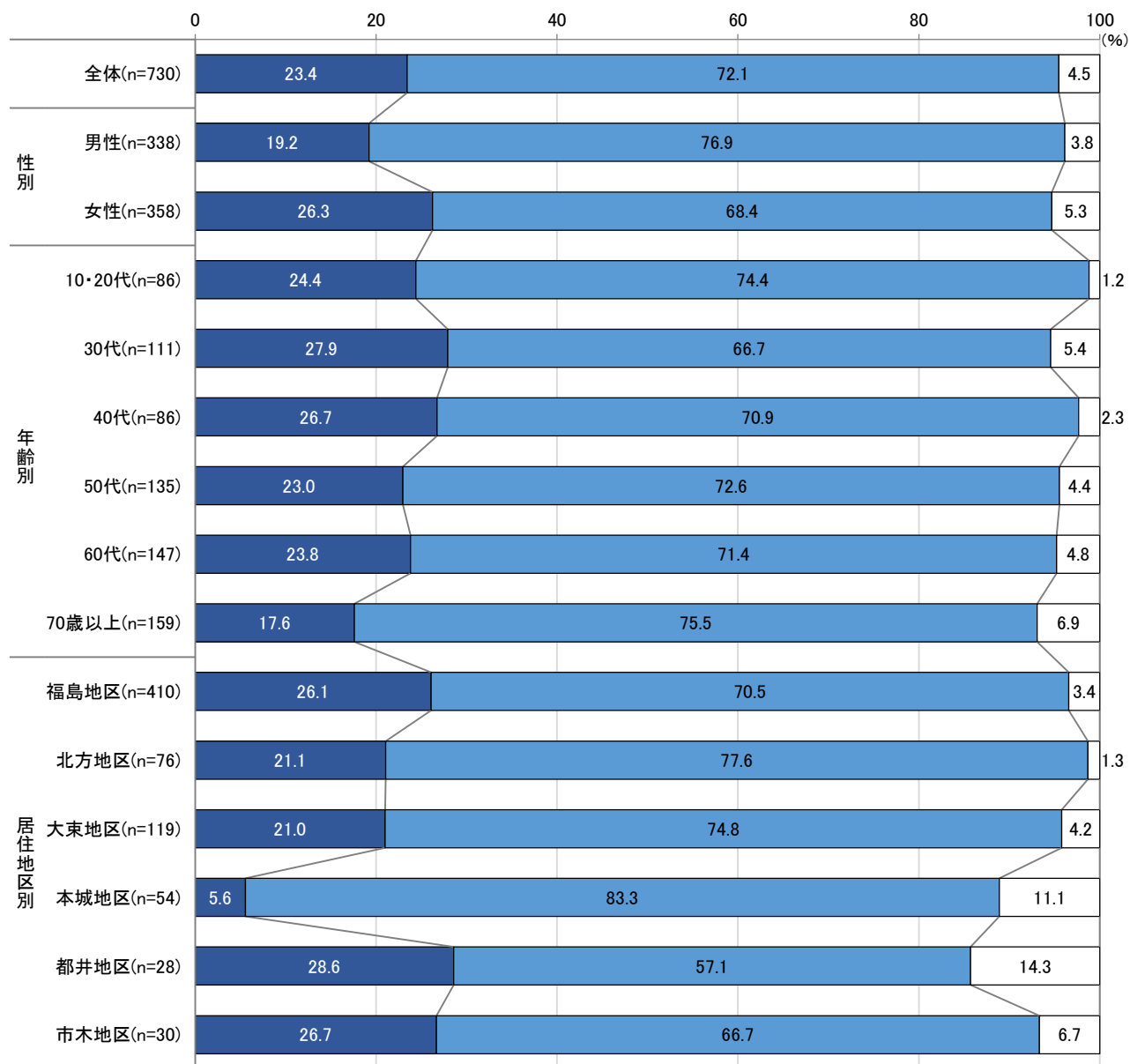
年齢では、30 代（27.9%）が最も高く、次いで、40 代（26.7%）、10・20 代（24.4%）の順となっており、70 歳以上（17.6%）が最も低くなっています。

居住地区では、都井地区（28.6%）が最も高く、本城地区（5.6%）が最も低くなっています。

令和 2 年と比べると、男性が 2.5 ポイント減少、女性が 1.8 ポイント増加しています。年齢では、10・20 代、30 代、40 代、50 代、60 代が増加しています。

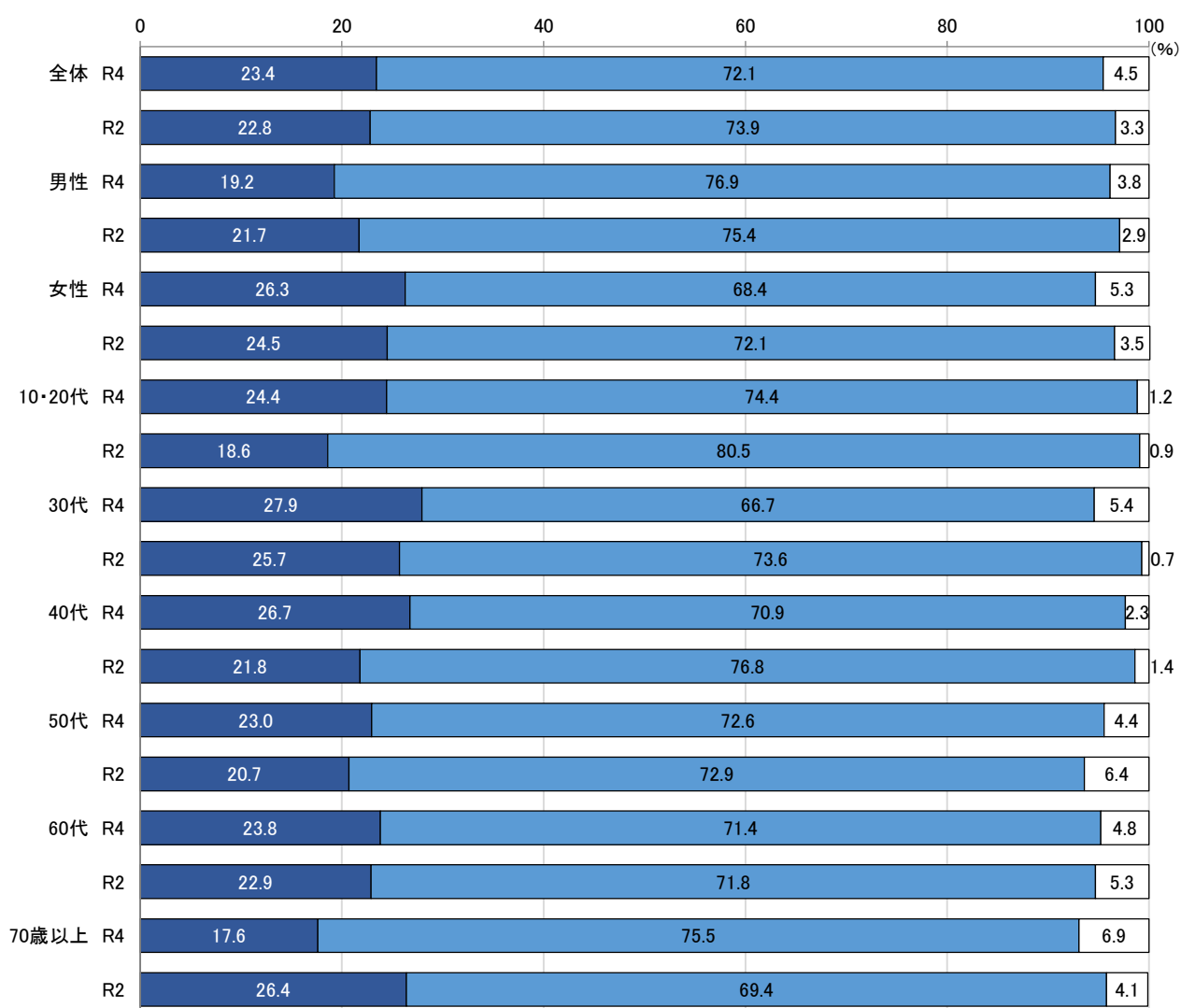
「成年後見制度」相談窓口があることを知っているか
(全体・性別・年齢・居住地区)

■知っている ■知らない □無回答



■過去の調査との比較

■知っている ■知らない □無回答



(2) 医療

問 29 将来の医療について、何か不安がありますか。【複数回答 3 つまで】

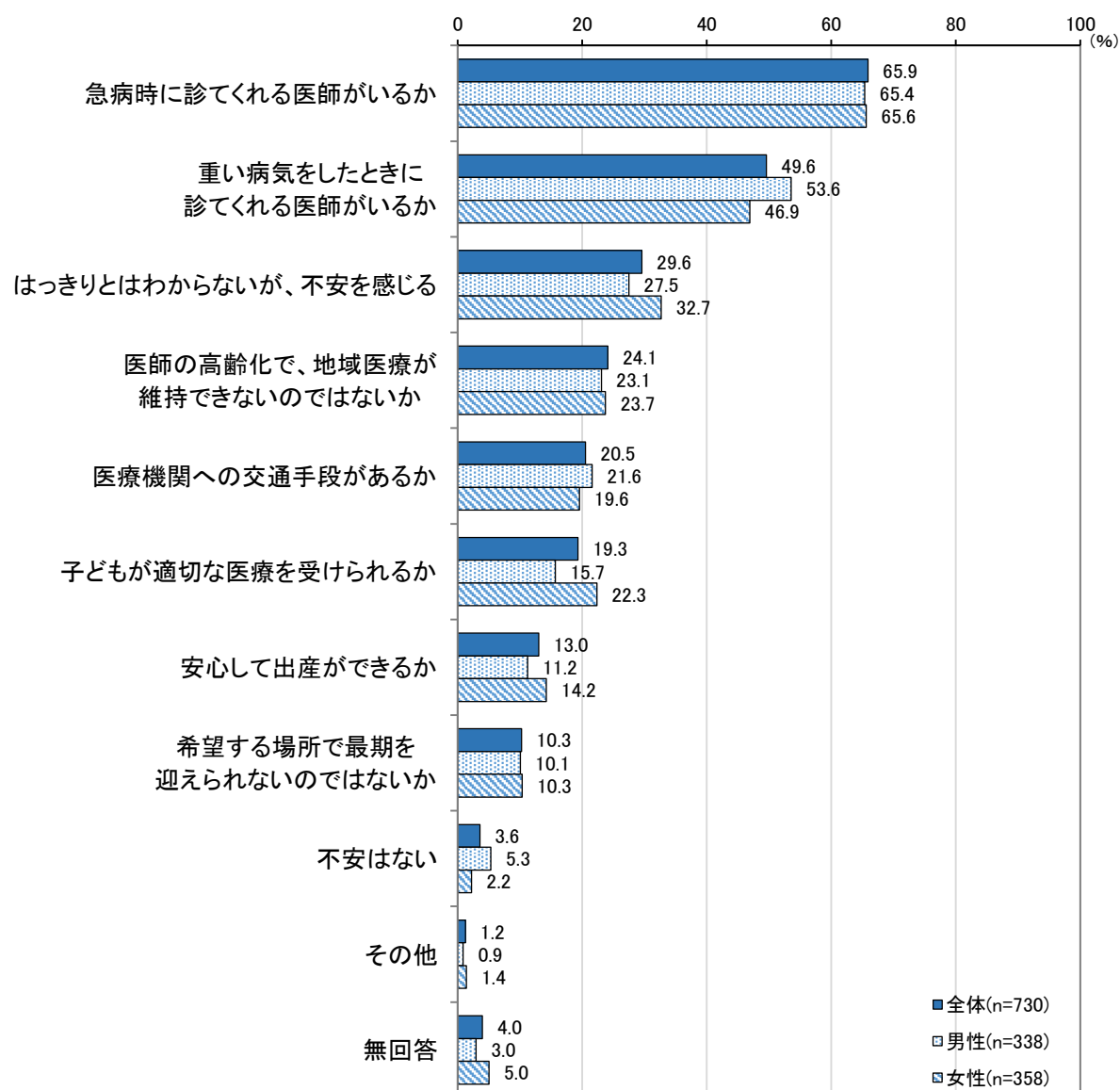


● 「急病時に診てくれる医師がいるか」(65.9%) が第 1 位

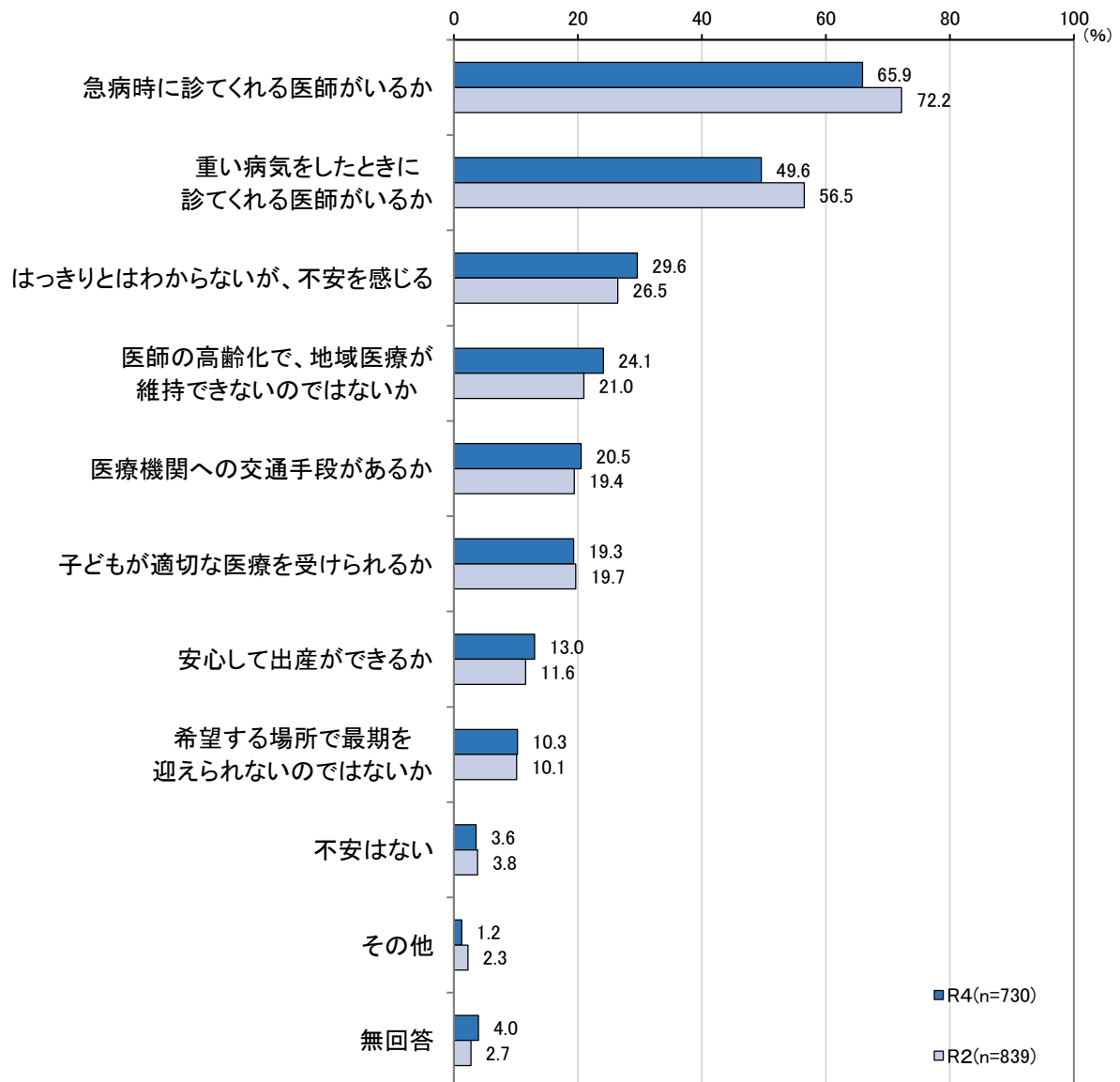
将来の医療について不安なことをたずねたところ、第 1 位は「急病時に診てくれる医師がいるか」(65.9%)、第 2 位が「重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか」(49.6%)、第 3 位が「はっきりとはわからないが、不安を感じる」(29.6%) の順となっています。

令和 2 年と比べると、「急病時に診てくれる医師がいるか」は 6.3 ポイント減少しています。

将来の医療について不安なこと
(全体・性別／複数回答 3 つまで)



■過去の調査との比較



問 30 専門的な医療について、将来どのような対策を充実させるべきだと思いますか。
【複数回答3つまで】

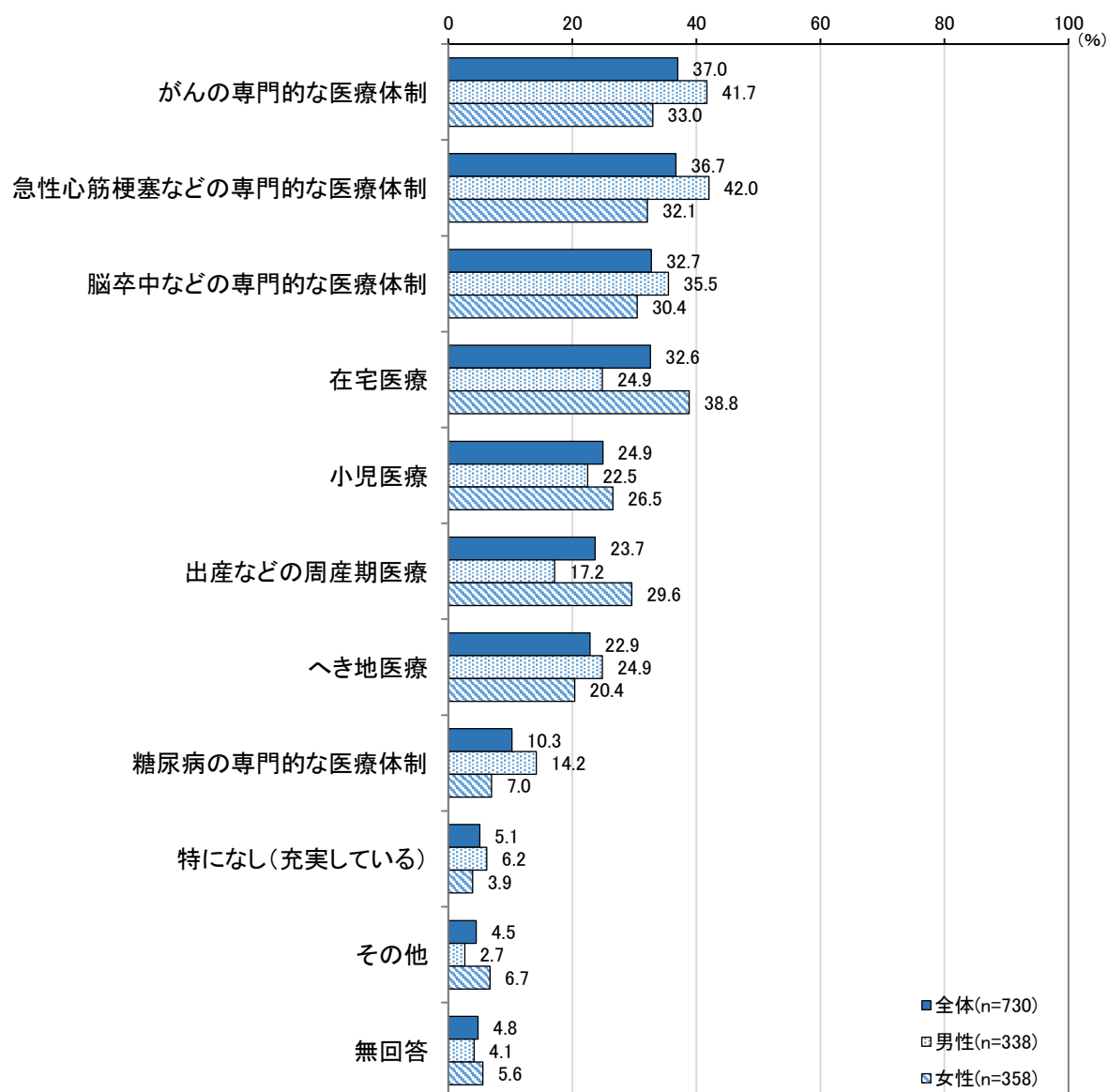


● 「がんの専門的な医療体制」(37.0%) が第1位

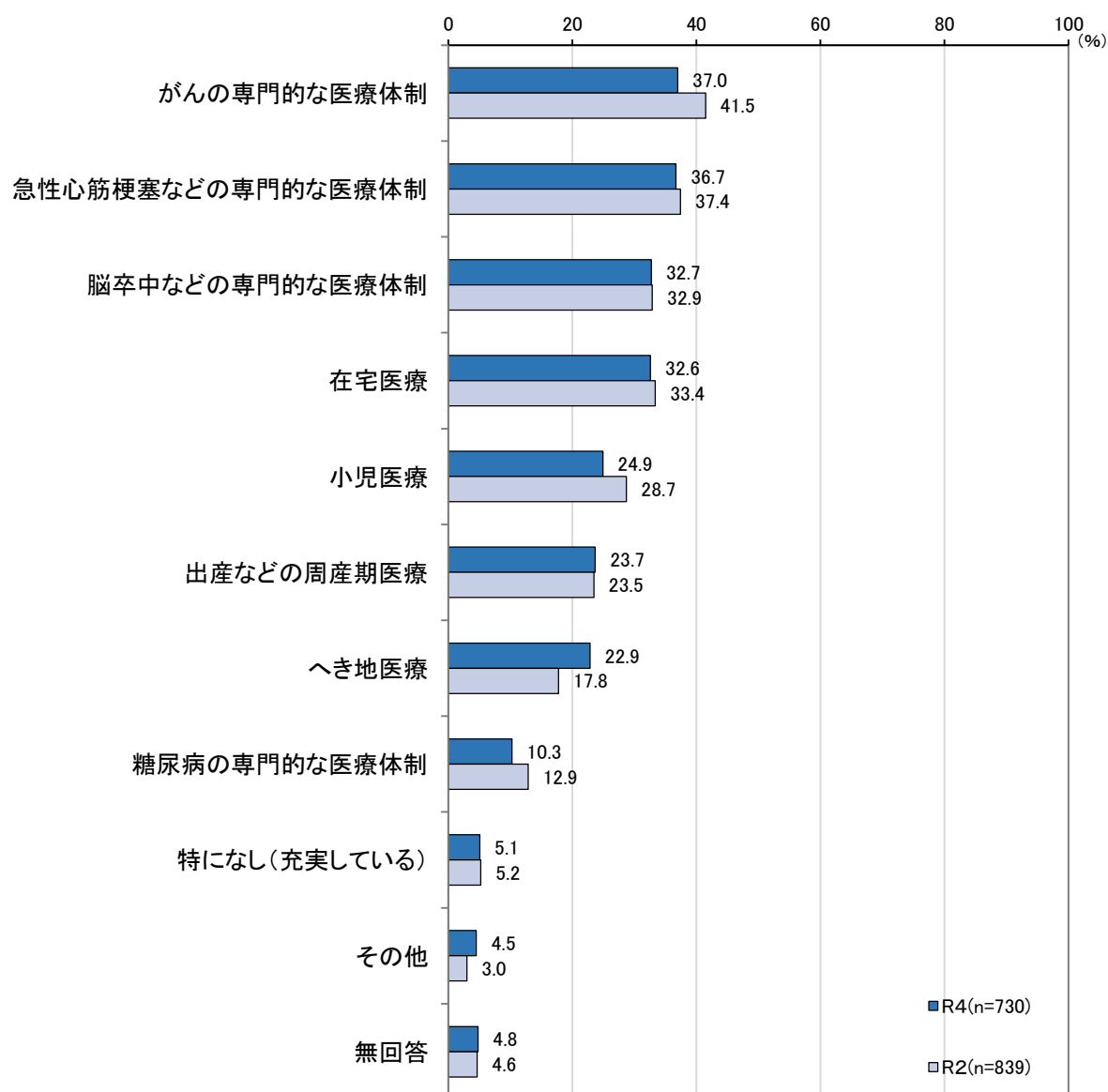
専門的な医療について、将来どのような対策を充実させるべきかをたずねたところ、第1位は「がんの専門的な医療体制」(37.0%)、第2位が「急性心筋梗塞などの専門的な医療体制」(36.7%)、第3位が「脳卒中などの専門的な医療体制」(32.7%)の順となっています。

令和2年と比べると、「がんの専門的な医療体制」は4.5ポイント減少しています。

専門的な医療について、将来どのような対策を充実させるべきか
(全体・性別／複数回答3つまで)



■過去の調査との比較



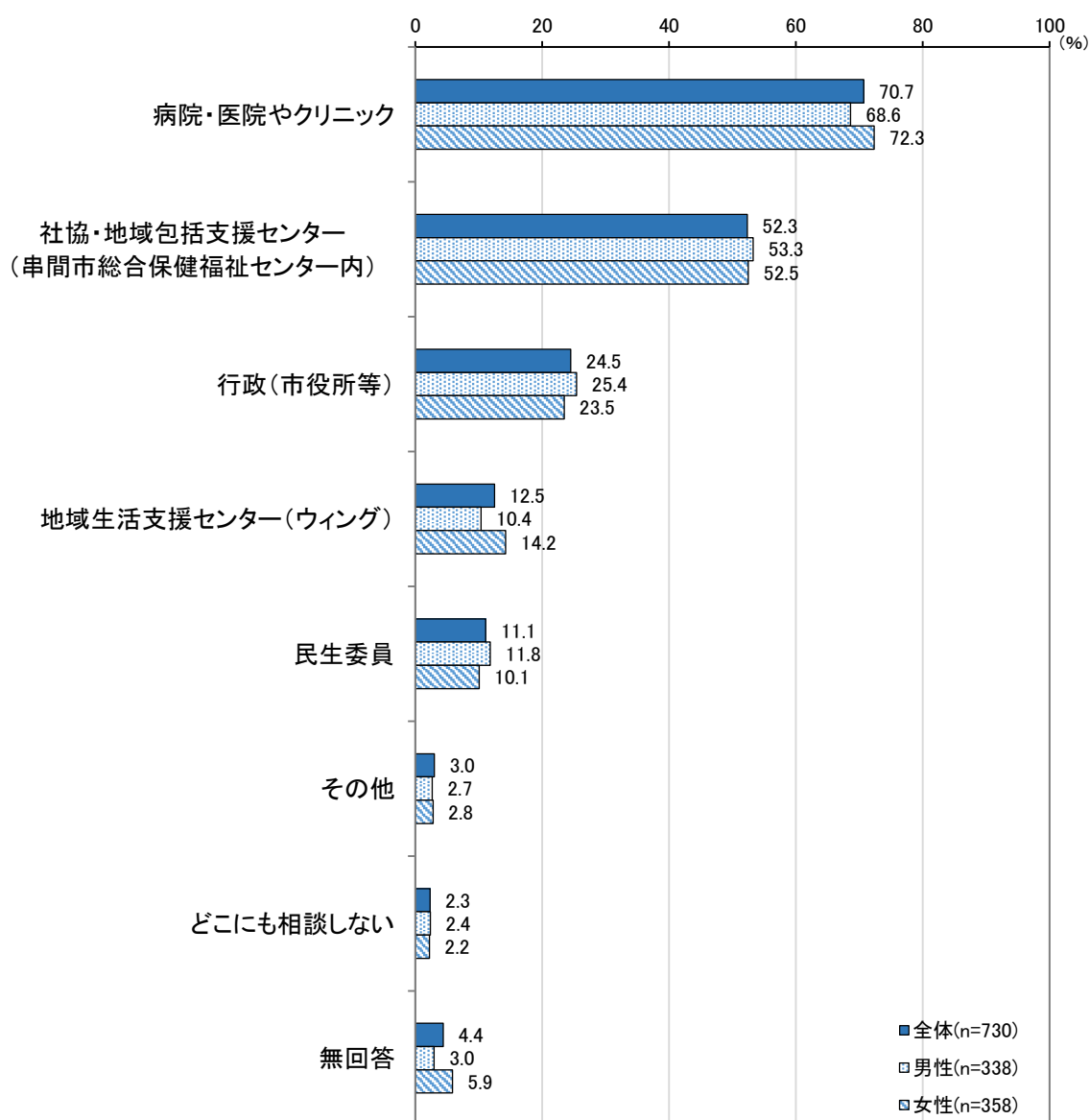
問 31 認知症に関する悩みがある場合、どこへ相談しますか。【複数回答3つまで】



● 「病院・医院やクリニック」(70.7%) が第1位

認知症に関する悩みがある場合、どこへ相談するかをたずねたところ、第1位は「病院・医院やクリニック」(70.7%)、第2位が「社協・地域包括支援センター(串間市総合保健福祉センター内)」(52.3%)、第3位が「行政(市役所等)」(24.5%)の順となっています。

認知症に関する悩みがある場合、どこへ相談するか
(全体・性別/複数回答3つまで)



9 市行政について

問 32 市の行政に関心を持っていますか。



- 『関心を持っている』(59.5%)、『関心がない』(14.5%)

市の行政に関心を持っているかについてたずねたところ、「まあまあ関心を持っている」が37.0%で最も高く、これに「大いに関心を持っている」(22.5%)を合わせた59.5%の人が『関心を持っている』という意向を示しています。一方、「あまり関心がない」(9.7%)および「まったく関心がない」(4.8%)と答えた『関心がない』という人の合計は(14.5%)となっています。なお、「どちらともいえない」は22.5%でした。

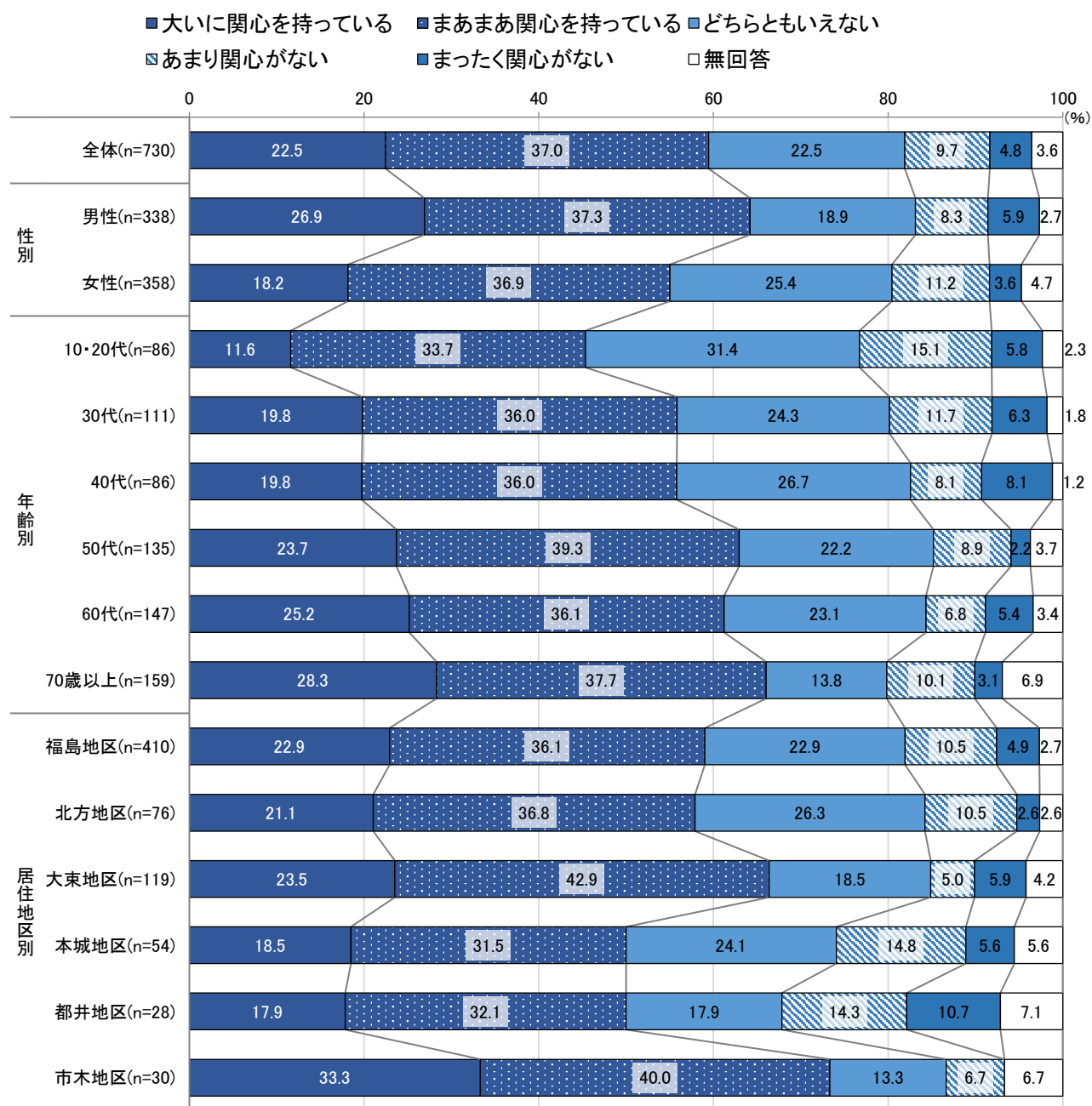
属性別で『関心を持っている』をみたところ、性別では男性が64.2%、女性が55.1%となっており、男性が9.1ポイント高くなっています。

年齢では、70歳以上(66.0%)が最も高く、次いで、50代(63.0%)、60代(61.3%)の順となっており、10・20代(45.3%)が最も低くなっています。

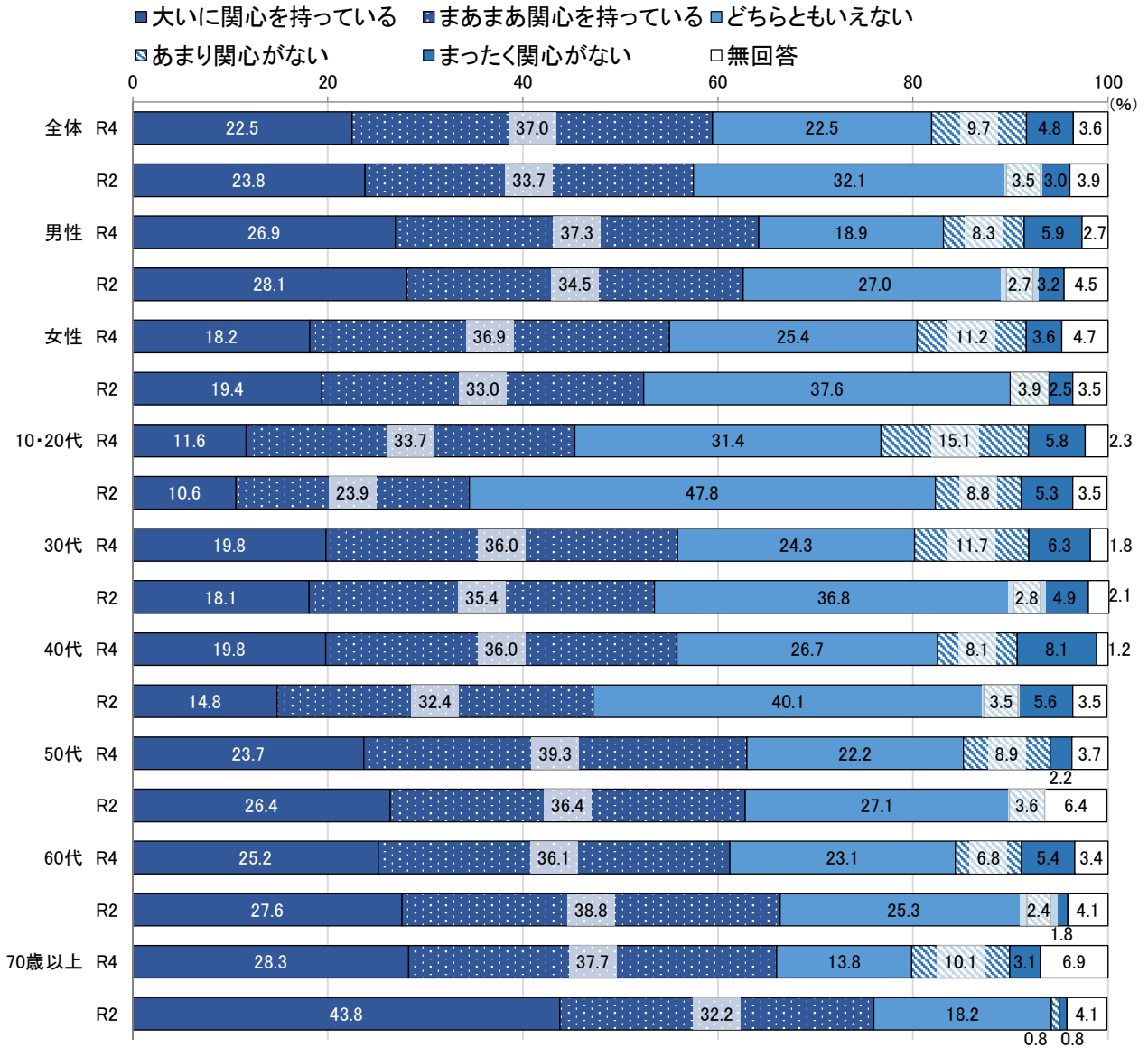
居住地区では、市木地区(73.3%)が最も高く、本城地区、都井地区(50.0%)が最も低くなっています。

令和2年と比べると、男性が1.6ポイント増加、女性が2.7ポイント増加しています。年齢では、10・20代、30代、40代、50代が増加しています。

市の行政に関心を持っているか
(全体・性別・年齢・居住地区)



■過去の調査との比較



問 33 行政の効率性を高めるために必要だと思うことはどのようなことですか。【複数回答
いくつでも】

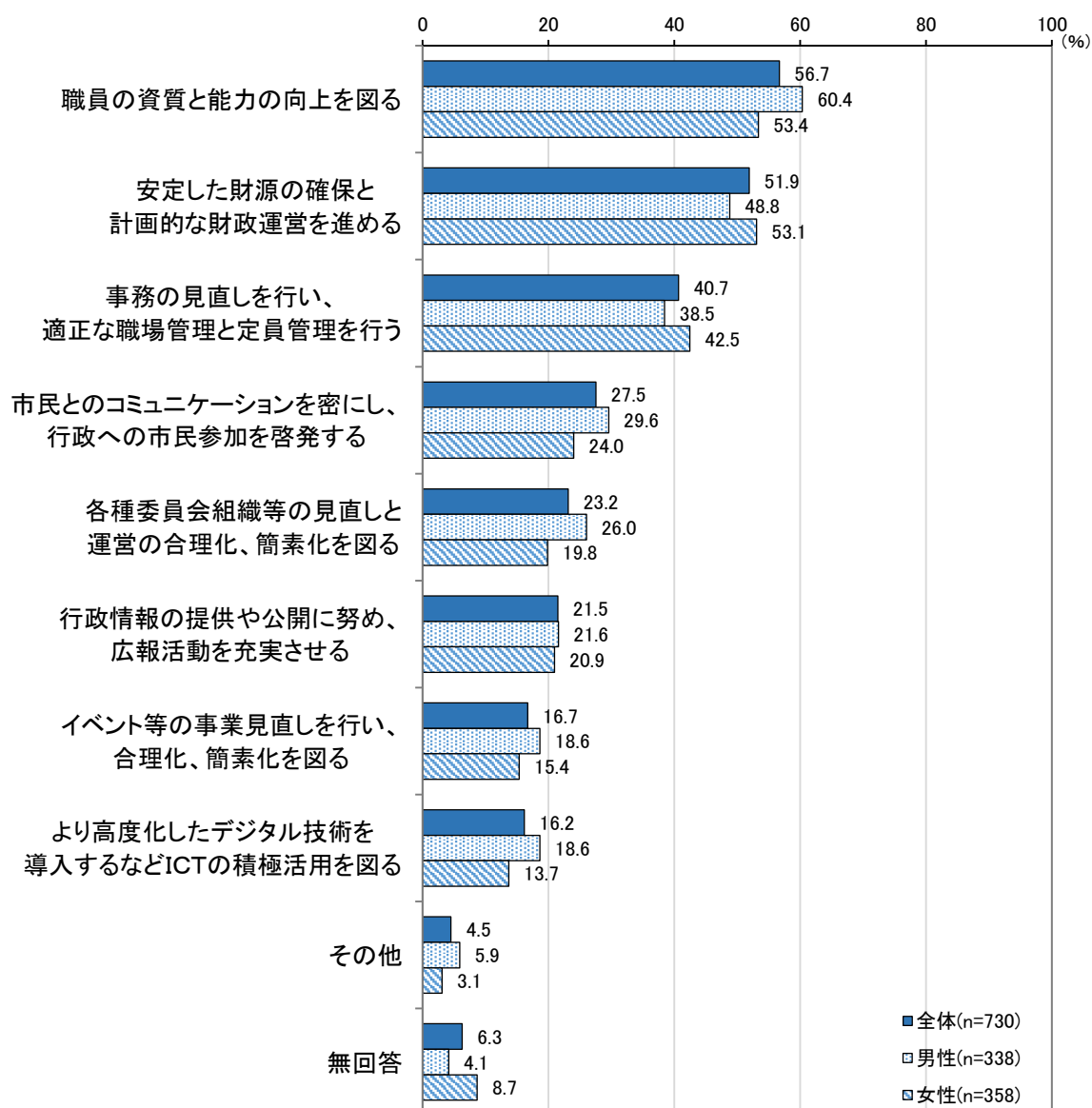


● 「職員の資質と能力の向上を図る」(56.7%) が第1位

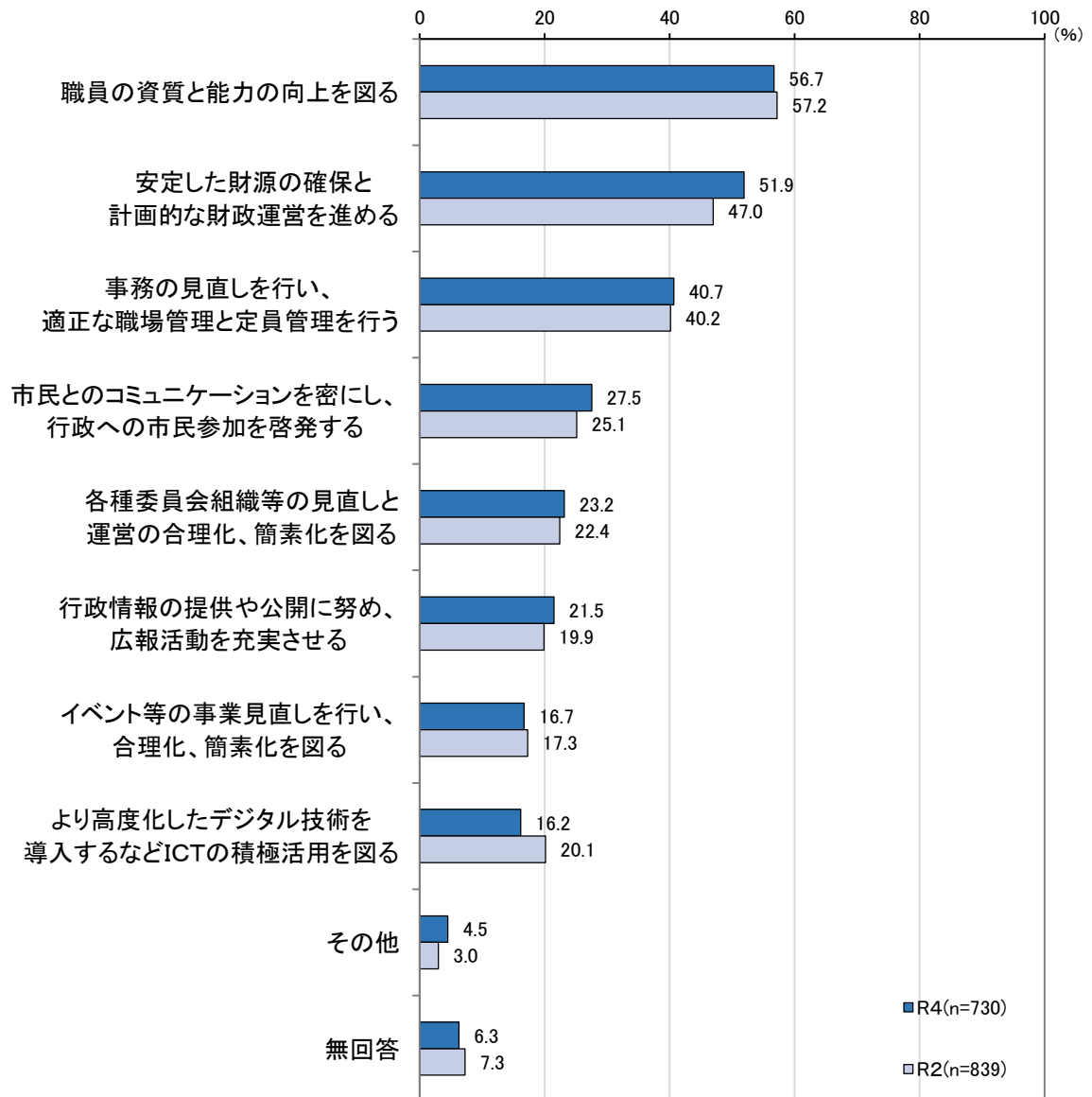
行政の効率性を高めるために必要だと思うことをたずねたところ、第1位は「職員の資質と能力の向上を図る」(56.7%)、第2位が「安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める」(51.9%)、第3位が「事務の見直しを行い、適正な職場管理と定員管理を行う」(40.7%)の順となっています。

令和2年と比べると、「安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める」は4.9ポイント増加しています。

行政の効率性を高めるために必要なこと
(全体／複数回答いくつでも)



■過去の調査との比較



Ⅲ 自由意見

■串間市のまちづくりに対する要望・意見・提案等

問 34 最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて市の行政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。



本市のまちづくりに対して寄せられた要望・意見・提案等をテキストマイニング方式により単語やフレーズを抽出し、該当する各分野へ分類したところ、下表のように「2 保健・医療・福祉分野」、「4 生活基盤・産業分野」への要望・意見・提案等が多くみられました。

248 名の方から 261 件の要望・意見・提案

分野	該当項目等	件数
1 人権・教育・文化分野	人権尊重のまちづくり・学校教育環境・青少年の健全育成環境・生涯学習環境・スポーツ環境・文化芸術環境・文化遺産・国内外との交流活動などの状況に関する事	15
2 保健・医療・福祉分野	保健サービス提供体制・医療体制・子育て支援体制・障がい者支援体制・高齢者支援体制・地域福祉体制・バリアフリー化などの状況に関する事	41
3 生活環境分野	防災体制・消防・救急体制・交通安全体制・防犯体制・消費者対策・環境保全・新エネルギー・景観・公園・緑地・親水空間・緑化・ごみ処理・リサイクル等・し尿処理・生活排水処理・上水道・墓地・火葬場の整備などの状況に関する事	29
4 生活基盤・産業分野	土地利用・道路・住宅施策・公共交通機関・情報環境・雇用対策・農業振興・林業振興・水産業振興・工業振興・商業振興・観光振興などの状況に関する事	81
5 市民参画・行財政分野	NPO、市民活動の育成等・コミュニティ活動・行財政改革に関する取組み・広域的な連携・広報・広聴・行政情報の提供などの状況に関する事	33
6 男女共同参画等	男女共同参画においての環境づくり・意識の浸透・教育の推進・相談体制・地域活動などの状況に関する事	0
7 その他	上記に該当しないもの	62
合 計		261

